

2. 人口移動等動向調査

2-1. 県内人口移動等の状況調査

(1) 調査目的

通勤・通学等の実態を含めた人口移動状況を調査することで、地域間の結びつきを明らかにする。また、各種統計分析により、各地域においてリーダーシップを発揮している自治体を把握する。

(2) 調査結果

①通勤圏

県内の各自治体の就業者（注）について、吸引数、放出数、各自治体の就業者のうち5%以上が通勤している通勤先の自治体を整理した（図表 13~15）。相手自治体の就業者のうち5%以上を吸引している自治体数を基に評点を付した場合、通勤で中核となっている自治体は、千葉市（評点：31点）、成田市（同：23点）、茂原市（同：20点）、市原市（同：7点）、船橋市（同：6点）、木更津市（同：6点）、君津市（同：6点）、柏市（同：5点）、いすみ市（同：5点）、館山市（同：5点）となる（図表 16）。

（注）就業者

15歳以上で、平成22年（「平成22年国勢調査」の調査年）の9月24日から30日までの1週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入（現物収入を含む。）を伴う仕事を少しでもした人。

なお、収入を伴う仕事を持っていて、調査週間中、少しも仕事をしなかった人のうち、次のいずれかに該当する場合は就業者としている。

- a. 勤めている人が、病気や休暇などで休んでいても、賃金や給料をもらうことになっている場合や、雇用保険法に基づく育児休業基本給付金や介護休業給付金をもらうことになっている場合。
- b. 事業を営んでいる人が、病気や休暇などで仕事を休み始めてから30日未満の場合。また、家族の人が自家営業（個人経営の農業や工場・店の仕事など）の手伝いをした場合は、無給であっても、収入を伴う仕事をしたこととして、就業者に含めている。

図表 13 通勤先自治体と吸引数

通勤先自治体	他自治体から吸引している人数				通勤先自治体への通勤率が5%以上を占める 県内自治体(カッコ内は通勤者数)
	県内	県外	最も多い都道府県からの人数(注)		
千葉市	144,796人	125,679人	19,117人	11,423人	市原市(19,305人)、船橋市(14,400人)、四街道市(11,067人)、習志野市(8,323人)、佐倉市(7,367人)、八千代市(6,217人)、茂原市(5,168人)、八街市(4,974人)、大網白里市(4,354人)、東金市(3,888人)、木更津市(3,018人)、袖ヶ浦市(2,271人)、山武市(2,172人)、いすみ市(1,061人)、酒々井町(887人)、九十九里町(730人)、長生村(660人)、白子町(544人)、長柄町(507人)、一宮町(489人)、長南町(394人)、睦沢町(276人)
市川市	53,264人	38,544人	14,720人	10,766人	-
船橋市	79,165人	67,030人	12,135人	7,734人	習志野市(9,246人)、八千代市(6,520人)、鎌ヶ谷市(5,925人)、白井市(2,157人)
習志野市	31,094人	27,649人	3,445人	2,123人	-
八千代市	24,995人	23,022人	1,973人	1,107人	佐倉市(5,609人)
浦安市	48,066人	28,776人	19,290人	12,021人	-
松戸市	47,119人	32,503人	14,616人	5,995人	柏市(10,304人)、流山市(4,387人)、鎌ヶ谷市(3,168人)
野田市	19,170人	8,133人	11,037人	6,637人(埼)	-
柏市	60,019人	41,662人	18,357人	8,985人(茨)	流山市(9,682人)、我孫子市(7,092人)、野田市(5,007人)
流山市	15,380人	11,553人	3,827人	1,676人(埼)	-
我孫子市	12,211人	7,295人	4,916人	3,431人(茨)	-
鎌ヶ谷市	11,512人	10,584人	928人	491人	-
成田市	53,821人	46,630人	7,191人	3,056人(茨)	富里市(7,263人)、香取市(5,029人)、佐倉市(4,565人)、栄町(2,802人)、八街市(2,535人)、酒々井町(2,082人)、多古町(1,629人)、山武市(1,418人)、匝瑳市(1,189人)、神崎町(889人)、横芝光町(783人)、芝山町(738人)
佐倉市	20,648人	19,653人	995人	506人	八街市(2,875人)、四街道市(2,247人)、酒々井町(1,123人)
四街道市	9,804人	9,439人	365人	195人	-
八街市	7,799人	7,431人	368人	180人	山武市(1,435人)
印西市	14,739人	12,375人	2,364人	949人	白井市(1,974人)、栄町(786人)
白井市	10,970人	9,934人	1,036人	412人(茨)	-
富里市	7,955人	7,654人	301人	166人(茨)	芝山町(219人)
酒々井町	2,710人	2,621人	89人	46人	-
栄町	1,824人	1,509人	315人	292人(茨)	-
香取市	8,476人	5,780人	2,696人	2,538人(茨)	東庄町(910人)、神崎町(256人)
神崎町	1,033人	871人	162人	152人(茨)	-
多古町	3,692人	3,568人	124人	86人(茨)	-
東庄町	1,446人	1,222人	224人	217人(茨)	-
銚子市	6,205人	3,878人	2,327人	2,109人(茨)	旭市(2,068人)、東庄町(435人)
旭市	7,111人	6,495人	616人	444人(茨)	匝瑳市(1,861人)、銚子市(1,782人)、東庄町(454人)
匝瑳市	5,692人	5,552人	140人	82人(茨)	旭市(2,359人)、横芝光町(955人)

通勤先自治体	他自治体から吸引している人数			最も多い都道府県からの人数(注)	通勤先自治体への通勤率が5%以上を占める 県内自治体(カッコ内は通勤者数)
	県内	県外			
東金市	11,613人	11,279人	334人	179人	山武市(2,192人)、大網白里市(1,918人)、九十九里町(1,468人)
山武市	7,226人	7,082人	144人	58人	東金市(1,729人)、横芝光町(1,059人)、九十九里町(499人)
大網白里市	3,591人	3,524人	67人	34人	-
九十九里町	2,022人	1,999人	23人	12人	-
芝山町	5,833人	5,656人	177人	75人(茨)	-
横芝光町	2,958人	2,927人	31人	11人(東・茨)	-
茂原市	15,841人	15,492人	349人	137人	いすみ市(1,837人)、長生村(1,736人)、大網白里市(1,549人)、白子町(1,122人)、長南町(978人)、一宮町(862人)、睦沢町(804人)、長柄町(584人)、大多喜町(373人)、御宿町(205人)
一宮町	1,676人	1,655人	21人	8人	-
睦沢町	1,304人	1,294人	10人	4人	-
長生村	2,260人	2,244人	16人	5人	-
白子町	1,532人	1,517人	15人	9人	-
長柄町	2,094人	2,073人	21人	13人	-
長南町	2,475人	2,456人	19人	9人	-
勝浦市	2,152人	2,071人	81人	43人	御宿町(338人)
いすみ市	3,293人	3,219人	74人	27人	勝浦市(519人)、御宿町(431人)、大多喜町(322人)、一宮町(287人)
大多喜町	2,033人	2,009人	24人	16人	-
御宿町	707人	704人	3人	1人(東・神・茨)	-
館山市	6,107人	5,976人	131人	51人	南房総市(4,307人)、鋸南町(447人)
鴨川市	3,651人	3,534人	117人	51人	南房総市(1,108人)、勝浦市(760人)
南房総市	3,536人	3,465人	71人	25人	館山市(2,359人)、鋸南町(337人)
鋸南町	801人	790人	11人	4人	-
市原市	31,938人	30,133人	1,805人	757人	袖ヶ浦市(5,175人)、木更津市(4,118人)、長柄町(471人)、大多喜町(381人)、長南町(352人)
木更津市	18,606人	17,930人	676人	272人	君津市(6,583人)、袖ヶ浦市(3,591人)、富津市(2,899人)
君津市	15,874人	15,456人	418人	130人	木更津市(7,006人)、富津市(4,799人)、鋸南町(213人)
富津市	7,510人	6,830人	680人	392人(神)	君津市(3,105人)、鋸南町(250人)
袖ヶ浦市	12,957人	12,375人	582人	267人(神)	木更津市(4,113人)

(注) 1.出所：平成 22 年国勢調査

2.県外の最も多い都道府県は、注記がない場合、または(東)を付した場合は東京都、(神)を付した場合は神奈川県、(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県

3.通勤率 = (相手自治体に通勤している就業者数) / (居住自治体の就業者数)

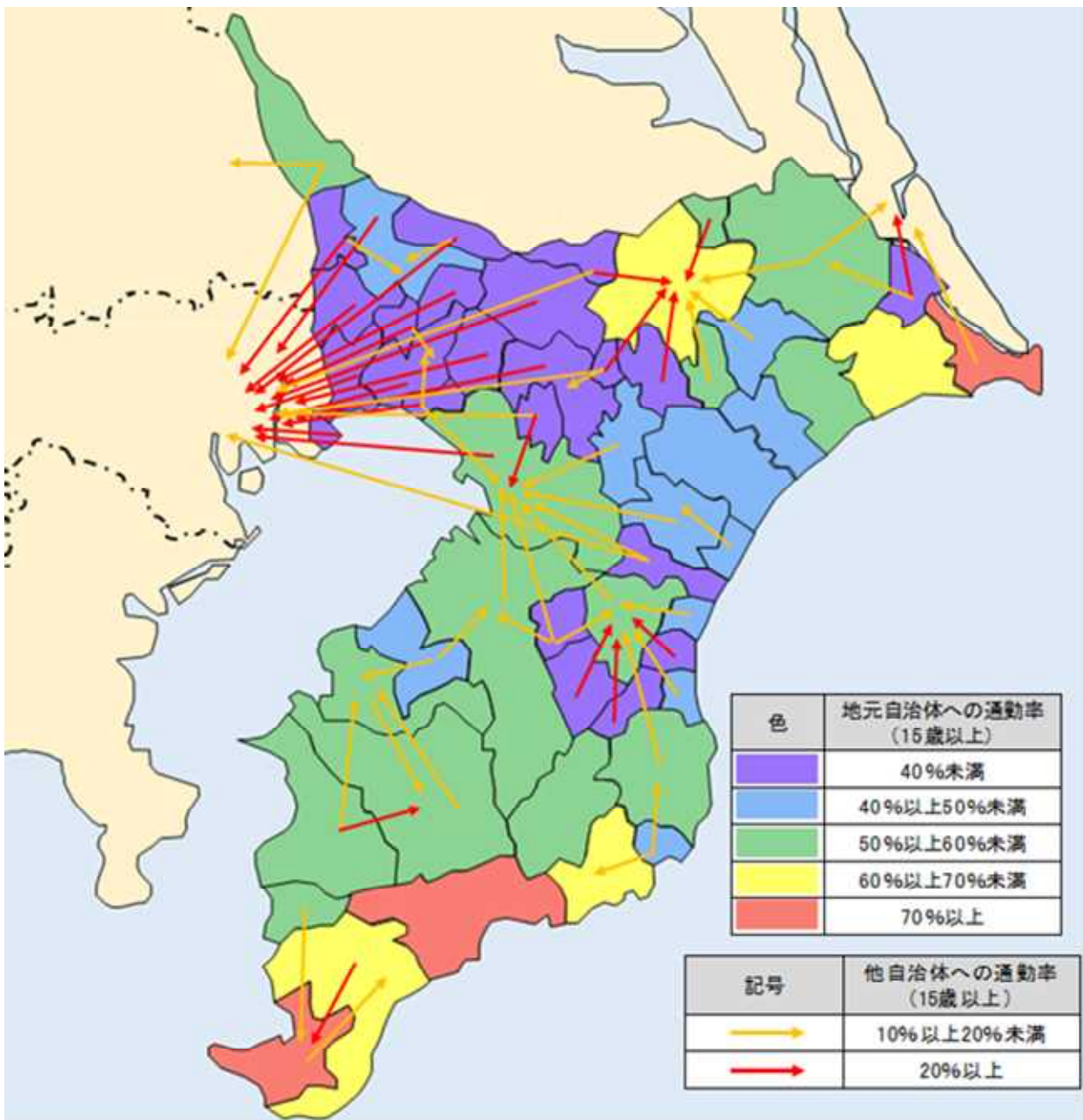
図表 14 他自治体への放出数

自治体名	就業者数	他自治体へ放出している人数						
		県内	県外	うち 東京都	うち 神奈川県	うち 埼玉県	うち 茨城県	
千葉市	430,838人	171,529人	74,438人	97,091人	90,833人	2,910人	1,828人	553人
市川市	223,211人	140,017人	29,514人	110,503人	105,121人	2,571人	1,984人	353人
船橋市	283,555人	168,977人	60,009人	108,968人	102,445人	2,932人	2,372人	596人
習志野市	79,037人	54,045人	26,299人	27,746人	26,128人	737人	552人	125人
八千代市	85,944人	50,441人	26,116人	24,325人	23,036人	501人	450人	172人
浦安市	80,748人	49,001人	6,521人	42,480人	40,427人	1,165人	554人	84人
松戸市	226,256人	130,735人	34,506人	96,229人	85,658人	1,843人	6,409人	1,732人
野田市	74,612人	31,003人	10,548人	20,455人	9,831人	247人	7,942人	2,209人
柏市	188,536人	100,179人	33,214人	66,965人	56,964人	1,394人	4,119人	4,071人
流山市	77,569人	53,318人	20,967人	32,351人	26,420人	613人	3,547人	1,544人
我孫子市	57,221人	37,397人	14,258人	23,139人	18,722人	464人	920人	2,857人
鎌ヶ谷市	49,748人	34,458人	19,401人	15,057人	13,766人	338人	611人	220人
成田市	63,259人	19,322人	15,252人	4,070人	3,110人	86人	93人	715人
佐倉市	79,779人	48,439人	30,829人	17,610人	16,445人	404人	356人	224人
四街道市	38,889人	25,933人	19,263人	6,670人	6,161人	243人	129人	83人
八街市	36,204人	20,388人	17,887人	2,501人	2,217人	105人	66人	79人
印西市	43,638人	25,399人	13,552人	11,847人	10,688人	288人	345人	433人
白井市	28,734人	19,754人	10,704人	9,050人	8,341人	212人	281人	168人
富里市	26,417人	15,299人	13,690人	1,609人	1,331人	56人	41人	144人
酒々井町	9,903人	7,527人	6,281人	1,246人	1,125人	39人	30人	36人
栄町	11,105人	7,687人	5,920人	1,767人	1,408人	35人	66人	244人
香取市	39,730人	15,499人	10,442人	5,057人	327人	24人	26人	4,659人
神崎町	3,160人	1,867人	1,572人	295人	85人	7人	5人	195人
多古町	8,324人	3,807人	3,660人	147人	86人	4人	5人	48人
東庄町	7,335人	4,054人	2,387人	1,667人	29人	4人	6人	1,623人
銚子市	33,030人	8,201人	3,920人	4,281人	108人	22人	17人	4,123人
旭市	35,399人	10,852人	9,572人	1,280人	238人	20人	22人	987人
匝瑳市	19,202人	7,732人	7,434人	298人	139人	20人	13人	120人

自治体名	就業者数	他自治体へ放出している人数						
			県内	県外	うち			
					東京都	神奈川県	埼玉県	茨城県
東金市	28,457人	13,869人	12,239人	1,630人	1,432人	88人	44人	41人
山武市	27,693人	13,614人	12,527人	1,087人	934人	51人	30人	45人
大網白里市	23,184人	14,609人	11,617人	2,992人	2,754人	118人	64人	21人
九十九里町	8,625人	4,434人	4,139人	295人	247人	19人	6人	17人
芝山町	3,960人	1,863人	1,771人	92人	69人	4人	4人	14人
横芝光町	11,820人	5,803人	5,605人	198人	137人	10人	7人	34人
茂原市	43,024人	18,022人	15,880人	2,142人	1,933人	92人	56人	25人
一宮町	5,546人	3,118人	2,742人	376人	343人	16人	9人	2人
睦沢町	3,371人	2,265人	2,132人	133人	118人	8人	2人	4人
長生村	6,644人	4,466人	4,143人	323人	280人	20人	11人	3人
白子町	5,777人	3,224人	3,027人	197人	166人	13人	8人	3人
長柄町	3,837人	2,122人	2,018人	104人	88人	4人	4人	3人
長南町	4,091人	2,612人	2,527人	85人	74人	7人	1人	1人
勝浦市	9,018人	3,032人	2,939人	93人	68人	16人	3人	-
いすみ市	18,030人	7,479人	7,044人	435人	379人	20人	19人	6人
大多喜町	4,654人	2,012人	1,960人	52人	40人	4人	2人	3人
御宿町	3,119人	1,581人	1,489人	92人	73人	9人	7人	-
館山市	22,968人	4,726人	4,453人	273人	186人	55人	11人	5人
鴨川市	17,340人	2,655人	2,496人	159人	104人	25人	13人	3人
南房総市	20,553人	7,159人	6,894人	265人	148人	93人	7人	4人
鋸南町	4,292人	1,760人	1,688人	72人	39人	27人	1人	2人
市原市	125,292人	42,420人	32,876人	9,544人	8,579人	506人	155人	117人
木更津市	60,940人	25,136人	21,543人	3,593人	2,768人	666人	59人	28人
君津市	43,859人	16,672人	15,339人	1,333人	1,082人	172人	26人	25人
富津市	23,066人	10,596人	10,115人	481人	371人	78人	11人	6人
袖ヶ浦市	28,853人	15,330人	13,373人	1,957人	1,623人	260人	27人	18人

(注) 1.出所：平成 22 年国勢調査
2.従業地「不詳」を除く

図表 15 通勤先自治体と居住自治体の関係



(出所) 平成 22 年国勢調査結果よりちばぎん総合研究所が作成

図表 16 評点表

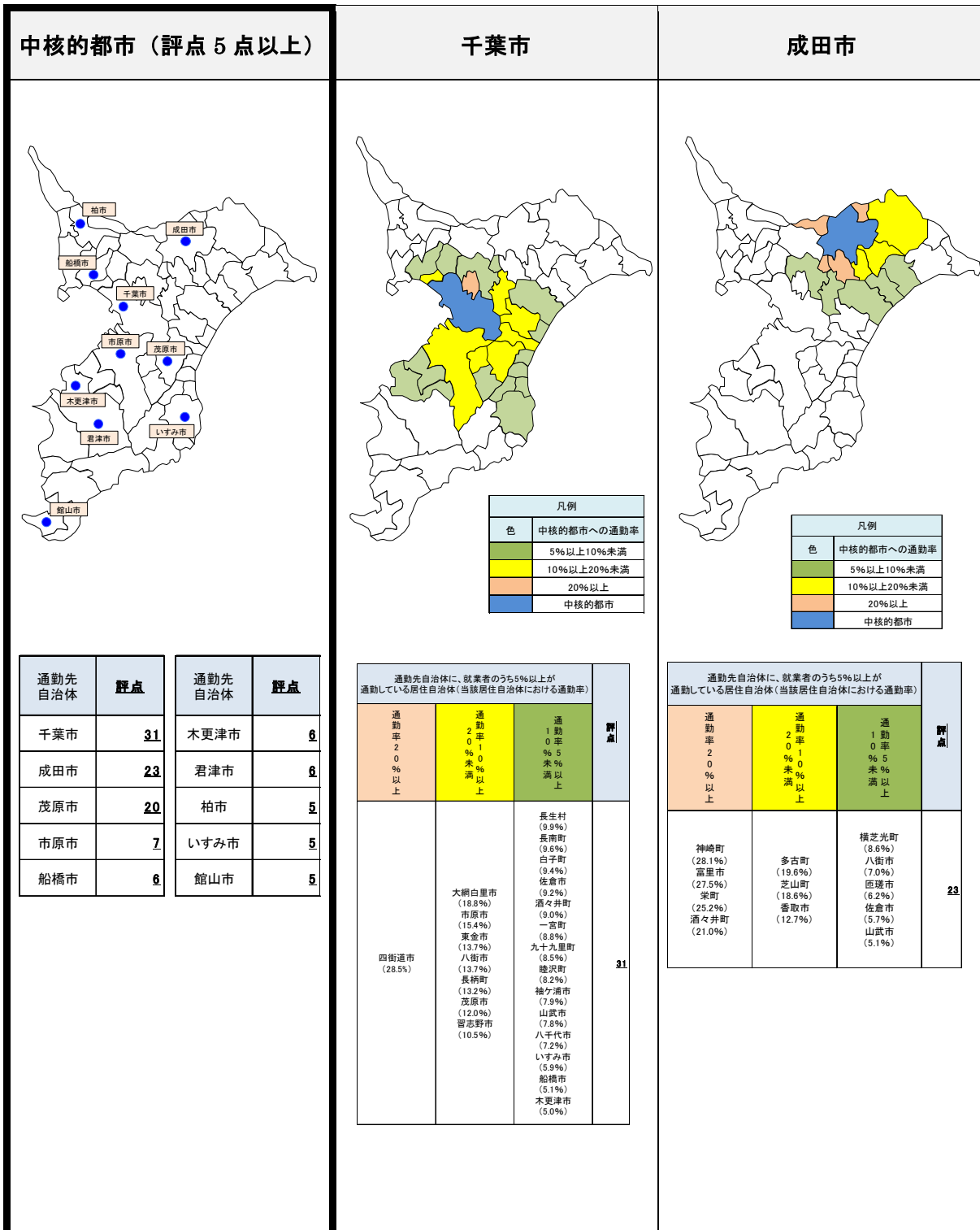
通勤先自治体	通勤先自治体に、就業者のうち5%以上が 通勤している居住自治体(当該居住自治体における通勤率)						相手自治体の5%以上を吸引している県内の自治体数	評点 (注)
	通勤率20%以上	県内自治体数	通勤率10%以上20%未満	県内自治体数	通勤率5%以上10%未満	県内自治体数		
千葉市	四街道市(28.5%)	1	大網白里市(18.8%)、市原市(15.4%)、東金市(13.7%)、八街市(13.7%)、長柄町(13.2%)、茂原市(12.0%)、習志野市(10.5%)	7	長生村(9.9%)、長南町(9.6%)、白子町(9.4%)、佐倉市(9.2%)、酒々井町(9.0%)、一宮町(8.8%)、九十九里町(8.5%)、睦沢町(8.2%)、袖ヶ浦市(7.9%)、山武市(7.8%)、八千代市(7.2%)、いすみ市(5.9%)、船橋市(5.1%)、木更津市(5.0%)	14	22	31
市川市							0	0
船橋市			鎌ヶ谷市(11.9%)、習志野市(11.7%)	2	八千代市(7.6%)、白井市(7.5%)	2	4	6
習志野市								0
八千代市					佐倉市(7.0%)	1	1	1
浦安市								0
松戸市					鎌ヶ谷市(6.4%)、流山市(5.7%)、柏市(5.5%)	3	3	3
野田市								0
柏市			流山市(12.5%)、我孫子市(12.4%)	2	野田市(6.7%)	1	3	5
流山市								0
我孫子市								0
鎌ヶ谷市								0
成田市	神崎町(28.1%)、富里市(27.5%)、栄町(25.2%)、酒々井町(21.0%)	4	多古町(19.6%)、芝山町(18.6%)、香取市(12.7%)	3	横芝光町(8.6%)、八街市(7.0%)、匝瑳市(6.2%)、佐倉市(5.7%)、山武市(5.1%)	5	12	23
佐倉市			酒々井町(11.3%)	1	八街市(7.9%)、四街道市(5.8%)	2	3	4
四街道市							0	0
八街市					山武市(5.2%)	1	1	1
印西市					栄町(7.1%)、白井市(6.9%)	2	2	2
白井市							0	0
富里市					芝山町(5.5%)	1	1	1
酒々井町							0	0
栄町							0	0
香取市			東庄町(12.4%)	1	神崎町(8.1%)	1	2	3
神崎町							0	0
多古町							0	0
東庄町							0	0
銚子市					旭市(5.8%)、東庄町(5.9%)	2	2	2
旭市					匝瑳市(9.7%)、東庄町(6.2%)、銚子市(5.4%)	3	3	3
匝瑳市					横芝光町(8.1%)、旭市(6.7%)	2	2	2

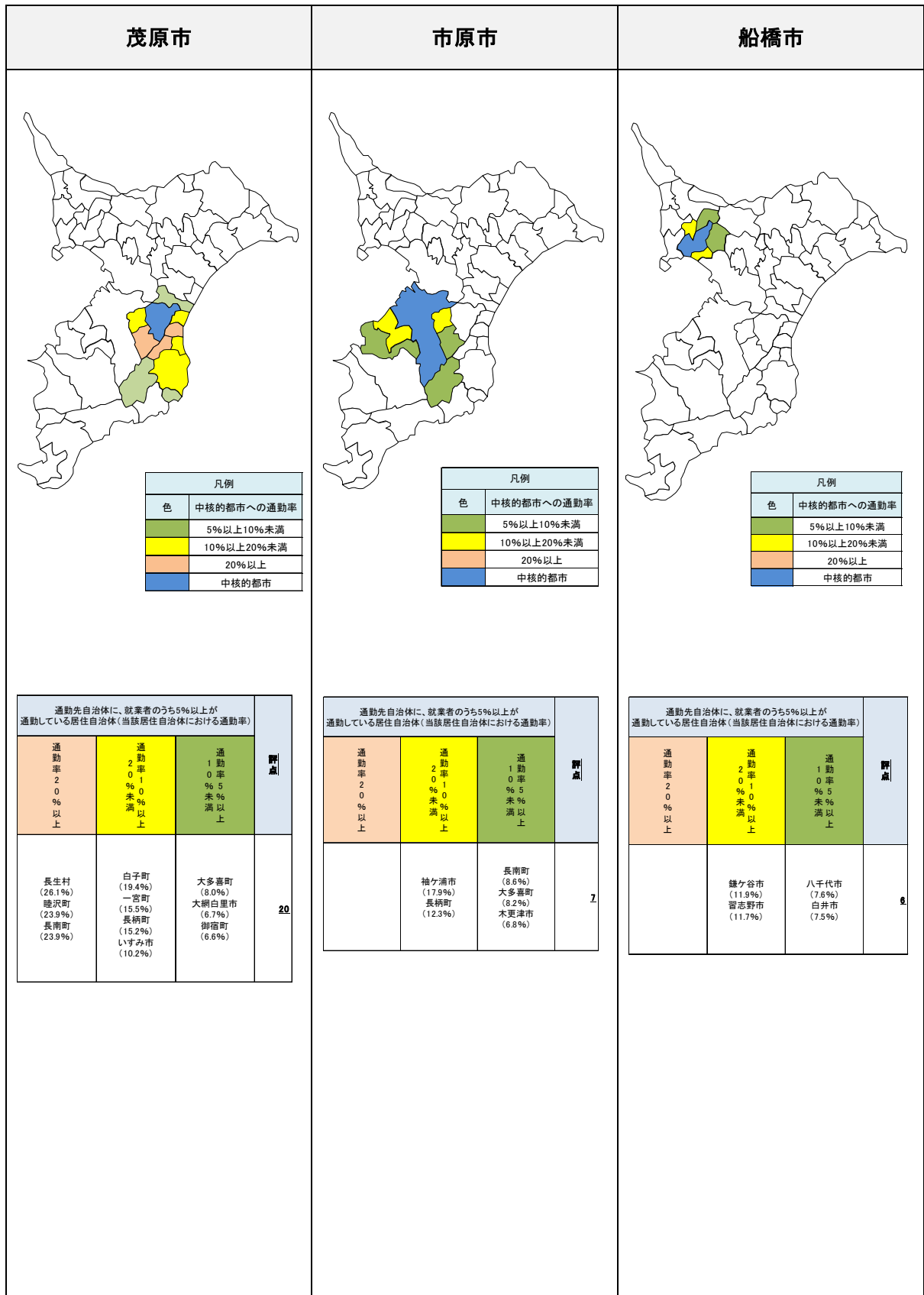
通勤先自治体	通勤先自治体に、就業者のうち5%以上が 通勤している居住自治体(当該居住自治体における通勤率)						相手自治体の 5%以上を吸引している 県内の自治体数	評点 (注)
	通勤率20%以上	県内自治体数	通勤率10%以上20%未満	県内自治体数	通勤率5%以上10%未満	県内自治体数		
東金市			九十九里町(17.0%)	1	大網白里市(8.3%)、山武市(7.9%)	2	3	4
山武市					横芝光町(9.0%)、東金市(6.1%)、九十九里町(5.8%)	3	3	3
大網白里市							0	0
九十九里町							0	0
芝山町							0	0
横芝光町							0	0
茂原市	長生村(26.1%)、睦沢町(23.9%)、長南町(23.9%)	3	白子町(19.4%)、一宮町(15.5%)、長柄町(15.2%)、いすみ市(10.2%)	4	大多喜町(8.0%)、大網白里市(6.7%)、御宿町(6.6%)	3	10	20
一宮町							0	0
睦沢町							0	0
長生村							0	0
白子町							0	0
長柄町							0	0
長南町							0	0
勝浦市			御宿町(10.8%)	1			1	2
いすみ市			御宿町(13.8%)	1	大多喜町(6.9%)、勝浦市(5.8%)、一宮町(5.2%)	3	4	5
大多喜町							0	0
御宿町							0	0
館山市	南房総市(21.0%)	1	鋸南町(10.4%)	1			2	5
鴨川市					勝浦市(8.4%)、南房総市(5.4%)	2	2	2
南房総市			館山市(10.3%)	1	鋸南町(7.9%)	1	2	3
鋸南町							0	0
市原市			袖ヶ浦市(17.9%)、長柄町(12.3%)	2	長南町(8.6%)、大多喜町(8.2%)、木更津市(6.8%)	3	5	7
木更津市			君津市(15.0%)、富津市(12.6%)、袖ヶ浦市(12.4%)	3			3	6
君津市	富津市(20.8%)	1	木更津市(11.5%)	1	鋸南町(5.0%)	1	3	6
富津市					君津市(7.1%)、鋸南町(5.8%)	2	2	2
袖ヶ浦市					木更津市(6.7%)	1	1	1

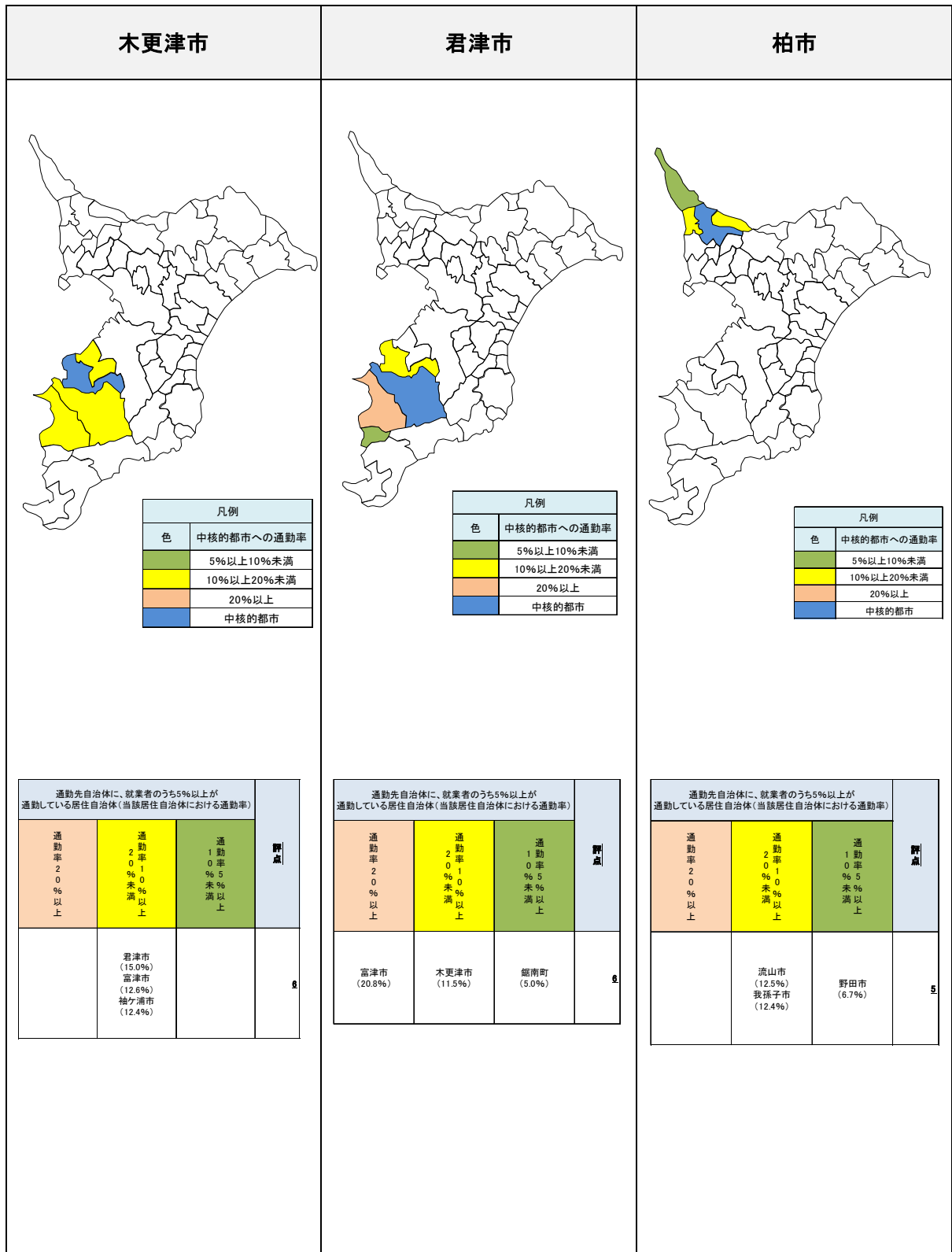
(注) 評点のつけ方

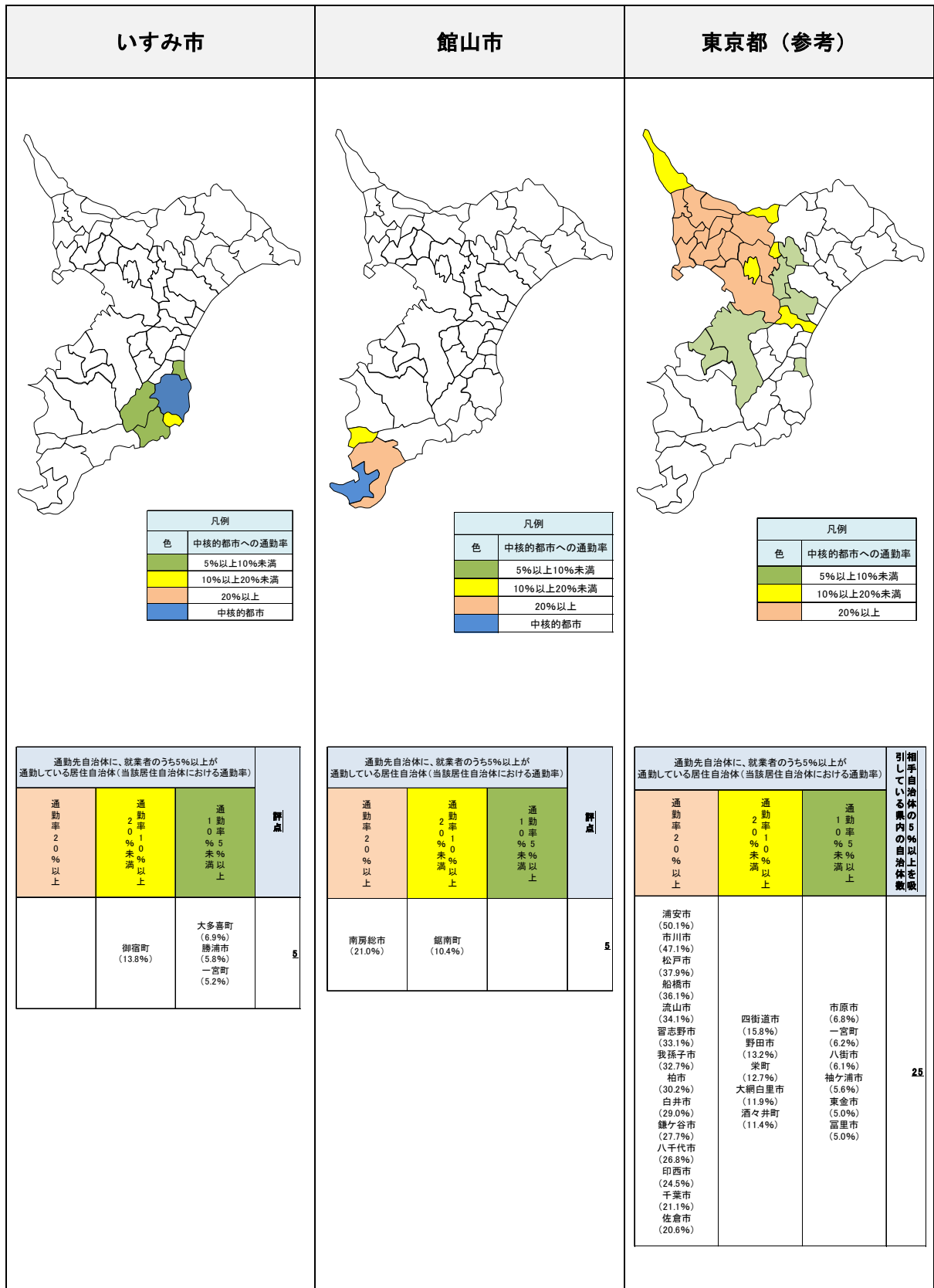
通勤率 20%以上の自治体：3 ポイント、同 10%以上 20%未満の自治体：2 ポイント、同 5%以上 10%未満の自治体：1 ポイントを付したもの。着色は評点が 5 ポイント以上の自治体

図表 17 通勤の中核的都市と通勤圏









図表 18 県外の通勤率が上位の自治体（参考）

		1位	2位	3位
東京都	千葉市	東京都千代田区 (16,724人(3.9%))	東京都中央区 (15,239人(3.5%))	東京都港区 (13,346人(3.1%))
	市川市	東京都中央区 (17,388人(7.8%))	東京都千代田区 (16,962人(7.6%))	東京都江東区 (12,840人(5.8%))
	船橋市	東京都千代田区 (17,510人(6.2%))	東京都中央区 (15,961人(5.6%))	東京都港区 (13,512人(4.8%))
	松戸市	東京都千代田区 (14,258人(6.3%))	東京都港区 (10,880人(4.8%))	東京都中央区 (10,381人(4.6%))
	野田市	東京都千代田区 (1,461人(2.0%))	東京都中央区 (1,177人(1.6%))	東京都港区 (1,129人(1.5%))
	佐倉市	東京都千代田区 (2,770人(3.5%))	東京都中央区 (2,764人(3.5%))	東京都港区 (2,155人(2.7%))
	東金市	東京都中央区 (188人(0.7%))	東京都千代田区 (187人(0.7%))	東京都江東区 (172人(0.6%))
	習志野市	東京都千代田区 (4,899人(6.2%))	東京都中央区 (4,065人(5.1%))	東京都港区 (3,553人(4.5%))
	柏市	東京都千代田区 (11,002人(5.8%))	東京都港区 (7,635人(4.0%))	東京都中央区 (7,158人(3.8%))
	市原市	東京都千代田区 (1,527人(1.2%))	東京都中央区 (1,431人(1.1%))	東京都港区 (1,276人(1.0%))
	流山市	東京都千代田区 (5,046人(6.5%))	東京都港区 (3,658人(4.7%))	東京都中央区 (3,363人(4.3%))
	八千代市	東京都中央区 (3,936人(4.6%))	東京都千代田区 (3,918人(4.6%))	東京都港区 (2,932人(3.4%))
	我孫子市	東京都千代田区 (3,640人(6.4%))	東京都港区 (2,732人(4.8%))	東京都中央区 (2,430人(4.2%))
	鎌ヶ谷市	東京都千代田区 (2,167人(4.4%))	東京都中央区 (1,965人(3.9%))	東京都港区 (1,633人(3.3%))
	浦安市	東京都中央区 (7,981人(9.9%))	東京都千代田区 (6,451人(8.0%))	東京都港区 (6,080人(7.5%))
	四街道市	東京都千代田区 (1,073人(2.8%))	東京都中央区 (951人(2.4%))	東京都港区 (878人(2.3%))
	袖ヶ浦市	東京都港区 (243人(0.8%))	東京都中央区 (241人(0.8%))	東京都千代田区 (230人(0.8%))
	八街市	東京都千代田区 (290人(0.8%))	東京都中央区 (287人(0.8%))	東京都江東区 (274人(0.8%))
	印西市	東京都千代田区 (1,890人(4.3%))	東京都港区 (1,737人(4.0%))	東京都中央区 (1,728人(4.0%))
	白井市	東京都中央区 (1340人(4.7%))	東京都港区 (1,335人(4.6%))	東京都千代田区 (1,320人(4.6%))
	富里市	東京都中央区 (196人(0.7%))	東京都港区 (147人(0.6%))	東京都江東区 (146人(0.6%))
	大網白里市	東京都千代田区 (457人(2.0%))	東京都中央区 (445人(1.9%))	東京都港区 (373人(1.6%))
	酒々井町	東京都中央区 (172人(1.7%))	東京都港区 (138人(1.4%))	東京都千代田区 (134人(1.4%))
栄町	東京都千代田区 (225人(2.0%))	東京都港区 (193人(1.7%))	東京都中央区 (183人(1.6%))	
一宮町	東京都中央区 (59人(1.1%))	東京都千代田区 (46人(0.8%))	東京都港区 (44人(0.8%))	
茨城県	鉾子市	茨城県神栖市 (3,519人(10.7%))	茨城県鹿嶋市 (489人(1.5%))	茨城県潮来市 (28人0.1%)
	我孫子市	茨城県取手市 (1,071人(1.9%))	茨城県つくば市 (438人(0.8%))	茨城県土浦市 (247人(0.4%))
	香取市	茨城県神栖市 (1,918人(4.8%))	茨城県鹿嶋市 (1,159人(2.9%))	茨城県稲敷市 (840人(2.1%))
	神崎町	茨城県稲敷市 (98人(3.1%))	茨城県神栖市 (20人(0.6%))	茨城県鹿嶋市 (15人(0.5%))
	東庄町	茨城県神栖市 (1,063人(14.5%))	茨城県鹿嶋市 (487人(6.6%))	茨城県潮来市 (27人(0.4%))
埼玉県	野田市	埼玉県春日部市 (1,778人(2.4%))	埼玉県さいたま市 (1,365人(1.8%))	埼玉県越谷市 (1,040人(1.4%))

(注) 1.出所：平成 22 年国勢調査

2.上記の県内自治体は、各都道府県への通勤率が 5%以上のもの

②通学圏

県内の各自治体の通学者（注）について、吸引数、放出数、各自治体の通学者のうち5%以上が通学している通学先の自治体を整理した（図表 19～21）。相手自治体の通学者のうち5%以上を吸引している自治体数を基に評点を付した場合、通学で中核となっている自治体は、千葉市（評点：63点）、茂原市（同：23点）、木更津市（同：13点）、柏市（同：11点）、成田市（同：11点）、東金市（同：8点）、館山市（同：8点）、船橋市（同：7点）、香取市（同：6点）、匝瑳市（同：6点）、市原市（同：6点）、松戸市（同：5点）、銚子市（同：5点）、一宮町（同：5点）、大多喜町（同：5点）、君津市（同：5点）となる（図表 22）。

（注）通学者

15歳以上で、平成22年（「平成22年国勢調査」の調査年）の9月24日から30日までの1週間中、主に通学していた人。

図表 19 通学先自治体と居住自治体

通学先自治体	他自治体から吸引している人数				通学先自治体への通学率が5%以上を占める 県内自治体(カッコ内は通学者数)
	県内	県外	最も多い都道府県からの人数(注)		
千葉市	23,937人	20,299人	3,638人	1,789人	市原市(2,866人)、船橋市(2,012人)、四街道市(1,175人)、習志野市(1,169人)、佐倉市(1,103人)、八千代市(934人)、八街市(820人)、茂原市(795人)、大網白里市(648人)、浦安市(562人)、東金市(548人)、木更津市(521人)、袖ヶ浦市(498人)、成田市(451人)、山武市(379人)、君津市(332人)、香取市(262人)、旭市(248人)、富里市(237人)、いすみ市(215人)、富津市(166人)、匝瑳市(135人)、長生村(133人)、横芝光町(113人)、九十九里町(111人)、酒々井町(105人)、一宮町(89人)、栄町(82人)、白子町(79人)、長南町(67人)、多古町(62人)、長柄町(59人)、睦沢町(51人)、東庄町(43人)、大多喜町(36人)、御宿町(34人)、芝山町(33人)、神崎町(32人)
市川市	11,478人	8,663人	2,815人	2,022人	船橋市(1,833人)、松戸市(1,250人)、浦安市(541人)
船橋市	11,766人	8,855人	2,911人	1,389人	市川市(1,140人)、習志野市(913人)、八千代市(911人)、鎌ヶ谷市(635人)、印西市(351人)、白井市(296人)
習志野市	14,027人	10,161人	3,866人	1,718人	船橋市(2,019人)、佐倉市(633人)、八千代市(606人)
八千代市	5,575人	5,187人	388人	164人	佐倉市(894人)、習志野市(569人)、印西市(352人)
浦安市	4,975人	3,109人	1,866人	1,111人	-
松戸市	9,226人	5,410人	3,816人	1,453人	柏市(1,167人)、流山市(516人)、鎌ヶ谷市(423人)、我孫子市(335人)、白井市(225人)
野田市	5,515人	2,546人	2,969人	1,316人(埼)	流山市(966人)
柏市	11,286人	8,045人	3,241人	1,628人(茨)	松戸市(2,192人)、流山市(1,464人)、我孫子市(978人)、野田市(898人)、鎌ヶ谷市(465人)、印西市(399人)、白井市(318人)、栄町(80人)
流山市	3,350人	2,240人	1,110人	422人	野田市(465人)
我孫子市	4,417人	2,864人	1,553人	823人(茨)	栄町(92人)
鎌ヶ谷市	1,214人	1,196人	18人	6人	-
成田市	3,005人	2,736人	269人	214人(茨)	香取市(304人)、富里市(254人)、栄町(178人)、酒々井町(114人)、神崎町(48人)、多古町(47人)、芝山町(35人)、東庄町(33人)
佐倉市	2,208人	2,165人	43人	30人(茨)	八街市(276人)、四街道市(216人)、酒々井町(70人)
四街道市	2,054人	2,028人	26人	18人(茨)	八街市(234人)
八街市	591人	581人	10人	5人	富里市(117人)
印西市	1,243人	866人	377人	135人	酒々井町(296人)
白井市	469人	450人	19人	13人(茨)	-
富里市	507人	500人	7人	5人(茨)	芝山町(29人)
酒々井町	713人	689人	24人	13人(茨)	-
栄町	12人	9人	3人	2人	-
香取市	1,055人	660人	395人	389人(茨)	東庄町(146人)、神崎町(70人)
神崎町	64人	64人	-	-	-
多古町	288人	283人	5人	4人(茨)	芝山町(29人)
東庄町	2人	2人	-	-	-

通学先自治体	他自治体から吸引している人数				通学先自治体への通学率が5%以上を占める 県内自治体(カッコ内は通学者数)
	県内	県外	最も多い都道府県からの人数(注)		
銚子市	1,648人	1,064人	584人	522人(茨)	旭市(520人)、東庄町(162人)
旭市	508人	469人	39人	27人(茨)	匝瑳市(130人)、東庄町(32人)
匝瑳市	1,008人	996人	12人	9人(茨)	旭市(508人)、横芝光町(103人)、多古町(89人)、芝山町(22人)
東金市	2,491人	2,139人	352人	145人	山武市(351人)、大網白里市(283人)、横芝光町(150人)、九十九里町(142人)
山武市	1,074人	1,069人	5人	4人	匝瑳市(139人)、横芝光町(101人)、九十九里町(41人)、芝山町(36人)
大網白里市	403人	403人	-	-	-
九十九里町	272人	272人	-	-	-
芝山町	67人	67人	-	-	-
横芝光町	259人	257人	2人	2人(茨)	-
茂原市	1,642人	1,636人	6人	2人(東・埼)	大網白里市(214人)、長生村(192人)、いすみ市(175人)、白子町(127人)、一宮町(120人)、長南町(113人)、長柄町(110人)、睦沢町(67人)、御宿町(26人)
一宮町	391人	391人	-	-	長生村(37人)、睦沢町(35人)、白子町(26人)、御宿町(16人)
睦沢町	-	-	-	-	-
長生村	4人	4人	-	-	-
白子町	3人	3人	-	-	-
長柄町	-	-	-	-	-
長南町	-	-	-	-	-
勝浦市	282人	203人	79人	27人	-
いすみ市	340人	338人	2人	1人(東・茨)	御宿町(46人)、大多喜町(39人)
大多喜町	431人	426人	5人	2人(埼)	いすみ市(196人)、長南町(25人)、睦沢町(23人)、御宿町(22人)
御宿町	-	-	-	-	-
館山市	993人	981人	12人	7人	南房総市(630人)、鴨川市(176人)、鋸南町(124人)
鴨川市	461人	444人	17人	6人	南房総市(209人)、館山市(106人)、御宿町(13人)
南房総市	230人	227人	3人	2人	鴨川市(107人)、館山市(89人)、鋸南町(25人)
鋸南町	1人	1人	-	-	-
市原市	3,264人	2,774人	490人	257人	袖ヶ浦市(268人)、大多喜町(69人)、長南町(49人)、長柄町(30人)
木更津市	4,104人	4,035人	69人	31人	市原市(1,098人)、君津市(973人)、袖ヶ浦市(630人)、富津市(456人)、鴨川市(95人)、鋸南町(43人)
君津市	1,296人	1,279人	17人	7人	木更津市(640人)、富津市(244人)、袖ヶ浦市(216人)
富津市	454人	447人	7人	5人	君津市(217人)、鋸南町(19人)
袖ヶ浦市	672人	672人	-	-	-

(注) 1.出所：平成22年国勢調査

2. 県外の最も多い都道府県は、注記がない場合、または(東)を付した場合は東京都、(神)を付した場合は神奈川県、(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県
3. 通学率 = (相手自治体に通学している通学者数) / (居住自治体の通学者数)

図表 20 他自治体への放出数

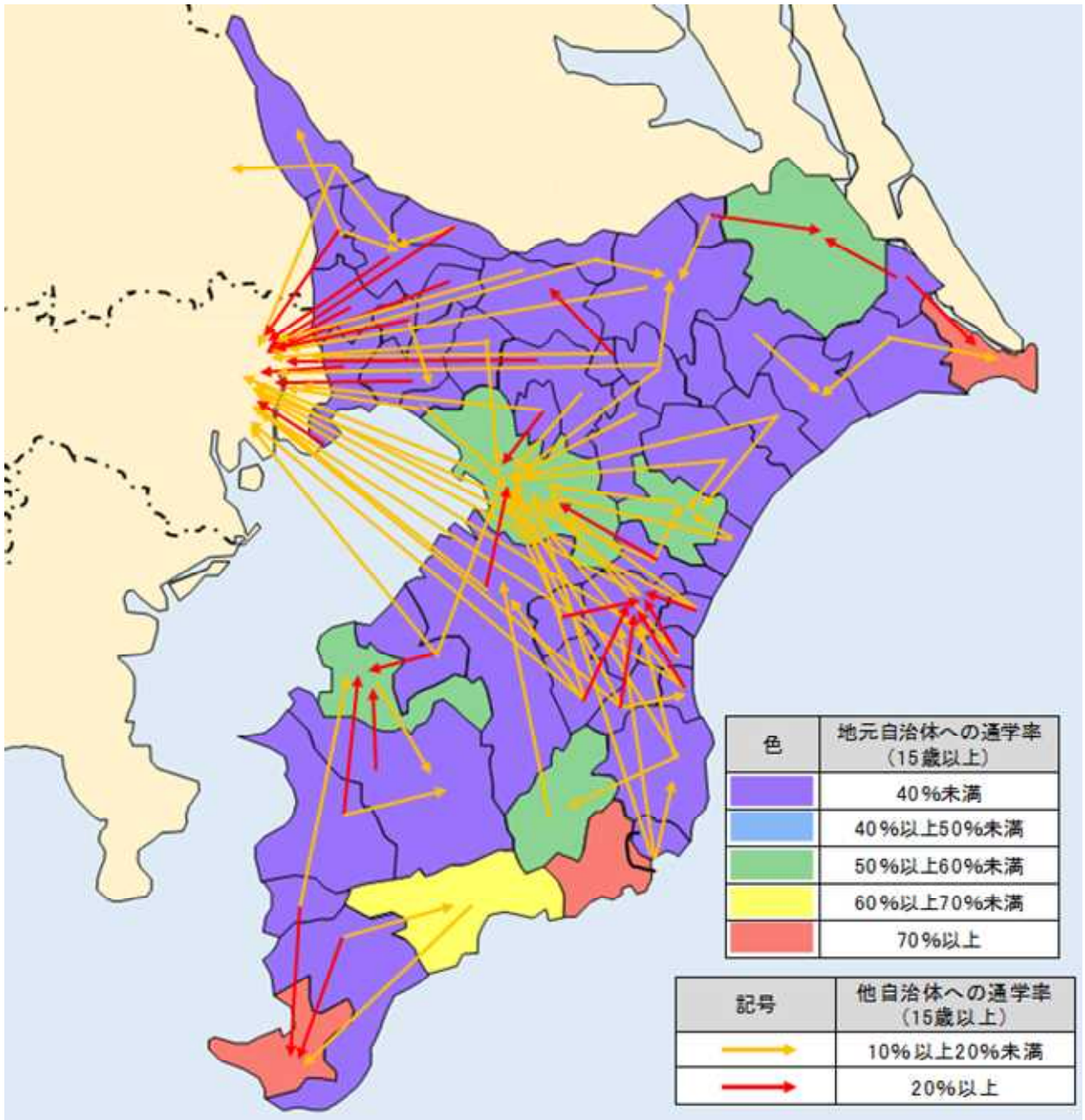
自治体名	通学者数	他自治体へ放出している人数						
		県内	県外	うち	うち	うち	うち	
				東京都	神奈川県	埼玉県	茨城県	
千葉市	49,058人	20,165人	10,348人	9,817人	8,599人	699人	388人	39人
市川市	21,405人	13,019人	4,914人	8,105人	7,210人	446人	342人	65人
船橋市	30,350人	17,234人	9,748人	7,486人	6,523人	476人	374人	74人
習志野市	10,774人	6,151人	3,863人	2,288人	2,040人	122人	100人	15人
八千代市	9,238人	5,555人	3,628人	1,927人	1,722人	90人	92人	12人
浦安市	9,105人	5,939人	2,196人	3,743人	3,300人	293人	126人	14人
松戸市	23,473人	14,875人	7,417人	7,458人	5,893人	356人	734人	444人
野田市	8,498人	4,551人	2,167人	2,384人	1,155人	53人	979人	163人
柏市	21,613人	11,975人	5,461人	6,514人	4,722人	300人	698人	763人
流山市	9,121人	6,641人	3,857人	2,784人	1,954人	122人	415人	280人
我孫子市	6,425人	4,426人	2,097人	2,329人	1,522人	69人	184人	538人
鎌ヶ谷市	5,003人	3,886人	2,672人	1,214人	1,037人	54人	90人	26人
成田市	5,814人	3,323人	2,536人	787人	671人	36人	45人	27人
佐倉市	9,291人	6,929人	4,732人	2,197人	1,958人	103人	105人	14人
四街道市	4,351人	3,165人	2,317人	848人	756人	49人	29人	3人
八街市	4,150人	2,850人	2,407人	443人	395人	30人	7人	4人
印西市	6,810人	4,680人	3,076人	1,604人	1,315人	70人	128人	84人
白井市	3,482人	2,752人	1,756人	996人	852人	37人	63人	39人
富里市	2,354人	1,577人	1,269人	308人	272人	14人	6人	12人
酒々井町	1,226人	965人	821人	144人	132人	5人	7人	-
栄町	1,280人	1,069人	774人	295人	242人	8人	28人	15人
香取市	3,568人	1,624人	1,295人	329人	160人	10人	9人	149人
神崎町	326人	262人	232人	30人	21人	3人	2人	4人
多古町	767人	458人	394人	64人	47人	8人	2人	2人
東庄町	618人	535人	490人	45人	11人	5人	-	28人
銚子市	3,828人	922人	655人	267人	56人	11人	6人	192人
旭市	3,019人	1,963人	1,808人	155人	99人	18人	6人	24人
匝瑳市	1,712人	871人	783人	88人	71人	10人	3人	2人

自治体名	通学者数	他自治体へ放出している人数						
		県内	県外	うち 東京都	うち 神奈川県	うち 埼玉県	うち 茨城県	
東金市	4,541人	1,916人	1,585人	331人	293人	21人	10人	3人
山武市	2,877人	1,918人	1,641人	277人	240人	14人	14人	4人
大網白里市	2,793人	2,140人	1,714人	426人	379人	31人	11人	2人
九十九里町	766人	489人	414人	75人	61人	8人	3人	-
芝山町	379人	324人	283人	41人	35人	1人	3人	2人
横芝光町	1,059人	740人	688人	52人	44人	4人	4人	-
茂原市	4,406人	2,447人	1,886人	561人	482人	50人	24人	3人
一宮町	546人	409人	327人	82人	73人	5人	2人	2人
睦沢町	323人	278人	231人	47人	41人	3人	2人	1人
長生村	722人	633人	543人	90人	80人	5人	4人	-
白子町	489人	405人	342人	63人	49人	6人	6人	1人
長柄町	341人	283人	254人	29人	25人	2人	1人	-
長南町	444人	394人	333人	61人	50人	6人	4人	1人
勝浦市	2,313人	427人	406人	21人	17人	2人	1人	1人
いすみ市	1,673人	1,068人	908人	160人	140人	10人	7人	1人
大多喜町	536人	227人	201人	26人	20人	2人	3人	1人
御宿町	249人	212人	193人	19人	19人	-	-	-
館山市	1,623人	377人	335人	42人	31人	6人	3人	1人
鴨川市	1,402人	544人	514人	30人	22人	5人	2人	1人
南房総市	1,411人	1,043人	996人	47人	33人	9人	2人	-
鋸南町	334人	272人	262人	10人	7人	1人	2人	-
市原市	13,619人	7,117人	5,383人	1,734人	1,488人	158人	56人	14人
木更津市	6,403人	2,710人	2,071人	639人	504人	107人	19人	-
君津市	3,984人	2,400人	2,041人	359人	284人	52人	15人	4人
富津市	1,984人	1,260人	1,100人	160人	123人	26人	6人	2人
袖ヶ浦市	3,001人	2,232人	1,841人	391人	322人	54人	9人	3人

(注) 1.出所：平成 22 年国勢調査

2.通学地「不詳」を除く

図表 21 通学先自治体と居住自治体の関係



(出所) 平成 22 年国勢調査結果よりちばぎん総合研究所が作成

図表 22 評点表

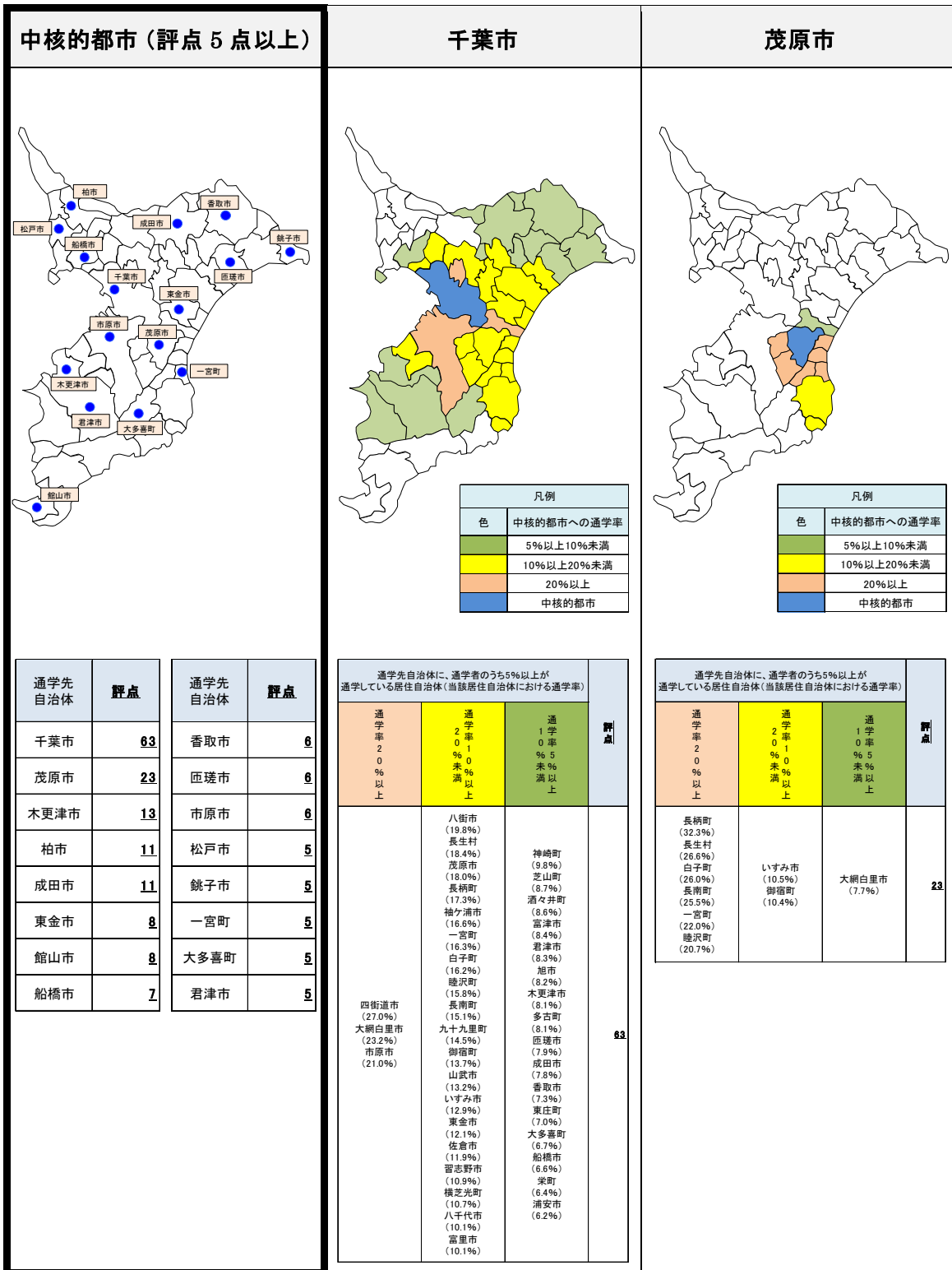
通学先自治体	通学先自治体に、通学者のうち5%以上が通学している居住自治体(当該居住自治体における通学率)						相手自治体の5%以上を吸引している県内の自治体数	評点(注)
	通学率20%以上	県内自治体数	通学率10%以上20%未満	県内自治体数	通学率5%以上10%未満	県内自治体数		
千葉市	四街道市(27.0%)、大網白里市(23.2%)、市原市(21.0%)	3	八街市(19.8%)、長生村(18.4%)、茂原市(18.0%)、長柄町(17.3%)、袖ヶ浦市(16.6%)、一宮町(16.3%)、白子町(16.2%)、睦沢町(15.8%)、長南町(15.1%)、九十九里町(14.5%)、御宿町(13.7%)、山武市(13.2%)、いすみ市(12.9%)、東金市(12.1%)、佐倉市(11.9%)、習志野市(10.9%)、横芝光町(10.7%)、八千代市(10.1%)、富里市(10.1%)	19	神崎町(9.8%)、芝山町(8.7%)、酒々井町(8.6%)、富津市(8.4%)、君津市(8.3%)、旭市(8.2%)、木更津市(8.1%)、多古町(8.1%)、匝瑳市(7.9%)、成田市(7.8%)、香取市(7.3%)、東庄町(7.0%)、大多喜町(6.7%)、船橋市(6.6%)、栄町(6.4%)、浦安市(6.2%)	16	38	63
市川市					船橋市(6.0%)、浦安市(5.9%)、松戸市(5.3%)	3	3	3
船橋市			鎌ヶ谷市(12.7%)	1	八千代市(9.9%)、習志野市(8.5%)、白井市(8.5%)、市川市(5.3%)、印西市(5.2%)	5	6	7
習志野市					佐倉市(6.8%)、船橋市(6.7%)、八千代市(6.6%)	3	3	3
八千代市					佐倉市(9.6%)、習志野市(5.3%)、印西市(5.2%)	3	3	3
浦安市							0	0
松戸市					鎌ヶ谷市(8.5%)、白井市(6.5%)、流山市(5.7%)、柏市(5.4%)、我孫子市(5.2%)	5	5	5
野田市			流山市(10.6%)	1			1	2
柏市			流山市(16.1%)、我孫子市(15.2%)、野田市(10.6%)	3	松戸市(9.3%)、鎌ヶ谷市(9.3%)、白井市(9.1%)、栄町(6.3%)、印西市(5.9%)	5	8	11
流山市					野田市(5.5%)	1	1	1
我孫子市					栄町(7.2%)	1	1	1
鎌ヶ谷市							0	0
成田市			神崎町(14.7%)、栄町(13.9%)、富里市(10.8%)	3	酒々井町(9.3%)、芝山町(9.2%)、香取市(8.5%)、多古町(6.1%)、東庄町(5.3%)	5	8	11
佐倉市					八街市(6.7%)、酒々井町(5.7%)、四街道市(5.0%)	3	3	3
四街道市					八街市(5.6%)	1	1	1
八街市					富里市(5.0%)	1	1	1
印西市	酒々井町(24.1%)	1					1	3
白井市							0	0
富里市					芝山町(7.7%)	1	1	1
酒々井町							0	0
栄町							0	0
香取市	東庄町(23.6%)、神崎町(21.5%)	2					2	6
神崎町							0	0
多古町					芝山町(7.7%)	1	1	1
東庄町							0	0
銚子市	東庄町(26.2%)	1	旭市(17.2%)	1			2	5
旭市					匝瑳市(7.6%)、東庄町(5.2%)	2	2	2
匝瑳市			旭市(16.8%)、多古町(11.6%)	2	横芝光町(9.7%)、芝山町(5.8%)	2	4	6

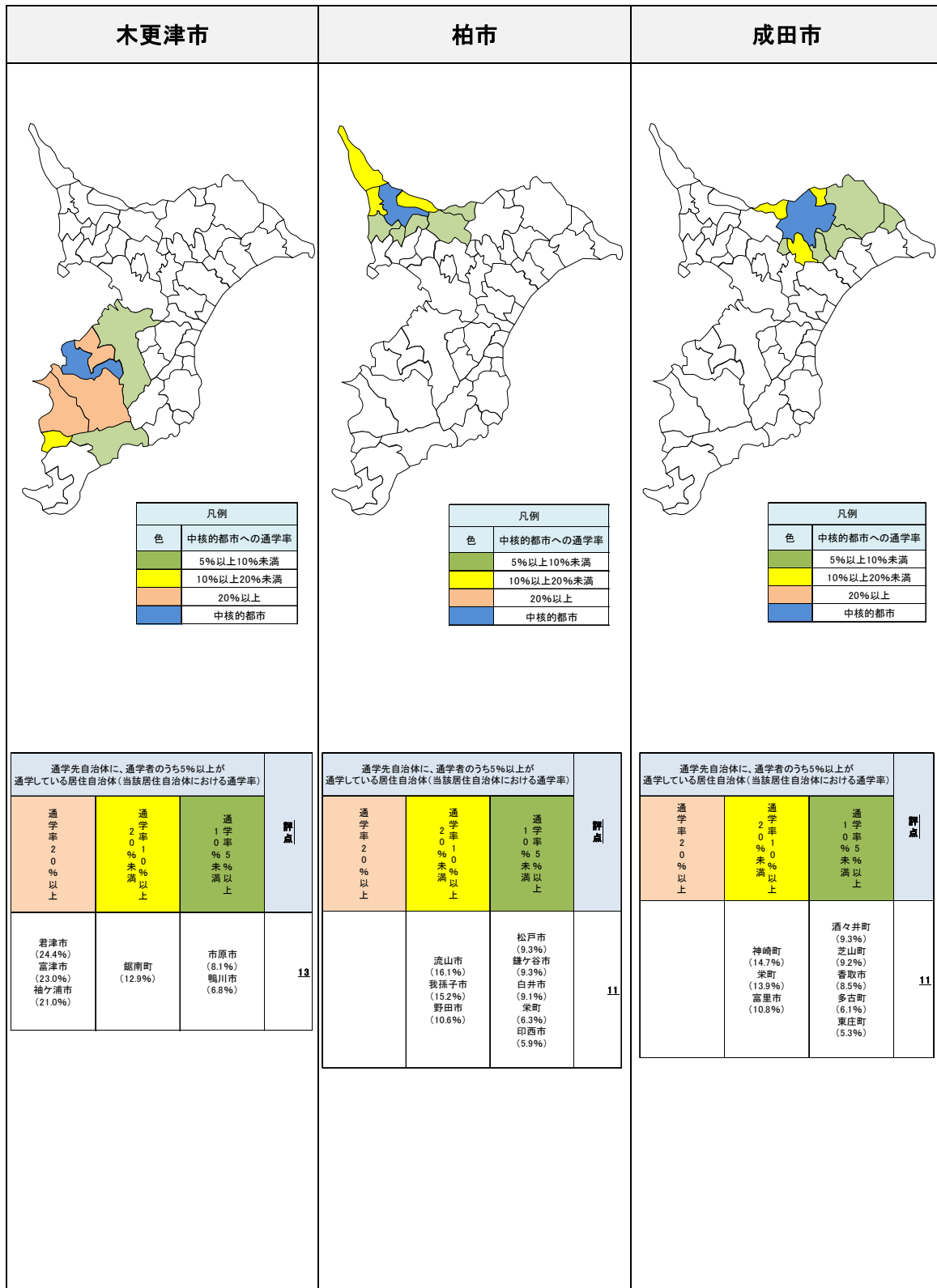
通学先自治体	通学先自治体に、通学者のうち5%以上が 通学している居住自治体(当該居住自治体における通学率)						相手自治体の 5%以上を吸引している県内の自治体数	評点 (注)
	通学率20%以上	県内自治体数	通学率10%以上20%未満	県内自治体数	通学率5%以上10%未満	県内自治体数		
東金市			九十九里町(18.5%)、横芝光町(14.2%)、山武市(12.2%)、大網白里市(10.1%)	4			4	8
山武市					芝山町(9.5%)、横芝光町(9.5%)、匝瑳市(8.1%)、九十九里町(5.4%)	4	4	4
大網白里市							0	0
九十九里町							0	0
芝山町							0	0
横芝光町							0	0
茂原市	長柄町(32.3%)、長生村(26.6%)、白子町(26.0%)、長南町(25.5%)、一宮町(22.0%)、睦沢町(20.7%)	6	いすみ市(10.5%)、御宿町(10.4%)	2	大網白里市(7.7%)	1	9	23
一宮町			睦沢町(10.8%)	1	御宿町(6.4%)、白子町(5.3%)、長生村(5.1%)	3	4	5
睦沢町							0	0
長生村							0	0
白子町							0	0
長柄町							0	0
長南町							0	0
勝浦市							0	0
いすみ市			御宿町(18.5%)	1	大多喜町(7.3%)	1	2	3
大多喜町			いすみ市(11.7%)	1	御宿町(8.8%)、睦沢町(7.1%)、長南町(5.6%)	3	4	5
御宿町							0	0
館山市	南房総市(44.6%)、鋸南町(37.1%)	2	鴨川市(12.6%)	1			3	8
鴨川市			南房総市(14.8%)	1	館山市(6.5%)、御宿町(5.2%)	2	3	4
南房総市					鴨川市(7.6%)、鋸南町(7.5%)、館山市(5.5%)	3	3	3
鋸南町							0	0
市原市			大多喜町(12.9%)、長南町(11.0%)	2	袖ヶ浦市(8.9%)、長柄町(8.8%)	2	4	6
木更津市	君津市(24.4%)、富津市(23.0%)、袖ヶ浦市(21.0%)	3	鋸南町(12.9%)	1	市原市(8.1%)、鴨川市(6.8%)	2	6	13
君津市			富津市(12.3%)、木更津市(10.0%)	2	袖ヶ浦市(7.2%)	1	3	5
富津市					鋸南町(5.7%)、君津市(5.4%)	2	2	2
袖ヶ浦市							0	0

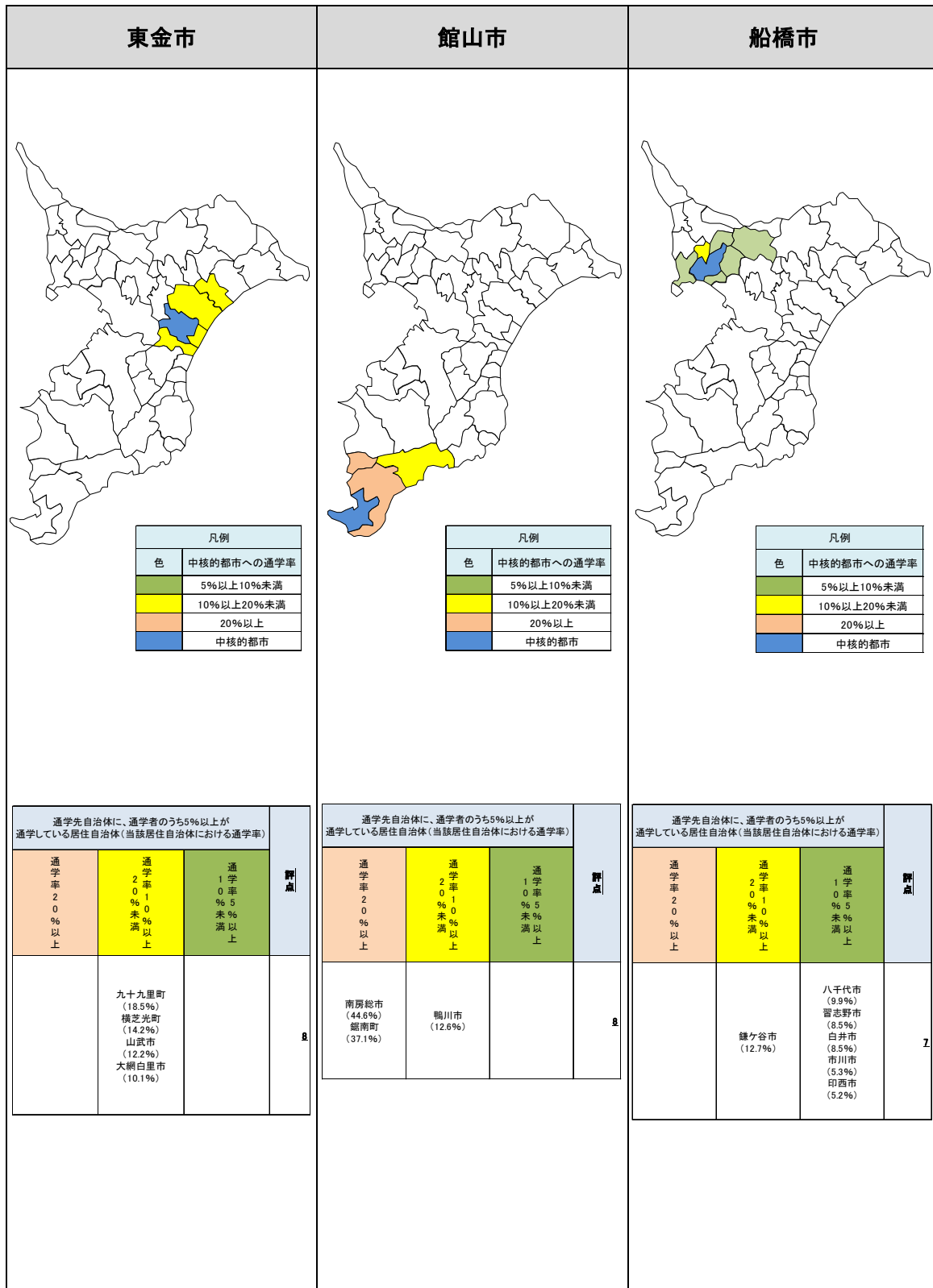
(注) 評点のつけ方

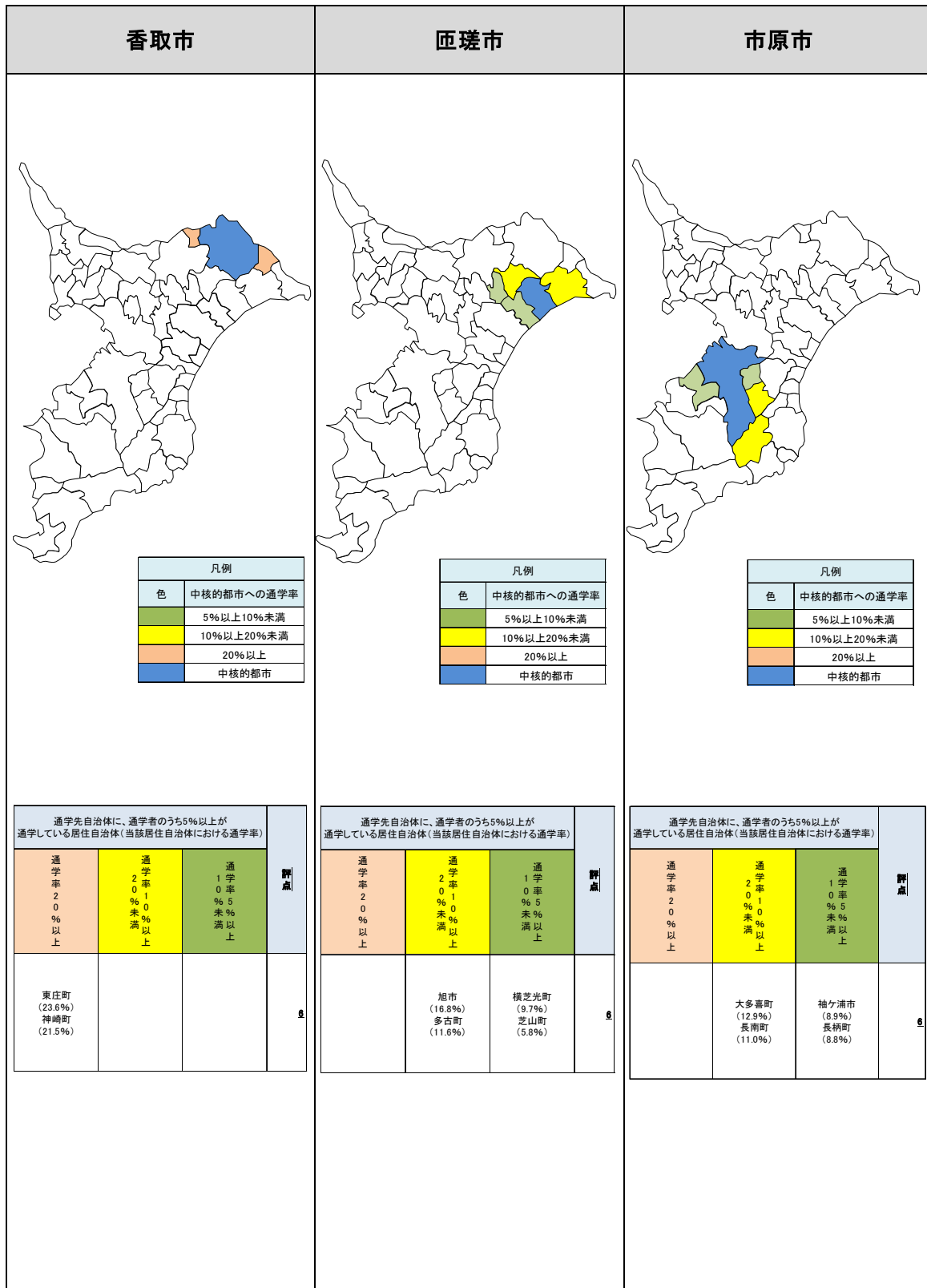
通学率 20%以上の自治体：3 ポイント、同 10%以上 20%未満の自治体：2 ポイント、同 5%以上 10%未満の自治体：1 ポイントを付したもの。着色は評点が 5 ポイント以上の自治体

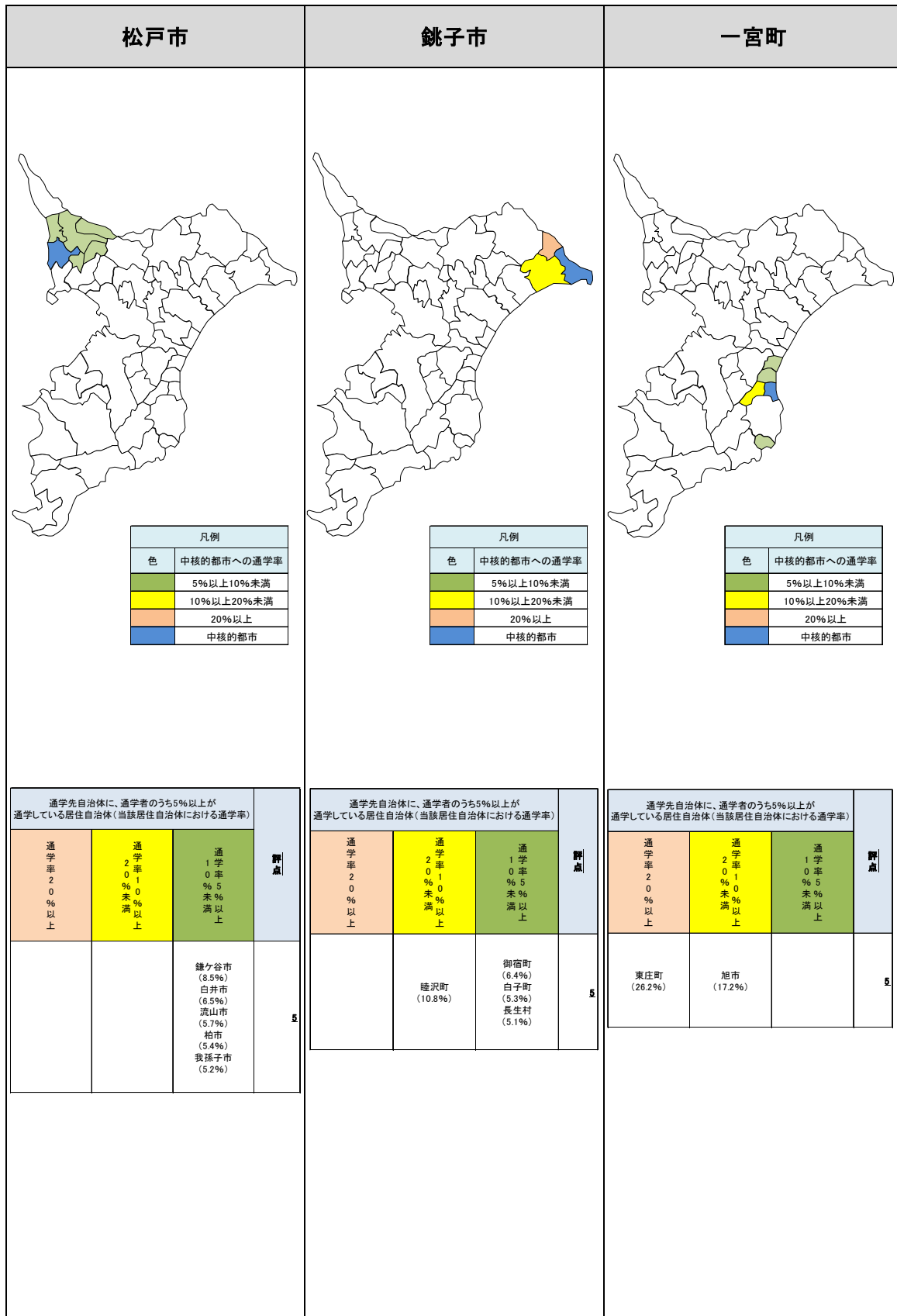
図表 23 通学の中核的都市と通学圏

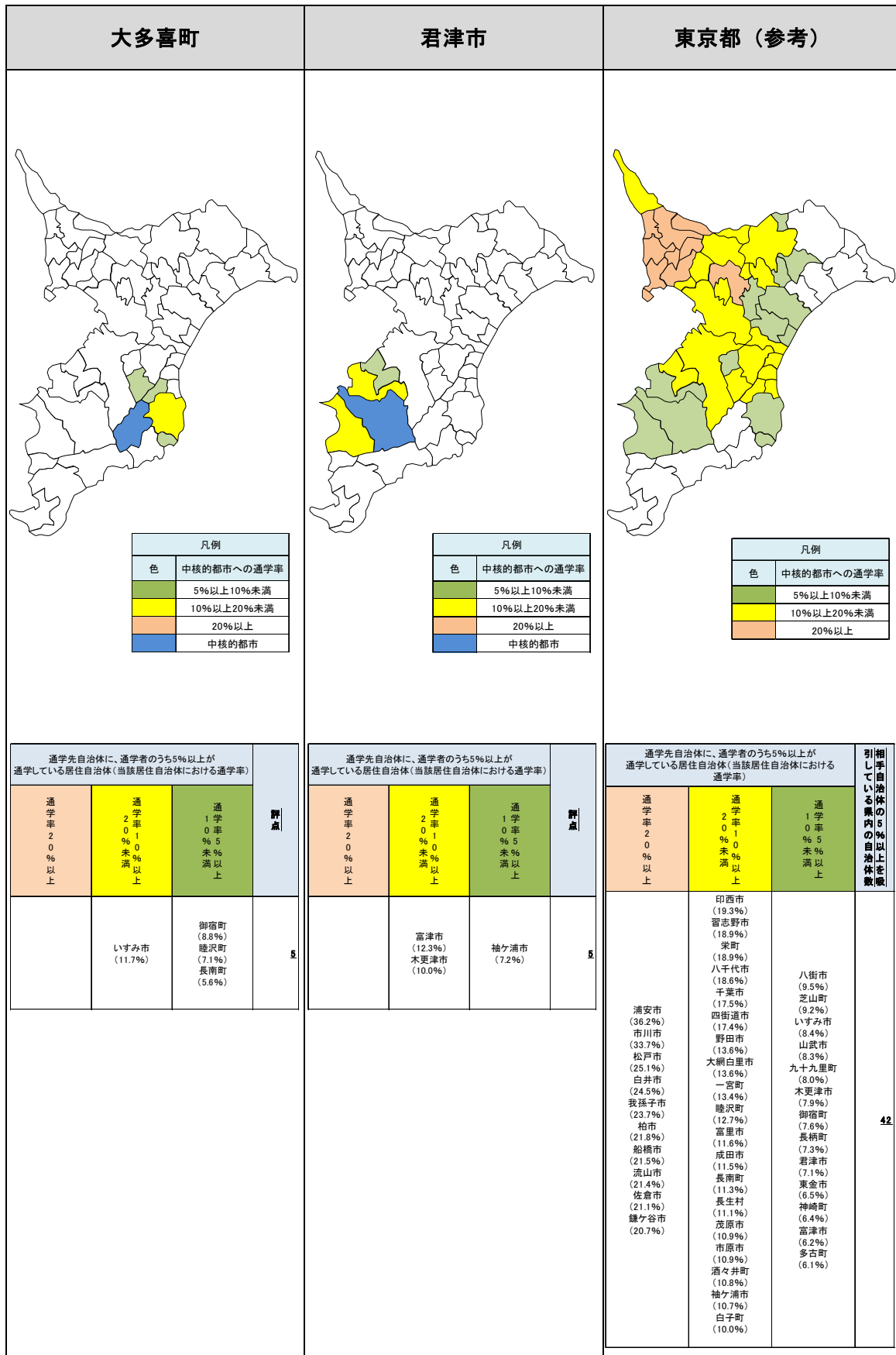












図表 24 県外通学率が上位の自治体（参考）

	1位	2位	3位	
東京都	千葉市	東京都千代田区 (1,586人(3.2%))	東京都新宿区 (1,068人(2.2%))	東京都文京区 (879人(1.8%))
	市川市	東京都千代田区 (1,544人(7.2%))	東京都新宿区 (840人(3.9%))	東京都文京区 (742人(3.5%))
	船橋市	東京都千代田区 (1,241人(4.1%))	東京都新宿区 (833人(2.7%))	東京都文京区 (597人(2.0%))
	木更津市	東京都千代田区 (112人(1.7%))	東京都新宿区 (56人(0.9%))	東京都文京区 (50人(0.8%))
	松戸市	東京都千代田区 (902人(3.8%))	東京都文京区 (696人(3.0%))	東京都新宿区 (637人(2.7%))
	野田市	東京都千代田区 (190人(2.2%))	東京都文京区 (138人(1.6%))	東京都新宿区 (123人(1.4%))
	茂原市	東京都千代田区 (113人(2.6%))	東京都文京区 (58人(1.3%))	東京都新宿区 (52人(1.2%))
	成田市	東京都千代田区 (136人(2.3%))	東京都新宿区 (74人(1.3%))	東京都文京区 (71人(1.2%))
	佐倉市	東京都千代田区 (403人(4.3%))	東京都新宿区 (246人(2.6%))	東京都文京区 (184人(2.0%))
	東金市	東京都千代田区 (58人(1.3%))	東京都世田谷区 (42人(0.9%))	東京都文京区 (40人(0.9%))
	習志野市	東京都千代田区 (382人(3.5%))	東京都新宿区 (248人(2.3%))	東京都文京区 (198人(1.8%))
	柏市	東京都千代田区 (783人(3.6%))	東京都文京区 (583人(2.7%))	東京都新宿区 (555人(2.6%))
	市原市	東京都千代田区 (311人(2.3%))	東京都文京区 (185人(1.4%))	東京都新宿区 (140人(1.0%))
	流山市	東京都千代田区 (299人(3.3%))	東京都新宿区 (246人(2.7%))	東京都文京区 (241人(2.6%))
	八千代市	東京都千代田区 (324人(3.5%))	東京都新宿区 (238人(2.6%))	東京都文京区 (151人(1.6%))
	我孫子市	東京都千代田区 (230人(3.6%))	東京都文京区 (196人(3.1%))	東京都新宿区 (192人(3.0%))
	鎌ヶ谷市	東京都千代田区 (197人(3.9%))	東京都新宿区 (113人(2.3%))	東京都文京区 (98人(2.0%))
	君津市	東京都千代田区 (54人(1.4%))	東京都新宿区 (33人(0.8%))	東京都文京区 (26人(0.7%))
	富津市	東京都千代田区 (22人(1.1%))	東京都文京区 (19人(1.0%))	東京都渋谷区 (16人(0.8%))
	浦安市	東京都千代田区 (510人(5.6%))	東京都新宿区 (394人(4.3%))	東京都文京区 (349人(3.8%))
四街道市	東京都千代田区 (154人(3.5%))	東京都新宿区 (93人(2.1%))	東京都文京区 (81人(1.9%))	
袖ヶ浦市	東京都千代田区 (74人(2.5%))	東京都世田谷区 (38人(1.3%))	東京都新宿区 (31人(1.0%))	
八街市	東京都千代田区 (81人(2.0%))	東京都文京区 (53人(1.3%))	東京都新宿区 (46人(1.1%))	

		1位	2位	3位
東京都	印西市	東京都千代田区 (226人(3.3%))	東京都文京区 (145人(2.1%))	東京都新宿区 (139人(2.0%))
	白井市	東京都千代田区 (135人(3.9%))	東京都新宿区 (99人(2.8%))	東京都文京区 (90人(2.6%))
	富里市	東京都千代田区 (52人(2.2%))	東京都新宿区 (32人(1.4%))	東京都文京区 (31人(1.3%))
	山武市	東京都千代田区 (51人(1.8%))	東京都文京区 (37人(1.3%))	東京都世田谷区 (23人(0.8%))
	いすみ市	東京都千代田区 (35人(2.1%))	東京都文京区 (18人(1.1%))	東京都世田谷区 (14人(0.8%))
	大網白里市	東京都千代田区 (80人(2.9%))	東京都文京区 (49人(1.8%))	東京都渋谷区 (38人(1.4%))
	酒々井町	東京都千代田区 (28人(2.3%))	東京都新宿区 (19人(1.5%))	東京都文京区 (13人(1.1%))
	栄町	東京都千代田区 (39人(3.0%))	東京都文京区 (30人(2.3%))	東京都新宿区 (25人(2.0%))
	神崎町	東京都渋谷区・豊島区・ 八王子市 (3人(0.9%))	東京都千代田区 (2人(0.6%))	東京都港区・新宿区・文京区・ 江東区・品川区・大田区・世田 谷区・板橋区・江戸川区・多摩 市(1人(0.3%))
	多古町	東京都千代田区 (9人(1.2%))	東京都文京区 (7人(0.9%))	東京都世田谷区・八王子市 (5人(0.7%))
	九十九里町	東京都千代田区 (12人(1.6%))	東京都豊島区 (6人(0.8%))	東京都新宿区・世田谷区・ 八王子市(5人(0.7%))
	芝山町	東京都新宿区・文京区 (6人(1.6%))	東京都千代田区 (5人(1.3%))	東京都豊島区 (4人(1.1%))
	一宮町	東京都文京区 (14人(2.6%))	東京都千代田区 (11人(2.0%))	東京都世田谷区・渋谷区・ 豊島区(6人(1.1%))
	睦沢町	東京都千代田区 (10人(3.1%))	東京都世田谷区 (6人(1.9%))	東京都文京区 (5人(1.5%))
	長生村	東京都千代田区 (14人(1.9%))	東京都港区・新宿区・文京区・ 渋谷区(6人(0.8%))	東京都板橋区 (5人(0.7%))
	白子町	東京都世田谷区 (13人(2.7%))	東京都文京区 (9人(1.8%))	東京都千代田区 (6人(1.2%))
	長柄町	東京都新宿区・江東区・ 世田谷区・江戸川区 (3人(0.9%))	東京都千代田区・文京区・品川 区・豊島区・板橋区 (2人(0.6%))	東京都港区・渋谷区・ 葛飾区 (1人(0.3%))
	長南町	東京都千代田区 (13人(2.9%))	東京都文京区・世田谷区 (5人(1.1%))	東京都新宿区・渋谷区 (4人(0.9%))
	御宿町	東京都新宿区 (5人(2.0%))	東京都千代田区 (2人(0.8%))	東京都中央区・文京区・台東 区・江東区・品川区・杉並区・板 橋区・江戸川区・武蔵野市・町 田市・多摩市・稲城市 (1人(0.4%))
茨城県	銚子市	茨城県神栖市 (142人(3.7%))	茨城県鹿嶋市 (47人(1.2%))	茨城県水戸市 (2人(0.1%))
	我孫子市	茨城県土浦市 (168人(2.6%))	茨城県取手市 (154人(2.4%))	茨城県牛久市 (123人(1.9%))
埼玉県	野田市	埼玉県春日部市 (292人(3.4%))	埼玉県さいたま市 (215人(2.5%))	埼玉県越谷市 (112人(1.3%))

(注) 1.出所：平成 22 年国勢調査

2.上記の県内自治体は、各都道府県への通学率が5%以上のもの

図表 25 千葉県内各種学校数（参考）

	高等学校	特別支援 学校	専修学校	各種学校	大学	短期大学
千葉市	29	9	37	2	12	3
市川市	14	5	0	3	3	2
船橋市	15	4	7	1	3	1
習志野市	4	1	6	0	3	0
八千代市	6	1	2	0	2	0
浦安市	4	0	0	0	3	0
松戸市	10	3	6	3	4	1
野田市	4	1	3	2	1	0
柏市	14	1	6	1	3	0
流山市	4	1	2	0	2	0
我孫子市	4	2	2	0	2	0
鎌ヶ谷市	2	0	0	0	0	0
成田市	5	0	5	0	1	0
佐倉市	4	0	1	0	0	1
四街道市	4	2	2	0	1	0
八街市	2	0	0	0	0	0
印西市	1	1	1	0	3	0
白井市	1	0	1	0	0	0
富里市	1	1	0	0	0	0
酒々井町	1	0	0	0	0	0
栄町	0	0	0	0	0	0
香取市	4	0	1	2	0	0
神崎町	0	1	0	0	0	0
多古町	1	0	0	0	0	0
東庄町	0	0	0	0	0	0
銚子市	3	1	1	0	1	0
旭市	2	0	2	0	0	0
匝瑳市	2	2	1	0	0	0
東金市	3	1	1	1	1	0
山武市	2	0	0	0	0	0
大網白里市	1	1	0	0	0	0
九十九里町	1	0	0	0	0	0
芝山町	0	0	0	0	0	0
横芝光町	1	0	0	1	0	0
茂原市	4	0	0	0	0	0
一宮町	1	1	0	0	0	0
睦沢町	0	0	0	0	0	0
長生村	0	0	0	0	0	0
白子町	0	0	0	0	0	0
長柄町	0	0	0	0	0	0
長南町	0	0	0	0	0	0
勝浦市	0	0	0	0	1	0
いすみ市	1	1	0	1	0	0
大多喜町	1	0	1	0	1	0
御宿町	0	0	0	0	0	0
館山市	3	1	1	0	0	0
鴨川市	2	0	1	0	2	0
南房総市	1	0	0	0	0	0
鋸南町	0	0	0	0	0	0
市原市	8	1	4	1	2	0
木更津市	6	0	3	0	1	1
君津市	4	1	1	0	0	0
富津市	2	0	0	0	0	0
袖ヶ浦市	1	1	1	0	0	0
計	183	44	99	18	52	9

(注) 1.出所

- ・高校数、特別支援学校数、専修学校数、各種学校数：学校基本調査（平成28年度）
- ・大学数、短期大学数：千葉県「平成28年版教育便覧」よりちばぎん総合研究所が作成

2.大学数、短期大学数は、キャンパス毎にカウントしている

③商圏（衣料品）

県内の各自治体の購買者（衣料品、以下同じ）について、吸引数、放出数、各自治体の購買者のうち5%以上を吸引している購買先の自治体を整理した（図表26～28）。相手自治体の購買者のうち5%以上を吸引している自治体数を基に評点を付した場合、商圏（衣料品）で中核となっている自治体は、千葉市（評点：41点）、成田市（同：41点）、茂原市（同：30点）、船橋市（同：10点）、東金市（同：10点）、印西市（同：8点）、木更津市（同：8点）、館山市（同：8点）、柏市（同：7点）、香取市（同：6点）、市原市（同：5点）、匝瑳市（同：5点）となる（図表29）。

図表 26 購買先自治体と吸引数

購買先自治体	他自治体からの吸引数	購買先自治体での購買率が5%以上を占める 県内自治体(カッコ内は購買者数)
千葉市	212,041人	市原市(47,148人)、習志野市(22,332人)、四街道市(16,701人)、茂原市(11,448人)、佐倉市(11,261人)、大網白里市(11,003人)、東金市(8,154人)、袖ヶ浦市(7,643人)、八街市(6,916人)、君津市(4,744人)、いすみ市(4,345人)、山武市(3,613人)、鴨川市(2,855人)、富津市(2,707人)、九十九里町(2,173人)、勝浦市(1,752人)、長柄町(1,442人)、横芝光町(1,381人)、白子町(1,301人)、一宮町(1,295人)、長生村(1,167人)、睦沢町(1,042人)、大多喜町(1,012人)、御宿町(757人)、長南町(714人)
市川市	17,645人	-
船橋市	228,141人	市川市(79,099人)、習志野市(33,246人)、鎌ヶ谷市(21,938人)、八千代市(10,400人)、浦安市(9,127人)、白井市(3,342人)
習志野市	40,858人	-
八千代市	158,194人	千葉市(69,540人)、船橋市(53,533人)、佐倉市(20,914人)
浦安市	26,129人	-
松戸市	37,318人	市川市(25,268人)
野田市	22,732人	-
柏市	128,948人	流山市(45,669人)、松戸市(40,920人)、我孫子市(26,211人)、野田市(11,519人)
流山市	22,561人	-
我孫子市	15,564人	-
鎌ヶ谷市	28,099人	白井市(4,722人)
成田市	179,688人	富里市(27,633人)、佐倉市(25,539人)、香取市(20,715人)、八街市(17,471人)、酒々井町(12,065人)、栄町(11,808人)、印西市(9,505人)、多古町(9,317人)、匝瑳市(8,892人)、山武市(8,217人)、旭市(6,735人)、横芝光町(6,514人)、芝山町(4,393人)、銚子市(4,147人)、神崎町(2,661人)、東庄町(1,990人)
佐倉市	5,025人	-
四街道市	7,295人	-
八街市	15,090人	山武市(3,019人)、富里市(2,524人)、芝山町(467人)
印西市	97,924人	白井市(34,505人)、我孫子市(24,976人)、佐倉市(8,647人)、栄町(3,990人)
白井市	6,352人	-
富里市	4,911人	芝山町(1,262人)
酒々井町	3,677人	-
栄町	271人	-
香取市	7,193人	東庄町(4,128人)、神崎町(2,767人)
神崎町	147人	-
多古町	231人	-
東庄町	3,409人	銚子市(3,211人)
銚子市	14,448人	旭市(9,364人)、東庄町(2,285人)
旭市	12,673人	匝瑳市(5,104人)、東庄町(2,138人)
匝瑳市	10,455人	横芝光町(5,029人)、多古町(2,265人)

購買先自治体	他自治体からの吸引数	購買先自治体での購買率が5%以上を占める 県内自治体(カッコ内は購買者数)
東金市	42,709人	山武市(20,146人)、九十九里町(11,610人)、大網白里市(5,351人)、横芝光町(1,329人)、白子町(690人)
山武市	2,765人	横芝光町(1,668人)
大網白里市	248人	-
九十九里町	159人	-
芝山町	210人	-
横芝光町	1,830人	-
茂原市	72,797人	いすみ市(14,541人)、長生村(9,376人)、白子町(7,565人)、長南町(6,458人)、勝浦市(4,761人)、長柄町(4,734人)、睦沢町(4,653人)、一宮町(4,600人)、大多喜町(3,927人)、御宿町(2,123人)
一宮町	1,232人	-
睦沢町	94人	-
長生村	3,153人	一宮町(1,295人)、睦沢町(596人)
白子町	271人	-
長柄町	-	-
長南町	45人	-
勝浦市	1,196人	御宿町(526人)
いすみ市	3,365人	御宿町(2,438人)
大多喜町	2,439人	-
御宿町	123人	-
館山市	44,301人	南房総市(32,816人)、鴨川市(5,417人)、鋸南町(5,329人)
鴨川市	4,643人	勝浦市(2,965人)
南房総市	41人	-
鋸南町	6,715人	-
市原市	28,242人	袖ヶ浦市(4,834人)、勝浦市(1,101人)、長柄町(925人)、大多喜町(663人)
木更津市	74,396人	袖ヶ浦市(30,117人)、君津市(29,109人)、富津市(4,423人)、鴨川市(1,784人)
君津市	17,871人	富津市(14,273人)
富津市	10,355人	君津市(6,361人)、鋸南町(398人)
袖ヶ浦市	1,126人	-

- (注) 1.出所：平成24年度千葉県消費者購買動向調査、平成27年国勢調査
2.購買率は、「平成24年度千葉県消費者購買動向調査」におけるアンケート調査の回答結果によるもの
3.購買者数は、居住自治体の人口に、購買先自治体での購買率を乗じたもの。
4.他自治体からの吸引数は、購買先自治体における購買者数を合計したもの。

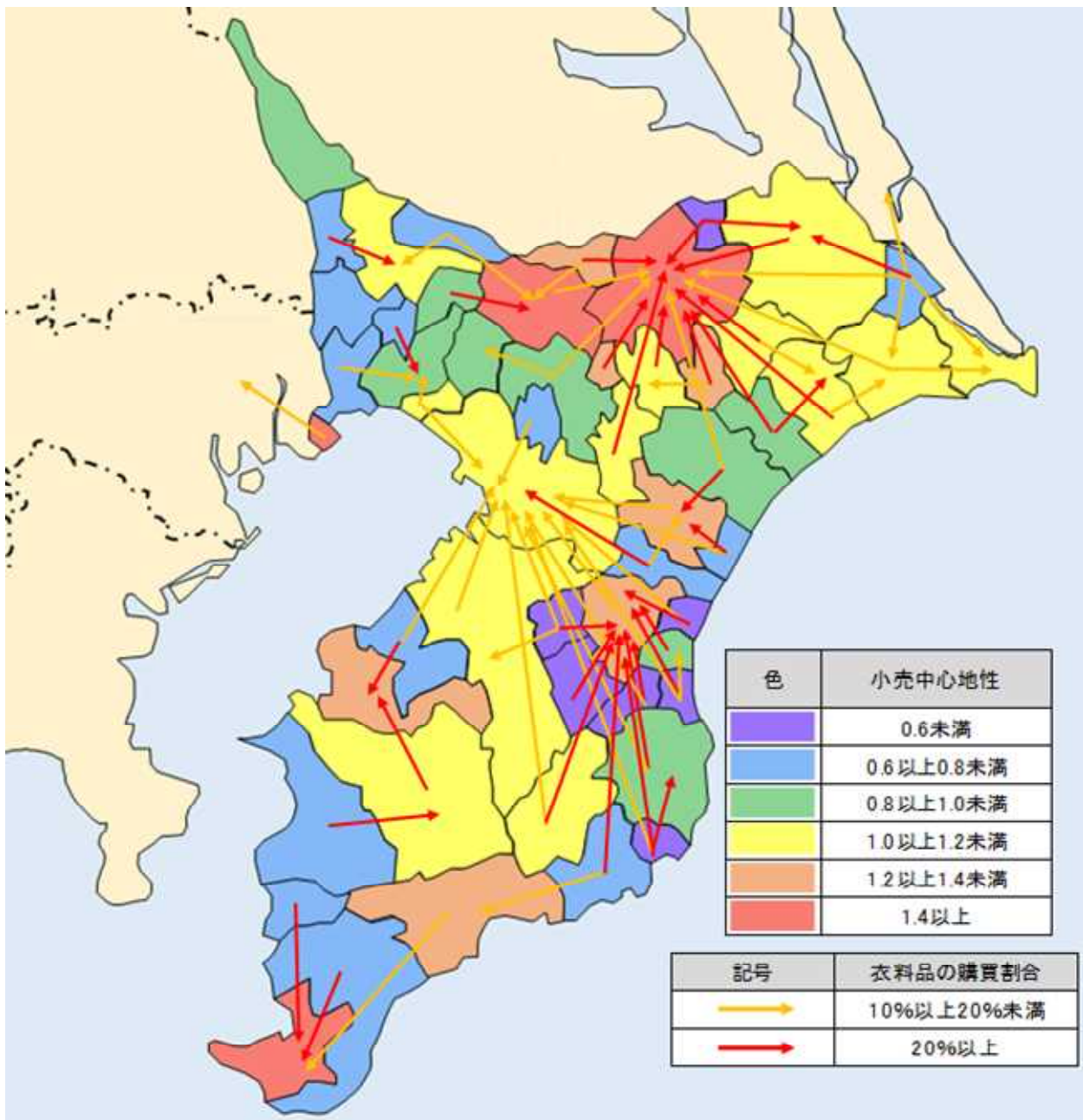
図表 27 他自治体への放出数

自治体名	人口	他自治体へ放出している人数						
		県内	県外	うち 東京都	うち 神奈川県	うち 埼玉県	うち 茨城県	
千葉市	971,882人	134,594人	122,256人	12,338人	12,338人	-	-	-
市川市	481,732人	191,704人	154,901人	36,803人	32,408人	-	1,648人	1,099人
船橋市	622,890人	100,947人	94,064人	6,883人	6,883人	-	-	-
習志野市	167,909人	63,637人	58,600人	5,037人	4,701人	-	-	-
八千代市	193,152人	29,271人	27,190人	2,081人	1,932人	149人	-	-
浦安市	164,024人	44,619人	17,493人	27,126人	25,605人	254人	-	-
松戸市	483,480人	115,519人	75,229人	40,290人	24,552人	1,574人	13,535人	-
野田市	153,583人	32,444人	14,398人	18,046人	1,344人	-	14,590人	1,920人
柏市	413,954人	48,009人	36,773人	11,236人	6,384人	-	2,043人	2,554人
流山市	174,373人	69,368人	58,470人	10,898人	3,287人	-	6,920人	519人
我孫子市	131,606人	62,989人	58,049人	4,940人	2,196人	-	-	2,470人
鎌ヶ谷市	108,917人	39,705人	36,924人	2,781人	2,317人	-	-	309人
成田市	131,190人	13,941人	11,131人	2,810人	1,621人	432人	-	756人
佐倉市	172,739人	84,661人	83,454人	1,207人	1,207人	-	-	-
四街道市	89,245人	25,923人	25,308人	615人	307人	-	-	-
八街市	70,734人	32,880人	32,637人	243人	121人	-	-	121人
印西市	92,670人	17,873人	16,633人	1,240人	1,033人	-	-	207人
白井市	61,674人	48,671人	47,509人	1,162人	872人	-	-	145人
富里市	49,636人	34,234人	33,587人	647人	453人	65人	-	129人
酒々井町	20,955人	16,329人	15,875人	454人	318人	45人	-	45人
栄町	21,228人	17,373人	16,830人	543人	54人	-	27人	461人
香取市	77,499人	35,543人	27,025人	8,518人	1,052人	-	-	7,308人
神崎町	6,133人	5,992人	5,833人	159人	18人	-	-	141人
多古町	14,724人	12,897人	12,751人	146人	128人	-	-	18人
東庄町	14,152人	13,599人	11,019人	2,580人	74人	-	-	2,396人
銚子市	64,415人	13,645人	11,906人	1,739人	401人	67人	-	1,070人
旭市	66,586人	22,834人	21,575人	1,259人	657人	-	55人	329人
匝瑳市	37,261人	19,423人	18,859人	564人	161人	134人	-	188人

自治体名	人口	他自治体へ放出している人数						
			県内	県外	うち			
					東京都	神奈川県	埼玉県	茨城県
東金市	60,652人	12,625人	11,573人	1,052人	947人	53人	-	-
山武市	52,222人	39,402人	38,808人	594人	396人	-	-	198人
大網白里市	49,184人	23,029人	22,307人	722人	661人	-	-	-
九十九里町	16,510人	15,466人	15,274人	192人	192人	-	-	-
芝山町	7,431人	7,151人	7,151人	-	-	-	-	-
横芝光町	23,762人	18,160人	17,743人	417人	391人	-	-	26人
茂原市	89,688人	20,728人	18,967人	1,761人	1,558人	-	-	-
一宮町	11,767人	8,947人	8,253人	694人	416人	92人	-	-
睦沢町	7,222人	7,035人	6,961人	74人	74人	-	-	-
長生村	14,359人	12,105人	11,842人	263人	226人	-	-	-
白子町	11,149人	10,910人	10,645人	265人	133人	-	106人	-
長柄町	7,337人	7,251人	7,251人	-	-	-	-	-
長南町	8,206人	7,907人	7,780人	127人	127人	-	-	-
勝浦市	19,248人	13,229人	12,847人	382人	292人	22人	-	-
いすみ市	38,594人	24,019人	23,540人	479人	376人	34人	-	68人
大多喜町	9,843人	6,283人	6,178人	105人	87人	-	-	-
御宿町	7,315人	6,621人	6,495人	126人	84人	42人	-	-
館山市	47,464人	6,957人	5,557人	1,400人	1,070人	288人	-	-
鴨川市	33,932人	14,403人	13,041人	1,362人	1,168人	97人	65人	-
南房総市	39,033人	36,612人	35,925人	687人	538人	149人	-	-
鋸南町	8,022人	7,321人	7,074人	247人	114人	95人	19人	-
市原市	274,656人	66,232人	63,987人	2,245人	2,245人	-	-	-
木更津市	134,141人	25,468人	21,896人	3,572人	2,535人	922人	115人	-
君津市	86,033人	49,162人	47,760人	1,402人	1,294人	108人	-	-
富津市	45,601人	24,486人	23,772人	714人	414人	263人	-	-
袖ヶ浦市	60,952人	46,776人	46,188人	588人	327人	65人	-	65人

- (注) 1.出所：平成 24 年度千葉県消費者購買動向調査、平成 27 年国勢調査
2.購買地「不詳」を除く
3.他自治体への放出数は、居住自治体の人口に、地元自治体以外での購買率を乗じたもの（各都道府県への放出数は、同人口に各都道府県での購買率を乗じたもの）

図表 28 購買先自治体と居住自治体の関係



(注) 1.出所：平成 24 年度千葉県消費者購買動向調査、平成 27 年国勢調査、平成 26 年商業統計よりちばぎん総合研究所が作成
 2.小売中心地性：1 を超えていれば顧客流入型、1 に満たなければ顧客流出型であることを表す指数。次の式で算出

$$\text{商業人口} = \frac{\text{当自治体の小売年間販売額}}{\text{千葉県民 1 人あたりの小売年間販売額}} \div \text{行政人口}$$

図表 29 評点表

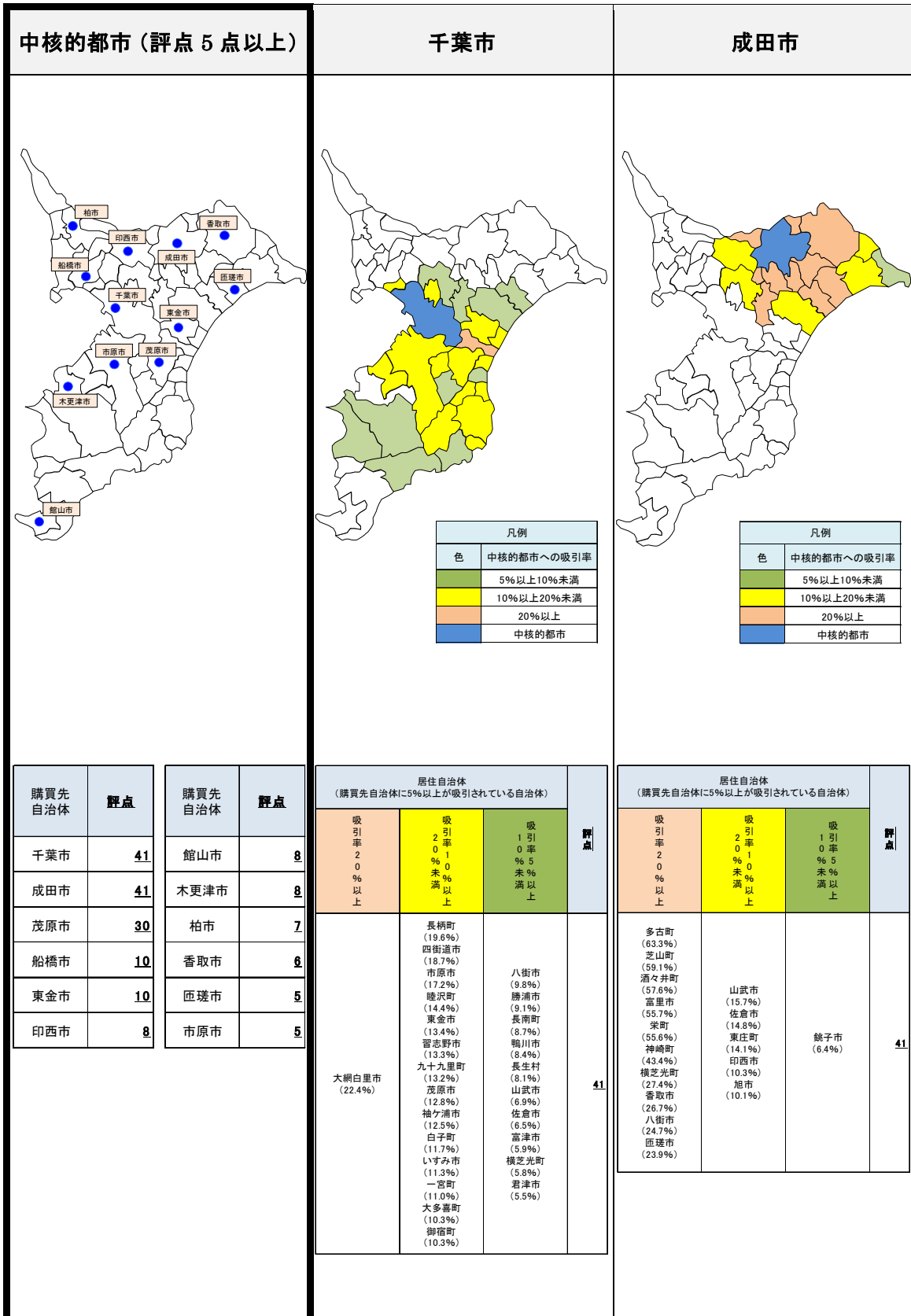
購買先自治体	居住自治体(購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)						相手自治体の5%以上を吸引している県内の自治体数	評点(注)
	吸引率20%以上	県内自治体数	吸引率10%以上20%未満	県内自治体数	吸引率5%以上10%未満	県内自治体数		
千葉市	大網白里市(22.4%)	1	長柄町(19.6%)、四街道市(18.7%)、市原市(17.2%)、睦沢町(14.4%)、東金市(13.4%)、習志野市(13.3%)、九十九里町(13.2%)、茂原市(12.8%)、袖ヶ浦市(12.5%)、白子町(11.7%)、いすみ市(11.3%)、一宮町(11.0%)、大多喜町(10.3%)、御宿町(10.3%)	14	八街市(9.8%)、勝浦市(9.1%)、長南町(8.7%)、鴨川市(8.4%)、長生村(8.1%)、山武市(6.9%)、佐倉市(6.5%)、富津市(5.9%)、横芝光町(5.8%)、君津市(5.5%)	10	25	41
市川市							0	0
船橋市	鎌ヶ谷市(20.1%)	1	習志野市(19.8%)、市川市(16.4%)	2	浦安市(5.6%)、八千代市(5.4%)、白井市(5.4%)	3	6	10
習志野市							0	0
八千代市			佐倉市(12.1%)	1	船橋市(8.6%)、千葉市(7.2%)	2	3	4
浦安市							0	0
松戸市					市川市(5.2%)	1	1	1
野田市							0	0
柏市	流山市(26.2%)	1	我孫子市(19.9%)	1	松戸市(8.5%)、野田市(7.5%)	2	4	7
流山市							0	0
我孫子市							0	0
鎌ヶ谷市					白井市(7.7%)	1	1	1
成田市	多古町(63.3%)、芝山町(59.1%)、酒々井町(57.6%)、富里市(55.7%)、栄町(55.6%)、神崎町(43.4%)、横芝光町(27.4%)、香取市(26.7%)、八街市(24.7%)、匝瑳市(23.9%)	10	山武市(15.7%)、佐倉市(14.8%)、東庄町(14.1%)、印西市(10.3%)、旭市(10.1%)	5	銚子市(6.4%)	1	16	41
佐倉市							0	0
四街道市							0	0
八街市					芝山町(6.3%)、山武市(5.8%)、富里市(5.1%)	3	3	3
印西市	白井市(55.9%)	1	我孫子市(19.0%)、栄町(18.8%)	2	佐倉市(5.0%)	1	4	8
白井市							0	0
富里市			芝山町(17.0%)	1			1	2
酒々井町							0	0
栄町							0	0
香取市	神崎町(45.1%)、東庄町(29.2%)	2					2	6
神崎町							0	0
多古町							0	0
東庄町					銚子市(5.0%)	1	1	1
銚子市			東庄町(16.1%)、旭市(14.1%)	2			2	4
旭市			東庄町(15.1%)、匝瑳市(13.7%)	2			2	4
匝瑳市	横芝光町(21.2%)	1	多古町(15.4%)	1			2	5

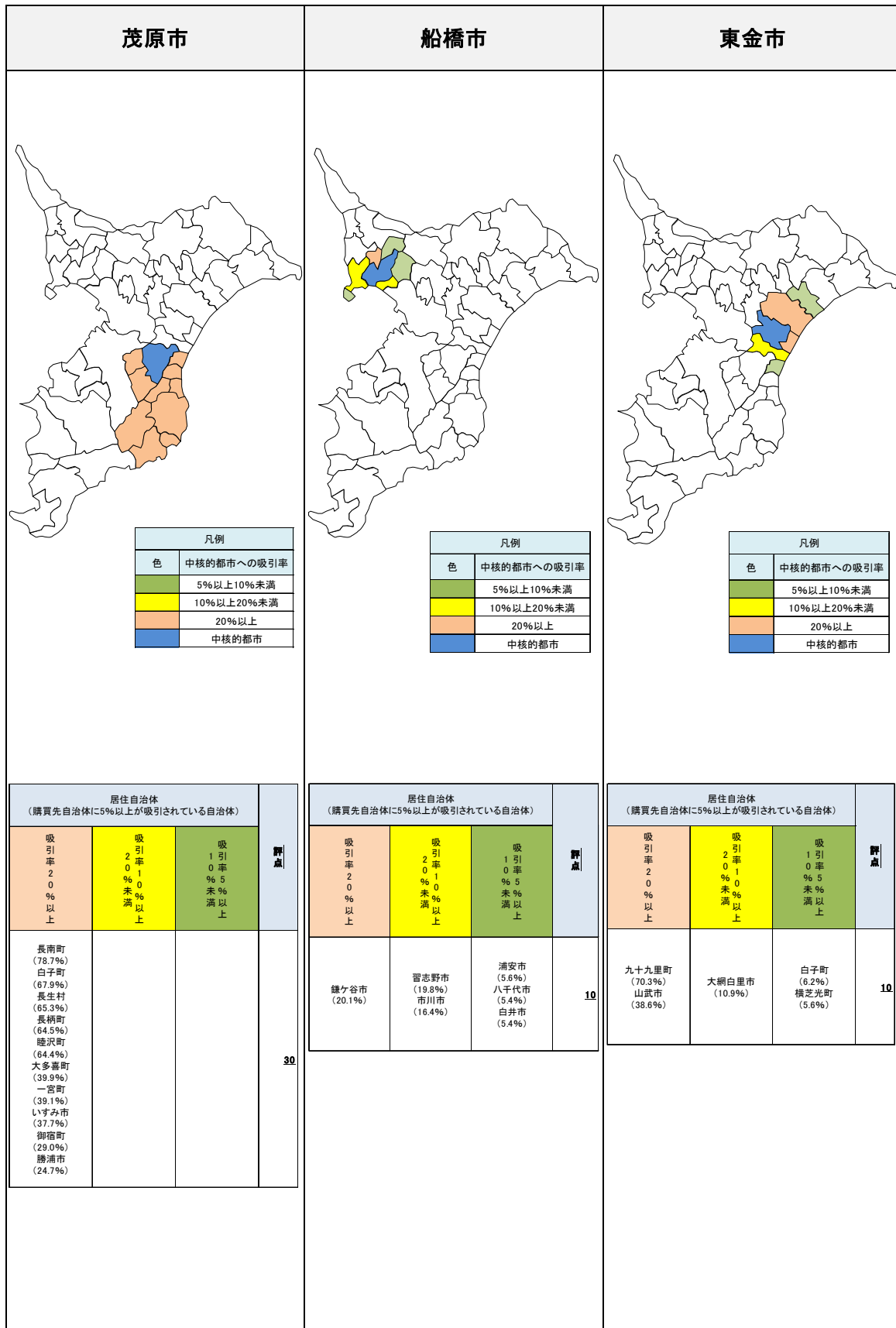
購買先自治体	居住自治体(購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)						相手自治体の5%以上を吸引している県内の自治体数	評点(注)
	吸引率20%以上	県内自治体数	吸引率10%以上20%未満	県内自治体数	吸引率5%以上10%未満	県内自治体数		
東金市	九十九里町(70.3%)、山武市(38.6%)	2	大網白里市(10.9%)	1	白子町(6.2%)、横芝光町(5.6%)	2	5	10
山武市					横芝光町(7.0%)	1	1	1
大網白里市							0	0
九十九里町							0	0
芝山町							0	0
横芝光町							0	0
茂原市	長南町(78.7%)、白子町(67.9%)、長生村(65.3%)、長柄町(64.5%)、睦沢町(64.4%)、大多喜町(39.9%)、一宮町(39.1%)、いすみ市(37.7%)、御宿町(29.0%)、勝浦市(24.7%)	10					10	30
一宮町							0	0
睦沢町							0	0
長生村			一宮町(11.0%)	1	睦沢町(8.2%)	1	2	3
白子町							0	0
長柄町							0	0
長南町							0	0
勝浦市					御宿町(7.2%)	1	1	1
いすみ市	御宿町(33.3%)	1					1	3
大多喜町							0	0
御宿町							0	0
館山市	南房総市(84.1%)、鋸南町(66.4%)	2	鴨川市(16.0%)	1			3	8
鴨川市			勝浦市(15.4%)	1			1	2
南房総市							0	0
鋸南町							0	0
市原市			長柄町(12.6%)	1	袖ヶ浦市(7.9%)、大多喜町(6.7%)、勝浦市(5.7%)	3	4	5
木更津市	袖ヶ浦市(49.4%)、君津市(33.8%)	2			富津市(9.7%)、鴨川市(5.3%)	2	4	8
君津市	富津市(31.3%)	1					1	3
富津市					君津市(7.4%)、鋸南町(5.0%)	2	2	2
袖ヶ浦市							0	0

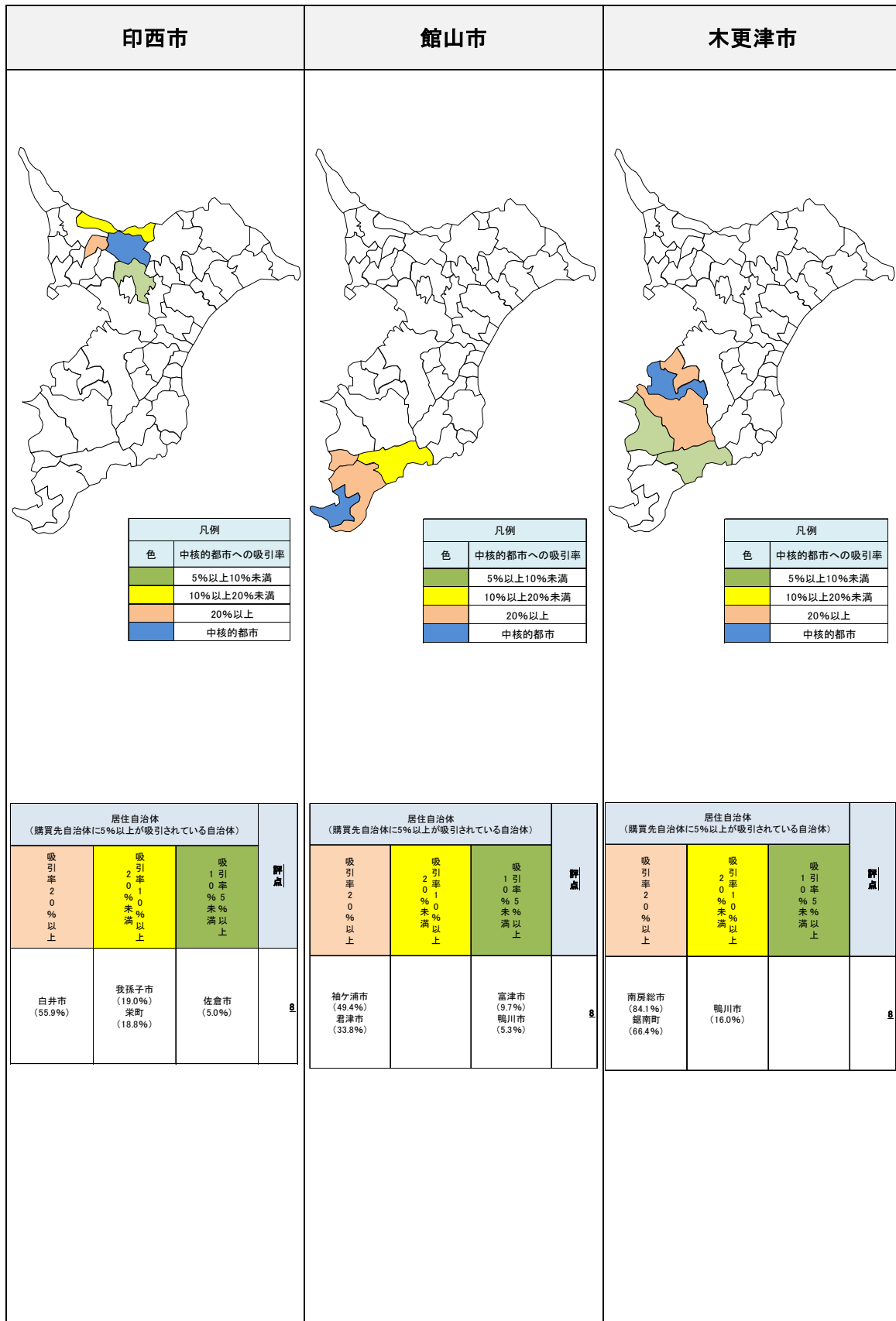
(注) 評点のつけ方

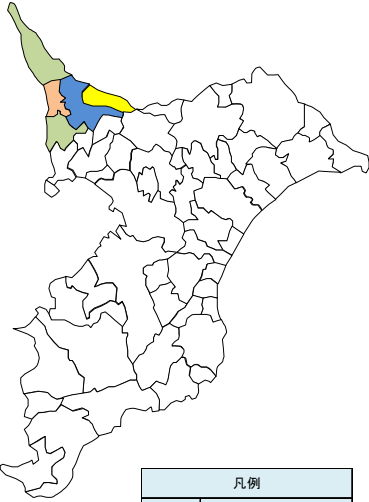
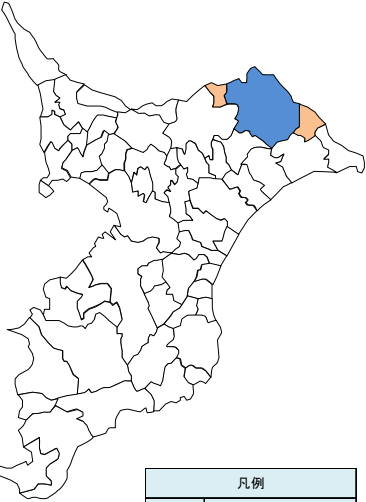
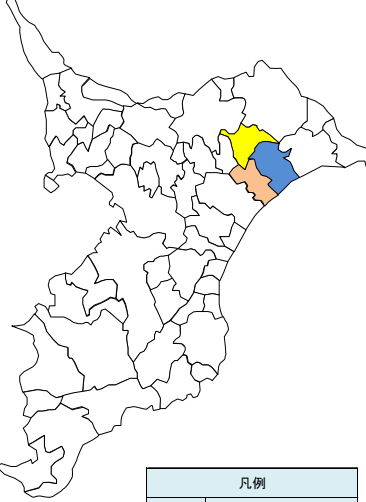
購買率20%以上の自治体:3ポイント、同10%以上20%未満の自治体:2ポイント、同5%以上10%未満の自治体:1ポイントを付したもの。着色は評点が5ポイント以上の自治体

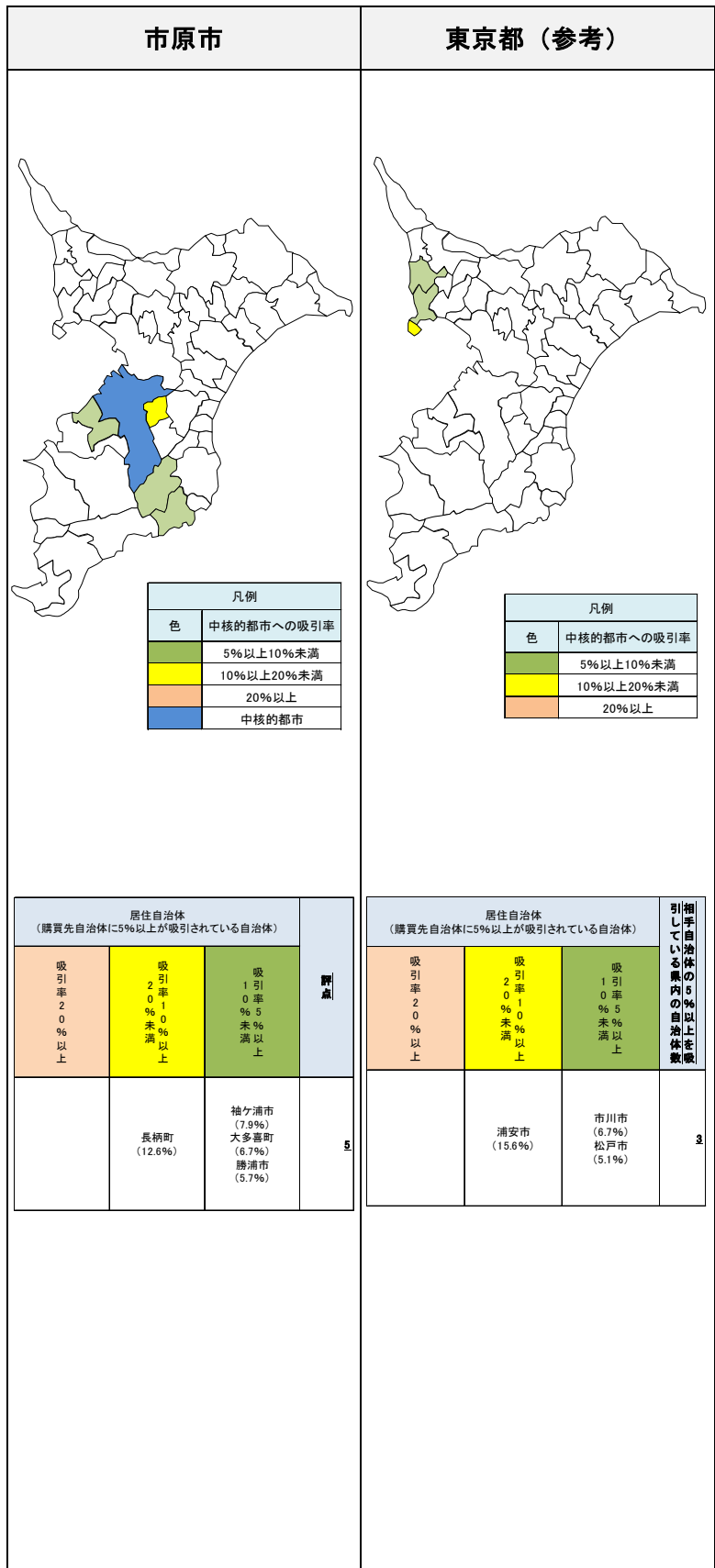
図表 30 商業の中核的都市と商圈







柏市	香取市	匝瑳市																																				
 <table border="1" data-bbox="288 835 501 994"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> <tr> <th>色</th> <th>中核的都市への吸引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑</td> <td>5%以上10%未満</td> </tr> <tr> <td>黄</td> <td>10%以上20%未満</td> </tr> <tr> <td>橙</td> <td>20%以上</td> </tr> <tr> <td>青</td> <td>中核的都市</td> </tr> </tbody> </table>	凡例		色	中核的都市への吸引率	緑	5%以上10%未満	黄	10%以上20%未満	橙	20%以上	青	中核的都市	 <table border="1" data-bbox="678 835 890 994"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> <tr> <th>色</th> <th>中核的都市への吸引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑</td> <td>5%以上10%未満</td> </tr> <tr> <td>黄</td> <td>10%以上20%未満</td> </tr> <tr> <td>橙</td> <td>20%以上</td> </tr> <tr> <td>青</td> <td>中核的都市</td> </tr> </tbody> </table>	凡例		色	中核的都市への吸引率	緑	5%以上10%未満	黄	10%以上20%未満	橙	20%以上	青	中核的都市	 <table border="1" data-bbox="1064 835 1276 994"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> <tr> <th>色</th> <th>中核的都市への吸引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑</td> <td>5%以上10%未満</td> </tr> <tr> <td>黄</td> <td>10%以上20%未満</td> </tr> <tr> <td>橙</td> <td>20%以上</td> </tr> <tr> <td>青</td> <td>中核的都市</td> </tr> </tbody> </table>	凡例		色	中核的都市への吸引率	緑	5%以上10%未満	黄	10%以上20%未満	橙	20%以上	青	中核的都市
凡例																																						
色	中核的都市への吸引率																																					
緑	5%以上10%未満																																					
黄	10%以上20%未満																																					
橙	20%以上																																					
青	中核的都市																																					
凡例																																						
色	中核的都市への吸引率																																					
緑	5%以上10%未満																																					
黄	10%以上20%未満																																					
橙	20%以上																																					
青	中核的都市																																					
凡例																																						
色	中核的都市への吸引率																																					
緑	5%以上10%未満																																					
黄	10%以上20%未満																																					
橙	20%以上																																					
青	中核的都市																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)</th> <th rowspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>吸引率 20%以上</th> <th>吸引率 10%未満</th> <th>吸引率 5%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流山市 (26.2%)</td> <td>我孫子市 (19.9%)</td> <td>松戸市 (8.5%) 野田市 (7.5%)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)			評価	吸引率 20%以上	吸引率 10%未満	吸引率 5%未満	流山市 (26.2%)	我孫子市 (19.9%)	松戸市 (8.5%) 野田市 (7.5%)	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)</th> <th rowspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>吸引率 20%以上</th> <th>吸引率 10%未満</th> <th>吸引率 5%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神崎町 (45.1%) 東庄町 (29.2%)</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)			評価	吸引率 20%以上	吸引率 10%未満	吸引率 5%未満	神崎町 (45.1%) 東庄町 (29.2%)			5	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)</th> <th rowspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>吸引率 20%以上</th> <th>吸引率 10%未満</th> <th>吸引率 5%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横芝光町 (21.2%)</td> <td>多古町 (15.4%)</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)			評価	吸引率 20%以上	吸引率 10%未満	吸引率 5%未満	横芝光町 (21.2%)	多古町 (15.4%)		5			
居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)			評価																																			
吸引率 20%以上	吸引率 10%未満	吸引率 5%未満																																				
流山市 (26.2%)	我孫子市 (19.9%)	松戸市 (8.5%) 野田市 (7.5%)	1																																			
居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)			評価																																			
吸引率 20%以上	吸引率 10%未満	吸引率 5%未満																																				
神崎町 (45.1%) 東庄町 (29.2%)			5																																			
居住自治体 (購買先自治体に5%以上が吸引されている自治体)			評価																																			
吸引率 20%以上	吸引率 10%未満	吸引率 5%未満																																				
横芝光町 (21.2%)	多古町 (15.4%)		5																																			



(参考) 医療圏

各自治体の病床数、二次保健医療圏（注）内で病床数が最も多い病院、救命救急センター等を整理した（図表 31）。これらを基準とした場合、中核となっている自治体は、千葉市、船橋市、八千代市、浦安市、松戸市、柏市、成田市、印西市、鴨川市、木更津市、茂原市、東金市、山武市、旭市、市原市となる。

(注) 二次保健医療圏

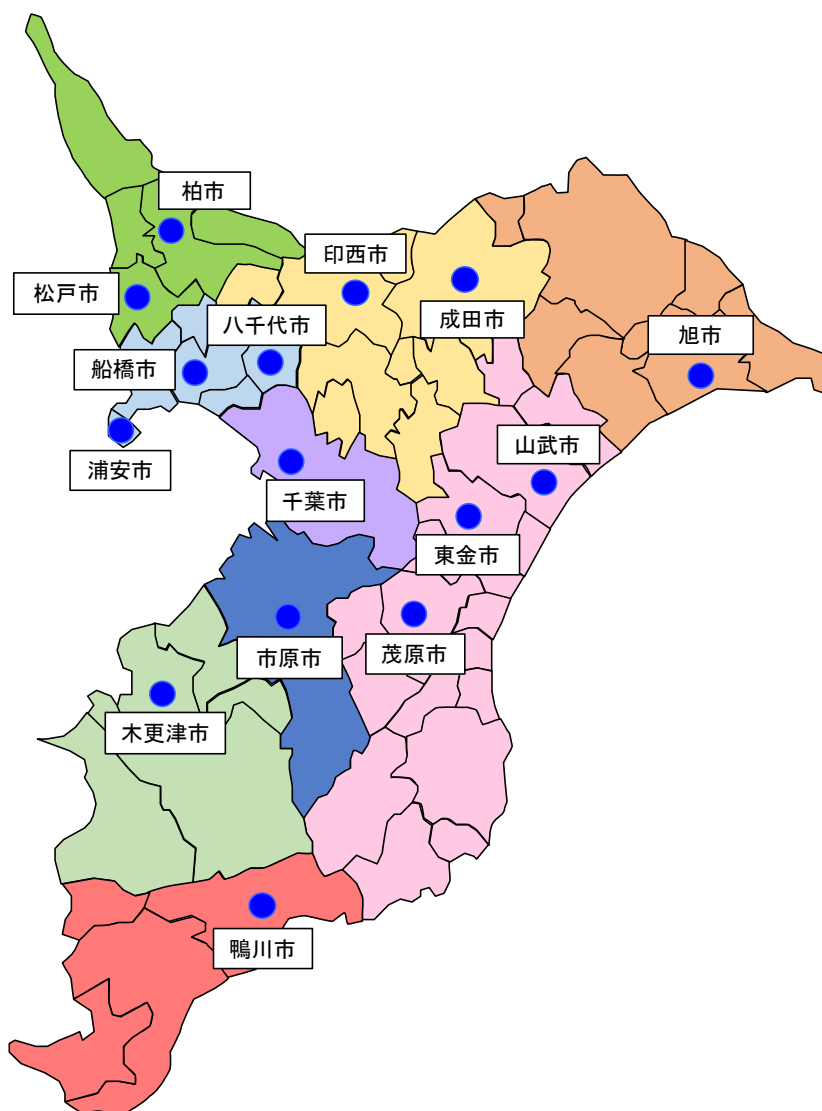
医療法第 30 条の 4 第 2 項第 12 号の規定に基づく区域で、特殊な医療を除く病院の病床の整備を図るべき地域的単位として設定するもので、医療機関相互の機能分担に基づく連携による包括的な保健医療サービスを提供していくための場であり、住民が短時間でこれらの保健医療サービスを受けることが可能となる圏域。

図表 31 各自治体の病院数・病床数

二次保健医療圏	自治体	病床数(床)	圏内で病床数が最も多い病院	救命救急センター	
千葉	千葉市	9,314	千葉大学医学部附属病院	千葉県救急医療センター	
	市川市	3,208			
東葛南部	船橋市	4,409		船橋市立医療センター	
	習志野市	1,431			
	八千代市	2,475		東京女子医科大学附属八千代医療センター	
	鎌ヶ谷市	1,557			
	浦安市	1,132	順天堂大学医学部附属浦安病院	順天堂大学医学部附属浦安病院	
	松戸市	3,333		松戸市立病院	
東葛北部	野田市	1,552			
	柏市	4,722	東京慈恵会医科大学附属柏病院	東京慈恵会医科大学附属柏病院	
	流山市	1,044			
	我孫子市	887			
印旛	成田市	2,214	成田赤十字病院	成田赤十字病院	
	佐倉市	1,212			
	四街道市	973			
	八街市	516			
	印西市	995		日本医科大学千葉北総病院	
	白井市	351			
	富里市	384			
	酒々井町	0			
	栄町	64			
	館山市	771			
安房	鴨川市	1,558	亀田総合病院	亀田総合病院	
	南房総市	432			
	鋸南町	66			
君津	木更津市	1,860	君津中央病院	君津中央病院	
	君津市	552			
	富津市	113			
	袖ヶ浦市	409			
山武長生夷隅	茂原市	1,116			
	東金市	607		東千葉メディカルセンター	
	勝浦市	311			
	山武市	312	さんむ医療センター		
	いすみ市	342			
	大網白里市	219			
	九十九里町	199			
	芝山町	253			
	横芝光町	100			
	一宮町	0			
	睦沢町	0			
	長生村	0			
	白子町	0			
	長柄町	341			
	長南町	0			
	大多喜町	389			
	御宿町	0			
	香取海匠	銚子市	871		
		旭市	1,477	旭中央病院	旭中央病院
		匝瑳市	366		
香取市		1,032			
神崎町		0			
多古町		166			
東庄町		80			
市原	市原市	2,411	帝京大学ちば総合医療センター		

(出所) 千葉県統計年鑑（平成 27 年）、病床機能報告（千葉県・平成 27 年）千葉県ホームページからちばぎん総合研究所が作成

図表 32 医療での中核的都市



(注)
地域毎の色分けは、二次保健医療圏の区分が分かりやすくなるよう着色したものであり、特定の数値に基づくものではない。

2-2. 転入・転出者への実態調査

(1) 統計調査

① 転入

県内の各自治体の転入者数のうち、5%以上を占める転入元自治体を整理した(図表 33~35)。これに基づく評点については、後記「④ 評点表」に掲載した。

図表 33 転入先自治体と転入数（男女計）

転入先自治体	他自治体からの転入数			最も多い都道府県からの人数 (注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体(カッコ内は転出者数)
	県内	県外			
千葉市	117,361人	46,192人	71,169人	17,397人	市原市(6,824人)、船橋市(5,813人)、市川市(4,007人)、習志野市(3,633人)、八千代市(2,417人)、四街道市(2,290人)、浦安市(1,757人)、佐倉市(1,729人)、茂原市(1,411人)、八街市(1,275人)、東金市(1,122人)、木更津市(1,018人)、成田市(968人)、大網白里市(952人)、山武市(667人)、袖ヶ浦市(614人)、君津市(568人)、銚子市(335人)、館山市(333人)、いすみ市(328人)、旭市(323人)、香取市(316人)、富里市(315人)、富津市(244人)、鴨川市(228人)、南房総市(212人)、九十九里町(198人)、酒々井町(197人)、勝浦市(190人)、匝瑳市(178人)、長生村(174人)、横芝光町(135人)、白子町(124人)、一宮町(117人)、長柄町(110人)、長南町(75人)、睦沢町(67人)、大多喜町(64人)、御宿町(42人)、芝山町(40人)、鋸南町(34人)
市川市	70,120人	17,430人	52,690人	16,913人	船橋市(4,213人)、浦安市(2,300人)
船橋市	94,648人	36,091人	58,557人	17,713人	市川市(8,650人)、千葉市(6,453人)、習志野市(4,400人)、八千代市(2,391人)、鎌ヶ谷市(2,276人)、浦安市(1,527人)、佐倉市(943人)、白井市(618人)、印西市(442人)
習志野市	28,888人	12,801人	16,087人	3,853人	船橋市(3,897人)
八千代市	28,888人	13,243人	15,645人	3,932人	佐倉市(1,598人)
浦安市	30,701人	6,736人	23,965人	6,491人	-
松戸市	63,779人	17,926人	45,853人	15,492人	柏市(3,354人)、流山市(2,014人)、鎌ヶ谷市(1,131人)
野田市	17,226人	4,830人	12,396人	4,669人(埼)	流山市(1,252人)
柏市	58,813人	21,462人	37,351人	10,095人	松戸市(7,140人)、流山市(3,696人)、我孫子市(2,217人)、野田市(1,239人)、鎌ヶ谷市(679人)
流山市	29,346人	11,067人	18,279人	5,483人	柏市(3,698人)、松戸市(3,045人)、野田市(1,091人)
我孫子市	15,762人	6,073人	9,689人	2,613人	柏市(2,417人)
鎌ヶ谷市	15,875人	8,967人	6,908人	2,306人	白井市(494人)
成田市	20,630人	9,532人	11,098人	1,991人	富里市(1,578人)、香取市(761人)、栄町(518人)、八街市(399人)、酒々井町(365人)、多古町(262人)、匝瑳市(175人)、芝山町(147人)、神崎町(114人)、東庄町(57人)
佐倉市	19,285人	10,499人	8,786人	2,459人	八千代市(2,191人)、四街道市(579人)、八街市(519人)、酒々井町(243人)
四街道市	11,030人	7,298人	3,732人	990人	-
八街市	7,115人	4,540人	2,575人	797人	山武市(501人)、富里市(401人)、芝山町(44人)
印西市	16,091人	7,784人	8,307人	2,622人	白井市(640人)、栄町(261人)
白井市	12,278人	7,307人	4,971人	1,776人	鎌ヶ谷市(1,172人)、印西市(568人)
富里市	7,243人	4,433人	2,810人	529人	成田市(1,622人)、酒々井町(158人)、芝山町(128人)、多古町(109人)
酒々井町	2,861人	1,785人	1,076人	246人	-
栄町	1,801人	1,083人	718人	185人	-
香取市	4,503人	2,113人	2,390人	784人(茨)	東庄町(185人)、多古町(90人)、神崎町(64人)
神崎町	512人	327人	185人	66人(茨)	-
多古町	1,156人	710人	446人	80人	-
東庄町	850人	511人	339人	112人(茨)	-
銚子市	5,373人	1,256人	4,117人	728人(茨)	旭市(254人)、東庄町(75人)
旭市	5,175人	2,726人	2,449人	504人	銚子市(644人)、匝瑳市(529人)、東庄町(113人)
匝瑳市	2,358人	1,683人	675人	208人	旭市(433人)、横芝光町(206人)、多古町(91人)

転入先自治体	他自治体からの転入数			最も多い都道府県からの人数 (注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体(カッコ内は転出者数)
	県内	県外			
東金市	8,269人	4,376人	3,893人	917人	山武市(630人)、大網白里市(444人)、九十九里町(428人)、横芝光町(95人)
山武市	4,208人	2,669人	1,539人	534人	東金市(401人)、横芝光町(281人)、九十九里町(116人)
大網白里市	6,359人	3,653人	2,706人	957人	東金市(518人)、茂原市(502人)、九十九里町(113人)、白子町(104人)
九十九里町	1,552人	812人	740人	257人	-
芝山町	745人	544人	201人	55人	-
横芝光町	1,705人	1,175人	530人	170人	匝瑳市(235人)、芝山町(38人)
茂原市	8,893人	5,176人	3,717人	984人	いすみ市(531人)、大網白里市(355人)、長生村(350人)、白子町(301人)、長南町(254人)、長柄町(205人)、一宮町(202人)、睦沢町(177人)、勝浦市(140人)、大多喜町(132人)、御宿町(59人)
一宮町	1,724人	946人	778人	379人	睦沢町(37人)
睦沢町	541人	369人	172人	64人	-
長生村	1,670人	1,122人	548人	194人	茂原市(424人)、一宮町(97人)
白子町	1,028人	627人	401人	149人	-
長柄町	737人	545人	192人	73人	長南町(41人)
長南町	549人	409人	140人	43人	-
勝浦市	3,212人	937人	2,275人	421人	-
いすみ市	3,472人	1,667人	1,805人	656人	勝浦市(180人)、御宿町(101人)、大多喜町(93人)、一宮町(79人)
大多喜町	954人	568人	386人	105人	-
御宿町	1,004人	376人	628人	269人	-
館山市	5,951人	2,657人	3,294人	1,056人	南房総市(871人)、鴨川市(232人)、鋸南町(85人)
鴨川市	3,840人	1,496人	2,344人	704人	南房総市(215人)
南房総市	3,583人	1,891人	1,692人	585人	館山市(726人)、鴨川市(179人)、鋸南町(69人)
鋸南町	594人	269人	325人	177人	-
市原市	22,953人	10,659人	12,294人	2,058人	袖ヶ浦市(846人)、木更津市(739人)、長柄町(94人)、大多喜町(75人)、長南町(42人)、鋸南町(34人)
木更津市	16,817人	8,659人	8,158人	1,683人	君津市(2,902人)、袖ヶ浦市(1,118人)、富津市(809人)、鋸南町(43人)
君津市	8,748人	4,758人	3,990人	792人	木更津市(1,316人)、富津市(1,186人)、袖ヶ浦市(336人)、鋸南町(65人)
富津市	3,839人	2,206人	1,633人	407人	君津市(869人)
袖ヶ浦市	6,920人	4,405人	2,515人	634人	市原市(1,346人)、木更津市(1,137人)、君津市(546人)

(注) 1.平成 22 年国勢調査

2.5 年前の常住地「不詳」を除く

3.県外の最も多い都道府県は、注記がない場合は東京都、(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県

4.転出率 = (転出先自治体への転出者数) / (転出元自治体からの転出者数)

(以下同様)

図表 34 転入先自治体と転入数（男）

転入先自治体	他自治体からの転入数			最も多い都道府県からの人数 (注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体(カッコ内は転出者数)
	県内	県外			
千葉市	60,389人	22,683人	37,706人	8,890人	市原市(3,316人)、船橋市(3,001人)、習志野市(1,808人)、八千代市(1,150人)、四街道市(1,114人)、浦安市(904人)、佐倉市(833人)、茂原市(662人)、八街市(600人)、東金市(548人)、木更津市(481人)、成田市(481人)、大網白里市(415人)、山武市(309人)、袖ヶ浦市(291人)、君津市(281人)、館山市(160人)、香取市(148人)、いすみ市(148人)、銚子市(147人)、旭市(146人)、南房総市(107人)、富津市(103人)、鴨川市(95人)、勝浦市(93人)、長生村(87人)、九十九里町(82人)、酒々井町(79人)、匝瑳市(73人)、横芝光町(55人)、白子町(53人)、一宮町(51人)、長柄町(49人)、長南町(39人)、大多喜町(36人)、睦沢町(31人)、芝山町(19人)、御宿町(18人)
市川市	37,097人	8,554人	28,543人	8,754人	船橋市(2,168人)、浦安市(1,231人)
船橋市	49,665人	17,740人	31,925人	9,122人	市川市(4,455人)、千葉市(3,097人)、習志野市(2,206人)、八千代市(1,177人)、鎌ヶ谷市(1,095人)、浦安市(779人)、白井市(294人)
習志野市	15,597人	6,481人	9,116人	2,017人	船橋市(1,994人)
八千代市	14,324人	6,508人	7,816人	1,922人	佐倉市(721人)
浦安市	15,186人	3,226人	11,960人	3,276人	-
松戸市	32,864人	9,011人	23,853人	8,088人	柏市(1,697人)、流山市(1,014人)、鎌ヶ谷市(527人)
野田市	9,268人	2,496人	6,772人	2,346人(埼)	流山市(630人)
柏市	30,353人	10,743人	19,610人	5,207人	松戸市(3,536人)、流山市(1,850人)、我孫子市(1,061人)、野田市(592人)、鎌ヶ谷市(345人)
流山市	15,393人	5,510人	9,883人	2,906人	柏市(1,807人)、野田市(497人)
我孫子市	7,916人	3,001人	4,915人	1,300人	柏市(1,188人)
鎌ヶ谷市	7,919人	4,426人	3,493人	1,168人	白井市(237人)
成田市	10,792人	4,718人	6,074人	1,027人	富里市(806人)、香取市(353人)、栄町(239人)、酒々井町(176人)、多古町(131人)、芝山町(72人)、匝瑳市(71人)、神崎町(56人)、横芝光町(41人)
佐倉市	9,539人	5,238人	4,301人	1,161人	八千代市(1,075人)、四街道市(297人)、八街市(246人)、酒々井町(122人)
四街道市	5,594人	3,687人	1,907人	495人	-
八街市	3,658人	2,284人	1,374人	433人	山武市(235人)、富里市(204人)、芝山町(20人)
印西市	8,161人	3,900人	4,261人	1,343人	白井市(300人)、栄町(112人)
白井市	6,150人	3,652人	2,498人	873人	鎌ヶ谷市(591人)、印西市(255人)
富里市	3,865人	2,228人	1,637人	289人	成田市(805人)、酒々井町(72人)、芝山町(63人)、多古町(51人)
酒々井町	1,523人	904人	619人	121人	-
栄町	870人	518人	352人	92人	-
香取市	2,214人	1,010人	1,204人	348人(茨)	東庄町(88人)、多古町(43人)、神崎町(24人)
神崎町	238人	146人	92人	31人(茨)	-
多古町	590人	333人	257人	46人	-
東庄町	419人	231人	188人	52人(茨)	-
銚子市	3,029人	669人	2,360人	397人(茨)	東庄町(29人)
旭市	2,600人	1,319人	1,281人	297人	銚子市(285人)、匝瑳市(245人)、東庄町(46人)
匝瑳市	1,130人	775人	355人	109人	旭市(193人)、横芝光町(72人)、多古町(37人)

転入先自治体	他自治体からの転入数			最も多い都道府県からの人数 (注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体(カッコ内は転出者数)
	県内	県外			
東金市	4,366人	2,259人	2,107人	505人	山武市(305人)、大網白里市(215人)、九十九里町(200人)、横芝光町(47人)
山武市	2,033人	1,239人	794人	270人	東金市(184人)、横芝光町(124人)、九十九里町(52人)
大網白里市	3,091人	1,763人	1,328人	452人	東金市(244人)、茂原市(241人)、九十九里町(59人)、白子町(40人)
九十九里町	695人	365人	330人	132人	-
芝山町	342人	237人	105人	30人	-
横芝光町	836人	554人	282人	83人	匝瑳市(115人)
茂原市	4,569人	2,571人	1,998人	511人	いすみ市(269人)、長生村(179人)、大網白里市(170人)、白子町(135人)、長南町(117人)、一宮町(104人)、長柄町(96人)、睦沢町(85人)、大多喜町(75人)、御宿町(28人)
一宮町	853人	454人	399人	195人	睦沢町(21人)
睦沢町	226人	146人	80人	26人	-
長生村	809人	515人	294人	97人	一宮町(50人)、白子町(28人)
白子町	505人	297人	208人	77人	-
長柄町	353人	244人	109人	41人	-
長南町	236人	172人	64人	19人	-
勝浦市	2,182人	540人	1,642人	257人	-
いすみ市	1,646人	760人	886人	325人	御宿町(40人)、一宮町(37人)、大多喜町(36人)
大多喜町	437人	262人	175人	46人	-
御宿町	503人	189人	314人	138人	-
館山市	3,219人	1,345人	1,874人	545人	南房総市(394人)、鴨川市(96人)、鋸南町(33人)
鴨川市	1,731人	663人	1,068人	349人	南房総市(88人)
南房総市	1,684人	863人	821人	299人	館山市(311人)、鋸南町(28人)
鋸南町	319人	133人	186人	104人	-
市原市	12,902人	5,444人	7,458人	1,154人	袖ヶ浦市(428人)、木更津市(381人)、大多喜町(39人)、長柄町(36人)、長南町(20人)、鋸南町(17人)
木更津市	9,291人	4,589人	4,702人	938人	君津市(1,492人)、袖ヶ浦市(555人)、富津市(388人)、鴨川市(88人)、鋸南町(20人)
君津市	5,099人	2,524人	2,575人	432人	木更津市(662人)、富津市(584人)、袖ヶ浦市(172人)、鴨川市(75人)、鋸南町(36人)
富津市	2,237人	1,156人	1,081人	250人	君津市(439人)、鋸南町(20人)
袖ヶ浦市	3,757人	2,268人	1,489人	386人	市原市(734人)、木更津市(528人)、君津市(278人)

(注) 1.平成 22 年国勢調査

2.5 年前の常驻地「不詳」を除く

3.最も多い都道府県は、注記がない場合は東京都、(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県

図表 35 転入先自治体と転入数（女）

転入先自治体	他自治体からの転入数			最も多い都道府県からの人数 (注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体(カッコ内は転出者数)
	県内	県外			
千葉市	56,972人	23,509人	33,463人	8,507人	市原市(3,508人)、船橋市(2,812人)、市川市(1,930人)、習志野市(1,825人)、八千代市(1,267人)、四街道市(1,176人)、佐倉市(896人)、浦安市(853人)、茂原市(749人)、八街市(675人)、東金市(574人)、木更津市(537人)、大網白里市(537人)、成田市(487人)、山武市(358人)、袖ヶ浦市(323人)、君津市(287人)、銚子市(188人)、いすみ市(180人)、旭市(177人)、館山市(173人)、香取市(168人)、富里市(166人)、富津市(141人)、鴨川市(133人)、酒々井町(118人)、九十九里町(116人)、南房総市(105人)、匝瑳市(105人)、勝浦市(97人)、長生村(87人)、横芝光町(80人)、白子町(71人)、一宮町(66人)、長柄町(61人)、睦沢町(36人)、長南町(36人)、大多喜町(28人)、御宿町(24人)、鋸南町(24人)、芝山町(21人)
市川市	33,023人	8,876人	24,147人	8,159人	船橋市(2,045人)、浦安市(1,069人)
船橋市	44,983人	18,351人	26,632人	8,591人	市川市(4,195人)、千葉市(3,356人)、習志野市(2,194人)、八千代市(1,214人)、鎌ヶ谷市(1,181人)、浦安市(748人)、佐倉市(524人)、白井市(324人)、印西市(241人)
習志野市	13,291人	6,320人	6,971人	1,836人	船橋市(1,903人)
八千代市	14,564人	6,735人	7,829人	2,010人	佐倉市(877人)
浦安市	15,515人	3,510人	12,005人	3,215人	-
松戸市	30,915人	8,915人	22,000人	7,404人	市川市(1,837人)、柏市(1,657人)、流山市(1,000人)、鎌ヶ谷市(604人)、我孫子市(357人)、白井市(154人)
野田市	7,958人	2,334人	5,624人	2,323人(埼)	流山市(622人)
柏市	28,460人	10,719人	17,741人	4,888人	松戸市(3,604人)、流山市(1,846人)、我孫子市(1,156人)、野田市(647人)、鎌ヶ谷市(334人)
流山市	13,953人	5,557人	8,396人	2,577人	柏市(1,891人)、松戸市(1,520人)、野田市(594人)
我孫子市	7,846人	3,072人	4,774人	1,313人	柏市(1,229人)
鎌ヶ谷市	7,956人	4,541人	3,415人	1,138人	白井市(257人)
成田市	9,838人	4,814人	5,024人	964人	富里市(772人)、香取市(408人)、栄町(279人)、八街市(222人)、酒々井町(189人)、多古町(131人)、匝瑳市(104人)、芝山町(75人)、神崎町(58人)、東庄町(36人)
佐倉市	9,746人	5,261人	4,485人	1,298人	八千代市(1,116人)、四街道市(282人)、八街市(273人)、酒々井町(121人)
四街道市	5,436人	3,611人	1,825人	495人	八街市(195人)
八街市	3,457人	2,256人	1,201人	364人	山武市(266人)、富里市(197人)、芝山町(24人)
印西市	7,930人	3,884人	4,046人	1,279人	白井市(340人)、栄町(149人)
白井市	6,128人	3,655人	2,473人	903人	鎌ヶ谷市(581人)、印西市(313人)
富里市	3,378人	2,205人	1,173人	240人	成田市(817人)、酒々井町(86人)、芝山町(65人)、多古町(58人)、神崎町(15人)
酒々井町	1,338人	881人	457人	125人	-
栄町	931人	565人	366人	93人	-
香取市	2,289人	1,103人	1,186人	436人(茨)	東庄町(97人)、多古町(47人)、神崎町(40人)
神崎町	274人	181人	93人	35人(茨)	-
多古町	566人	377人	189人	34人	-
東庄町	431人	280人	151人	60人(茨)	-
銚子市	2,344人	587人	1,757人	331人(茨)	旭市(146人)、東庄町(46人)
旭市	2,575人	1,407人	1,168人	207人	銚子市(359人)、匝瑳市(284人)、東庄町(67人)、多古町(36人)
匝瑳市	1,228人	908人	320人	99人	旭市(240人)、横芝光町(134人)、多古町(54人)

転入先自治体	他自治体からの転入数				転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体(カッコ内は転出者数)
	県内	県外	最も多い都道府県からの人数 (注)		
東金市	3,903人	2,117人	1,786人	412人	山武市(325人)、大網白里市(229人)、九十九里町(228人)
山武市	2,175人	1,430人	745人	264人	東金市(217人)、横芝光町(157人)、匝瑳市(94人)、九十九里町(64人)
大網白里市	3,268人	1,890人	1,378人	505人	東金市(274人)、茂原市(261人)、白子町(64人)、九十九里町(54人)、一宮町(27人)
九十九里町	857人	447人	410人	125人	-
芝山町	403人	307人	96人	25人	-
横芝光町	869人	621人	248人	87人	匝瑳市(120人)、芝山町(21人)
茂原市	4,324人	2,605人	1,719人	473人	いすみ市(262人)、大網白里市(185人)、長生村(171人)、白子町(166人)、長南町(137人)、長柄町(109人)、一宮町(98人)、睦沢町(92人)、勝浦市(66人)、大多喜町(57人)、御宿町(31人)
一宮町	871人	492人	379人	184人	いすみ市(89人)、睦沢町(16人)
睦沢町	315人	223人	92人	38人	-
長生村	861人	607人	254人	97人	茂原市(233人)、一宮町(47人)、睦沢町(17人)
白子町	523人	330人	193人	72人	-
長柄町	384人	301人	83人	32人	長南町(27人)
長南町	313人	237人	76人	24人	-
勝浦市	1,030人	397人	633人	164人	大多喜町(25人)、御宿町(18人)
いすみ市	1,826人	907人	919人	331人	勝浦市(112人)、御宿町(61人)、大多喜町(57人)、一宮町(42人)
大多喜町	517人	306人	211人	59人	-
御宿町	501人	187人	314人	131人	-
館山市	2,732人	1,312人	1,420人	511人	南房総市(477人)、鴨川市(136人)、鋸南町(52人)
鴨川市	2,109人	833人	1,276人	355人	南房総市(127人)、勝浦市(55人)、鋸南町(21人)
南房総市	1,899人	1,028人	871人	286人	館山市(415人)、鴨川市(109人)、鋸南町(41人)
鋸南町	275人	136人	139人	73人	-
市原市	10,051人	5,215人	4,836人	904人	袖ヶ浦市(418人)、木更津市(358人)、長柄町(58人)、大多喜町(36人)、長南町(22人)
木更津市	7,526人	4,070人	3,456人	745人	君津市(1,410人)、袖ヶ浦市(563人)、富津市(421人)、鋸南町(23人)
君津市	3,649人	2,234人	1,415人	360人	木更津市(654人)、富津市(602人)、袖ヶ浦市(164人)、鋸南町(29人)
富津市	1,602人	1,050人	552人	157人	君津市(430人)
袖ヶ浦市	3,163人	2,137人	1,026人	248人	市原市(612人)、木更津市(609人)、君津市(268人)

(注) 1.平成 22 年国勢調査

2.5 年前の常住地「不詳」を除く

3.最も多い都道府県は、注記がない場合は東京都、(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県

②転出

県内の各自治体の転出者数のうち、5%以上を占める転出先自治体を整理した(図表 36~41)。これに基づく評点については、後記「④評点表」に掲載した。

図表 36 転出先自治体と転出数（男女計）

転出元自治体	他自治体への転出数			最も多い都道府県への人数(注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体 (カッコ内は転出元自治体における転出者数)
	県内	県外			
千葉市	95,413人	40,404人	55,009人	16,211人	船橋市(6,453人)、東京都(16,211人)、神奈川県(7,489人)、埼玉県(5,054人)
市川市	78,021人	28,592人	49,429人	18,911人	船橋市(8,650人)、千葉市(4,007人)、東京都(18,911人)、神奈川県(5,551人)、埼玉県(4,238人)
船橋市	73,657人	31,428人	42,229人	13,611人	千葉市(5,813人)、市川市(4,213人)、習志野市(3,897人)、東京都(13,611人)、神奈川県(4,975人)、埼玉県(3,902人)
習志野市	25,561人	13,335人	12,226人	3,651人	船橋市(4,400人)、千葉市(3,633人)、東京都(3,651人)、神奈川県(1,427人)
八千代市	23,160人	12,583人	10,577人	3,026人	千葉市(2,417人)、船橋市(2,391人)、佐倉市(2,191人)、東京都(3,026人)、神奈川県(1,320人)
浦安市	26,362人	8,468人	17,894人	6,835人	市川市(2,300人)、千葉市(1,757人)、船橋市(1,527人)、東京都(6,835人)、神奈川県(1,911人)、埼玉県(1,330人)
松戸市	60,018人	23,458人	36,560人	11,742人	柏市(7,140人)、流山市(3,045人)、東京都(11,742人)、埼玉県(4,665人)、神奈川県(3,804人)、茨城県(3,204人)
野田市	12,491人	4,164人	8,327人	2,562人(埼)	柏市(1,239人)、流山市(1,091人)、埼玉県(2,562人)、東京都(1,644人)、茨城県(1,056人)、神奈川県(749人)
柏市	44,490人	17,003人	27,487人	7,688人	流山市(3,698人)、松戸市(3,354人)、我孫子市(2,417人)、東京都(7,688人)、茨城県(3,561人)、神奈川県(3,228人)、埼玉県(2,963人)
流山市	19,577人	9,277人	10,300人	2,714人	柏市(3,696人)、松戸市(2,014人)、野田市(1,252人)、東京都(2,714人)、埼玉県(1,706人)、茨城県(1,179人)、神奈川県(1,073人)
我孫子市	14,710人	5,684人	9,026人	2,393人	柏市(2,217人)、東京都(2,393人)、茨城県(2,012人)、神奈川県(1,023人)、埼玉県(822人)
鎌ヶ谷市	12,642人	7,726人	4,916人	1,526人	船橋市(2,276人)、白井市(1,172人)、松戸市(1,131人)、柏市(679人)、東京都(1,526人)
成田市	16,357人	8,682人	7,675人	1,687人	富里市(1,622人)、千葉市(968人)、東京都(1,687人)、神奈川県(981人)
佐倉市	17,616人	9,632人	7,984人	2,736人	千葉市(1,729人)、八千代市(1,598人)、船橋市(943人)、東京都(2,736人)、神奈川県(1,055人)
四街道市	8,758人	5,282人	3,476人	975人	千葉市(2,290人)、佐倉市(579人)、東京都(975人)、神奈川県(481人)
八街市	7,423人	5,240人	2,183人	701人	千葉市(1,275人)、佐倉市(519人)、成田市(399人)、東京都(701人)
印西市	8,919人	4,431人	4,488人	1,474人	白井市(568人)、船橋市(442人)、東京都(1,474人)、神奈川県(533人)
白井市	6,013人	3,304人	2,709人	916人	印西市(640人)、船橋市(618人)、鎌ヶ谷市(494人)、東京都(916人)、神奈川県(329人)
富里市	6,211人	4,285人	1,926人	517人	成田市(1,578人)、八街市(401人)、千葉市(315人)、東京都(517人)
酒々井町	2,550人	1,720人	830人	278人	成田市(365人)、佐倉市(243人)、千葉市(197人)、富里市(158人)、東京都(278人)
栄町	2,685人	1,668人	1,017人	295人	成田市(518人)、印西市(261人)、東京都(295人)
香取市	6,372人	3,206人	3,166人	1,322人(茨)	成田市(761人)、千葉市(316人)、茨城県(1,322人)、東京都(634人)
神崎町	515人	342人	173人	57人(茨)	成田市(114人)、香取市(64人)、茨城県(57人)、東京都(35人)、神奈川県(27人)
多古町	1,408人	1,058人	350人	116人	成田市(262人)、富里市(109人)、匝瑳市(91人)、香取市(90人)、東京都(116人)
東庄町	1,151人	647人	504人	283人(茨)	香取市(185人)、旭市(113人)、銚子市(75人)、成田市(57人)、茨城県(283人)、東京都(64人)
銚子市	6,005人	2,415人	3,590人	1,645人(茨)	旭市(644人)、千葉市(335人)、茨城県(1,645人)、東京都(616人)、神奈川県(328人)
旭市	4,805人	2,760人	2,045人	551人	匝瑳市(433人)、千葉市(323人)、銚子市(254人)、東京都(551人)、茨城県(445人)、神奈川県(276人)
匝瑳市	2,976人	2,146人	830人	281人	旭市(529人)、横芝光町(235人)、千葉市(178人)、成田市(175人)、東京都(281人)、神奈川県(153人)

転出元自治体	他自治体への転出数			最も多い都道府県への人数(注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体 (カッコ内は転出元自治体における転出者数)
	県内	県外			
東金市	6,606人	4,276人	2,330人	689人	千葉市(1,122人)、大網白里市(518人)、山武市(401人)、東京都(689人)、神奈川県(339人)
山武市	5,515人	3,962人	1,553人	568人	千葉市(667人)、東金市(630人)、八街市(501人)、東京都(568人)
大網白里市	4,451人	3,016人	1,435人	516人	千葉市(952人)、東金市(444人)、茂原市(355人)、東京都(516人)、神奈川県(259人)
九十九里町	1,585人	1,239人	346人	111人	東金市(428人)、千葉市(198人)、山武市(116人)、大網白里市(113人)、東京都(111人)
芝山町	763人	599人	164人	51人	成田市(147人)、富里市(128人)、八街市(44人)、千葉市(40人)、横芝光町(38人)、東京都(51人)
横芝光町	1,841人	1,442人	399人	133人	山武市(281人)、匝瑳市(206人)、千葉市(135人)、東金市(95人)、東京都(133人)
茂原市	8,448人	5,454人	2,994人	876人	千葉市(1,411人)、大網白里市(502人)、長生村(424人)、東京都(876人)、神奈川県(514人)
一宮町	1,100人	799人	301人	109人	茂原市(202人)、千葉市(117人)、長生村(97人)、いすみ市(79人)、東京都(109人)
睦沢町	618人	496人	122人	51人	茂原市(177人)、千葉市(67人)、一宮町(37人)、東京都(51人)
長生村	1,347人	958人	389人	135人	茂原市(350人)、千葉市(174人)、東京都(135人)
白子町	1,151人	892人	259人	91人	茂原市(301人)、千葉市(124人)、大網白里市(104人)、東京都(91人)
長柄町	797人	604人	193人	66人	茂原市(205人)、千葉市(110人)、市原市(94人)、東京都(66人)、神奈川県(40人)
長南町	745人	606人	139人	57人	茂原市(254人)、千葉市(75人)、市原市(42人)、長柄町(41人)、東京都(57人)
勝浦市	2,532人	1,312人	1,220人	265人	千葉市(190人)、いすみ市(180人)、茂原市(140人)、東京都(265人)、神奈川県(159人)
いすみ市	3,316人	2,322人	994人	357人	茂原市(531人)、千葉市(328人)、東京都(357人)、神奈川県(177人)
大多喜町	914人	644人	270人	94人	茂原市(132人)、いすみ市(93人)、市原市(75人)、千葉市(64人)、東京都(94人)
御宿町	584人	401人	183人	45人(東・神)	いすみ市(101人)、茂原市(59人)、千葉市(42人)、東京都(45人)、神奈川県(45人)
館山市	5,074人	2,538人	2,536人	624人	南房総市(726人)、千葉市(333人)、東京都(624人)、神奈川県(599人)
鴨川市	3,225人	1,787人	1,438人	412人	館山市(232人)、千葉市(228人)、南房総市(179人)、東京都(412人)、神奈川県(263人)、埼玉県(197人)
南房総市	3,333人	2,187人	1,146人	419人	館山市(871人)、鴨川市(215人)、千葉市(212人)、東京都(419人)、神奈川県(287人)
鋸南町	678人	477人	201人	70人	館山市(85人)、南房総市(69人)、君津市(65人)、木更津市(43人)、千葉市(34人)、市原市(34人)、東京都(70人)、神奈川県(48人)
市原市	25,417人	14,449人	10,968人	2,714人	千葉市(6,824人)、袖ヶ浦市(1,346人)、東京都(2,714人)、神奈川県(1,656人)
木更津市	11,568人	6,346人	5,222人	1,236人	君津市(1,316人)、袖ヶ浦市(1,137人)、千葉市(1,018人)、市原市(739人)、東京都(1,236人)、神奈川県(898人)
君津市	9,019人	6,408人	2,611人	644人	木更津市(2,902人)、富津市(869人)、千葉市(568人)、袖ヶ浦市(546人)、東京都(644人)
富津市	4,114人	3,070人	1,044人	318人	君津市(1,186人)、木更津市(809人)、千葉市(244人)、東京都(318人)、神奈川県(206人)
袖ヶ浦市	5,631人	3,768人	1,863人	532人	木更津市(1,118人)、市原市(846人)、千葉市(614人)、君津市(336人)、東京都(532人)、神奈川県(338人)

(注) 1.平成 22 年国勢調査

2.5年前の常住地「不詳」を除く

3.最も多い都道府県は、注記がない場合、または(東)を付した場合は東京都、

(神)を付した場合は神奈川県、(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県

図表 37 転出先自治体と転出数（男）

転出元自治体	他自治体への転出数			最も多い都道府県への人数(注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体 (カッコ内は転出元自治体における転出者数)
	県内	県外			
千葉市	50,935人	20,354人	30,581人	8,094人	船橋市(3,097人)、東京都(8,094人)、神奈川県(4,048人)、埼玉県(2,739人)
市川市	42,284人	14,785人	27,499人	9,885人	船橋市(4,455人)、東京都(9,885人)、神奈川県(3,036人)、埼玉県(2,308人)
船橋市	39,873人	16,208人	23,665人	6,985人	千葉市(3,001人)、市川市(2,168人)、習志野市(1,994人)、東京都(6,985人)、神奈川県(2,714人)、埼玉県(2,156人)
習志野市	13,869人	6,787人	7,082人	1,891人	船橋市(2,206人)、千葉市(1,808人)、東京都(1,891人)、神奈川県(835人)
八千代市	11,827人	6,211人	5,616人	1,428人	船橋市(1,177人)、千葉市(1,150人)、佐倉市(1,075人)、東京都(1,428人)、神奈川県(684人)
浦安市	14,092人	4,410人	9,682人	3,559人	市川市(1,231人)、千葉市(904人)、船橋市(779人)、東京都(3,559人)、神奈川県(1,024人)
松戸市	31,257人	11,778人	19,479人	5,774人	柏市(3,536人)、東京都(5,774人)、埼玉県(2,462人)、神奈川県(1,948人)、茨城県(1,739人)
野田市	6,588人	2,007人	4,581人	1,234人(埼)	柏市(592人)、流山市(497人)、埼玉県(1,234人)、東京都(853人)、茨城県(570人)、神奈川県(451人)
柏市	23,603人	8,582人	15,021人	3,729人	流山市(1,807人)、松戸市(1,697人)、我孫子市(1,188人)、東京都(3,729人)、茨城県(1,896人)、神奈川県(1,828人)、埼玉県(1,557人)
流山市	10,283人	4,650人	5,633人	1,342人	柏市(1,850人)、松戸市(1,014人)、野田市(630人)、東京都(1,342人)、埼玉県(859人)、茨城県(622人)、神奈川県(583人)
我孫子市	7,742人	2,814人	4,928人	1,181人	柏市(1,061人)、東京都(1,181人)、茨城県(1,065人)、神奈川県(562人)、埼玉県(426人)
鎌ヶ谷市	6,330人	3,770人	2,560人	736人	船橋市(1,095人)、白井市(591人)、松戸市(527人)、柏市(345人)、東京都(736人)
成田市	8,638人	4,356人	4,282人	825人	富里市(805人)、千葉市(481人)、東京都(825人)、神奈川県(553人)
佐倉市	8,771人	4,600人	4,171人	1,244人	千葉市(833人)、八千代市(721人)、東京都(1,244人)、神奈川県(549人)
四街道市	4,479人	2,589人	1,890人	438人	千葉市(1,114人)、佐倉市(297人)、東京都(438人)、神奈川県(250人)
八街市	3,676人	2,476人	1,200人	357人	千葉市(600人)、佐倉市(246人)、東京都(357人)
印西市	4,571人	2,071人	2,500人	731人	白井市(255人)、東京都(731人)、神奈川県(281人)、茨城県(230人)
白井市	3,030人	1,571人	1,459人	439人	印西市(300人)、船橋市(294人)、鎌ヶ谷市(237人)、東京都(439人)、神奈川県(170人)
富里市	3,203人	2,140人	1,063人	268人	成田市(806人)、八街市(204人)、東京都(268人)
酒々井町	1,247人	797人	450人	140人	成田市(176人)、佐倉市(122人)、千葉市(79人)、富里市(72人)、東京都(140人)
栄町	1,308人	770人	538人	140人	成田市(239人)、印西市(112人)、東京都(140人)、茨城県(65人)
香取市	3,194人	1,504人	1,690人	681人(茨)	成田市(353人)、茨城県(681人)、東京都(305人)
神崎町	240人	153人	87人	22人(茨)	成田市(56人)、香取市(24人)、茨城県(22人)、東京都(16人)、埼玉県(12人)
多古町	686人	499人	187人	52人	成田市(131人)、富里市(51人)、香取市(43人)、匝瑳市(37人)、東京都(52人)、茨城県(37人)
東庄町	545人	292人	253人	139人(茨)	香取市(88人)、旭市(46人)、銚子市(29人)、茨城県(139人)
銚子市	2,924人	1,099人	1,825人	829人(茨)	旭市(285人)、千葉市(147人)、茨城県(829人)、東京都(281人)、神奈川県(153人)
旭市	2,317人	1,259人	1,058人	258人	匝瑳市(193人)、千葉市(146人)、東京都(258人)、茨城県(227人)、神奈川県(155人)
匝瑳市	1,364人	955人	409人	124人	旭市(245人)、横芝光町(115人)、千葉市(73人)、成田市(71人)、東京都(124人)、神奈川県(77人)

転出元自治体	他自治体への転出数			最も多い都道府県への人数(注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体 (カッコ内は転出元自治体における転出者数)
	県内	県外			
東金市	3,474人	2,107人	1,367人	363人	千葉市(548人)、大網白里市(244人)、山武市(184人)、東京都(363人)、神奈川県(191人)
山武市	2,654人	1,826人	828人	274人	千葉市(309人)、東金市(305人)、八街市(235人)、東京都(274人)、神奈川県(143人)
大網白里市	2,144人	1,385人	759人	245人	千葉市(415人)、東金市(215人)、茂原市(170人)、東京都(245人)、神奈川県(138人)
九十九里町	754人	578人	176人	49人	東金市(200人)、千葉市(82人)、大網白里市(59人)、山武市(52人)、東京都(49人)、神奈川県(39人)
芝山町	370人	282人	88人	25人	成田市(72人)、富里市(63人)、八街市(20人)、千葉市(19人)、東京都(25人)
横芝光町	821人	626人	195人	65人	山武市(124人)、匝瑳市(72人)、千葉市(55人)、東金市(47人)、成田市(41人)、東京都(65人)
茂原市	4,290人	2,581人	1,709人	433人	千葉市(662人)、大網白里市(241人)、東京都(433人)、神奈川県(287人)
一宮町	566人	382人	184人	58人	茂原市(104人)、千葉市(51人)、長生村(50人)、いすみ市(37人)、東京都(58人)
睦沢町	308人	230人	78人	29人	茂原市(85人)、千葉市(31人)、一宮町(21人)、東京都(29人)、神奈川県(17人)
長生村	667人	456人	211人	64人	茂原市(179人)、千葉市(87人)、東京都(64人)、神奈川県(35人)
白子町	519人	390人	129人	45人	茂原市(135人)、千葉市(53人)、大網白里市(40人)、長生村(28人)、東京都(45人)
長柄町	371人	263人	108人	37人	茂原市(96人)、千葉市(49人)、市原市(36人)、東京都(37人)
長南町	321人	256人	65人	21人	茂原市(117人)、千葉市(39人)、市原市(20人)、東京都(21人)、神奈川県(17人)
勝浦市	1,497人	658人	839人	156人	千葉市(93人)、東京都(156人)、神奈川県(90人)、埼玉県(81人)
いすみ市	1,607人	1,099人	508人	168人	茂原市(269人)、千葉市(148人)、東京都(168人)、神奈川県(87人)
大多喜町	423人	289人	134人	39人	茂原市(75人)、いすみ市(36人)、市原市(39人)、千葉市(36人)、東京都(39人)、神奈川県(21人)
御宿町	265人	176人	89人	23人(神)	いすみ市(40人)、茂原市(28人)、千葉市(18人)、神奈川県(23人)、東京都(19人)
館山市	2,651人	1,231人	1,420人	340人(神)	南房総市(311人)、千葉市(160人)、神奈川県(340人)、東京都(313人)
鴨川市	1,439人	810人	629人	171人	館山市(96人)、千葉市(95人)、木更津市(88人)、君津市(75人)、東京都(171人)、神奈川県(120人)、埼玉県(96人)
南房総市	1,609人	1,034人	575人	199人	館山市(394人)、千葉市(107人)、鴨川市(88人)、東京都(199人)、神奈川県(144人)
鋸南町	323人	219人	104人	33人	君津市(36人)、館山市(33人)、南房総市(28人)、木更津市(20人)、富津市(20人)、市原市(17人)、東京都(33人)、神奈川県(26人)
市原市	13,524人	7,186人	6,338人	1,342人	千葉市(3,316人)、袖ヶ浦市(734人)、東京都(1,342人)、神奈川県(957人)
木更津市	6,216人	3,189人	3,027人	685人	君津市(662人)、袖ヶ浦市(528人)、千葉市(481人)、市原市(381人)、東京都(685人)、神奈川県(486人)
君津市	4,741人	3,270人	1,471人	331人	木更津市(1,492人)、富津市(439人)、千葉市(281人)、袖ヶ浦市(278人)、東京都(331人)
富津市	2,003人	1,476人	527人	145人	君津市(584人)、木更津市(388人)、千葉市(103人)、東京都(145人)、神奈川県(101人)
袖ヶ浦市	2,909人	1,857人	1,052人	269人	木更津市(555人)、市原市(428人)、千葉市(291人)、君津市(172人)、東京都(269人)、神奈川県(180人)

(注) 1.平成 22 年国勢調査

2.5 年前の常住地「不詳」を除く

3.最も多い都道府県は、注記がない場合は東京都、(神)を付した場合は神奈川県、
(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県

図表 38 転出先自治体と転出数（女）

転出元自治体	他自治体への転出数			最も多い都道府県への人数(注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体 (カッコ内は転出元自治体における転出者数)
	県内	県外			
千葉市	44,478人	20,050人	24,428人	8,117人	船橋市(3,356人)、東京都(8,117人)、神奈川県(3,441人)、埼玉県(2,315人)
市川市	35,737人	13,807人	21,930人	9,026人	船橋市(4,195人)、千葉市(1,930人)、松戸市(1,837人)、東京都(9,026人)、神奈川県(2,515人)、埼玉県(1,930人)
船橋市	33,784人	15,220人	18,564人	6,626人	千葉市(2,812人)、市川市(2,045人)、習志野市(1,903人)、東京都(6,626人)、神奈川県(2,261人)、埼玉県(1,746人)
習志野市	11,692人	6,548人	5,144人	1,760人	船橋市(2,194人)、千葉市(1,825人)、東京都(1,760人)、神奈川県(592人)
八千代市	11,333人	6,372人	4,961人	1,598人	千葉市(1,267人)、船橋市(1,214人)、佐倉市(1,116人)、東京都(1,598人)、神奈川県(636人)
浦安市	12,270人	4,058人	8,212人	3,276人	市川市(1,069人)、千葉市(853人)、船橋市(748人)、東京都(3,276人)、神奈川県(887人)、埼玉県(638人)
松戸市	28,761人	11,680人	17,081人	5,968人	柏市(3,604人)、流山市(1,520人)、東京都(5,968人)、埼玉県(2,203人)、神奈川県(1,856人)、茨城県(1,465人)
野田市	5,903人	2,157人	3,746人	1,328人(埼)	柏市(647人)、流山市(594人)、埼玉県(1,328人)、東京都(791人)、茨城県(486人)、神奈川県(298人)
柏市	20,887人	8,421人	12,466人	3,959人	流山市(1,891人)、松戸市(1,657人)、我孫子市(1,229人)、東京都(3,959人)、茨城県(1,665人)、埼玉県(1,406人)、神奈川県(1,400人)
流山市	9,294人	4,627人	4,667人	1,372人	柏市(1,846人)、松戸市(1,000人)、野田市(622人)、東京都(1,372人)、埼玉県(847人)、茨城県(557人)、神奈川県(490人)
我孫子市	6,968人	2,870人	4,098人	1,212人	柏市(1,156人)、松戸市(357人)、東京都(1,212人)、茨城県(947人)、神奈川県(461人)、埼玉県(396人)
鎌ヶ谷市	6,312人	3,956人	2,356人	790人	船橋市(1,181人)、松戸市(604人)、白井市(581人)、柏市(334人)、東京都(790人)
成田市	7,719人	4,326人	3,393人	862人	富里市(817人)、千葉市(487人)、東京都(862人)、神奈川県(428人)
佐倉市	8,845人	5,032人	3,813人	1,492人	千葉市(896人)、八千代市(877人)、船橋市(524人)、東京都(1,492人)、神奈川県(506人)
四街道市	4,279人	2,693人	1,586人	537人	千葉市(1,176人)、佐倉市(282人)、東京都(537人)、神奈川県(231人)
八街市	3,747人	2,764人	983人	344人	千葉市(675人)、佐倉市(273人)、成田市(222人)、四街道市(195人)、東京都(344人)
印西市	4,348人	2,360人	1,988人	743人	白井市(313人)、船橋市(241人)、東京都(743人)、神奈川県(252人)
白井市	2,983人	1,733人	1,250人	477人	印西市(340人)、船橋市(324人)、鎌ヶ谷市(257人)、松戸市(154人)、東京都(477人)、神奈川県(159人)
富里市	3,008人	2,145人	863人	249人	成田市(772人)、八街市(197人)、千葉市(166人)、東京都(249人)
酒々井町	1,303人	923人	380人	138人	成田市(189人)、佐倉市(121人)、千葉市(118人)、富里市(86人)、東京都(138人)
栄町	1,377人	898人	479人	155人	成田市(279人)、印西市(149人)、東京都(155人)
香取市	3,178人	1,702人	1,476人	641人(茨)	成田市(408人)、千葉市(168人)、茨城県(641人)、東京都(329人)
神崎町	275人	189人	86人	35人(茨)	成田市(58人)、香取市(40人)、富里市(15人)、茨城県(35人)、東京都(19人)、神奈川県(16人)
多古町	722人	559人	163人	64人	成田市(131人)、富里市(58人)、匝瑳市(54人)、香取市(47人)、旭市(36人)、東京都(64人)
東庄町	606人	355人	251人	144人(茨)	香取市(97人)、旭市(67人)、銚子市(46人)、成田市(36人)、茨城県(144人)、東京都(40人)
銚子市	3,081人	1,316人	1,765人	816人(茨)	旭市(359人)、千葉市(188人)、茨城県(816人)、東京都(335人)、神奈川県(175人)
旭市	2,488人	1,501人	987人	293人	匝瑳市(240人)、千葉市(177人)、銚子市(146人)、東京都(293人)、茨城県(218人)
匝瑳市	1,612人	1,191人	421人	157人	旭市(284人)、横芝光町(120人)、千葉市(105人)、成田市(104人)、山武市(94人)、東京都(157人)

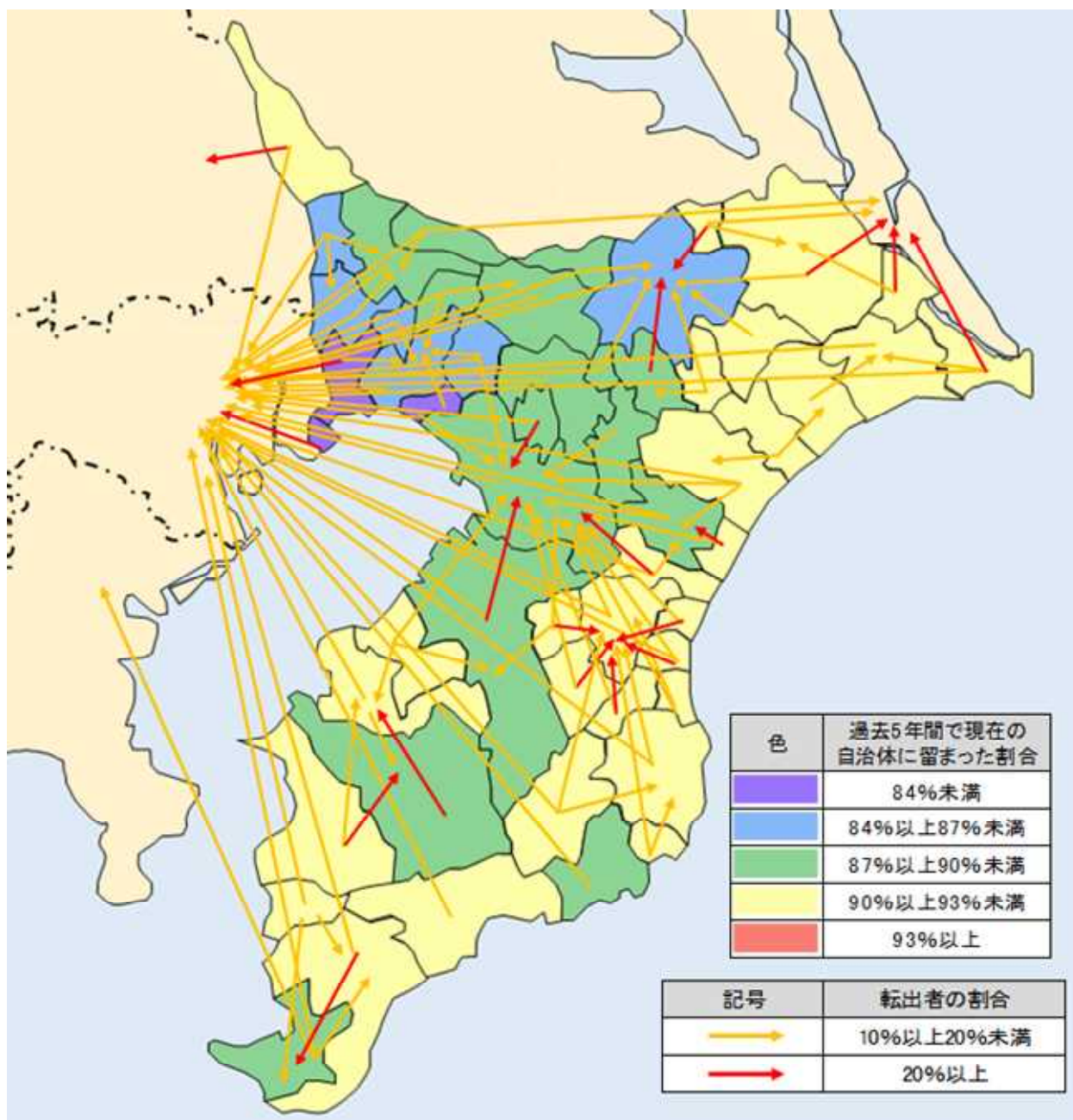
転出元自治体	他自治体への転出数			最も多い都道府県への人数(注)	転出元自治体での転出率が5%以上を占める自治体 (カッコ内は転出元自治体における転出者数)
	県内	県外			
東金市	3,132人	2,169人	963人	326人	千葉市(574人)、大網白里市(274人)、山武市(217人)、東京都(326人)
山武市	2,861人	2,136人	725人	294人	千葉市(358人)、東金市(325人)、八街市(266人)、東京都(294人)
大網白里市	2,307人	1,631人	676人	271人	千葉市(537人)、東金市(229人)、茂原市(185人)、東京都(271人)、神奈川県(121人)
九十九里町	831人	661人	170人	62人	東金市(228人)、千葉市(116人)、山武市(64人)、大網白里市(54人)、東京都(62人)
芝山町	393人	317人	76人	26人	成田市(75人)、富里市(65人)、八街市(24人)、千葉市(21人)、横芝光町(21人)、東京都(26人)
横芝光町	1,020人	816人	204人	68人	山武市(157人)、匝瑳市(134人)、千葉市(80人)、東京都(68人)
茂原市	4,158人	2,873人	1,285人	443人	千葉市(749人)、大網白里市(261人)、長生村(233人)、東京都(443人)、神奈川県(227人)
一宮町	534人	417人	117人	51人	茂原市(98人)、千葉市(66人)、長生村(47人)、いすみ市(42人)、大網白里市(27人)、東京都(51人)
睦沢町	310人	266人	44人	22人	茂原市(92人)、千葉市(36人)、長生村(17人)、一宮町(16人)、東京都(22人)
長生村	680人	502人	178人	71人	茂原市(171人)、千葉市(87人)、東京都(71人)
白子町	632人	502人	130人	46人	茂原市(166人)、千葉市(71人)、大網白里市(64人)、東京都(46人)
長柄町	426人	341人	85人	29人	茂原市(109人)、千葉市(61人)、市原市(58人)、東京都(29人)、神奈川県(22人)
長南町	424人	350人	74人	36人	茂原市(137人)、千葉市(36人)、長柄町(27人)、市原市(22人)、東京都(36人)
勝浦市	1,035人	654人	381人	109人	いすみ市(112人)、千葉市(97人)、茂原市(66人)、鴨川市(55人)、東京都(109人)、神奈川県(69人)
いすみ市	1,709人	1,223人	486人	189人	茂原市(262人)、千葉市(180人)、一宮町(89人)、東京都(189人)、神奈川県(90人)
大多喜町	491人	355人	136人	55人	茂原市(57人)、いすみ市(57人)、市原市(36人)、千葉市(28人)、勝浦市(25人)、東京都(55人)
御宿町	319人	225人	94人	26人	いすみ市(61人)、茂原市(31人)、千葉市(24人)、勝浦市(18人)、東京都(26人)、神奈川県(22人)
館山市	2,423人	1,307人	1,116人	311人	南房総市(415人)、千葉市(173人)、東京都(311人)、神奈川県(259人)
鴨川市	1,786人	977人	809人	241人	館山市(136人)、千葉市(133人)、南房総市(109人)、東京都(241人)、神奈川県(143人)、埼玉県(101人)
南房総市	1,724人	1,153人	571人	220人	館山市(477人)、鴨川市(127人)、千葉市(105人)、東京都(220人)、神奈川県(143人)
鋸南町	355人	258人	97人	37人	館山市(52人)、南房総市(41人)、君津市(29人)、千葉市(24人)、木更津市(23人)、鴨川市(21人)、東京都(37人)、神奈川県(22人)
市原市	11,893人	7,263人	4,630人	1,372人	千葉市(3,508人)、袖ヶ浦市(612人)、東京都(1,372人)、神奈川県(699人)
木更津市	5,352人	3,157人	2,195人	551人	君津市(654人)、袖ヶ浦市(609人)、千葉市(537人)、市原市(358人)、東京都(551人)、神奈川県(412人)
君津市	4,278人	3,138人	1,140人	313人	木更津市(1,410人)、富津市(430人)、千葉市(287人)、袖ヶ浦市(268人)、東京都(313人)
富津市	2,111人	1,594人	517人	173人	君津市(602人)、木更津市(421人)、千葉市(141人)、東京都(173人)、神奈川県(105人)
袖ヶ浦市	2,722人	1,911人	811人	263人	木更津市(563人)、市原市(418人)、千葉市(323人)、君津市(164人)、東京都(263人)、神奈川県(158人)

(注) 1.平成 22 年国勢調査

2.5 年前の常住地「不詳」を除く

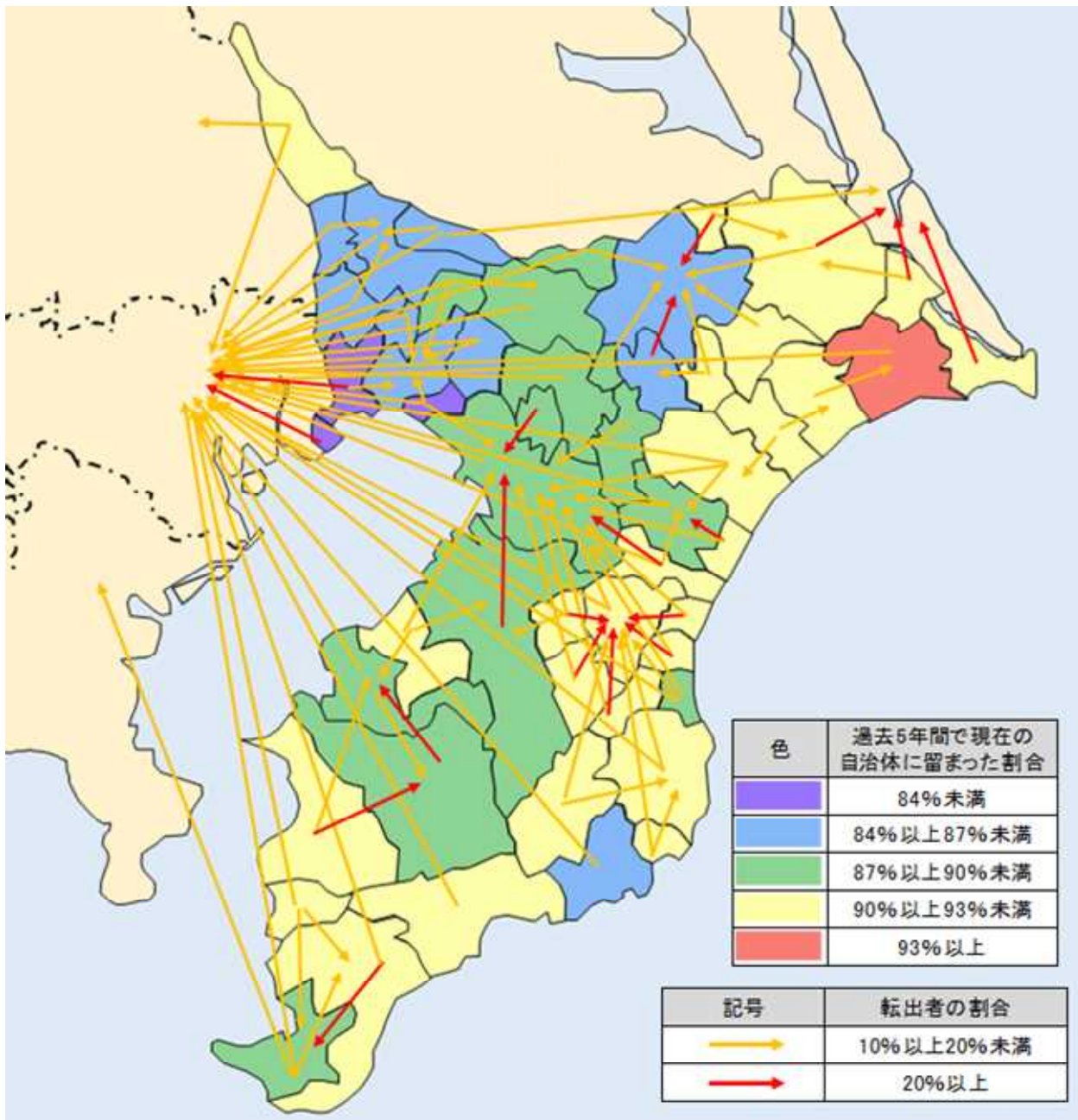
3.最も多い都道府県は、注記がない場合は東京都、(埼)を付した場合は埼玉県、(茨)を付した場合は茨城県

図表 39 転出状況（男女計）



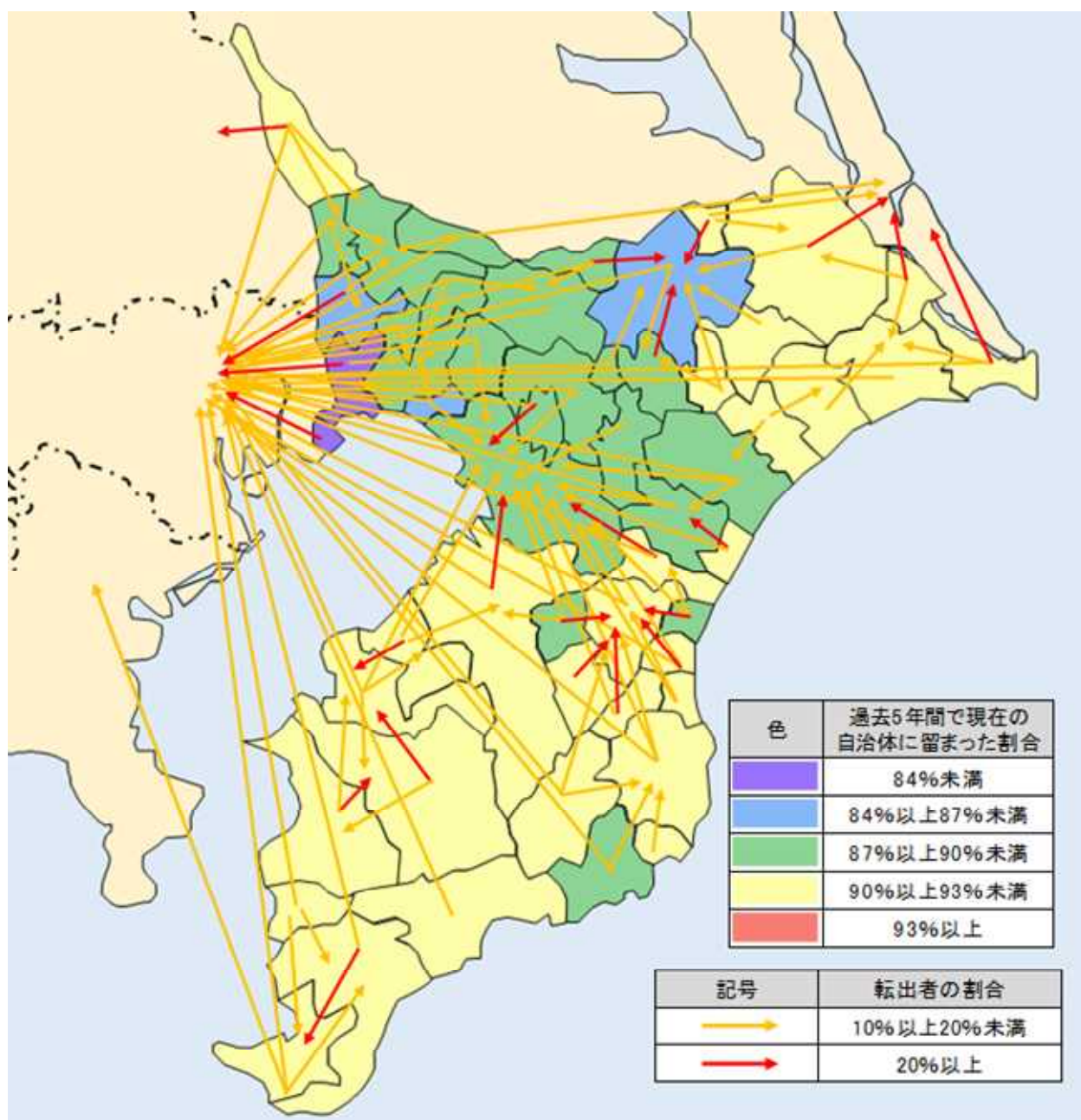
(出所) 平成 22 年国勢調査よりちばぎん総合研究所が作成

図表 40 転出状況（男）



(出所) 平成 22 年国勢調査よりちばぎん総合研究所が作成

図表 41 転出状況（女）



（出所）平成 22 年国勢調査よりちばぎん総合研究所が作成

③純移動数の分析（性別・世代別）

a. 全体

千葉県 の 2005 年から 2010 年における純移動数を整理した（図表 42～48）。年齢階級別にみると、大学進学・就職時期等にあたる 15～19 歳から 20～24 歳（純移動数：15,502 人）、住宅取得時期等にあたる 30～34 歳から 35～39 歳（同：12,516 人）、退職時期等にあたる 55～59 歳から 60～64 歳（同：14,157 人）が大幅な転入超過となっている一方、就職時期にあたる 20～24 歳から 25～29 歳（同：△1,456 人）に転出超過となっている。以下、それぞれの年代について個別に分析する。

図表 42 千葉県の自治体別純移動数（2005 年から 2010 年）

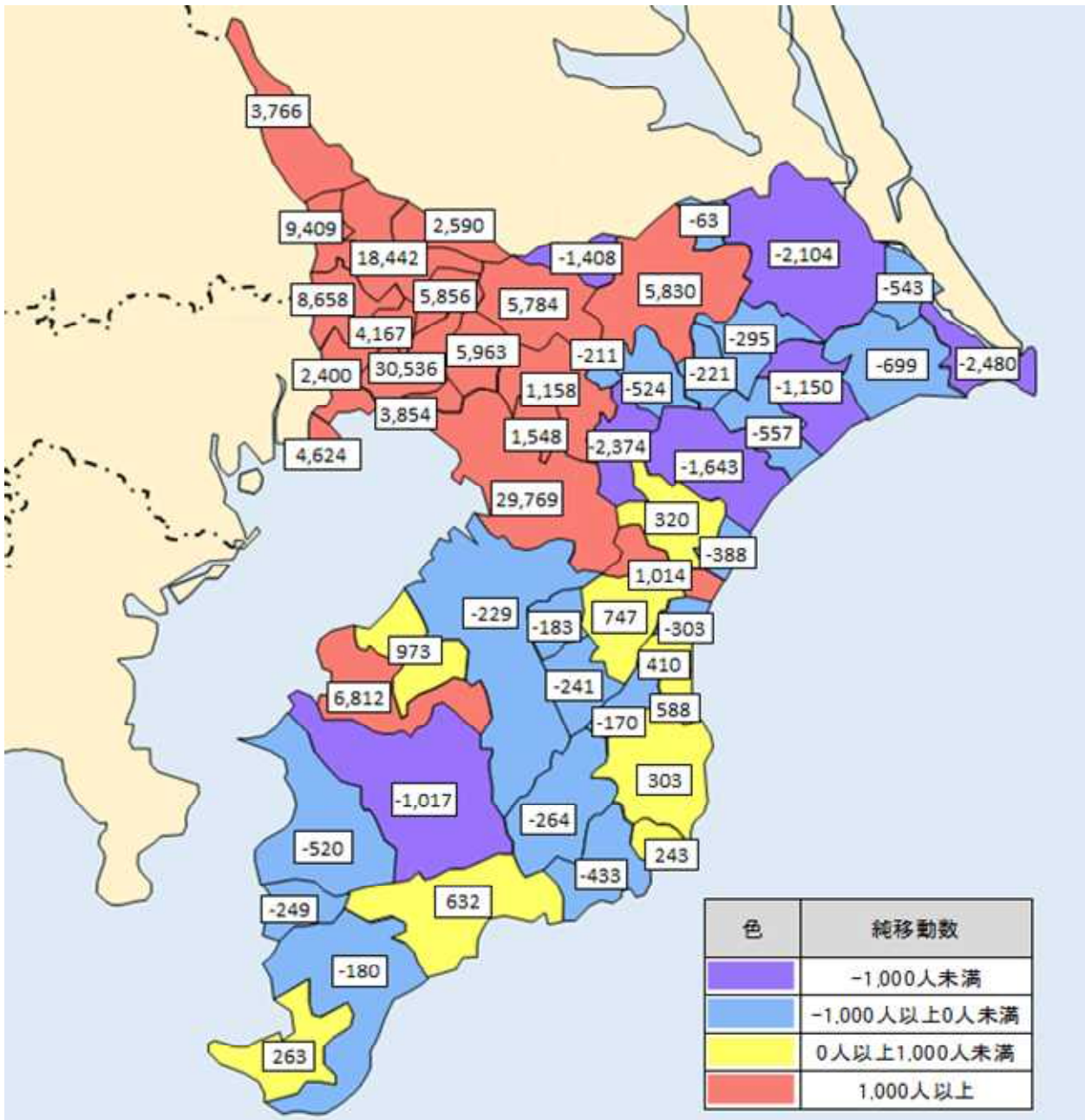
（単位：人）

自治体	合計	性別	
		男性	女性
千葉市	29,769	14,958	14,811
市川市	2,400	-2,132	4,532
船橋市	30,536	14,311	16,225
習志野市	3,854	2,159	1,695
八千代市	5,963	2,820	3,143
浦安市	4,624	611	4,013
松戸市	8,658	2,443	6,215
野田市	3,766	2,081	1,685
柏市	18,442	9,151	9,291
流山市	9,409	5,311	4,098
我孫子市	2,590	967	1,623
鎌ヶ谷市	4,167	2,014	2,153
成田市	5,830	2,924	2,906
佐倉市	1,158	558	600
四街道市	1,548	917	631
八街市	-2,374	-1,208	-1,166
印西市	5,784	2,754	3,030
白井市	5,856	3,067	2,789
富里市	-524	-232	-292
酒々井町	-211	-6	-205
栄町	-1,408	-622	-786
香取市	-2,104	-991	-1,113
神崎町	-63	-24	-39
多古町	-295	-137	-158
東庄町	-543	-258	-285
銚子市	-2,480	-754	-1,726
旭市	-699	-153	-546
匝瑳市	-1,150	-509	-641
東金市	320	-124	444
山武市	-1,643	-758	-885
大網白里市	1,014	662	352
九十九里町	-388	-238	-150
芝山町	-221	-134	-87
横芝光町	-557	-251	-306
茂原市	747	760	-13
一宮町	588	316	272
睦沢町	-170	-135	-35
長生村	410	181	229
白子町	-303	-126	-177
長柄町	-183	-105	-78
長南町	-241	-108	-133
勝浦市	-433	-296	-137
いすみ市	303	155	148
大多喜町	-264	-96	-168
御宿町	243	117	126
館山市	263	120	143
鴨川市	632	362	270
南房総市	-180	-82	-98
鋸南町	-249	-97	-152
市原市	-229	264	-493
木更津市	6,812	4,278	2,534
君津市	-1,017	4	-1,021
富津市	-520	139	-659
袖ヶ浦市	973	712	261
県計	138,210	65,540	72,670

（注）1.出所：内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定）に基づきちばぎん総合研究所が作成

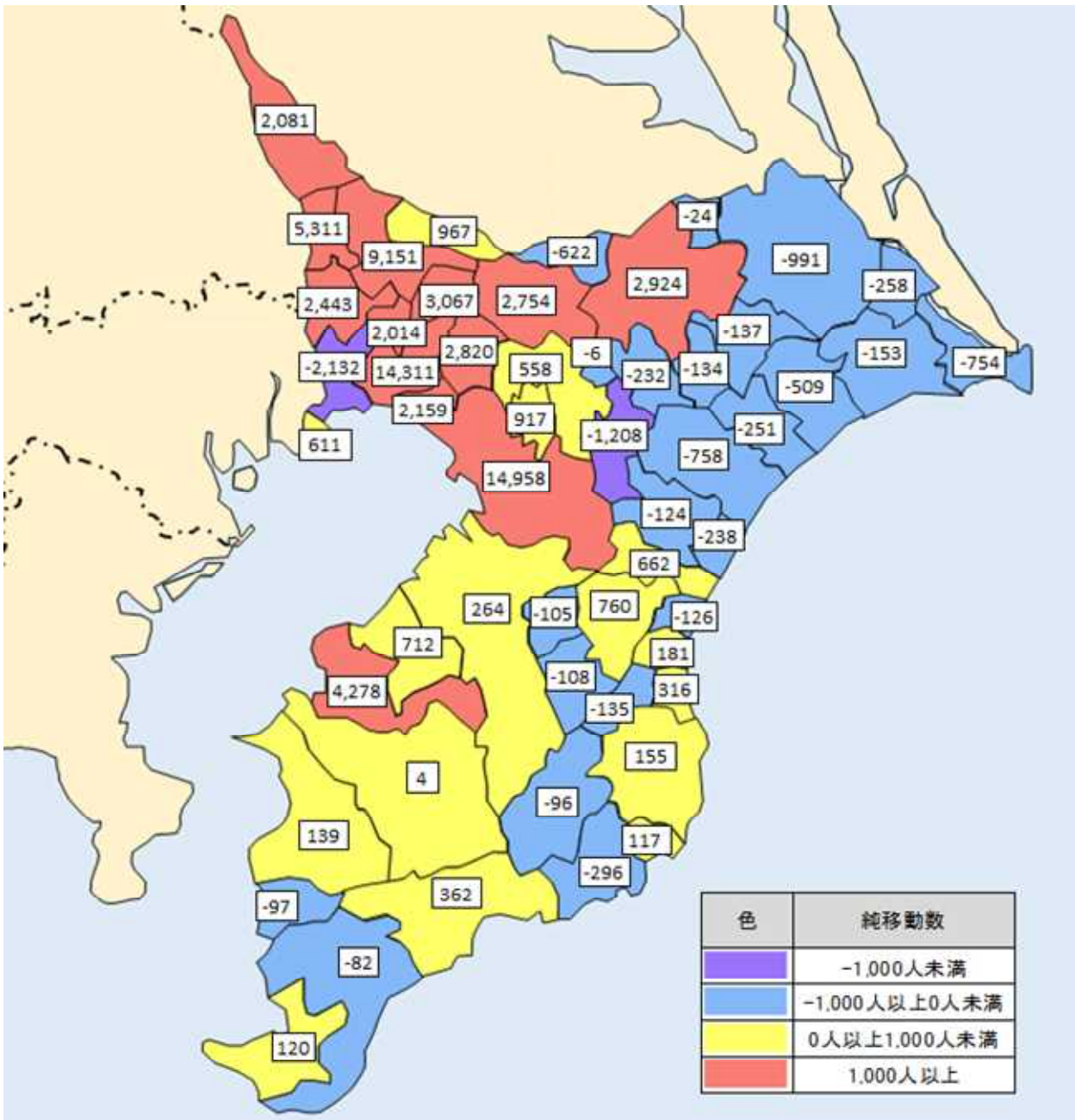
2.男女別「不詳」を除く

図表 43 全年齢の純移動数（男女計）



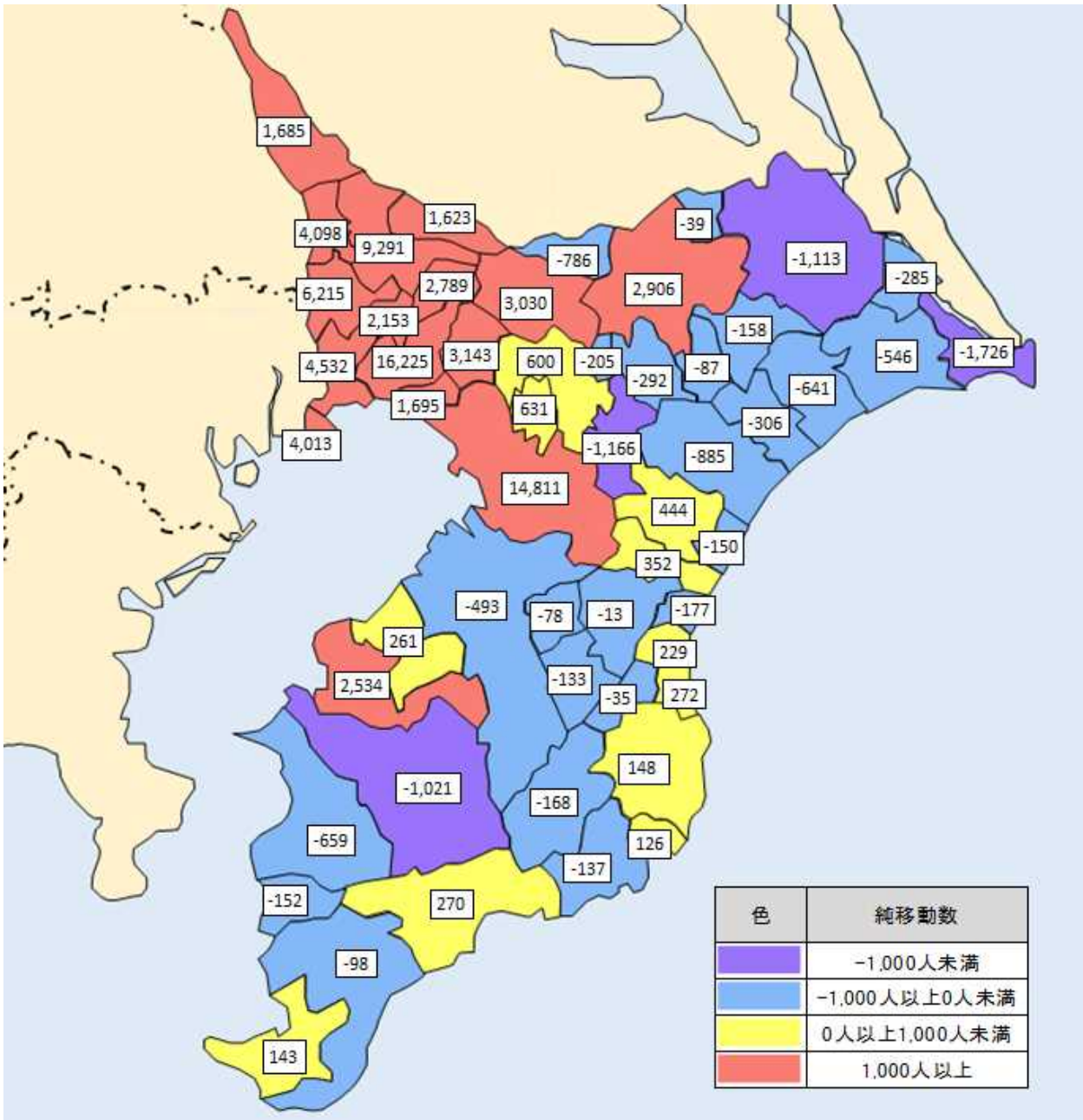
(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 44 全年齢の純移動数（男）



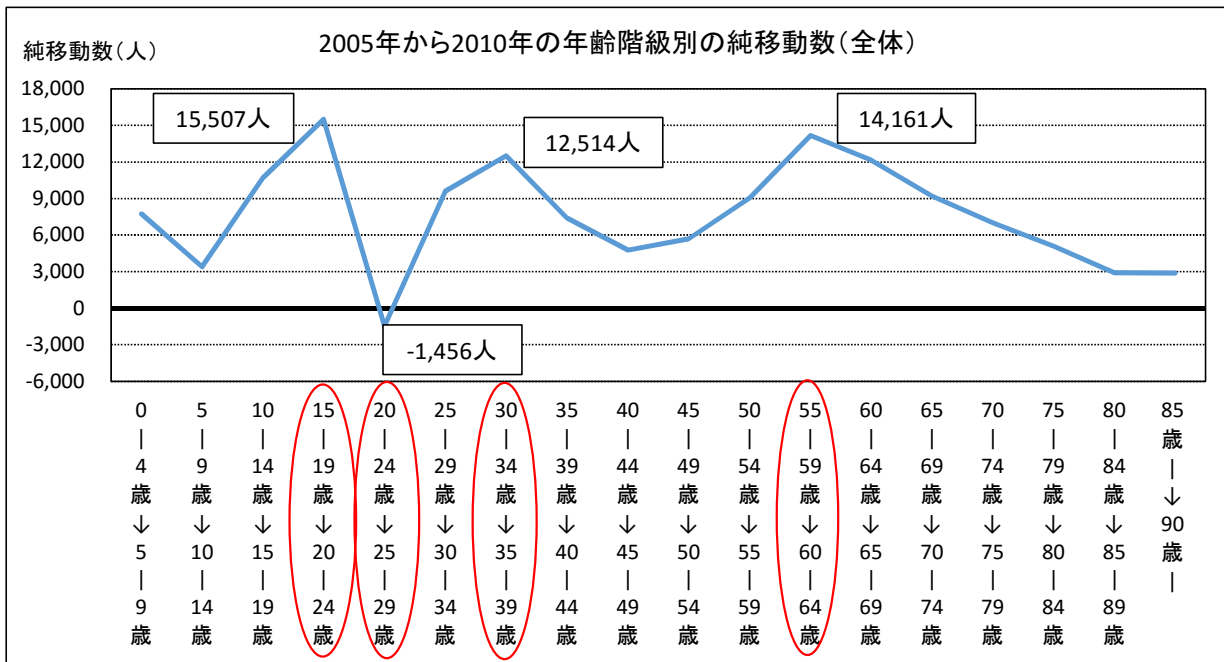
(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 45 全年齢の純移動数（女）

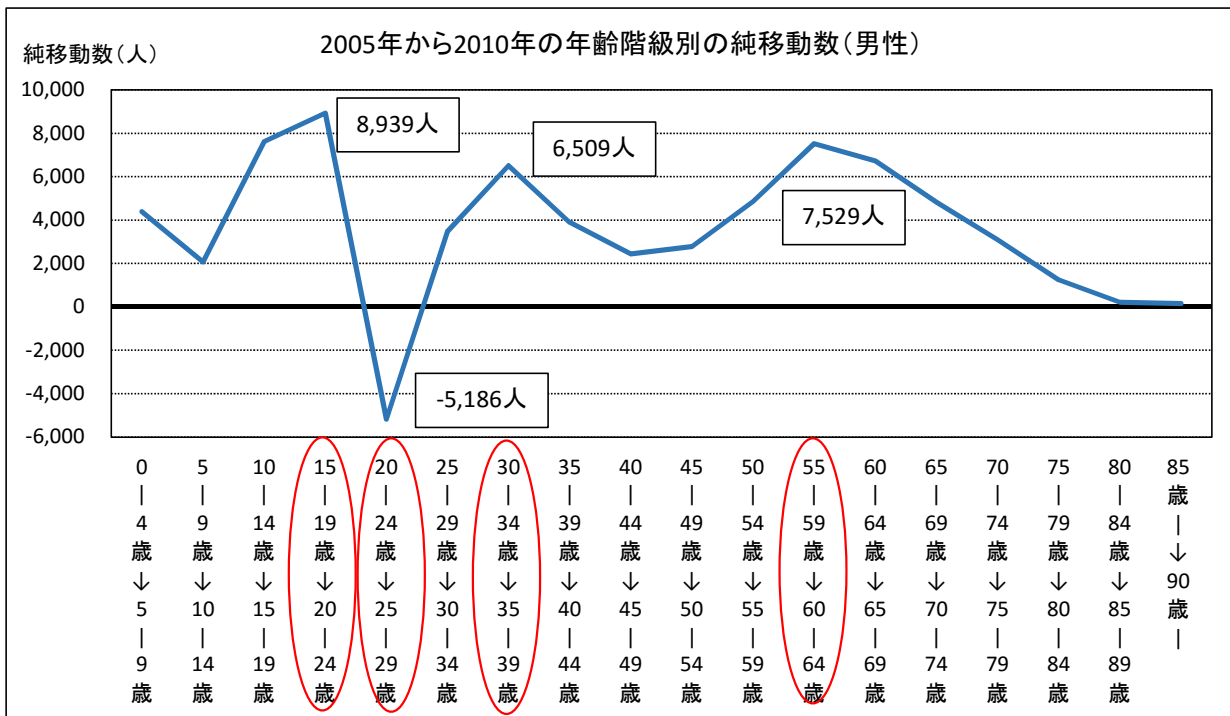


(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

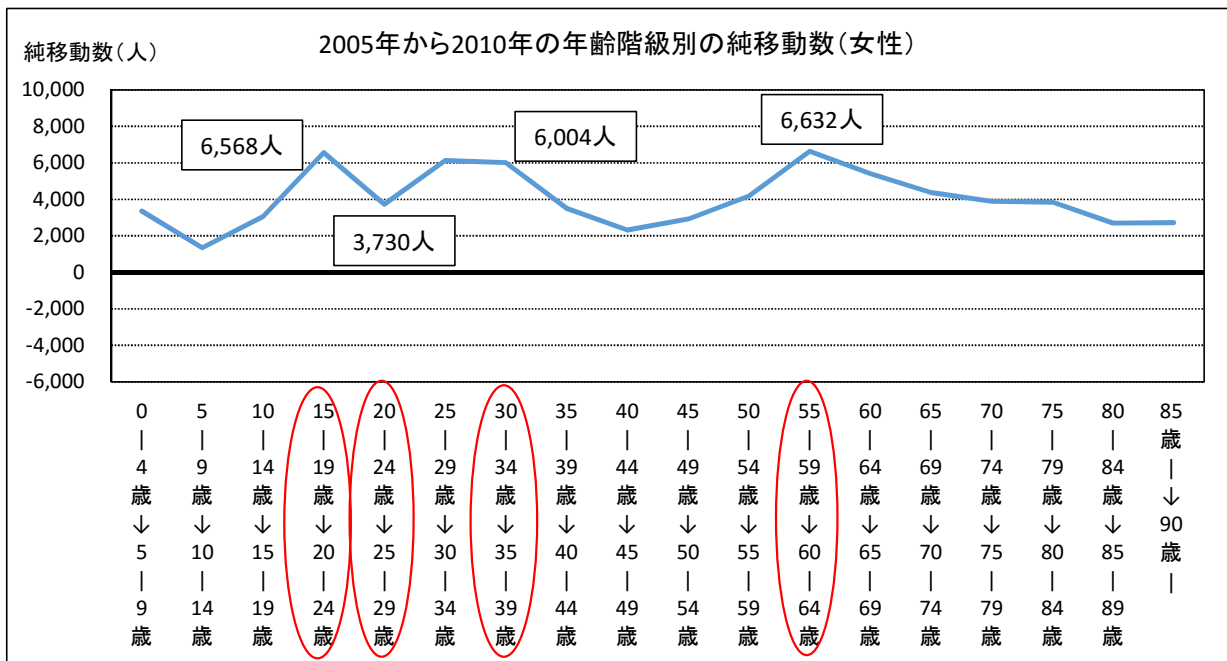
図表 46 千葉県の年齢階級別の純移動数（2005年から2010年）（全体）



図表 47 千葉県の年齢階級別の純移動数（2005年から2010年）（男性）



図表 48 千葉県の年齢階級別の純移動数（2005年から2010年）（女性）



(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 49 県内各自治体の転入元上位自治体（参考）

	1位	2位	3位
千葉市	市原市 (6,824人)	船橋市 (5,813人)	市川市 (4,007人)
銚子市	茨城県神栖市 (425人)	旭市 (254人)	千葉市 (145人)
市川市	船橋市 (4,213人)	東京都江戸川区 (3,887人)	千葉市 (2,911人)
船橋市	市川市 (8,650人)	千葉市 (6,453人)	習志野市 (4,400人)
館山市	南房総市 (871人)	千葉市 (301人)	神奈川県横浜市 (293人)
木更津市	君津市 (2,902人)	袖ヶ浦市 (1,118人)	市原市 (901人)
松戸市	市川市 (3,758人)	柏市 (3,354人)	東京都葛飾区 (2,222人)
野田市	柏市 (1,315人)	流山市 (1,252人)	埼玉県春日部市 (1,100人)
茂原市	千葉市 (728人)	いすみ市 (531人)	大網白里市 (355人)
成田市	富里市 (1,578人)	千葉市 (910人)	香取市 (761人)
佐倉市	八千代市 (2,191人)	千葉市 (1,905人)	船橋市 (966人)
東金市	千葉市 (715人)	山武市 (630人)	大網白里市 (444人)
旭市	銚子市 (644人)	匝瑳市 (529人)	香取市 (228人)
習志野市	船橋市 (3,897人)	千葉市 (3,490人)	市川市 (1,106人)
柏市	松戸市 (7,140人)	流山市 (3,696人)	我孫子市 (2,217人)
勝浦市	千葉市 (134人)	神奈川県横浜市 (112人)	いすみ市 (102人)
市原市	千葉市 (4,391人)	袖ヶ浦市 (846人)	木更津市 (739人)
流山市	柏市 (3,698人)	松戸市 (3,045人)	野田市 (1,091人)
八千代市	船橋市 (2,827人)	千葉市 (2,809人)	佐倉市 (1,598人)
我孫子市	柏市 (2,417人)	松戸市 (1,022人)	茨城県取手市 (533人)
鴨川市	南房総市 (215人)	千葉市 (179人)	館山市 (157人)
鎌ヶ谷市	船橋市 (2,566人)	松戸市 (1,901人)	市川市 (1,126人)
君津市	木更津市 (1,316人)	富津市 (1,186人)	市原市 (350人)
富津市	君津市 (869人)	木更津市 (449人)	神奈川県横浜市 (134人)
浦安市	市川市 (2,463人)	東京都江戸川区 (1,271人)	千葉市 (1,258人)
四街道市	千葉市 (3,426人)	佐倉市 (783人)	八街市 (364人)
袖ヶ浦市	市原市 (1,346人)	木更津市 (1,137人)	君津市 (546人)

	1位	2位	3位
八街市	千葉市 (969人)	山武市 (501人)	佐倉市 (405人)
印西市	船橋市 (1,144人)	八千代市 (867人)	千葉市 (652人)
白井市	船橋市 (1,633人)	鎌ヶ谷市 (1,172人)	松戸市 (991人)
富里市	成田市 (1,622人)	八街市 (353人)	佐倉市 (264人)
南房総市	館山市 (726人)	鴨川市 (179人)	千葉市 (167人)
匝瑳市	旭市 (433人)	横芝光町 (206人)	山武市 (137人)
香取市	成田市 (386人)	茨城県神栖市 (229人)	千葉市 (200人)
山武市	東金市 (401人)	千葉市 (328人)	八街市 (323人)
いすみ市	茂原市 (235人)	千葉市 (186人)	勝浦市 (180人)
大網白里市	千葉市 (866人)	東金市 (518人)	茂原市 (502人)
酒々井町	成田市 (376人)	佐倉市 (306人)	富里市 (195人)
栄町	成田市 (339人)	印西市 (167人)	千葉市 (60人)
神崎町	香取市 (122人)	成田市 (91人)	茨城県稲敷市 (27人)
多古町	成田市 (156人)	匝瑳市 (77人)	香取市 (67人)
東庄町	銚子市 (144人)	香取市 (117人)	茨城県神栖市 (80人)
九十九里町	東金市 (224人)	千葉市 (85人)	大網白里市 (83人)
芝山町	成田市 (138人)	富里市 (85人)	山武市 (61人)
横芝光町	匝瑳市 (235人)	山武市 (199人)	旭市 (106人)
一宮町	茂原市 (172人)	いすみ市 (161人)	千葉市 (116人)
睦沢町	茂原市 (118人)	いすみ市 (36人)	一宮町 (31人)
長生村	茂原市 (424人)	いすみ市 (121人)	一宮町 (97人)
白子町	茂原市 (196人)	千葉市 (115人)	大網白里市 (61人)
長柄町	茂原市 (116人)	千葉市 (105人)	市原市 (95人)
長南町	茂原市 (144人)	千葉市 (50人)	市原市 (46人)
大多喜町	いすみ市 (117人)	市原市 (82人)	茂原市 (68人)
御宿町	いすみ市 (66人)	神奈川県横浜市 (50人)	千葉市、勝浦市 (49人)
鋸南町	館山市 (52人)	南房総市 (42人)	東京都葛飾区 (38人)

(出所) 平成 22 年国勢調査

図表 50 県内各自治体の転出先上位自治体（参考）

	1位	2位	3位
千葉市	船橋市 (6,453人)	市原市 (4,391人)	習志野市 (3,490人)
銚子市	茨城県神栖市 (1,332人)	旭市 (644人)	千葉市 (335人)
市川市	船橋市 (8,650人)	千葉市 (4,007人)	松戸市 (3,758人)
船橋市	千葉市 (5,813人)	市川市 (4,213人)	習志野市 (3,897人)
館山市	南房総市 (726人)	千葉市 (333人)	木更津市 (181人)
木更津市	君津市 (1,316人)	袖ヶ浦市 (1,137人)	千葉市 (1,018人)
松戸市	柏市 (7,140人)	流山市 (3,045人)	船橋市 (2,056人)
野田市	柏市 (1,239人)	流山市 (1,091人)	埼玉県春日部市 (623人)
茂原市	千葉市 (1,411人)	大網白里市 (502人)	長生村 (424人)
成田市	富里市 (1,622人)	千葉市 (968人)	佐倉市 (593人)
佐倉市	千葉市 (1,729人)	八千代市 (1,598人)	船橋市 (943人)
東金市	千葉市 (1,122人)	大網白里市 (518人)	山武市 (401人)
旭市	匝瑳市 (433人)	千葉市 (323人)	銚子市 (254人)
習志野市	船橋市 (4,400人)	千葉市 (3,633人)	八千代市 (1,177人)
柏市	流山市 (3,698人)	松戸市 (3,354人)	我孫子市 (2,417人)
勝浦市	千葉市 (190人)	いすみ市 (180人)	茂原市 (140人)
市原市	千葉市 (6,824人)	袖ヶ浦市 (1,346人)	木更津市 (901人)
流山市	柏市 (3,696人)	松戸市 (2,014人)	野田市 (1,252人)
八千代市	千葉市 (2,417人)	船橋市 (2,391人)	佐倉市 (2,191人)
我孫子市	柏市 (2,217人)	松戸市 (699人)	茨城県取手市 (556人)
鴨川市	館山市 (232人)	千葉市 (228人)	南房総市 (179人)
鎌ヶ谷市	船橋市 (2,276人)	白井市 (1,172人)	松戸市 (1,131人)
君津市	木更津市 (2,902人)	富津市 (869人)	千葉市 (568人)
富津市	君津市 (1,186人)	木更津市 (809人)	千葉市 (244人)
浦安市	市川市 (2,300人)	千葉市 (1,757人)	船橋市 (1,527人)
四街道市	千葉市 (2,290人)	佐倉市 (579人)	船橋市 (361人)
袖ヶ浦市	木更津市 (1,118人)	市原市 (846人)	千葉市 (614人)

	1位	2位	3位
八街市	千葉市 (1,275人)	佐倉市 (519人)	成田市 (399人)
印西市	白井市 (568人)	船橋市 (442人)	千葉市 (352人)
白井市	印西市 (640人)	船橋市 (618人)	鎌ヶ谷市 (494人)
富里市	成田市 (1,578人)	八街市 (401人)	千葉市 (315人)
南房総市	館山市 (871人)	鴨川市 (215人)	千葉市 (212人)
匝瑳市	旭市 (529人)	横芝光町 (235人)	千葉市 (178人)
香取市	成田市 (761人)	茨城県神栖市 (502人)	千葉市 (316人)
山武市	千葉市 (667人)	東金市 (630人)	八街市 (501人)
いすみ市	茂原市 (531人)	千葉市 (328人)	一宮町 (161人)
大網白里市	千葉市 (952人)	東金市 (444人)	茂原市 (355人)
酒々井町	成田市 (365人)	佐倉市 (243人)	千葉市 (197人)
栄町	成田市 (518人)	印西市 (261人)	千葉市 (114人)
神崎町	成田市 (114人)	香取市 (64人)	富里市 (25人)
多古町	成田市 (262人)	富里市 (109人)	匝瑳市 (91人)
東庄町	茨城県神栖市 (201人)	香取市 (185人)	旭市 (113人)
九十九里町	東金市 (428人)	千葉市 (198人)	山武市 (116人)
芝山町	成田市 (147人)	富里市 (128人)	八街市 (44人)
横芝光町	山武市 (281人)	匝瑳市 (206人)	千葉市 (135人)
一宮町	茂原市 (202人)	千葉市 (117人)	長生村 (97人)
睦沢町	茂原市 (177人)	千葉市 (67人)	一宮町 (37人)
長生村	茂原市 (350人)	千葉市 (174人)	いすみ市 (39人)
白子町	茂原市 (301人)	千葉市 (124人)	大網白里市 (104人)
長柄町	茂原市 (205人)	千葉市 (110人)	市原市 (94人)
長南町	茂原市 (254人)	千葉市 (75人)	市原市 (42人)
大多喜町	茂原市 (132人)	いすみ市 (93人)	市原市 (75人)
御宿町	いすみ市 (101人)	茂原市 (59人)	千葉市 (42人)
鋸南町	館山市 (85人)	南房総市 (69人)	君津市 (65人)

(出所) 平成 22 年国勢調査

b. 15～19 歳から 20～24 歳にかけての純移動数

千葉県は 15～19 歳から 20～24 歳にかけての純移動数をみると、15,502 人（男性 8,940 人、女性 6,562 人）の転入超過となっている。千葉県が平成 28 年 3 月・9 月に実施した転入・転出者アンケートによれば、県内への転入理由として、10 代で最も多い理由が「学校の都合（進学等）」（47.4%）、2 番目に多い理由が「仕事の都合（就職、転勤等）」（44.0%）、20 代で最も多い理由が「仕事の都合（就職、転勤等）」（67.3%）、2 番目に多い理由が「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（15.7%）となる一方、転出理由では、10 代で最も多い理由が「仕事の都合（就職、転勤等）」（67.6%）、2 番目に多い理由が「学校の都合（進学等）」（27.1%）、20 代で最も多い理由が「仕事の都合（就職、転勤等）」（67.4%）、2 番目が家庭の都合「（結婚、親族との同居、介護等）」（17.9%）となっており、進学や就職及び結婚など人生の慶事を契機に移動が生じている様子が窺われる。

15～19 歳から 20～24 歳の転入超過数が大きい地域をみると、船橋市 6,010 人（男性 3,250 人、女性 2,760 人）、市川市 4,759 人（男性 2,555 人、女性 2,204 人）、千葉市 3,907 人（男性 2,016 人、女性 1,891 人）、浦安市 3,655 人（男性 1,526 人、女性 2,129 人）など、都心への通勤利便性が高い地域や、千葉市のように大学や専修学校等が多く立地する（図表 25）地域が中心となっている。また、成田空港が立地する成田市及び空港関連就業者のベッドタウンとして機能している富里市、酒々井町、国際武道大学（在学生数 1,898 人、平成 28 年 5 月 1 日現在）が立地している勝浦市では、男性を中心に転入超過となっている。

ただし、県内全域でみると、転入超過の地域が 16 自治体、転出超過の地域が 38 自治体と転出超過の地域が多く、県の東部や南部で、進学や就職等を契機に幅広い地域で転出超過となっている様子が窺われる（図表 51～54）。香取市、八街市、木更津市など 1,000 人超の転出超過となっている自治体の転出先（図表 50）をみると、近隣で雇用の受け皿がある成田市や君津市、大学が複数立地している千葉市などがみられることから、就職や大学への進学に伴い転居した可能性が高い。

図表 51 15～19 歳から 20～24 歳にかけての純移動数

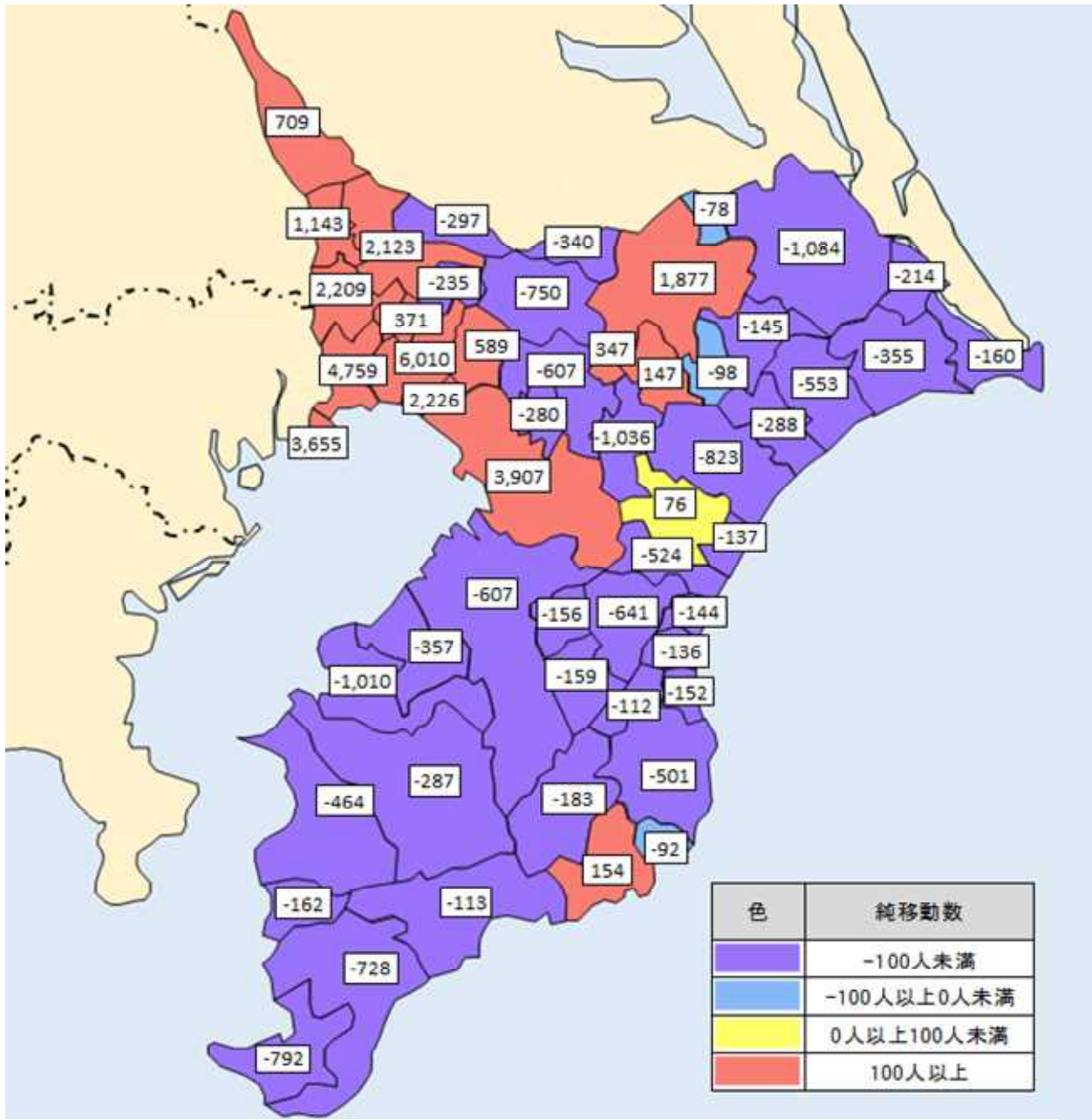
(単位:人)

自治体	合計		
	男性	女性	
千葉市	3,907	2,016	1,891
市川市	4,759	2,555	2,204
船橋市	6,010	3,250	2,760
習志野市	2,226	1,597	629
八千代市	589	143	446
浦安市	3,655	1,526	2,129
松戸市	2,209	1,195	1,014
野田市	709	800	-91
柏市	2,123	1,201	922
流山市	1,143	894	249
我孫子市	-297	-207	-90
鎌ヶ谷市	371	124	247
成田市	1,877	994	883
佐倉市	-607	-518	-89
四街道市	-280	-235	-45
八街市	-1,036	-562	-474
印西市	-750	-413	-337
白井市	-235	-157	-78
富里市	147	170	-23
酒々井町	347	236	111
栄町	-340	-176	-164
香取市	-1,084	-549	-535
神崎町	-78	-42	-36
多古町	-145	-66	-79
東庄町	-214	-95	-119
銚子市	-160	29	-189
旭市	-355	-232	-123
匝瑳市	-553	-280	-273

自治体	合計		
	男性	女性	
東金市	76	-31	107
山武市	-823	-433	-390
大網白里市	-524	-318	-206
九十九里町	-137	-110	-27
芝山町	-98	-61	-37
横芝光町	-288	-136	-152
茂原市	-641	-341	-300
一宮町	-152	-84	-68
睦沢町	-112	-68	-44
長生村	-136	-72	-64
白子町	-144	-66	-78
長柄町	-156	-101	-55
長南町	-159	-59	-100
勝浦市	154	187	-33
いすみ市	-501	-251	-250
大多喜町	-183	-85	-98
御宿町	-92	-55	-37
館山市	-792	-442	-350
鴨川市	-113	-176	63
南房総市	-728	-428	-300
鋸南町	-162	-95	-67
市原市	-607	-61	-546
木更津市	-1,010	-696	-314
君津市	-287	64	-351
富津市	-464	-137	-327
袖ヶ浦市	-357	-203	-154
県計	15,502	8,940	6,562

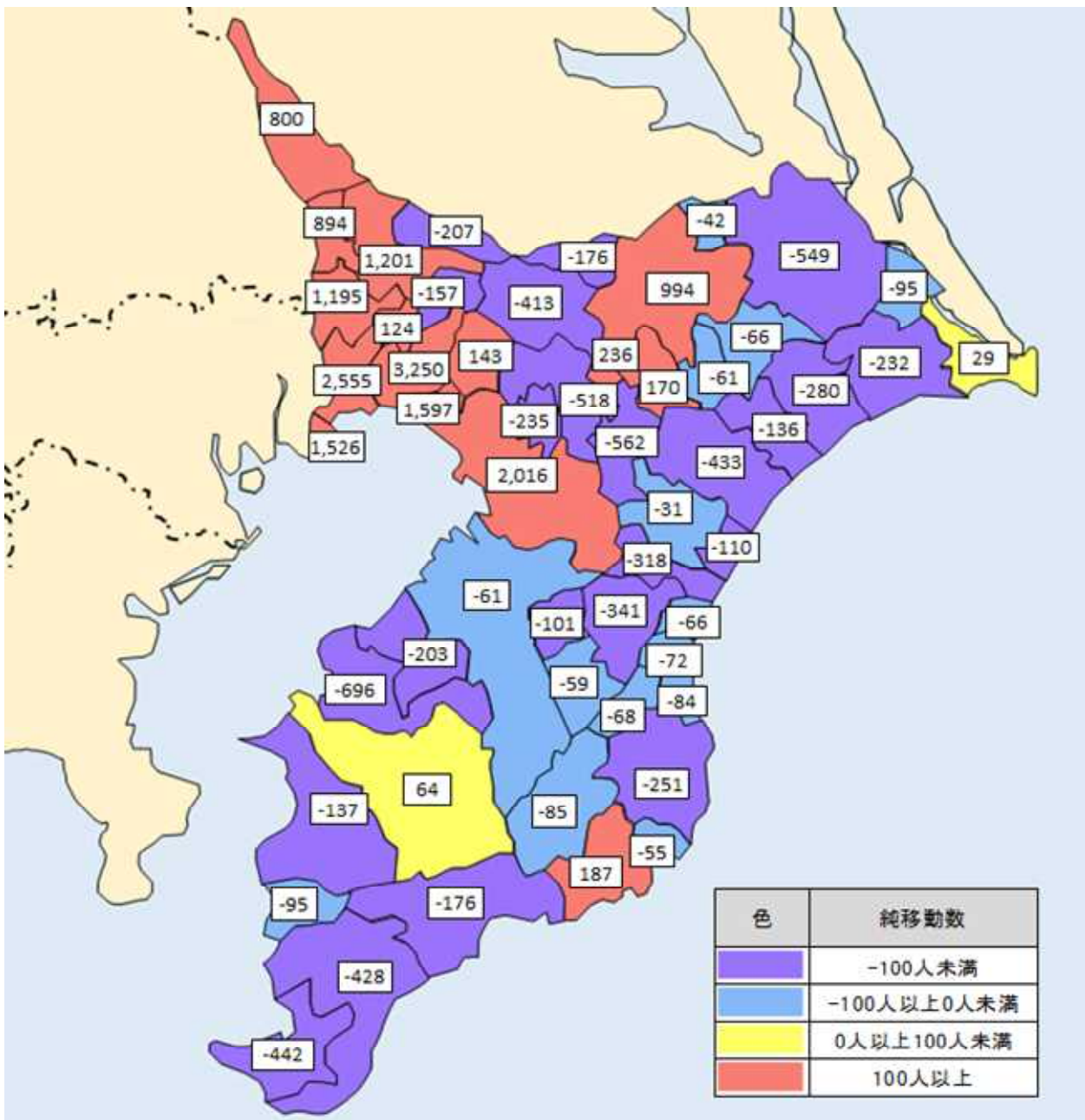
(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 52 15～19 歳から 20～24 歳にかけての純移動数（男女計）



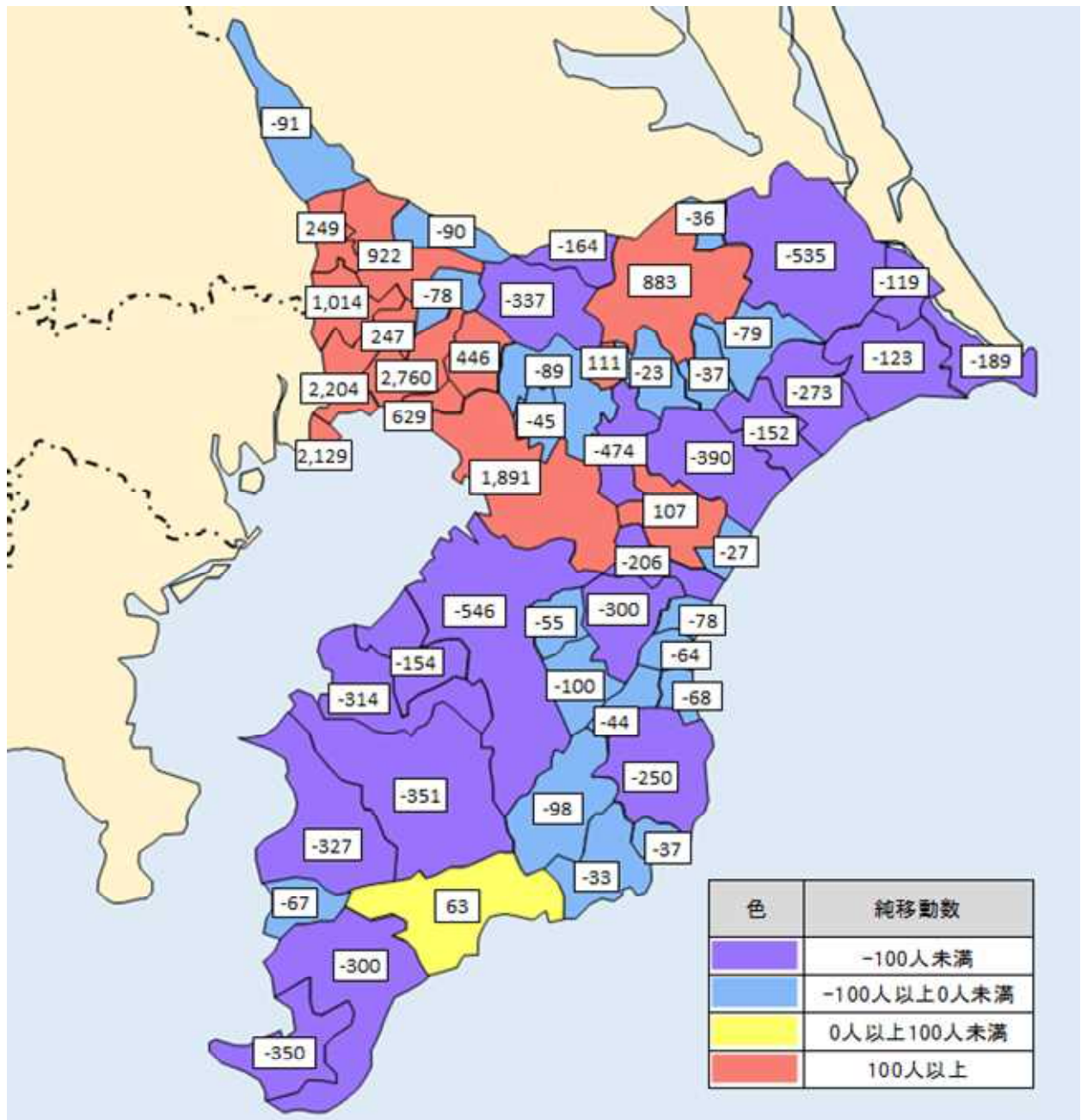
(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 53 15～19 歳から 20～24 歳にかけての純移動数（男）



(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 54 15～19 歳から 20～24 歳にかけての純移動数（女）



(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

c. 20～24 歳から 25～29 歳にかけての純移動数

千葉県は 20～24 歳から 25～29 歳にかけての純移動数をみると、 $\Delta 1,456$ 人（男性 $\Delta 5,184$ 人、女性 3,728 人）の転出超過となっている。千葉県が平成 28 年 3 月・9 月に実施した転入・転出者アンケートによれば、20 代では「仕事の都合（就職、転勤等）」が転入理由（67.3%）、転出理由（67.4%）とも最も高い割合を占めており、当年代では就職を契機に移動が生じている様子が窺われる。

20～24 歳から 25～29 歳の転入超過数が大きい地域をみると、船橋市 4,900 人（男性 1,394 人、女性 3,506 人）、浦安市 2,059 人（男性 983 人、女性 1,076 人）、市川市 1,911 人（男性 489 人、女性 1,422 人）、柏市 1,425 人（男性 525 人、女性 900 人）、成田市 1,220 人（男性 766 人、女性 454 人）など、都心への通勤利便性が高い東葛・葛南地域や、成田国際空港という雇用の受け皿を有する成田市などがあげられる。また、木更津市 851 人（男性 475 人、女性 376 人）や館山市 389 人（男性 206 人、女性 183 人）など、東京湾アクアラインの結節点や、観光業など地元産業面の中核となっている地域の転入超過数も大きくなっている。

一方、政令指定都市である千葉市では $\Delta 4,059$ 人（男性 $\Delta 3,402$ 人、女性 $\Delta 657$ 人）と転出超過が目立っており、県内全域でも 54 自治体中、男性では 35 自治体、女性では 36 自治体と、幅広い地域で転出超過となっている。就職を契機に、産業が集積する都内への転出を主に移動が生じているものと推察される（図表 55～58）。

図表 55 20～24 歳から 25～29 歳にかけての純移動数

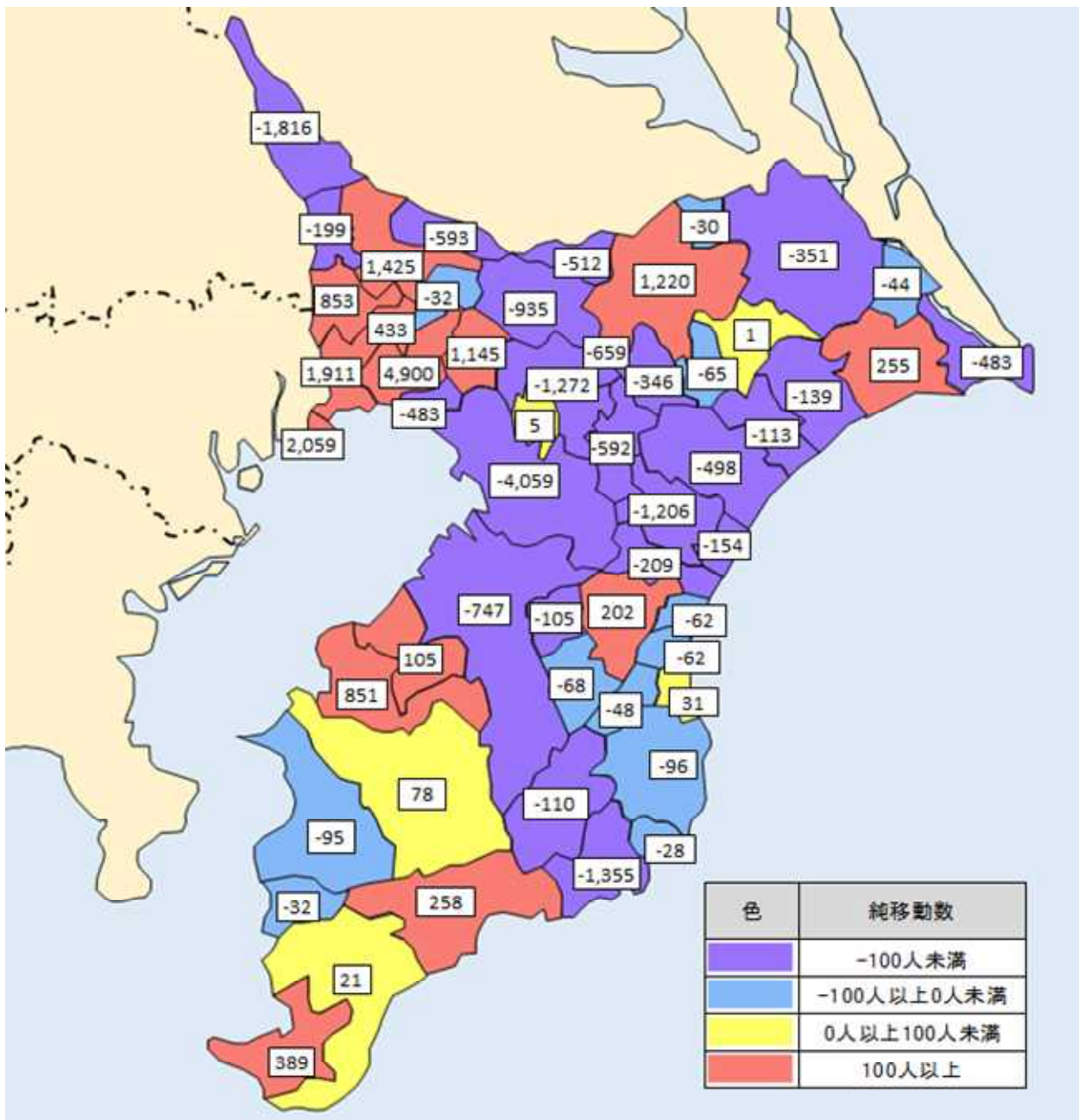
(単位:人)

自治体	合計	性別	
		男性	女性
千葉市	-4,059	-3,402	-657
市川市	1,911	489	1,422
船橋市	4,900	1,394	3,506
習志野市	-483	-828	345
八千代市	1,145	303	842
浦安市	2,059	983	1,076
松戸市	853	414	439
野田市	-1,816	-1,306	-510
柏市	1,425	525	900
流山市	-199	-406	207
我孫子市	-593	-409	-184
鎌ヶ谷市	433	170	263
成田市	1,220	766	454
佐倉市	-1,272	-592	-680
四街道市	5	-24	29
八街市	-592	-295	-297
印西市	-935	-565	-370
白井市	-32	-104	72
富里市	-346	-254	-92
酒々井町	-659	-408	-251
栄町	-512	-236	-276
香取市	-351	-138	-213
神崎町	-30	-12	-18
多古町	1	10	-9
東庄町	-44	4	-48
銚子市	-483	-195	-288
旭市	255	291	-36
匝瑳市	-139	-23	-116

自治体	合計	性別	
		男性	女性
東金市	-1,206	-796	-410
山武市	-498	-214	-284
大網白里市	-209	-67	-142
九十九里町	-154	-66	-88
芝山町	-65	-30	-35
横芝光町	-113	-58	-55
茂原市	202	186	16
一宮町	31	-6	37
睦沢町	-48	-35	-13
長生村	-62	-22	-40
白子町	-62	-29	-33
長柄町	-105	-58	-47
長南町	-68	-35	-33
勝浦市	-1,355	-1,107	-248
いすみ市	-96	-60	-36
大多喜町	-110	-25	-85
御宿町	-28	-9	-19
館山市	389	206	183
鴨川市	258	175	83
南房総市	21	62	-41
鋸南町	-32	-5	-27
市原市	-747	-171	-576
木更津市	851	475	376
君津市	78	172	-94
富津市	-95	80	-175
袖ヶ浦市	105	101	4
県計	-1,456	-5,184	3,728

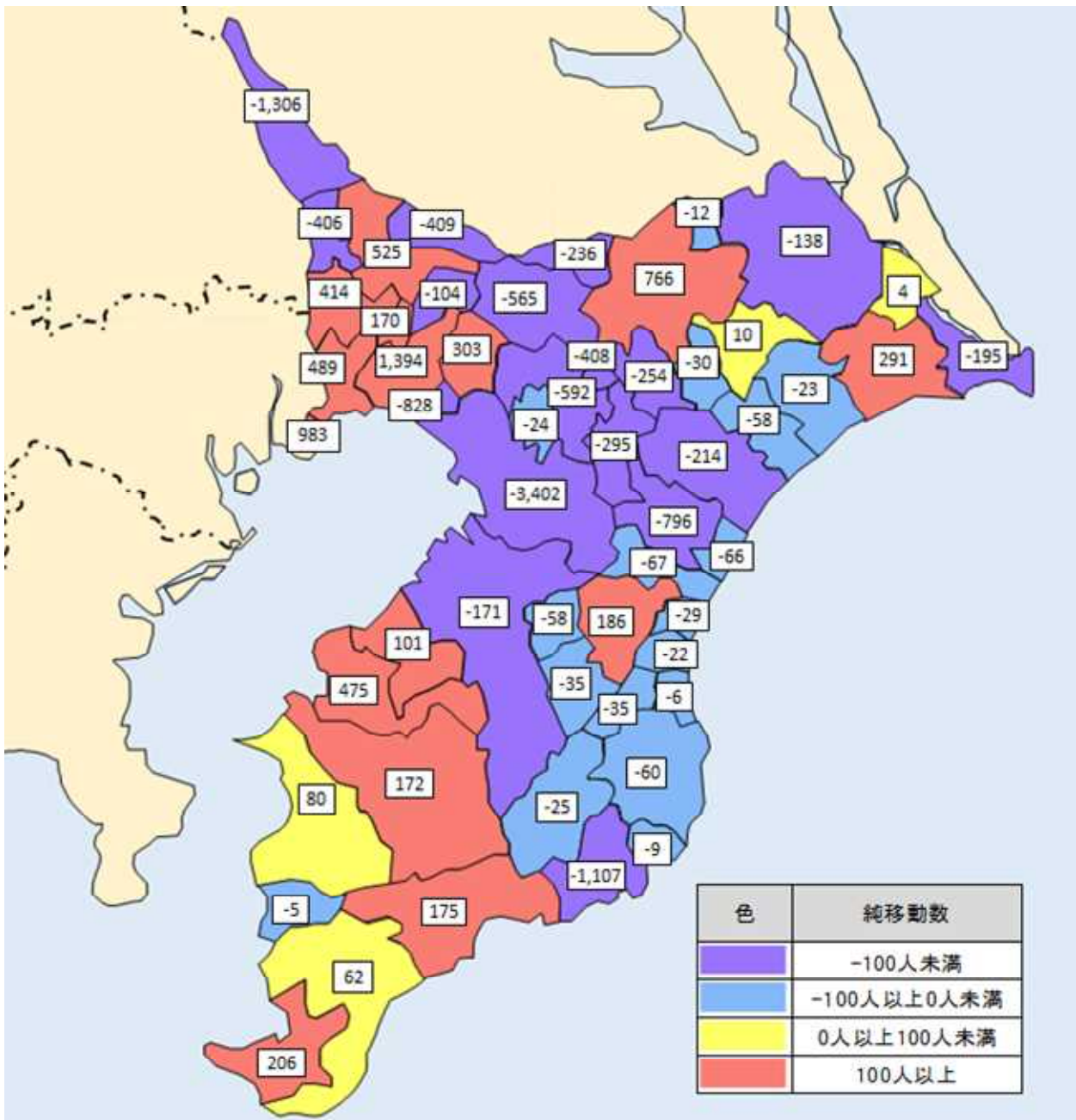
(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 56 20～24 歳から 25～29 歳にかけての純移動数（男女計）



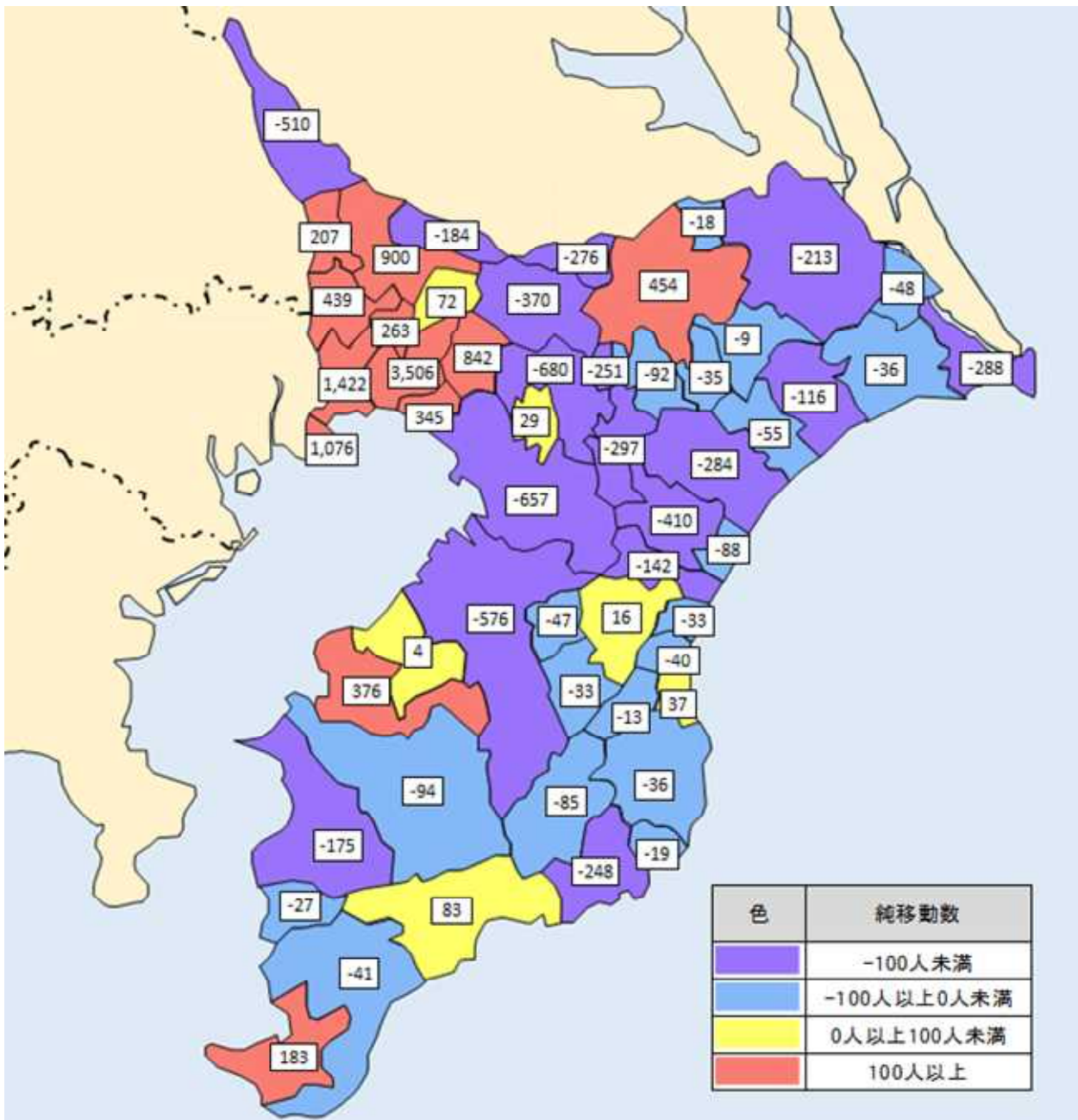
(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 57 20～24 歳から 25～29 歳にかけての純移動数（男）



(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 58 20～24 歳から 25～29 歳にかけての純移動数（女）



(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

d. 30～34 歳から 35～39 歳にかけての純移動数

千葉県は 30～34 歳から 35～39 歳にかけての純移動数をみると、12,516 人（男性 6,510 人、女性 6,006 人）の転入超過となっている。千葉県が平成 28 年 3 月・9 月に実施した転入・転出者アンケートによれば、30 代の転入理由で最も多いものが、「仕事の都合（就職、転職等）」（42.0%）、2 番目が「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（25.9%）、3 番目が「住宅の都合（購入等による住替え等）」（23.9%）となっており、転勤や結婚、住宅取得等を契機に、千葉県へ転入しているものとみられる。

転入超過数が大きい地域をみると、船橋市 3,801 人（男性 2,145 人、女性 1,656 人）、柏市 3,258 人（男性 1,713 人、女性 1,545 人）、千葉市 2,223 人（男性 1,210 人、女性 1,013 人）、流山市 2,023 人（男性 1,200 人、女性 823 人）など、県庁所在地や都心への通勤利便性が高い地域が挙がっている。

県内全域でみると、54 自治体中、男性では 30 自治体、女性では 36 自治体と、幅広い地域で転入超過となっており、都心への通勤利便性や地元での就職可能性、住宅価格・家賃、住環境、育児環境など諸条件のバランスを考慮する中で千葉県が住処として選ばれている様子が窺われる。（図表 60～63）。図表 49 によれば、東葛・葛南地域や千葉市への転入者は近隣自治体から転入している場合が多く、職場を維持しつつ県内の不動産価格（図表 59）を考慮し、通勤可能な範囲で住宅を取得しているケースが想定される。

図表 59 東京都と千葉県の住宅地価格水準

（単位：円/㎡）

東京都		千葉県					
自治体	平均価格	自治体	平均価格	自治体	平均価格	自治体	平均価格
千代田区	2,647,500	浦安市	268,300	木更津市	28,200	長柄町	10,700
港区	1,383,300	市川市	203,300	館山市	26,900	白子町	10,500
渋谷区	1,005,700	習志野市	164,300	君津市	24,700	芝山町	10,200
中央区	960,300	船橋市	141,900	茂原市	24,100	長南町	9,600
文京区	789,100	松戸市	135,100	東金市	23,100	多古町	9,300
目黒区	721,700	流山市	119,000	大網白里市	23,100	九十九里町	9,300
品川区	676,800	八千代市	112,500	一宮町	22,300	神崎町	8,100
新宿区	605,100	千葉市	104,400	勝浦市	19,000	大多喜町	7,100
台東区	590,000	柏市	101,600	鴨川市	19,000		
世田谷区	542,600	我孫子市	87,400	香取市	18,900		
豊島区	526,100	鎌ヶ谷市	86,700	八街市	18,500		
中野区	502,200	佐倉市	67,400	富津市	16,300		
杉並区	496,100	白井市	59,800	御宿町	15,600		
江東区	433,900	野田市	54,600	匝瑳市	14,400		
大田区	421,700	四街道市	54,000	南房総市	14,300		
荒川区	415,500	市原市	42,200	鋸南町	13,500		
北区	403,100	酒々井町	41,900	山武市	13,400		
板橋区	366,700	富里市	39,200	旭市	13,200		
墨田区	359,400	袖ヶ浦市	38,800	いすみ市	13,100		
練馬区	343,600	成田市	37,900	東庄町	13,000		
江戸川区	306,500	印西市	35,600	睦沢町	12,300		
葛飾区	289,400	銚子市	30,100	長生村	11,900		
足立区	280,900	栄町	29,100	横芝光町	11,100		

（出所）都道府県地価調査（平成 28 年）

図表 60 30～34 歳から 35～39 歳にかけての純移動数

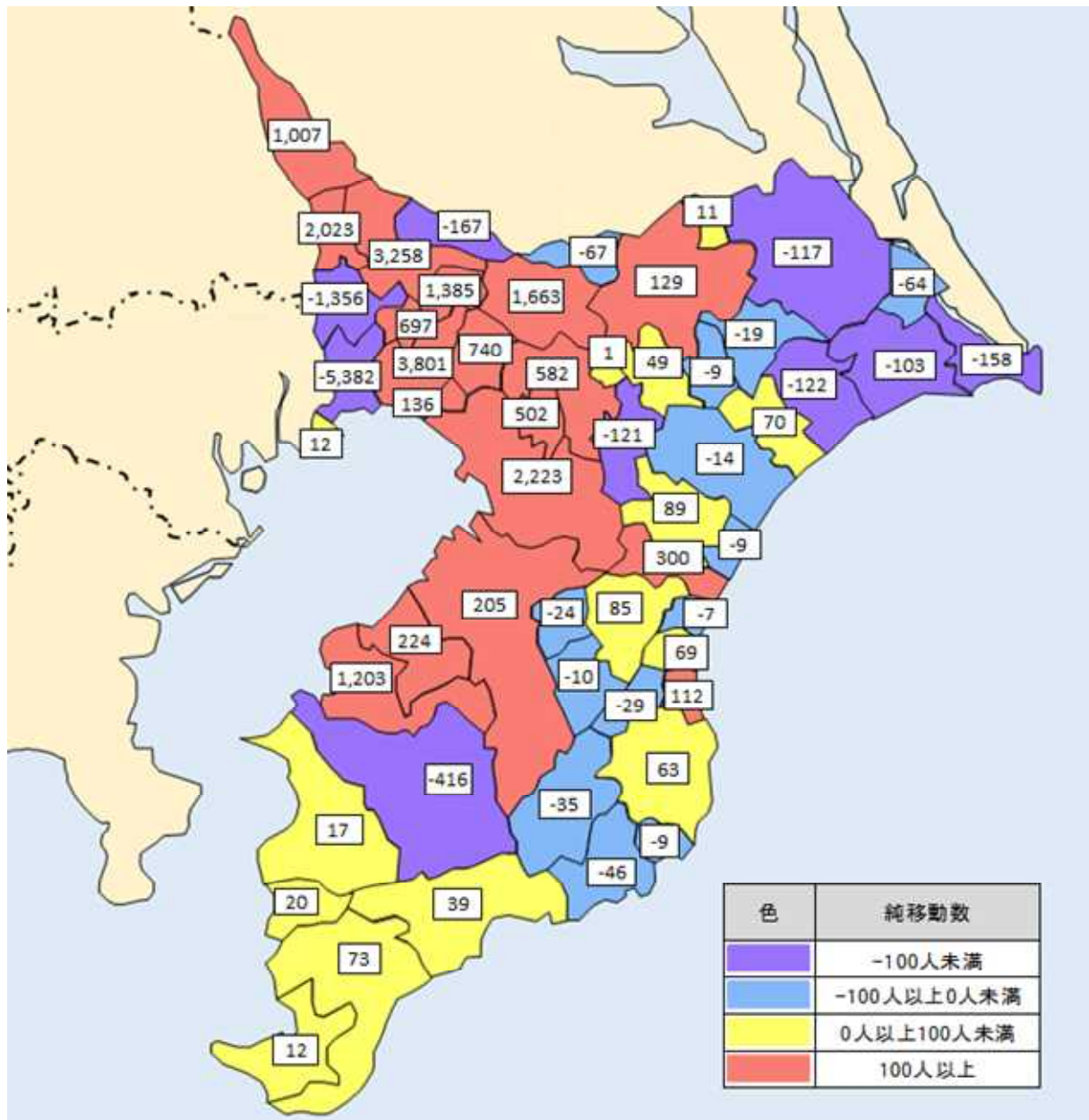
(単位:人)

自治体	合計	
	男性	女性
千葉市	2,223	1,013
市川市	-5,382	-2,038
船橋市	3,801	1,656
習志野市	136	69
八千代市	740	222
浦安市	12	264
松戸市	-1,356	-485
野田市	1,007	449
柏市	3,258	1,545
流山市	2,023	823
我孫子市	-167	-16
鎌ヶ谷市	697	282
成田市	129	142
佐倉市	582	249
四街道市	502	121
八街市	-121	-25
印西市	1,663	774
白井市	1,385	629
富里市	49	8
酒々井町	1	5
栄町	-67	-41
香取市	-117	-83
神崎町	11	0
多古町	-19	-8
東庄町	-64	-37
銚子市	-158	-110
旭市	-103	-54
匝瑳市	-122	-81

自治体	合計	
	男性	女性
東金市	89	41
山武市	-14	3
大網白里市	300	138
九十九里町	-9	13
芝山町	-9	2
横芝光町	70	41
茂原市	85	56
一宮町	112	41
睦沢町	-29	-13
長生村	69	40
白子町	-7	2
長柄町	-24	-23
長南町	-10	3
勝浦市	-46	-17
いすみ市	63	12
大多喜町	-35	-24
御宿町	-9	-10
館山市	12	5
鴨川市	39	6
南房総市	73	54
鋸南町	20	13
市原市	205	27
木更津市	1,203	443
君津市	-416	-216
富津市	17	5
袖ヶ浦市	224	91
県計	12,516	6,006

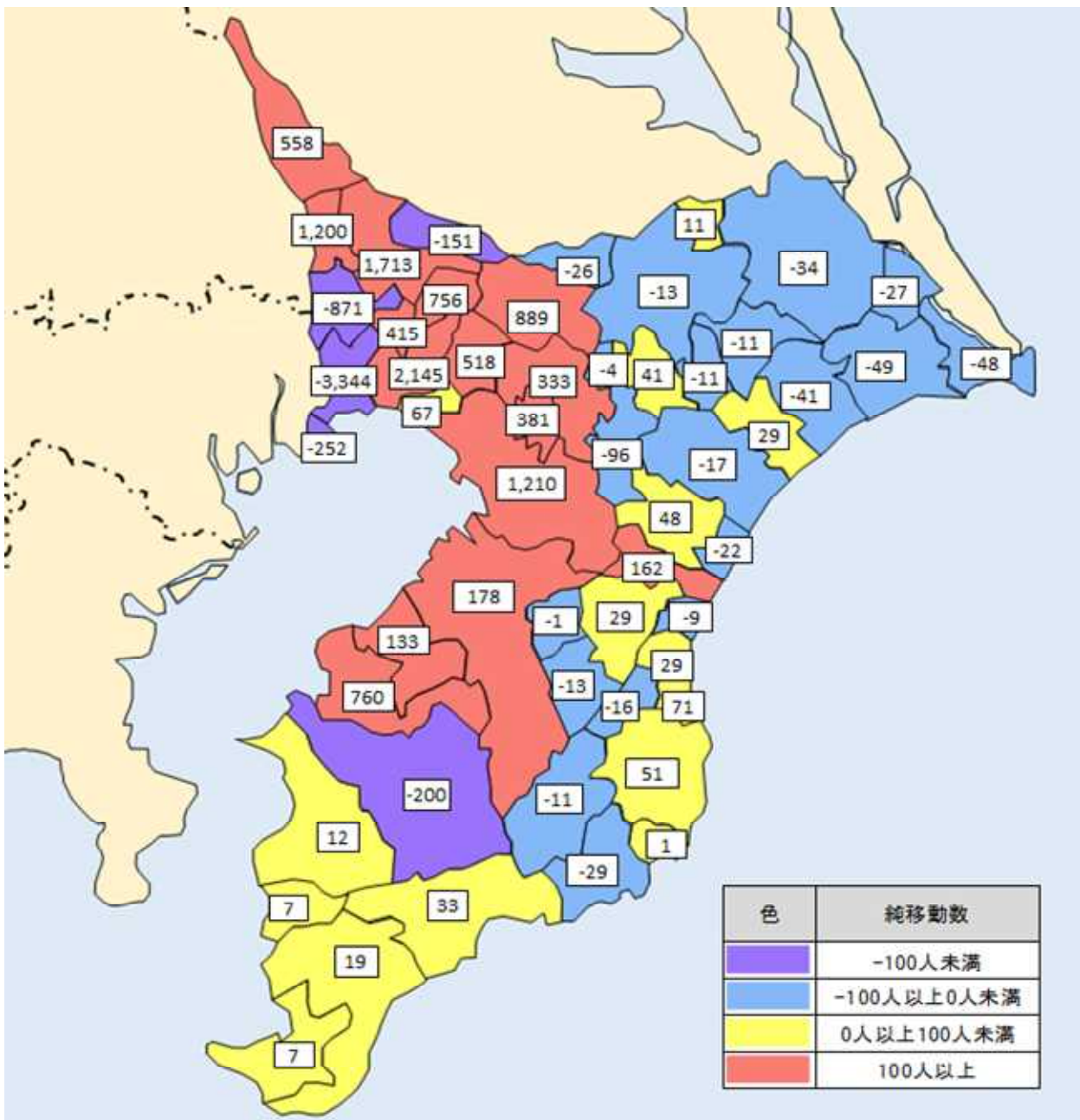
(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 61 30～34 歳から 35～39 歳にかけての純移動数（男女計）



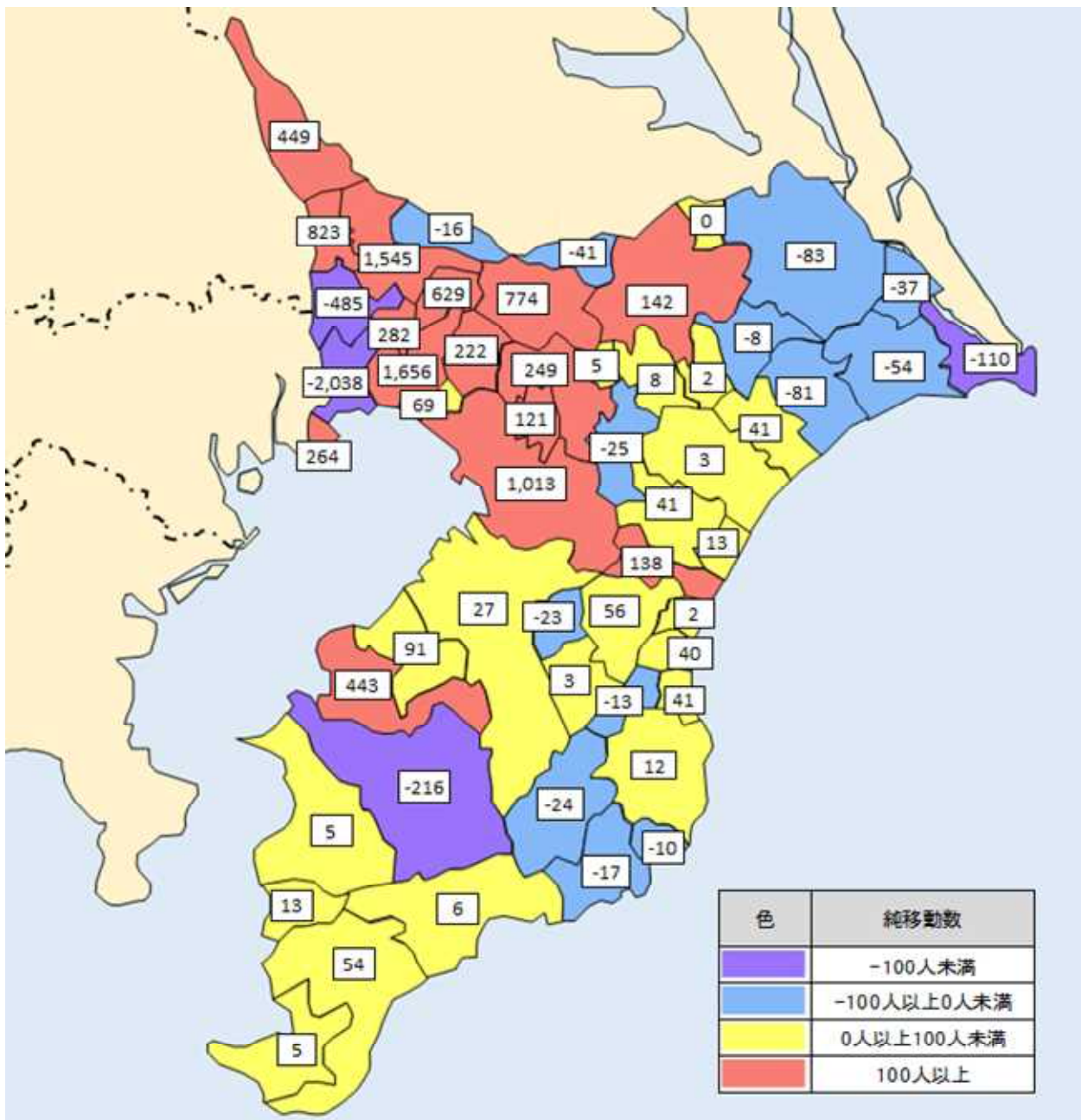
(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 62 30～34 歳から 35～39 歳にかけての純移動数（男）



(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 63 30～34 歳から 35～39 歳にかけての純移動数（女）



(出所) 内閣府提供データ (総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

e. 55～59 歳から 60～64 歳にかけての純移動数

千葉県の 55～59 歳から 60～64 歳にかけての純移動数をみると、14,157 人（男性 7,526 人、女性 6,631 人）の転入超過となっている。千葉県が平成 28 年 3 月・9 月に実施した転入・転出者アンケートによれば、転入理由として 50 代で最も多い理由が「仕事の都合（就職、転勤等）」（40.7%）、2 番目が「住宅の都合（購入等による住替え等）」（21.5%）、60 代で最も多い理由が「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（27.4%）、2 番目が「仕事の都合（就職、転勤等）」（22.6%）、3 番目が「退職を契機とした転居」（20.2%）となっており、当世代が親族との同居や介護といった家庭事情、転勤、退職等を背景に千葉県へ転入している様子が窺われる。

55～59 歳から 60～64 歳の転入超過数が大きい地域をみると、千葉市 3,842 人（男性 2,220 人、女性 1,622 人）、市川市 1,996 人（男性 756 人、女性 1,240 人）、松戸市 1,783 人（男性 799 人、女性 984 人）、我孫子市 703 人（男性 407 人、女性 296 人）など、県北西部の地域が多い。ただし、県内全域でも、転入超過の地域が男性 48 自治体、女性 46 自治体と、幅広い地域で転入超過となっており、退職者等を中心に、県内の幅広い地域に県内へ転入しているものと推察される（図表 64～67）。

図表 64 55～59 歳から 60～64 歳にかけての純移動数

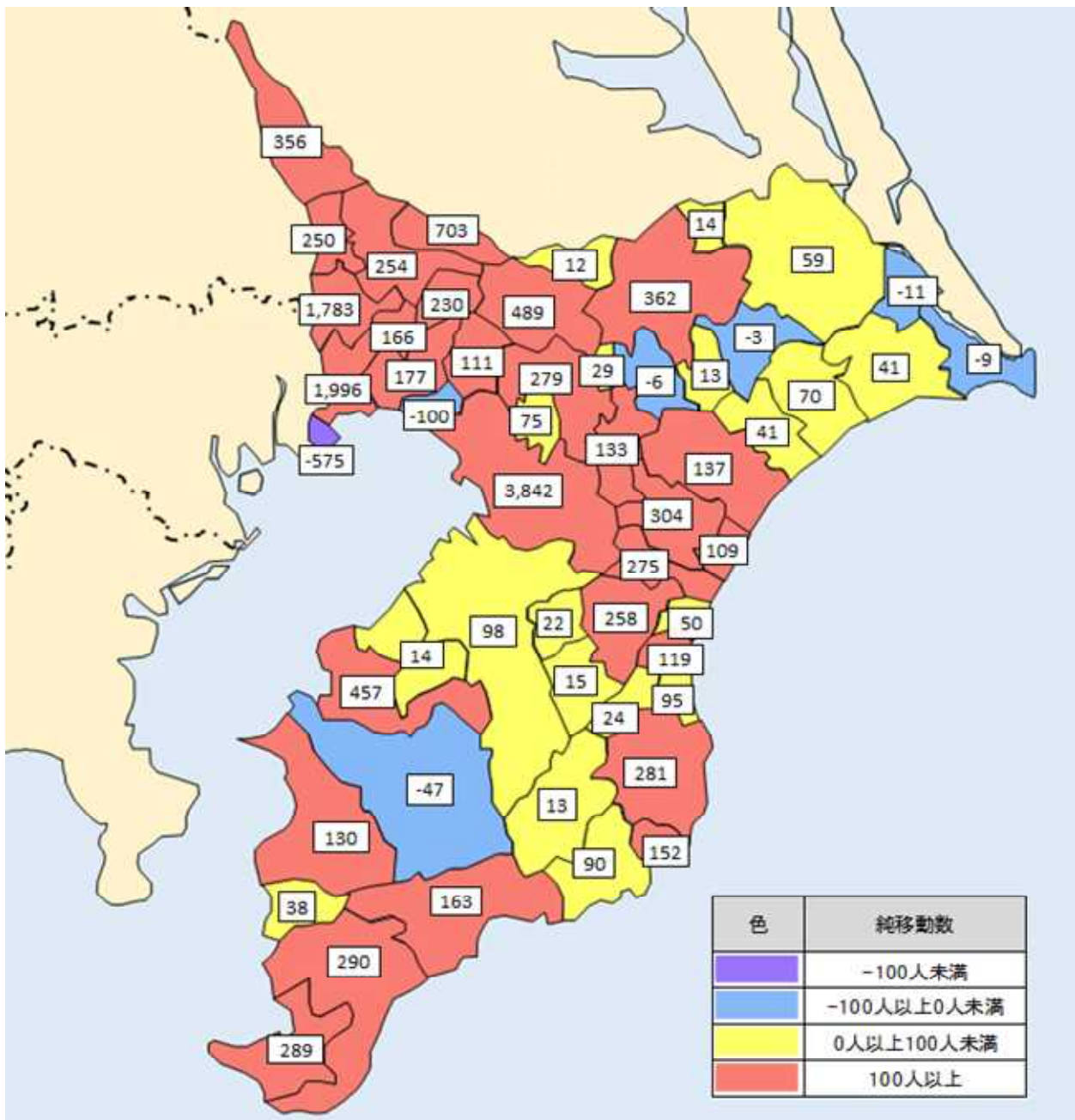
(単位:人)

自治体	合計	
	男性	女性
千葉市	3,842	1,622
市川市	1,996	1,240
船橋市	177	197
習志野市	-100	-62
八千代市	111	20
浦安市	-575	-199
松戸市	1,783	984
野田市	356	123
柏市	254	82
流山市	250	22
我孫子市	703	296
鎌ヶ谷市	166	67
成田市	362	216
佐倉市	279	72
四街道市	75	-4
八街市	133	42
印西市	489	237
白井市	230	105
富里市	-6	-7
酒々井町	29	4
栄町	12	-1
香取市	59	34
神崎町	14	8
多古町	-3	1
東庄町	-11	-3
銚子市	-9	-29
旭市	41	17
匝瑳市	70	33

自治体	合計	
	男性	女性
東金市	304	127
山武市	137	91
大網白里市	275	113
九十九里町	109	44
芝山町	13	0
横芝光町	41	30
茂原市	258	69
一宮町	95	43
睦沢町	24	20
長生村	119	58
白子町	50	30
長柄町	22	5
長南町	15	7
勝浦市	90	41
いすみ市	281	122
大多喜町	13	3
御宿町	152	75
館山市	289	106
鴨川市	163	79
南房総市	290	125
鋸南町	38	11
市原市	98	92
木更津市	457	164
君津市	-47	-1
富津市	130	59
袖ヶ浦市	14	1
県計	14,157	6,631

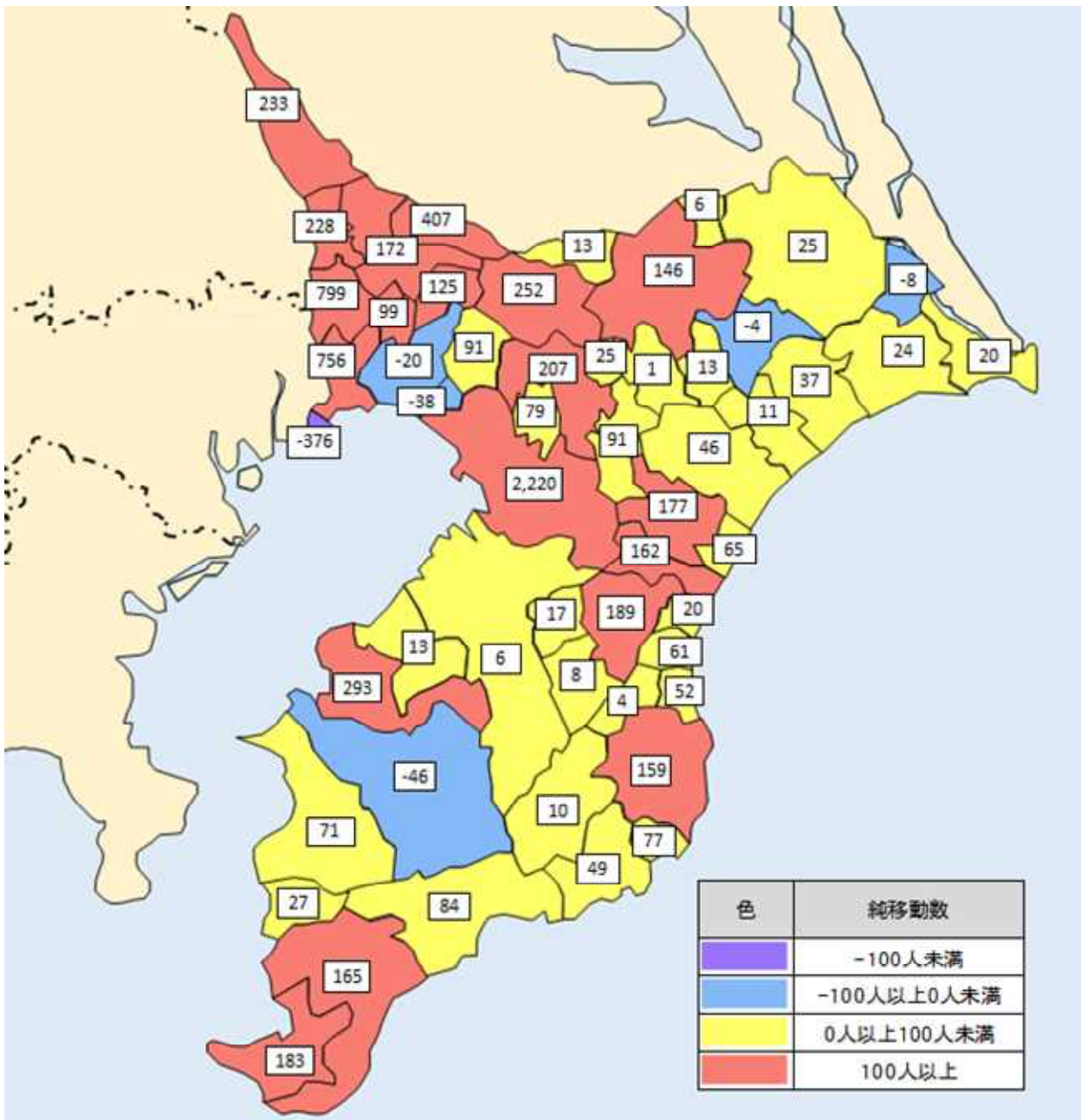
(出所) 内閣府提供データ(総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定)に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 65 55～59 歳から 60～64 歳にかけての純移動数（男女計）



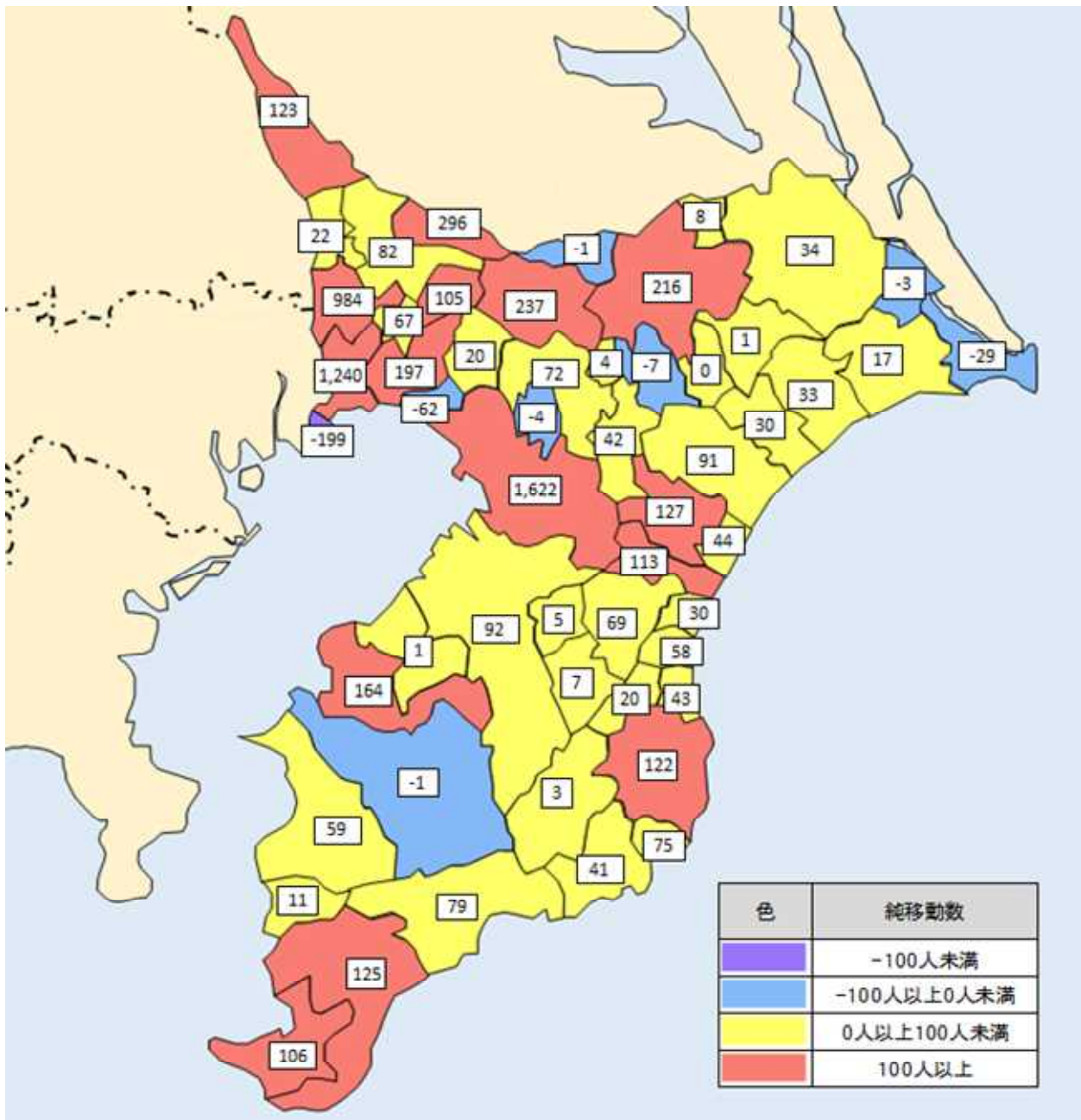
(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 66 55～59 歳から 60～64 歳にかけての純移動数（男）



(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

図表 67 55～59 歳から 60～64 歳にかけての純移動数（女）



(出所) 内閣府提供データ（総務省「国勢調査」の人口と生残率[厚生労働省大臣官房統計情報部・都道府県別生命表]を用いて推定) に基づきちばぎん総合研究所が作成

④評点表

相手自治体の転出者のうち5%以上を吸引している自治体数を基に評点を付した場合、転出入で中核となっている自治体は、千葉市（評点：61点）、茂原市（同：25点）、成田市（同：19点）、船橋市（同：14点）、柏市（同：8点）、東金市（同：8点）、市原市（同：8点）、木更津市（同：8点）、君津市（同：7点）、いすみ市（同：6点）、館山市（同：6点）、富里市（同：5点）、香取市（同：5点）、旭市（同：5点）、南房総市（同：5点）となる（図表68）。

図表 68 評点表

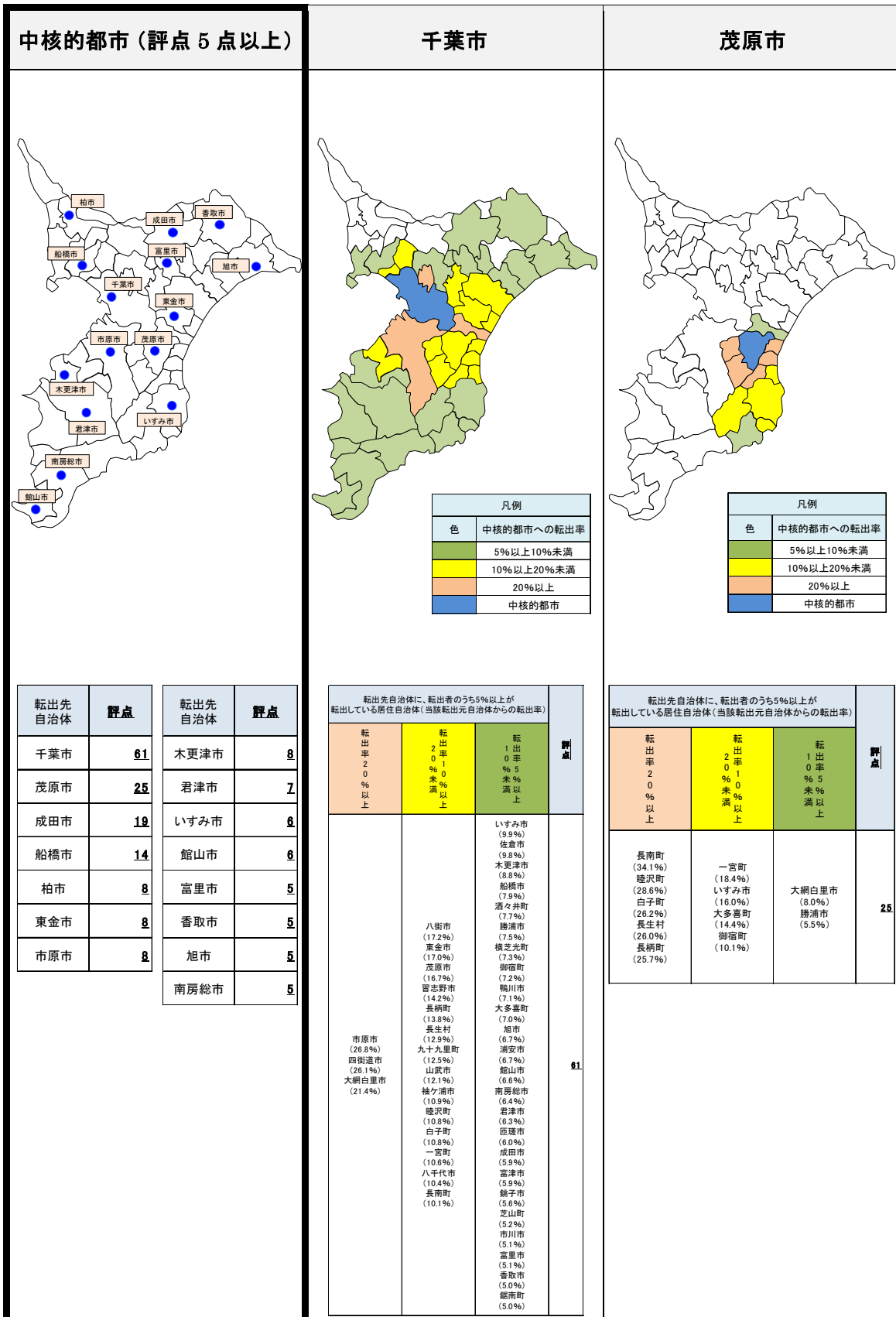
転出先自治体	転出先自治体に、転出者のうち5%以上が 転出している居住自治体(当該転出元自治体からの転出率)						相手自治 体の5% 以上を吸 引している 県内の自 治体数	評点 (注)
	転出率20%以上	県内自治 体数	転出率10%以上20%未満	県内自治 体数	転出率5%以上10%未満	県内自治 体数		
千葉市	市原市(26.8%)、四街道市 (26.1%)、大網白里市 (21.4%)	3	八街市(17.2%)、東金市 (17.0%)、茂原市(16.7%)、習 志野市(14.2%)、長柄町 (13.8%)、長生村(12.9%)、九 十九里町(12.5%)、山武市 (12.1%)、袖ヶ浦市(10.9%)、 睦沢町(10.8%)、白子町 (10.8%)、一宮町(10.6%)、八 千代市(10.4%)、長南町 (10.1%)	14	いすみ市(9.9%)、佐倉市 (9.8%)、木更津市(8.8%)、船 橋市(7.9%)、酒々井町 (7.7%)、勝浦市(7.5%)、横芝 光町(7.3%)、御宿町(7.2%)、 鴨川市(7.1%)、大多喜町 (7.0%)、旭市(6.7%)、浦安市 (6.7%)、館山市(6.6%)、南房 総市(6.4%)、君津市(6.3%)、 匝瑳市(6.0%)、成田市 (5.9%)、富津市(5.9%)、銚子 市(5.6%)、芝山町(5.2%)、市 川市(5.1%)、富里市(5.1%)、 香取市(5.0%)、鋸南町(5.0%)	24	41	61
市川市					浦安市(8.7%)、船橋市(5.7%)	2	2	2
船橋市			鎌ヶ谷市(18.0%)、習志野市 (17.2%)、市川市(11.1%)、八 千代市(10.3%)、白井市 (10.3%)	5	千葉市(6.8%)、浦安市 (5.8%)、佐倉市(5.4%)、印西 市(5.0%)	4	9	14
習志野市					船橋市(5.3%)	1	1	1
八千代市					佐倉市(9.1%)	1	1	1
浦安市							0	0
松戸市			流山市(10.3%)	1	鎌ヶ谷市(8.9%)、柏市(7.5%)	2	3	4
野田市					流山市(6.4%)	1	1	1
柏市			流山市(18.9%)、我孫子市 (15.1%)、松戸市(11.9%)	3	野田市(9.9%)、鎌ヶ谷市 (5.4%)	2	5	8
流山市					野田市(8.7%)、柏市(8.3%)、 松戸市(5.1%)	3	3	3
我孫子市					柏市(5.4%)	1	1	1
鎌ヶ谷市					白井市(8.2%)	1	1	1
成田市	富里市(25.4%)、神崎町 (22.1%)	2	栄町(19.3%)、芝山町 (19.3%)、多古町(18.6%)、 酒々井町(14.3%)、香取市 (11.9%)	5	匝瑳市(5.9%)、八街市 (5.4%)、東庄町(5.0%)	3	10	19
佐倉市					八千代市(9.5%)、酒々井町 (9.5%)、八街市(7.0%)、四街 道市(6.6%)	4	4	4
四街道市							0	0
八街市					山武市(9.1%)、富里市 (6.5%)、芝山町(5.8%)	3	3	3
印西市			白井市(10.6%)	1	栄町(9.7%)	1	2	3
白井市					鎌ヶ谷市(9.3%)、印西市 (6.4%)	2	2	2
富里市			芝山町(16.8%)	1	成田市(9.9%)、多古町 (7.7%)、酒々井町(6.2%)	3	4	5
酒々井町							0	0
栄町							0	0
香取市			東庄町(16.1%)、神崎町 (12.4%)	2	多古町(6.4%)	1	3	5
神崎町							0	0
多古町							0	0
東庄町							0	0
銚子市					東庄町(6.5%)、旭市(5.3%)	2	2	2
旭市			匝瑳市(17.8%)、銚子市 (10.7%)	2	東庄町(9.8%)	1	3	5
匝瑳市			横芝光町(11.2%)	1	旭市(9.0%)、多古町(6.5%)	2	3	4

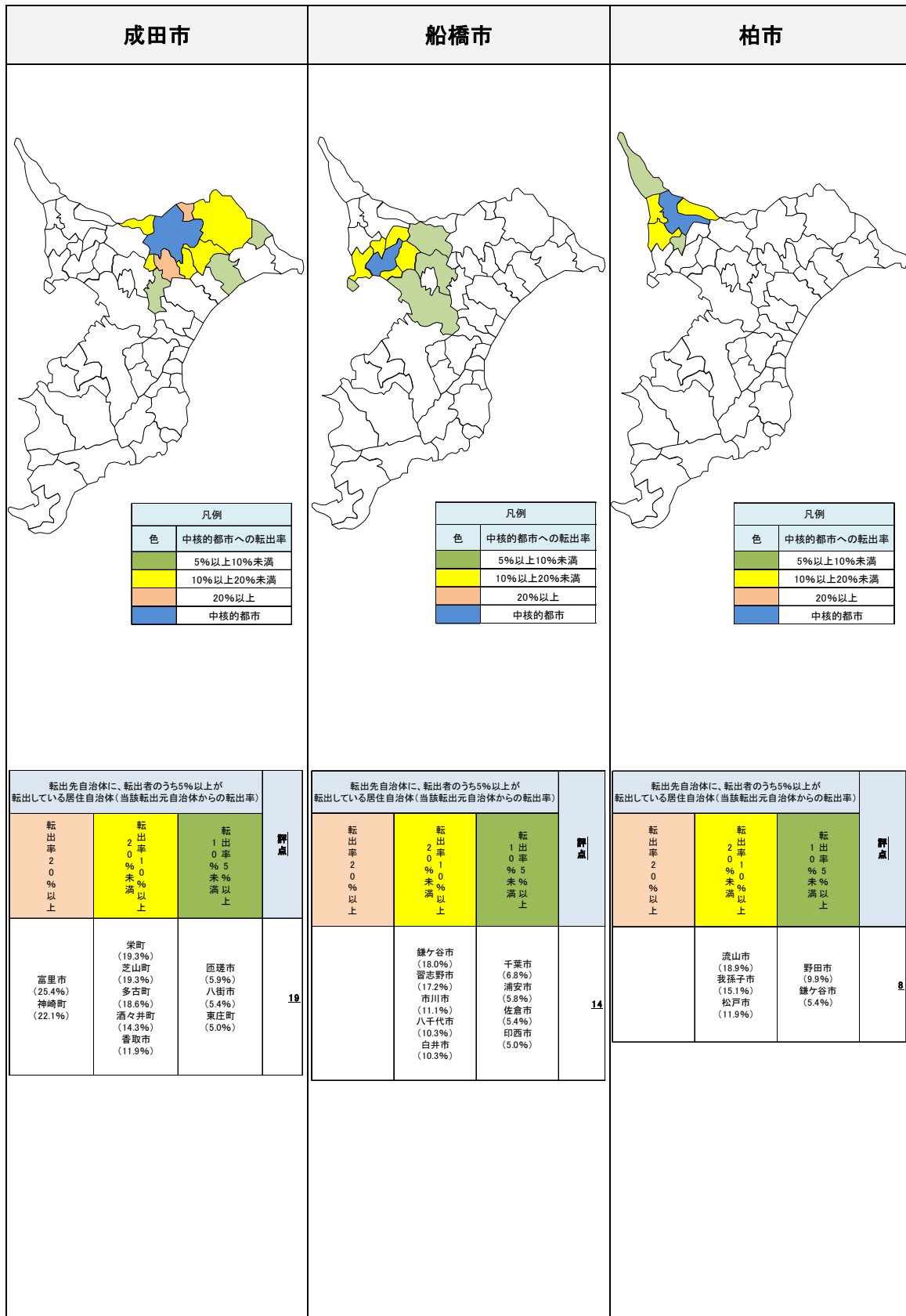
転出先自治体	転出先自治体に、転出者のうち5%以上が 転出している居住自治体(当該転出元自治体からの転出率)						相手自治 体の5% 以上を吸 引している 県内の自 治体数	評点 (注)
	転出率20%以上	県内自治 体数	転出率10%以上20%未満	県内自治 体数	転出率5%以上10%未満	県内自治 体数		
東金市	九十九里町(27.0%)	1	山武市(11.4%)、大網白里市(10.0%)	2	横芝光町(5.2%)	1	4	8
山武市			横芝光町(15.3%)	1	東金市(6.1%)、九十九里町(7.3%)	2	3	4
大網白里市					白子町(9.0%)、東金市(7.8%)、九十九里町(7.1%)、茂原市(5.9%)	4	4	4
九十九里町							0	0
芝山町							0	0
横芝光町					匝瑳市(7.9%)、芝山町(5.0%)	2	2	2
茂原市	長南町(34.1%)、睦沢町(28.6%)、白子町(26.2%)、長生村(26.0%)、長柄町(25.7%)	5	一宮町(18.4%)、いすみ市(16.0%)、大多喜町(14.4%)、御宿町(10.1%)	4	大網白里市(8.0%)、勝浦市(5.5%)	2	11	25
一宮町					睦沢町(6.0%)	1	1	1
睦沢町							0	0
長生村					一宮町(8.8%)、茂原市(5.0%)	2	2	2
白子町							0	0
長柄町					長南町(5.5%)	1	1	1
長南町							0	0
勝浦市							0	0
いすみ市			御宿町(17.3%)、大多喜町(10.2%)	2	一宮町(7.2%)、勝浦市(7.1%)	2	4	6
大多喜町							0	0
御宿町							0	0
館山市	南房総市(26.1%)	1	鋸南町(12.5%)	1	鴨川市(7.2%)	1	3	6
鴨川市					南房総市(6.5%)	1	1	1
南房総市			館山市(14.3%)、鋸南町(10.2%)	2	鴨川市(5.6%)	1	3	5
鋸南町							0	0
市原市			袖ヶ浦市(15.0%)、長柄町(11.8%)	2	大多喜町(8.2%)、木更津市(6.4%)、長南町(5.6%)、鋸南町(5.0%)	4	6	8
木更津市	君津市(32.2%)	1	袖ヶ浦市(19.9%)、富津市(19.7%)	2	鋸南町(6.3%)	1	4	8
君津市	富津市(28.8%)	1	木更津市(11.4%)	1	鋸南町(9.6%)、袖ヶ浦市(6.0%)	2	4	7
富津市					君津市(9.6%)	1	1	1
袖ヶ浦市					木更津市(9.8%)、君津市(6.1%)、市原市(5.3%)	3	3	3

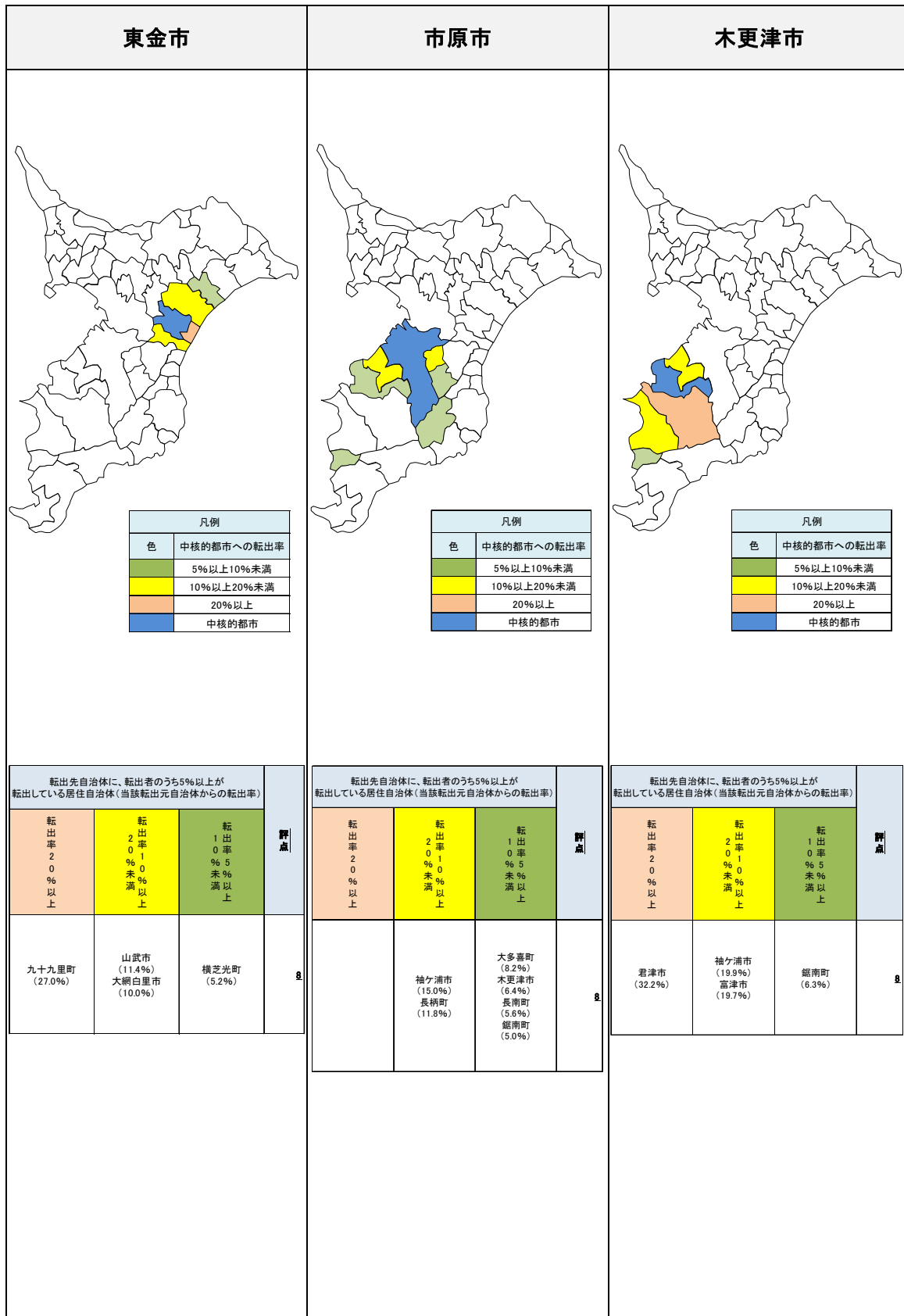
(注) 評点のつけ方

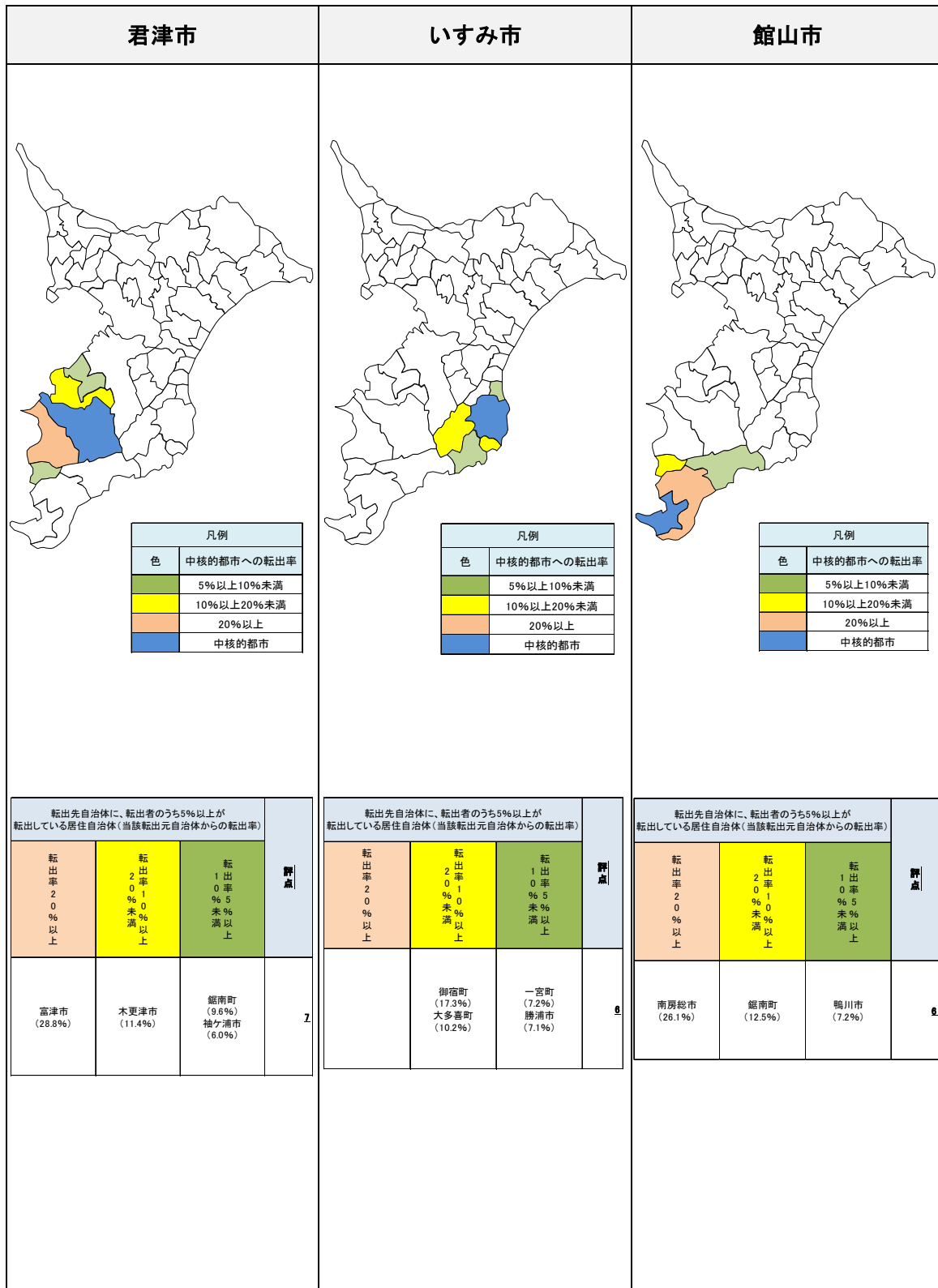
転出率 20%以上の自治体 : 3 ポイント、同 10%以上 20%未満の自治体 : 2 ポイント、同 5%以上 10%未満の自治体 : 1 ポイントを付したものの。着色は評点が 5 ポイント以上の自治体

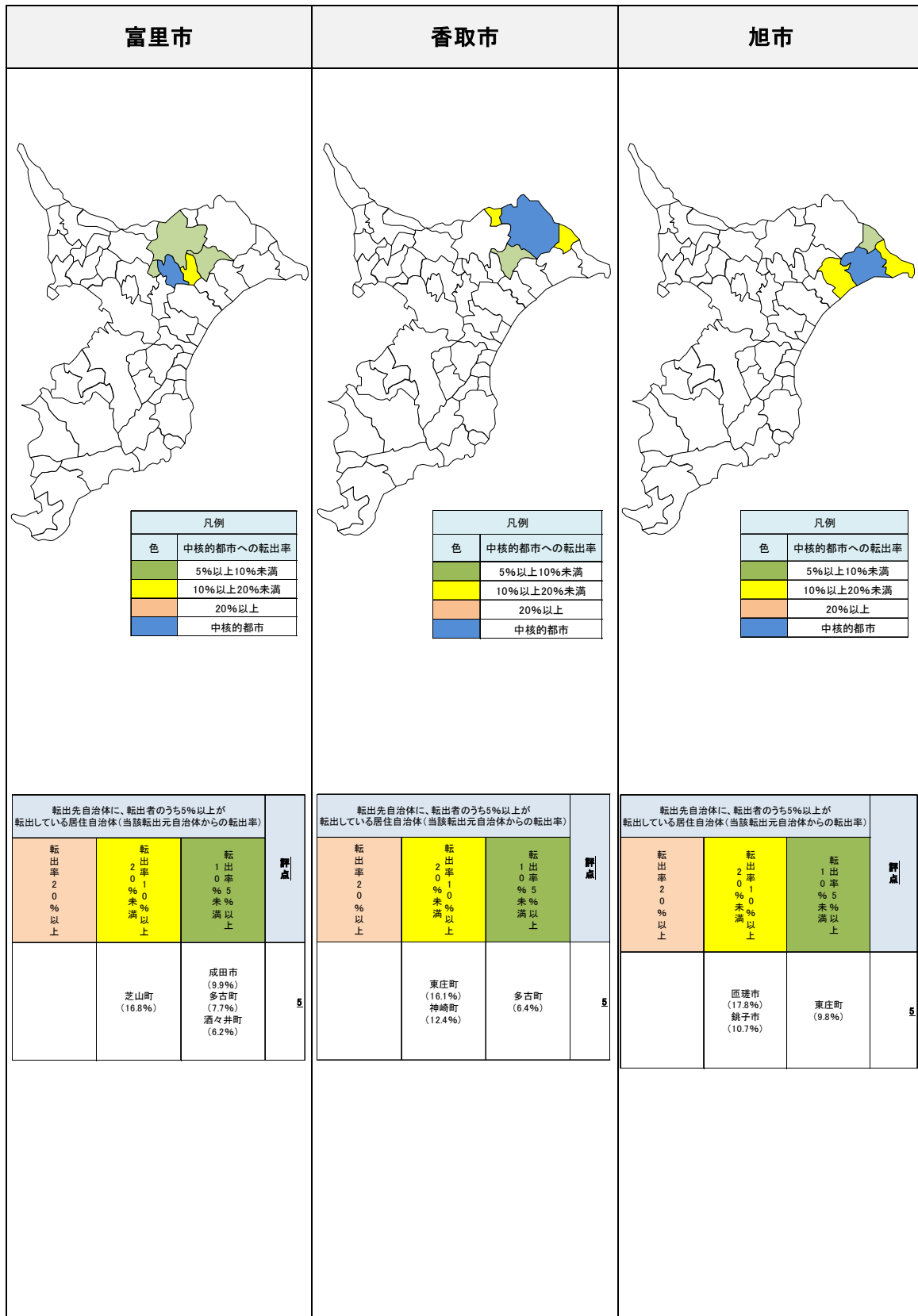
図表 69 転出入の中核的都市と圏域

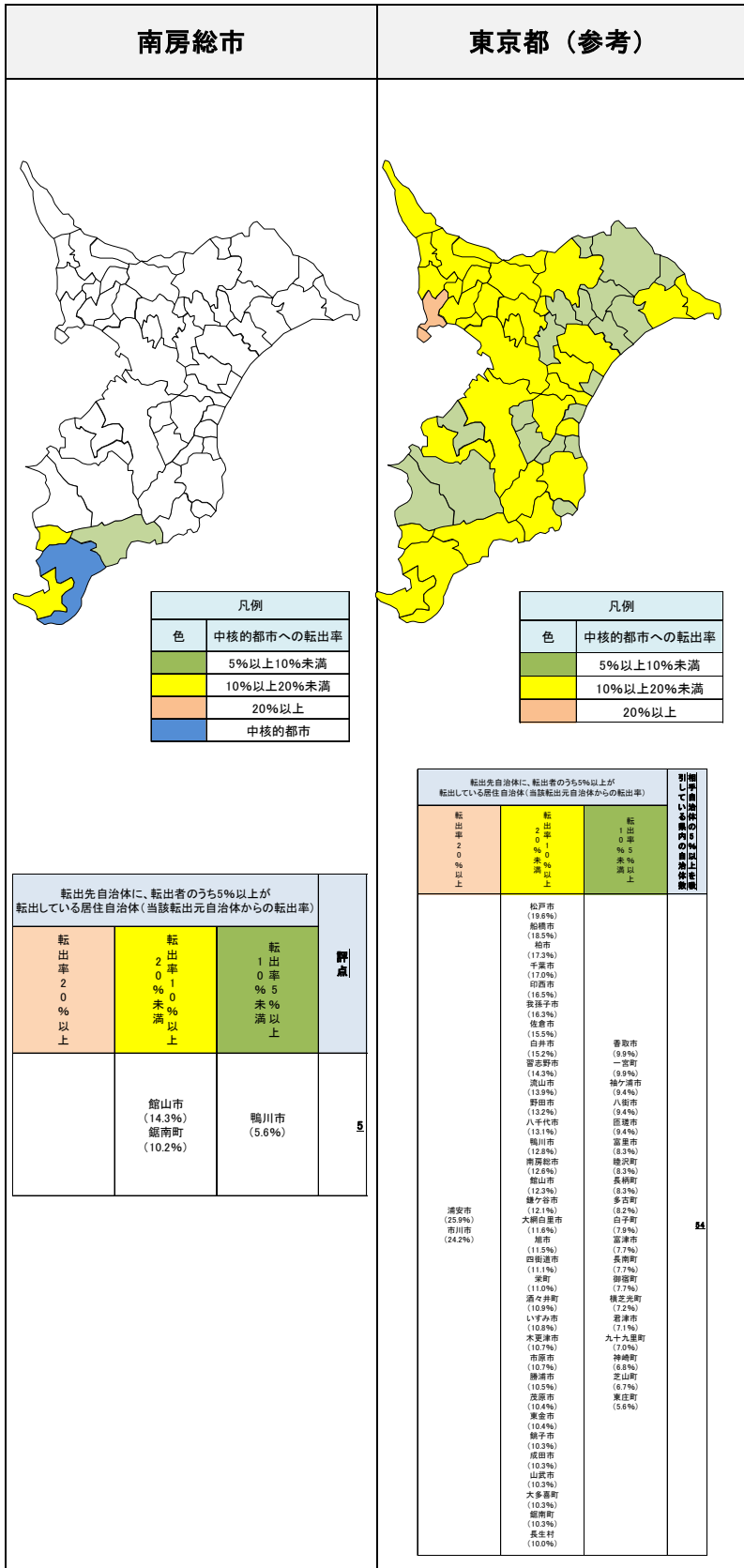












図表 70 県外の転出率が上位の自治体（参考）（男女計）

		1位	2位	3位
東京都	千葉市	東京都江東区 (2,142人(2.2%))	東京都江戸川区 (1,548人(1.6%))	東京都世田谷区 (873人(0.9%))
	銚子市	東京都江戸川区 (58人(1.0%))	東京都世田谷区・八王子市 (47人(0.8%))	東京都練馬区 (36人(0.6%))
	市川市	東京都江東区 (3,069人(3.9%))	東京都江戸川区 (3,057人(3.9%))	東京都葛飾区 (1,039人(1.3%))
	船橋市	東京都江東区 (1,803人(2.4%))	東京都江戸川区 (1,526人(2.1%))	東京都世田谷区 (769人(1.0%))
	館山市	東京都江戸川区 (53人(1.0%))	東京都大田区 (35人(0.7%))	東京都世田谷区 (34人(0.7%))
	木更津市	東京都江戸川区 (83人(0.7%))	東京都江東区 (79人(0.7%))	東京都大田区 (73人(0.6%))
	松戸市	東京都足立区 (1,264人(2.1%))	東京都葛飾区 (1,231人(2.1%))	東京都江東区 (923人(1.5%))
	野田市	東京都足立区 (165人(1.3%))	東京都江東区 (102人(0.8%))	東京都葛飾区 (101人(0.8%))
	茂原市	東京都江戸川区 (87人(1.0%))	東京都江東区 (73人(0.9%))	東京都世田谷区 (52人(0.6%))
	成田市	東京都大田区 (217人(1.3%))	東京都江戸川区 (119人(0.7%))	東京都世田谷区 (117人(0.7%))
	佐倉市	東京都江東区 (303人(1.7%))	東京都江戸川区 (229人(1.3%))	東京都葛飾区 (175人(1.0%))
	東金市	東京都江戸川区 (62人(0.9%))	東京都江東区 (52人(0.8%))	東京都世田谷区 (45人(0.7%))
	旭市	東京都世田谷区・江戸川区 (44人(0.9%))	東京都八王子市 (32人(0.7%))	東京都江東区・大田区 (30人(0.6%))
	習志野市	東京都江東区 (480人(1.9%))	東京都江戸川区 (347人(1.4%))	東京都葛飾区 (229人(0.9%))
	柏市	東京都足立区 (718人(1.6%))	東京都江東区 (505人(1.1%))	東京都葛飾区 (482人(1.1%))
	勝浦市	東京都世田谷区 (22人(0.9%))	東京都江戸川区・八王子市 (16人(0.6%))	東京都葛飾区 (13人(0.5%))
	市原市	東京都江戸川区 (243人(1.0%))	東京都江東区 (232人(0.9%))	東京都世田谷区 (152人(0.6%))
	流山市	東京都足立区 (258人(1.3%))	東京都江東区 (197人(1.0%))	東京都葛飾区 (195人(1.0%))
	八千代市	東京都江東区 (334人(1.4%))	東京都江戸川区 (312人(1.3%))	東京都世田谷区 (187人(0.8%))
	我孫子市	東京都足立区 (233人(1.6%))	東京都江東区 (159人(1.1%))	東京都葛飾区 (154人(1.0%))
鴨川市	東京都江戸川区 (36人(1.1%))	東京都世田谷区 (28人(0.9%))	東京都練馬区 (25人(0.8%))	
鎌ヶ谷市	東京都江戸川区 (178人(1.4%))	東京都江東区 (158人(1.2%))	東京都葛飾区 (124人(1.0%))	
君津市	東京都江戸川区 (48人(0.5%))	東京都江東区 (45人(0.5%))	東京都大田区 (44人(0.5%))	
富津市	東京都江戸川区 (32人(0.8%))	東京都江東区 (21人(0.5%))	東京都八王子市 (20人(0.5%))	
浦安市	東京都江東区 (1,503人(5.7%))	東京都江戸川区 (897人(3.4%))	東京都中央区 (420人(1.6%))	

		1位	2位	3位
東京都	四街道市	東京都江戸川区 (106人(1.2%))	東京都江東区 (85人(1.0%))	東京都世田谷区 (73人(0.8%))
	袖ヶ浦市	東京都江戸川区 (50人(0.9%))	東京都大田区 (37人(0.7%))	東京都江東区 (35人(0.6%))
	八街市	東京都江戸川区 (95人(1.3%))	東京都江東区 (61人(0.8%))	東京都世田谷区・葛飾区 (42人(0.6%))
	印西市	東京都江東区 (107人(1.2%))	東京都江戸川区 (99人(1.1%))	東京都葛飾区 (87人(1.0%))
	白井市	東京都江東区 (81人(1.3%))	東京都葛飾区 (80人(1.3%))	東京都世田谷区 (54人(0.9%))
	富里市	東京都江戸川区 (62人(1.0%))	東京都江東区 (45人(0.7%))	東京都大田区 (41人(0.7%))
	南房総市	東京都江戸川区 (33人(1.0%))	東京都江東区・大田区 (28人(0.8%))	東京都世田谷区・板橋区 (26人(0.8%))
	匝瑳市	東京都八王子市 (29人(1.0%))	東京都江戸川区 (26人(0.9%))	東京都大田区 (21人(0.7%))
	香取市	東京都世田谷区 (63人(1.0%))	東京都板橋区 (44人(0.7%))	東京都八王子市 (37人(0.6%))
	山武市	東京都江戸川区 (61人(1.1%))	東京都江東区 (46人(0.8%))	東京都世田谷区 (36人(0.7%))
	いすみ市	東京都江戸川区 (25人(0.8%))	東京都江東区・八王子市 (23人(0.7%))	東京都世田谷区 (18人(0.5%))
	大網白里市	東京都江東区 (58人(1.3%))	東京都江戸川区 (50人(1.1%))	東京都世田谷区 (29人(0.7%))
	酒々井町	東京都江戸川区 (28人(1.1%))	東京都大田区 (24人(0.9%))	東京都葛飾区 (18人(0.7%))
	栄町	東京都江戸川区 (24人(0.9%))	東京都足立区 (23人(0.9%))	東京都大田区 (21人(0.8%))
	神崎町	東京都世田谷区・豊島区・ 板橋区・江戸川区・武蔵野市 (3人(0.6%))	東京都港区・江東区・大田区・ 八王子市(2人(0.4%))	東京都千代田区・新宿区・ 文京区・台東区・墨田区・品川区・ 杉並区・荒川区・足立区・町田市・ 小平市・西東京市(1人(0.2%))
	多古町	東京都世田谷区 (13人(0.9%))	東京都日野市 (10人(0.7%))	東京都大田区 (9人(0.6%))
	東庄町	東京都江戸川区 (7人(0.6%))	東京都葛飾区 (5人(0.4%))	東京都江東区・世田谷区・府中市 (4人(0.3%))
	九十九里町	東京都江東区 (15人(0.9%))	東京都江戸川区 (13人(0.8%))	東京都世田谷区 (12人(0.8%))
	芝山町	東京都江東区 (6人(0.8%))	東京都大田区・世田谷区 (5人(0.7%))	東京都新宿区・東久留米市 (3人(0.4%))
	横芝光町	東京都江戸川区 (11人(0.6%))	東京都世田谷区・八王子市 (10人(0.5%))	東京都練馬区・調布市 (9人(0.5%))
	一宮町	東京都大田区 (10人(0.9%))	東京都江東区・世田谷区 (9人(0.8%))	東京都中央区 (8人(0.7%))
	睦沢町	東京都東村山市 (7人(1.1%))	東京都世田谷区・江戸川区 (6人(1.0%))	東京都八王子市 (5人(0.8%))
	長生村	東京都江戸川区 (14人(1.0%))	東京都江東区・世田谷区 (12人(0.9%))	東京都あきる野市 (9人(0.7%))
	白子町	東京都江戸川区 (12人(1.0%))	東京都江東区 (9人(0.8%))	東京都中央区・八王子市 (7人(0.6%))
	長柄町	東京都江戸川区 (11人(1.4%))	東京都葛飾区 (8人(1.0%))	東京都江東区 (6人(0.8%))
	長南町	東京都八王子市 (9人(1.2%))	東京都江戸川区 (8人(1.1%))	東京都世田谷区・中野区 (4人(0.5%))
大多喜町	東京都杉並区 (14人(1.5%))	東京都江戸川区 (9人(1.0%))	東京都八王子市 (8人(0.9%))	
御宿町	東京都板橋区 (5人(0.9%))	東京都中野区・八王子市 (4人(0.7%))	東京都葛飾区・江戸川区・府中市 (3人(0.5%))	
鋸南町	東京都八王子市 (9人(1.3%))	東京都荒川区・板橋区 (6人(0.9%))	東京都町田市 (5人(0.7%))	

		1位	2位	3位
茨城県	銚子市	茨城県神栖市 (1,332人(22.2%))	茨城県鹿嶋市 (92人(1.5%))	茨城県水戸市 (41人(0.7%))
	松戸市	茨城県取手市 (479人(0.8%))	茨城県つくば市 (414人(0.7%))	茨城県守谷市 (385人(0.6%))
	野田市	茨城県坂東市 (178人(1.4%))	茨城県つくば市 (99人(0.8%))	茨城県取手市 (95人(0.8%))
	旭市	茨城県神栖市 (203人(4.2%))	茨城県鹿嶋市 (58人(1.2%))	茨城県水戸市 (32人(0.7%))
	柏市	茨城県取手市 (634人(1.4%))	茨城県守谷市 (480人(1.1%))	茨城県つくば市 (453人(1.0%))
	流山市	茨城県守谷市 (166人(0.8%))	茨城県取手市 (153人(0.8%))	茨城県つくば市 (145人(0.7%))
	我孫子市	茨城県取手市 (556人(3.8%))	茨城県守谷市 (248人(1.7%))	茨城県つくば市 (193人(1.3%))
	香取市	茨城県神栖市 (502人(7.9%))	茨城県鹿嶋市 (180人(2.8%))	茨城県潮来市 (173人(2.7%))
	神崎町	茨城県稲敷市 (16人(3.1%))	茨城県美浦村 (9人(1.7%))	茨城県神栖市・利根町 (4人(0.8%))
	東庄町	茨城県神栖市 (201人(17.5%))	茨城県鹿嶋市 (42人(3.6%))	茨城県稲敷市 (6人(0.5%))
埼玉県	千葉市	埼玉県さいたま市 (1,242人(1.3%))	埼玉県川口市 (416人(0.4%))	埼玉県越谷市 (256人(0.3%))
	市川市	埼玉県さいたま市 (868人(1.1%))	埼玉県川口市 (419人(0.5%))	埼玉県越谷市 (260人(0.3%))
	船橋市	埼玉県さいたま市 (833人(1.1%))	埼玉県川口市 (389人(0.5%))	埼玉県越谷市 (220人(0.3%))
	松戸市	埼玉県さいたま市 (838人(1.4%))	埼玉県三郷市 (615人(1.0%))	埼玉県川口市 (420人(0.7%))
	野田市	埼玉県春日部市 (623人(5.0%))	埼玉県さいたま市 (383人(3.1%))	埼玉県越谷市 (264人(2.1%))
	柏市	埼玉県さいたま市 (593人(1.3%))	埼玉県川口市 (271人(0.6%))	埼玉県三郷市 (214人(0.5%))
	流山市	埼玉県三郷市 (293人(1.5%))	埼玉県さいたま市 (265人(1.4%))	埼玉県越谷市 (141人(0.7%))
	我孫子市	埼玉県さいたま市 (159人(1.1%))	埼玉県川口市 (85人(0.6%))	埼玉県三郷市 (59人(0.4%))
	鴨川市	埼玉県さいたま市 (37人(1.1%))	埼玉県狭山市 (18人(0.6%))	埼玉県川口市 (15人(0.5%))
	浦安市	埼玉県さいたま市 (290人(1.1%))	埼玉県川口市 (151人(0.6%))	埼玉県越谷市 (125人(0.5%))
神奈川県	千葉市	神奈川県横浜市 (3,341人(3.5%))	神奈川県川崎市 (1,541人(1.6%))	神奈川県相模原市 (486人(0.5%))
	銚子市	神奈川県横浜市 (132人(2.2%))	神奈川県川崎市 (73人(1.2%))	神奈川県秦野市 (23人(0.4%))
	市川市	神奈川県横浜市 (2,437人(3.1%))	神奈川県川崎市 (1,422人(1.8%))	神奈川県相模原市 (262人(0.3%))
	船橋市	神奈川県横浜市 (2,288人(3.1%))	神奈川県川崎市 (1,164人(1.6%))	神奈川県相模原市 (311人(0.4%))
	館山市	神奈川県横須賀市 (162人(3.2%))	神奈川県横浜市 (157人(3.1%))	神奈川県川崎市 (81人(1.6%))
	木更津市	神奈川県横浜市 (357人(3.1%))	神奈川県川崎市 (206人(1.8%))	神奈川県横須賀市 (74人(0.6%))
	松戸市	神奈川県横浜市 (1,684人(2.8%))	神奈川県川崎市 (867人(1.4%))	神奈川県相模原市 (249人(0.4%))
	野田市	神奈川県横浜市 (295人(2.4%))	神奈川県川崎市 (135人(1.1%))	神奈川県相模原市 (60人(0.5%))
	茂原市	神奈川県横浜市 (169人(2.0%))	神奈川県川崎市 (120人(1.4%))	神奈川県秦野市 (39人(0.5%))

		1位	2位	3位
神奈川県	成田市	神奈川県横浜市 (477人(2.9%))	神奈川県川崎市 (182人(1.1%))	神奈川県相模原市・横須賀市 (44人(0.3%))
	佐倉市	神奈川県横浜市 (463人(2.6%))	神奈川県川崎市 (241人(1.4%))	神奈川県相模原市 (88人(0.5%))
	東金市	神奈川県横浜市 (134人(2.0%))	神奈川県川崎市 (66人(1.0%))	神奈川県相模原市 (27人(0.4%))
	旭市	神奈川県横浜市 (132人(2.7%))	神奈川県川崎市 (39人(0.8%))	神奈川県相模原市 (23人(0.5%))
	習志野市	神奈川県横浜市 (650人(2.5%))	神奈川県川崎市 (295人(1.2%))	神奈川県相模原市 (98人(0.4%))
	柏市	神奈川県横浜市 (1286人(2.9%))	神奈川県川崎市 (668人(1.5%))	神奈川県相模原市 (196人(0.4%))
	勝浦市	神奈川県横浜市 (56人(2.2%))	神奈川県川崎市 (35人(1.4%))	神奈川県相模原市 (11人(0.4%))
	市原市	神奈川県横浜市 (625人(2.5%))	神奈川県川崎市 (318人(1.3%))	神奈川県秦野市 (139人(0.5%))
	流山市	神奈川県横浜市 (450人(2.3%))	神奈川県川崎市 (259人(1.3%))	神奈川県相模原市 (77人(0.4%))
	八千代市	神奈川県横浜市 (561人(2.4%))	神奈川県川崎市 (252人(1.1%))	神奈川県相模原市 (93人(0.4%))
	我孫子市	神奈川県横浜市 (424人(2.9%))	神奈川県川崎市 (253人(1.7%))	神奈川県相模原市 (63人(0.4%))
	鴨川市	神奈川県横浜市 (113人(3.5%))	神奈川県川崎市 (68人(2.1%))	神奈川県相模原市 (18人(0.6%))
	富津市	神奈川県横浜市 (71人(1.7%))	神奈川県川崎市 (49人(1.2%))	神奈川県相模原市 (19人(0.5%))
	浦安市	神奈川県横浜市 (911人(3.5%))	神奈川県川崎市 (446人(1.7%))	神奈川県相模原市 (95人(0.4%))
	四街道市	神奈川県横浜市 (194人(2.2%))	神奈川県川崎市 (90人(1.0%))	神奈川県相模原市 (42人(0.5%))
	袖ヶ浦市	神奈川県横浜市 (138人(2.5%))	神奈川県川崎市 (73人(1.3%))	神奈川県相模原市 (23人(0.4%))
	印西市	神奈川県横浜市 (236人(2.6%))	神奈川県川崎市 (130人(1.5%))	神奈川県相模原市 (39人(0.4%))
	白井市	神奈川県横浜市 (152人(2.5%))	神奈川県川崎市 (82人(1.4%))	神奈川県相模原市 (22人(0.4%))
	南房総市	神奈川県横浜市 (108人(3.2%))	神奈川県川崎市 (56人(1.7%))	神奈川県相模原市 (25人(0.8%))
	匝瑳市	神奈川県横浜市 (65人(2.2%))	神奈川県川崎市 (33人(1.1%))	神奈川県相模原市 (12人(0.4%))
いすみ市	神奈川県横浜市 (56人(1.7%))	神奈川県川崎市 (38人(1.1%))	神奈川県秦野市 (12人(0.4%))	
大網白里市	神奈川県横浜市 (94人(2.1%))	神奈川県川崎市 (42人(0.9%))	神奈川県相模原市 (34人(0.8%))	
神崎町	神奈川県川崎市 (10人(1.9%))	神奈川県横浜市・綾瀬市 (5人(1.0%))	神奈川県横須賀市・平塚市 (2人(0.4%))	
長柄町	神奈川県横浜市 (13人(1.6%))	神奈川県相模原市 (7人(0.9%))	神奈川県川崎市 (5人(0.6%))	
御宿町	神奈川県横浜市 (17人(2.9%))	神奈川県川崎市・藤沢市 (7人(1.2%))	神奈川県小田原市 (5人(0.9%))	
鋸南町	神奈川県横浜市 (20人(2.9%))	神奈川県川崎市・横須賀市 (6人(0.9%))	神奈川県相模原市・藤沢市 (3人(0.4%))	

(注) 1.出所：平成 22 年国勢調査

2.上記県内自治体は、各都道府県への転出率が 5%以上のもの

図表 71 県外の転出率が上位の自治体（参考）（男）

		1位	2位	3位
東京都	千葉市	東京都江東区 (1,053人(2.1%))	東京都江戸川区 (741人(1.5%))	東京都世田谷区 (418人(0.8%))
	銚子市	東京都江戸川区 (33人(1.1%))	東京都八王子市 (24人(0.8%))	東京都世田谷区 (23人(0.8%))
	市川市	東京都江戸川区 (1,585人(3.7%))	東京都江東区 (1,566人(3.7%))	東京都世田谷区・葛飾区 (544人(1.3%))
	船橋市	東京都江東区 (906人(2.3%))	東京都江戸川区 (746人(1.9%))	東京都世田谷区 (406人(1.0%))
	館山市	東京都江戸川区 (28人(1.1%))	東京都世田谷区 (22人(0.8%))	東京都大田区 (17人(0.6%))
	木更津市	東京都江東区 (44人(0.7%))	東京都江戸川区・八王子市 (41人(0.7%))	東京都世田谷区 (40人(0.6%))
	松戸市	東京都足立区 (608人(1.9%))	東京都葛飾区 (603人(1.9%))	東京都江東区 (465人(1.5%))
	野田市	東京都足立区 (80人(1.2%))	東京都葛飾区 (51人(0.8%))	東京都江東区 (50人(0.8%))
	茂原市	東京都江戸川区 (40人(0.9%))	東京都江東区 (39人(0.9%))	東京都八王子市 (31人(0.7%))
	成田市	東京都大田区 (118人(1.4%))	東京都世田谷区 (58人(0.7%))	東京都江戸川区 (55人(0.6%))
	佐倉市	東京都江東区 (142人(1.6%))	東京都江戸川区 (92人(1.0%))	東京都葛飾区 (78人(0.9%))
	東金市	東京都江戸川区 (31人(0.9%))	東京都江東区 (27人(0.8%))	東京都世田谷区 (23人(0.7%))
	旭市	東京都世田谷区・江戸川区 (22人(0.9%))	東京都八王子市 (19人(0.8%))	東京都府中市 (16人(0.7%))
	習志野市	東京都江東区 (241人(1.7%))	東京都江戸川区 (158人(1.1%))	東京都葛飾区 (117人(0.8%))
	柏市	東京都足立区 (323人(1.4%))	東京都江東区 (246人(1.0%))	東京都葛飾区 (224人(0.9%))
	勝浦市	東京都世田谷区 (14人(0.9%))	東京都八王子市 (9人(0.6%))	東京都北区・練馬区・葛飾区 ・江戸川区(7人(0.5%))
	市原市	東京都江東区 (104人(0.8%))	東京都江戸川区 (102人(0.8%))	東京都八王子市 (79人(0.6%))
	流山市	東京都足立区 (124人(1.2%))	東京都江東区 (100人(1.0%))	東京都葛飾区 (89人(0.9%))
	八千代市	東京都江東区 (154人(1.3%))	東京都江戸川区 (126人(1.1%))	東京都世田谷区 (89人(0.8%))
	我孫子市	東京都足立区 (111人(1.4%))	東京都江東区 (80人(1.0%))	東京都葛飾区 (74人(1.0%))
鴨川市	東京都世田谷区 (15人(1.0%))	東京都江東区 (13人(0.9%))	東京都練馬区 (11人(0.8%))	
鎌ヶ谷市	東京都江東区・江戸川区 (81人(1.3%))	東京都葛飾区 (57人(0.9%))	東京都世田谷区・足立区 (34人(0.5%))	
君津市	東京都江戸川区 (24人(0.5%))	東京都江東区・八王子市 (21人(0.4%))	東京都大田区・世田谷区 (18人(0.4%))	
富津市	東京都江戸川区 (15人(0.7%))	東京都八王子市 (12人(0.6%))	東京都板橋区 (10人(0.5%))	
浦安市	東京都江東区 (754人(5.4%))	東京都江戸川区 (470人(3.3%))	東京都中央区 (209人(1.5%))	

		1位	2位	3位
東京都	四街道市	東京都江戸川区 (48人(1.1%))	東京都江東区 (38人(0.8%))	東京都世田谷区 (28人(0.6%))
	袖ヶ浦市	東京都八王子市 (27人(0.9%))	東京都大田区 (23人(0.8%))	東京都江戸川区 (18人(0.6%))
	八街市	東京都江戸川区 (44人(1.2%))	東京都江東区 (32人(0.9%))	東京都世田谷区 (26人(0.7%))
	印西市	東京都江東区 (53人(1.2%))	東京都江戸川区 (46人(1.0%))	東京都葛飾区 (40人(0.9%))
	白井市	東京都葛飾区 (36人(1.2%))	東京都江東区 (35人(1.2%))	東京都江戸川区 (21人(0.7%))
	富里市	東京都江戸川区 (33人(1.0%))	東京都大田区 (22人(0.7%))	東京都江東区 (21人(0.7%))
	南房総市	東京都江東区 (13人(0.8%))	東京都世田谷区 (12人(0.7%))	東京都大田区・江戸川区 (11人(0.7%))
	匝瑳市	東京都八王子市 (17人(1.2%))	東京都文京区・大田区・葛飾区・ 府中市(9人(0.7%))	東京都江戸川区 (8人(0.6%))
	香取市	東京都世田谷区 (32人(1.0%))	東京都八王子市 (22人(0.7%))	東京都江戸川区 (17人(0.5%))
	山武市	東京都江戸川区 (30人(1.1%))	東京都江東区 (26人(1.0%))	東京都世田谷区 (16人(0.6%))
	いすみ市	東京都八王子市 (13人(0.8%))	東京都江東区・江戸川区 (10人(0.6%))	東京都新宿区・世田谷区・ 練馬区・府中市(9人(0.6%))
	大網白里市	東京都江東区 (26人(1.2%))	東京都江戸川区 (22人(1.0%))	東京都世田谷区 (14人(0.7%))
	酒々井町	東京都江戸川区 (15人(1.2%))	東京都大田区 (13人(1.0%))	東京都葛飾区 (12人(1.0%))
	栄町	東京都足立区 (14人(1.1%))	東京都江戸川区 (11人(0.8%))	東京都大田区 (10人(0.8%))
	神崎町	東京都世田谷区 (3人(1.3%))	東京都八王子市・武蔵野市 (2人(0.8%))	東京都千代田区・港区・墨田区・ 江東区・大田区・豊島区・板橋区・ 江戸川区・小平市(1人(0.4%))
	多古町	東京都大田区・世田谷区・ 江戸川区・日野市(5人(0.7%))	東京都板橋区・足立区・ 八王子市・小平市(3人(0.4%))	東京都新宿区・品川区・豊島区・ 葛飾区・武蔵野市(2人(0.3%))
	九十九里町	東京都江東区 (8人(1.1%))	東京都大田区・世田谷区 (5人(0.7%))	東京都江戸川区 (4人(0.5%))
	芝山町	東京都江東区・大田区・世田谷区 (3人(0.8%))	東京都新宿区・荒川区 (2人(0.5%))	東京都港区・文京区・台東区・品 川区・豊島区・板橋区・練馬区・江 戸川区・昭島市・町田市・日野市・ 東久留米市(1人(0.3%))
	横芝光町	東京都江東区・八王子市・調布市 (7人(0.9%))	東京都江戸川区 (5人(0.6%))	東京都世田谷区 (4人(0.5%))
	一宮町	東京都中央区・江東区 (5人(0.9%))	東京都大田区・世田谷区・ 渋谷区・八王子市(4人(0.7%))	東京都北区・荒川区・葛飾区 (3人(0.5%))
	睦沢町	東京都東村山市 (5人(1.6%))	東京都世田谷区・江戸川区 (4人(1.3%))	東京都八王子市 (3人(1.0%))
	長生村	東京都世田谷区 (6人(0.9%))	東京都江戸川区 (5人(0.7%))	東京都江東区・大田区・八王子 市・あきる野市(4人(0.6%))
	白子町	東京都江戸川区 (5人(1.0%))	東京都中央区・杉並区・八王子市 (4人(0.8%))	東京都世田谷区・板橋区・葛飾区 (3人(0.6%))
	長柄町	東京都江戸川区 (7人(1.9%))	東京都葛飾区 (6人(1.6%))	東京都江東区 (4人(1.1%))
	長南町	東京都八王子市 (5人(1.6%))	東京都新宿区 (3人(0.9%))	東京都杉並区・江戸川区 (2人(0.6%))
	大多喜町	東京都八王子市 (6人(1.4%))	東京都品川区・世田谷区・ 中野区・練馬区(3人(0.7%))	東京都大田区・荒川区・板橋区・ 葛飾区・江戸川区・日野市 (2人(0.5%))
御宿町	東京都八王子市 (3人(1.1%))	東京都中野区・板橋区・葛飾区・ 江戸川区(2人(0.8%))	東京都中央区・港区・目黒区・ 豊島区・荒川区・狛江市・多摩市・ 稲城市(1人(0.4%))	
鋸南町	東京都八王子市 (5人(1.5%))	東京都荒川区 (4人(1.2%))	東京都世田谷区・東久留米市 (3人(0.9%))	

		1位	2位	3位
茨城県	銚子市	茨城県神栖市 (658人(22.5%))	茨城県鹿嶋市 (55人(1.9%))	茨城県水戸市 (23人(0.8%))
	松戸市	茨城県取手市 (265人(0.8%))	茨城県守谷市 (205人(0.7%))	茨城県つくば市 (200人(0.6%))
	野田市	茨城県坂東市 (93人(1.4%))	茨城県つくば市 (55人(0.8%))	茨城県取手市 (50人(0.8%))
	旭市	茨城県神栖市 (103人(4.4%))	茨城県鹿嶋市 (30人(1.3%))	茨城県水戸市 (17人(0.7%))
	柏市	茨城県取手市 (317人(1.3%))	茨城県つくば市 (254人(1.1%))	茨城県守谷市 (248人(1.1%))
	流山市	茨城県守谷市 (83人(0.8%))	茨城県取手市 (81人(0.8%))	茨城県つくば市 (74人(0.7%))
	我孫子市	茨城県取手市 (282人(3.6%))	茨城県守谷市 (127人(1.6%))	茨城県つくば市 (111人(1.4%))
	印西市	茨城県取手市 (33人(0.7%))	茨城県龍ヶ崎市 (28人(0.6%))	茨城県つくば市 (23人(0.5%))
	香取市	茨城県神栖市 (261人(8.2%))	茨城県鹿嶋市 (98人(3.1%))	茨城県潮来市 (84人(2.6%))
	栄町	茨城県利根町 (9人(0.7%))	茨城県稲敷市 (8人(0.6%))	茨城県河内町 (7人(0.5%))
	神崎町	茨城県稲敷市 (8人(3.3%))	茨城県龍ヶ崎市・神栖市・美浦村 (2人(0.8%))	茨城県水戸市・土浦市・笠間市・ かすみがうら市・行方市・銚田市・ 河内町・境町(1人(0.4%))
	多古町	茨城県神栖市 (8人(1.2%))	茨城県稲敷市 (4人(0.6%))	茨城県水戸市・つくば市・鹿嶋市 (3人(0.4%))
	東庄町	茨城県神栖市 (104人(19.1%))	茨城県鹿嶋市 (17人(3.1%))	茨城県つくば市 (4人(0.7%))
埼玉県	千葉市	埼玉県さいたま市 (676人(1.3%))	埼玉県川口市 (229人(0.4%))	埼玉県所沢市 (135人(0.3%))
	市川市	埼玉県さいたま市 (479人(1.1%))	埼玉県川口市 (246人(0.6%))	埼玉県三郷市 (139人(0.3%))
	船橋市	埼玉県さいたま市 (465人(1.2%))	埼玉県川口市 (205人(0.5%))	埼玉県越谷市 (119人(0.3%))
	松戸市	埼玉県さいたま市 (454人(1.5%))	埼玉県三郷市 (307人(1.0%))	埼玉県川口市 (227人(0.7%))
	野田市	埼玉県春日部市 (292人(4.4%))	埼玉県さいたま市 (180人(2.7%))	埼玉県越谷市 (130人(2.0%))
	柏市	埼玉県さいたま市 (318人(1.3%))	埼玉県川口市 (146人(0.6%))	埼玉県三郷市 (113人(0.5%))
	勝浦市	埼玉県さいたま市 (14人(0.9%))	埼玉県熊谷市・川口市・東松山市 (5人(0.3%))	埼玉県川越市・所沢市・上尾市 ・朝霞市(4人(0.3%))
	流山市	埼玉県三郷市 (139人(1.4%))	埼玉県さいたま市 (138人(1.3%))	埼玉県越谷市 (70人(0.7%))
	我孫子市	埼玉県さいたま市 (90人(1.2%))	埼玉県川口市 (39人(0.5%))	埼玉県三郷市 (30人(0.4%))
	鴨川市	埼玉県さいたま市 (14人(1.0%))	埼玉県狭山市 (10人(0.7%))	埼玉県熊谷市・川口市 (6人(0.4%))
	神崎町	埼玉県さいたま市 (4人(1.7%))	埼玉県川越市・川口市 (2人(0.8%))	埼玉県上尾市・越谷市・蕨市・ 杉戸町(1人(0.4%))
	神奈川県	千葉市	神奈川県横浜市 (1,770人(3.5%))	神奈川県川崎市 (810人(1.6%))
銚子市		神奈川県横浜市 (62人(2.1%))	神奈川県川崎市 (33人(1.1%))	神奈川県秦野市 (13人(0.4%))
市川市		神奈川県横浜市 (1,342人(3.2%))	神奈川県川崎市 (752人(1.8%))	神奈川県相模原市 (146人(0.3%))
船橋市		神奈川県横浜市 (1,236人(3.1%))	神奈川県川崎市 (616人(1.5%))	神奈川県相模原市 (173人(0.4%))
館山市		神奈川県横須賀市 (121人(4.6%))	神奈川県横浜市 (75人(2.8%))	神奈川県川崎市 (36人(1.4%))
木更津市		神奈川県横浜市 (179人(2.9%))	神奈川県川崎市 (106人(1.7%))	神奈川県横須賀市 (52人(0.8%))
松戸市		神奈川県横浜市 (829人(2.7%))	神奈川県川崎市 (443人(1.4%))	神奈川県相模原市 (122人(0.4%))

		1位	2位	3位
神奈川 県	野田市	神奈川県横浜市 (177人(2.7%))	神奈川県川崎市 (82人(1.2%))	神奈川県相模原市 (38人(0.6%))
	茂原市	神奈川県横浜市 (91人(2.1%))	神奈川県川崎市 (60人(1.4%))	神奈川県秦野市 (27人(0.6%))
	成田市	神奈川県横浜市 (265人(3.1%))	神奈川県川崎市 (102人(1.2%))	神奈川県藤沢市 (29人(0.3%))
	佐倉市	神奈川県横浜市 (233人(2.7%))	神奈川県川崎市 (131人(1.5%))	神奈川県相模原市 (44人(0.5%))
	東金市	神奈川県横浜市 (68人(2.0%))	神奈川県川崎市 (39人(1.1%))	神奈川県秦野市 (16人(0.5%))
	旭市	神奈川県横浜市 (77人(3.3%))	神奈川県川崎市 (24人(1.0%))	神奈川県相模原市・厚木市 (8人(0.3%))
	習志野市	神奈川県横浜市 (375人(2.7%))	神奈川県川崎市 (162人(1.2%))	神奈川県相模原市 (54人(0.4%))
	柏市	神奈川県横浜市 (701人(3.0%))	神奈川県川崎市 (365人(1.5%))	神奈川県横須賀市 (107人(0.5%))
	勝浦市	神奈川県横浜市 (29人(1.9%))	神奈川県川崎市 (22人(1.5%))	神奈川県相模原市 (6人(0.4%))
	市原市	神奈川県横浜市 (356人(2.6%))	神奈川県川崎市 (162人(1.2%))	神奈川県秦野市 (102人(0.8%))
	流山市	神奈川県横浜市 (240人(2.3%))	神奈川県川崎市 (134人(1.3%))	神奈川県相模原市 (42人(0.4%))
	八千代市	神奈川県横浜市 (280人(2.4%))	神奈川県川崎市 (123人(1.0%))	神奈川県相模原市 (48人(0.4%))
	我孫子市	神奈川県横浜市 (235人(3.0%))	神奈川県川崎市 (144人(1.9%))	神奈川県相模原市 (35人(0.5%))
	鴨川市	神奈川県横浜市 (47人(3.3%))	神奈川県川崎市 (37人(2.6%))	神奈川県相模原市・横須賀市 (8人(0.6%))
	富津市	神奈川県横浜市 (31人(1.5%))	神奈川県川崎市 (25人(1.2%))	神奈川県相模原市 (10人(0.5%))
	浦安市	神奈川県横浜市 (503人(3.6%))	神奈川県川崎市 (237人(1.7%))	神奈川県相模原市 (52人(0.4%))
	四街道市	神奈川県横浜市 (97人(2.2%))	神奈川県川崎市 (43人(1.0%))	神奈川県相模原市 (22人(0.5%))
	袖ヶ浦市	神奈川県横浜市 (76人(2.6%))	神奈川県川崎市 (33人(1.1%))	神奈川県相模原市 (13人(0.4%))
	印西市	神奈川県横浜市 (121人(2.6%))	神奈川県川崎市 (63人(1.4%))	神奈川県相模原市 (24人(0.5%))
	白井市	神奈川県横浜市 (73人(2.4%))	神奈川県川崎市 (37人(1.2%))	神奈川県相模原市 (14人(0.5%))
	南房総市	神奈川県横浜市 (52人(3.2%))	神奈川県川崎市 (30人(1.9%))	神奈川県相模原市 (12人(0.7%))
	匝瑳市	神奈川県横浜市 (33人(2.4%))	神奈川県川崎市 (14人(1.0%))	神奈川県平塚市 (6人(0.4%))
	山武市	神奈川県横浜市 (59人(2.2%))	神奈川県川崎市 (30人(1.1%))	神奈川県相模原市 (12人(0.5%))
	いすみ市	神奈川県横浜市 (25人(1.6%))	神奈川県川崎市 (16人(1.0%))	神奈川県秦野市 (7人(0.4%))
	大網白里市	神奈川県横浜市 (50人(2.3%))	神奈川県川崎市 (20人(0.9%))	神奈川県秦野市 (19人(0.9%))
	九十九里町	神奈川県横浜市 (15人(2.0%))	神奈川県秦野市 (8人(1.1%))	神奈川県川崎市・相模原市・ 藤沢市(3人(0.4%))
	睦沢町	神奈川県川崎市 (6人(1.9%))	神奈川県横浜市 (5人(1.6%))	神奈川県秦野市 (3人(1.0%))
	長生村	神奈川県川崎市 (10人(1.5%))	神奈川県横浜市 (8人(1.2%))	神奈川県相模原市 (4人(0.6%))
	長南町	神奈川県横浜市 (6人(1.9%))	神奈川県川崎市 (3人(0.9%))	神奈川県相模原市・平塚市・ 秦野市(2人(0.6%))
	大多喜町	神奈川県横浜市 (7人(1.7%))	神奈川県川崎市 (6人(1.4%))	神奈川県藤沢市・秦野市 (2人(0.5%))
御宿町	神奈川県横浜市 (10人(3.8%))	神奈川県川崎市 (4人(1.5%))	神奈川県小田原市 (3人(1.1%))	
鋸南町	神奈川県横浜市 (8人(2.5%))	神奈川県横須賀市 (4人(1.2%))	神奈川県川崎市・相模原市 (3人(0.9%))	

(注) 1.出所：平成 22 年国勢調査

2.上記県内自治体は、各都道府県への転出率が5%以上のもの

図表 72 県外の転出率が上位の自治体（参考）（女）

		1位	2位	3位
東京都	千葉市	東京都江東区 (1,089人(2.4%))	東京都江戸川区 (807人(1.8%))	東京都世田谷区 (455人(1.0%))
	銚子市	東京都江戸川区 (25人(0.8%))	東京都世田谷区 (24人(0.8%))	東京都八王子市 (23人(0.7%))
	市川市	東京都江東区 (1,503人(4.2%))	東京都江戸川区 (1,472人(4.1%))	東京都葛飾区 (495人(1.4%))
	船橋市	東京都江東区 (897人(2.7%))	東京都江戸川区 (780人(2.3%))	東京都世田谷区 (363人(1.1%))
	館山市	東京都江戸川区 (25人(1.0%))	東京都大田区 (18人(0.7%))	東京都板橋区 (17人(0.7%))
	木更津市	東京都江戸川区 (42人(0.8%))	東京都江東区 (35人(0.7%))	東京都大田区 (34人(0.6%))
	松戸市	東京都足立区 (656人(2.3%))	東京都葛飾区 (628人(2.2%))	東京都江東区 (458人(1.6%))
	野田市	東京都足立区 (85人(1.4%))	東京都江東区 (52人(0.9%))	東京都葛飾区 (50人(0.8%))
	茂原市	東京都江戸川区 (47人(1.1%))	東京都江東区 (34人(0.8%))	東京都世田谷区 (27人(0.6%))
	成田市	東京都大田区 (99人(1.3%))	東京都江戸川区 (64人(0.8%))	東京都江東区 (61人(0.8%))
	佐倉市	東京都江東区 (161人(1.8%))	東京都江戸川区 (137人(1.5%))	東京都葛飾区 (97人(1.1%))
	東金市	東京都江戸川区 (31人(1.0%))	東京都江東区 (25人(0.8%))	東京都世田谷区 (22人(0.7%))
	旭市	東京都世田谷区・江戸川区 (22人(0.9%))	東京都新宿区・江東区 (18人(0.7%))	東京都大田区 (16人(0.6%))
	習志野市	東京都江東区 (239人(2.0%))	東京都江戸川区 (189人(1.6%))	東京都葛飾区 (112人(1.0%))
	柏市	東京都足立区 (395人(1.9%))	東京都江東区 (259人(1.2%))	東京都葛飾区 (258人(1.2%))
	勝浦市	東京都江戸川区 (9人(0.9%))	東京都世田谷区 (8人(0.8%))	東京都八王子市 (7人(0.7%))
	市原市	東京都江戸川区 (141人(1.2%))	東京都江東区 (128人(1.1%))	東京都大田区 (79人(0.7%))
	流山市	東京都足立区 (134人(1.4%))	東京都葛飾区 (106人(1.1%))	東京都江東区 (97人(1.0%))
	八千代市	東京都江戸川区 (186人(1.6%))	東京都江東区 (180人(1.6%))	東京都葛飾区 (104人(0.9%))
	我孫子市	東京都足立区 (122人(1.8%))	東京都世田谷区・葛飾区 (80人(1.1%))	東京都江東区 (79人(1.1%))
	鴨川市	東京都江戸川区 (26人(1.5%))	東京都大田区 (16人(0.9%))	東京都練馬区 (14人(0.8%))
	鎌ヶ谷市	東京都江戸川区 (97人(1.5%))	東京都江東区 (77人(1.2%))	東京都葛飾区 (67人(1.1%))
	君津市	東京都大田区 (26人(0.6%))	東京都江東区・世田谷区 ・江戸川区(24人(0.6%))	東京都練馬区 (18人(0.4%))
	富津市	東京都江戸川区 (17人(0.8%))	東京都江東区 (13人(0.6%))	東京都世田谷区・練馬区 (9人(0.4%))
	浦安市	東京都江東区 (749人(6.1%))	東京都江戸川区 (427人(3.5%))	東京都中央区 (211人(1.7%))
	四街道市	東京都江戸川区 (58人(1.4%))	東京都江東区 (47人(1.1%))	東京都世田谷区 (45人(1.1%))
袖ヶ浦市	東京都江戸川区 (32人(1.2%))	東京都江東区 (23人(0.8%))	東京都世田谷区 (21人(0.8%))	
八街市	東京都江戸川区 (51人(1.4%))	東京都江東区 (29人(0.8%))	東京都葛飾区 (24人(0.6%))	
印西市	東京都江東区 (54人(1.2%))	東京都江戸川区 (53人(1.2%))	東京都葛飾区 (47人(1.1%))	
白井市	東京都江東区 (46人(1.5%))	東京都葛飾区 (44人(1.5%))	東京都世田谷区 (35人(1.2%))	

		1位	2位	3位
東京都	富里市	東京都江戸川区 (29人(1.0%))	東京都江東区 (24人(0.8%))	東京都大田区 (19人(0.6%))
	南房総市	東京都江戸川区 (22人(1.3%))	東京都大田区・板橋区 (17人(1.0%))	東京都江東区 (15人(0.9%))
	匝瑳市	東京都江戸川区 (18人(1.1%))	東京都大田区・八王子市 (12人(0.7%))	東京都江東区 (11人(0.7%))
	香取市	東京都世田谷区 (31人(1.0%))	東京都板橋区 (30人(0.9%))	東京都大田区 (20人(0.6%))
	山武市	東京都江戸川区 (31人(1.1%))	東京都江東区・世田谷区 (20人(0.7%))	東京都葛飾区 (16人(0.6%))
	いすみ市	東京都江戸川区 (15人(0.9%))	東京都江東区 (13人(0.8%))	東京都杉並区・八王子市 (10人(0.6%))
	大網白里市	東京都江東区 (32人(1.4%))	東京都江戸川区 (28人(1.2%))	東京都墨田区・世田谷区 (15人(0.7%))
	酒々井町	東京都江戸川区 (13人(1.0%))	東京都大田区 (11人(0.8%))	東京都江東区・品川区 (9人(0.7%))
	栄町	東京都江戸川区 (13人(0.9%))	東京都杉並区 (12人(0.9%))	東京都大田区 (11人(0.8%))
	神崎町	東京都豊島区・板橋区・江戸川区 (2人(0.7%))	東京都港区・新宿区・文京区・台東区・江東区・品川区・大田区・杉並区・荒川区・足立区・武蔵野市・町田市・西東京市(1人(0.4%))	-
	多古町	東京都世田谷区 (8人(1.1%))	東京都八王子市・日野市 (5人(0.7%))	東京都大田区・杉並区 (4人(0.6%))
	東庄町	東京都江東区・江戸川区・調布市 (3人(0.5%))	東京都港区・新宿区・品川区・世田谷区・杉並区・板橋区・立川市・府中市(2人(0.3%))	東京都文京区・中野区・北区・荒川区・練馬区・足立区・葛飾区・八王子市・武蔵野市・三鷹市・町田市・小金井市・東村山市・武蔵村山市・西東京市(1人(0.2%))
	九十九里町	東京都江戸川区 (9人(1.1%))	東京都江東区・世田谷区 (7人(0.8%))	東京都品川区 (4人(0.5%))
	芝山町	東京都江東区 (3人(0.8%))	東京都大田区・世田谷区・葛飾区・国立市・東久留米市 (2人(0.5%))	東京都港区・新宿区・文京区・目黒区・杉並区・北区・板橋区・練馬区・町田市・東村山市・狛江市・東大和市・西東京市(1人(0.3%))
	横芝光町	東京都練馬区 (7人(0.7%))	東京都世田谷区・江戸川区 (6人(0.6%))	東京都中野区・足立区 (4人(0.4%))
	一宮町	東京都大田区 (6人(1.1%))	東京都世田谷区 (5人(0.9%))	東京都江東区・荒川区 (4人(0.7%))
	睦沢町	東京都江東区 (3人(1.0%))	東京都世田谷区・江戸川区・八王子市・町田市・小金井市・東村山市(2人(0.6%))	東京都新宿区・渋谷区・豊島区・足立区・武蔵野市・調布市・日野市(1人(0.3%))
	長生村	東京都江戸川区 (9人(1.3%))	東京都江東区 (8人(1.2%))	東京都世田谷区 (6人(0.9%))
	白子町	東京都江東区・江戸川区 (7人(1.1%))	東京都中央区・板橋区・足立区・葛飾区・八王子市(3人(0.5%))	東京都大田区・練馬区・東村山市 (2人(0.3%))
	長柄町	東京都江戸川区 (4人(0.9%))	東京都江東区・杉並区・北区・葛飾区・三鷹市(2人(0.5%))	東京都中央区・文京区・大田区・世田谷区・中野区・豊島区・板橋区・練馬区・足立区・八王子市・昭島市・町田市・小金井市・小平市・国立市(1人(0.2%))
長南町	東京都江戸川区 (6人(1.4%))	東京都世田谷区・八王子市 (4人(0.9%))	東京都大田区・中野区 (3人(0.7%))	
大多喜町	東京都杉並区 (14人(2.9%))	東京都江戸川区 (7人(1.4%))	東京都目黒区・豊島区・葛飾区 (3人(0.6%))	
御宿町	東京都板橋区・府中市 (3人(0.9%))	東京都大田区・中野区 (2人(0.6%))	東京都中央区・文京区・江東区・品川区・目黒区・世田谷区・渋谷区・杉並区・豊島区・北区・葛飾区・江戸川区・八王子市・立川市・調布市・稲城市(1人(0.3%))	
鋸南町	東京都板橋区 (5人(1.4%))	東京都八王子市 (4人(1.1%))	東京都足立区・江戸川区・町田市 (3人(0.8%))	

		1位	2位	3位
茨城県	銚子市	茨城県神栖市 (674人(21.9%))	茨城県鹿嶋市 (37人(1.2%))	茨城県つくば市 (20人(0.6%))
	松戸市	茨城県取手市・つくば市 (214人(0.7%))	茨城県守谷市 (180人(0.6%))	茨城県龍ヶ崎市 (96人(0.3%))
	野田市	茨城県坂東市 (85人(1.4%))	茨城県取手市 (45人(0.8%))	茨城県つくば市 (44人(0.7%))
	旭市	茨城県神栖市 (100人(4.0%))	茨城県鹿嶋市 (28人(1.1%))	茨城県水戸市 (15人(0.6%))
	柏市	茨城県取手市 (317人(1.5%))	茨城県守谷市 (232人(1.1%))	茨城県つくば市 (199人(1.0%))
	流山市	茨城県守谷市 (83人(0.9%))	茨城県取手市 (72人(0.8%))	茨城県つくば市 (71人(0.8%))
	我孫子市	茨城県取手市 (274人(3.9%))	茨城県守谷市 (121人(1.7%))	茨城県つくば市 (82人(1.2%))
	香取市	茨城県神栖市 (241人(7.6%))	茨城県潮来市・稲敷市 (89人(2.8%))	茨城県鹿嶋市 (82人(2.6%))
	神崎町	茨城県稲敷市 (8人(2.9%))	茨城県美浦村 (7人(2.5%))	茨城県利根町 (4人(1.5%))
	東庄町	茨城県神栖市 (97人(16.0%))	茨城県鹿嶋市 (25人(4.1%))	茨城県潮来市・稲敷市 (4人(0.7%))
埼玉県	千葉市	埼玉県さいたま市 (566人(1.3%))	埼玉県川口市 (187人(0.4%))	埼玉県越谷市 (130人(0.3%))
	市川市	埼玉県さいたま市 (389人(1.1%))	埼玉県川口市 (173人(0.5%))	埼玉県越谷市 (130人(0.4%))
	船橋市	埼玉県さいたま市 (368人(1.1%))	埼玉県川口市 (184人(0.5%))	埼玉県越谷市 (101人(0.3%))
	松戸市	埼玉県さいたま市 (384人(1.3%))	埼玉県三郷市 (308人(1.1%))	埼玉県川口市 (193人(0.7%))
	野田市	埼玉県春日部市 (331人(5.6%))	埼玉県さいたま市 (203人(3.4%))	埼玉県越谷市 (134人(2.3%))
	柏市	埼玉県さいたま市 (275人(1.3%))	埼玉県川口市 (125人(0.6%))	埼玉県三郷市 (101人(0.5%))
	流山市	埼玉県三郷市 (154人(1.7%))	埼玉県さいたま市 (127人(1.4%))	埼玉県越谷市 (71人(0.8%))
	我孫子市	埼玉県さいたま市 (69人(1.0%))	埼玉県川口市 (46人(0.7%))	埼玉県三郷市 (29人(0.4%))
	鴨川市	埼玉県さいたま市 (23人(1.3%))	埼玉県川口市 (9人(0.5%))	埼玉県狭山市 (8人(0.4%))
	浦安市	埼玉県さいたま市 (151人(1.2%))	埼玉県川口市 (64人(0.5%))	埼玉県越谷市 (59人(0.5%))
神奈川県	千葉市	神奈川県横浜市 (1,571人(3.5%))	神奈川県川崎市 (731人(1.6%))	神奈川県相模原市 (225人(0.5%))
	銚子市	神奈川県横浜市 (70人(2.3%))	神奈川県川崎市 (40人(1.3%))	神奈川県相模原市 (12人(0.4%))
	市川市	神奈川県横浜市 (1,095人(3.1%))	神奈川県川崎市 (670人(1.9%))	神奈川県相模原市 (116人(0.3%))
	船橋市	神奈川県横浜市 (1,052人(3.1%))	神奈川県川崎市 (548人(1.6%))	神奈川県相模原市 (138人(0.4%))
	館山市	神奈川県横浜市 (82人(3.4%))	神奈川県川崎市 (45人(1.9%))	神奈川県横須賀市 (41人(1.7%))
	木更津市	神奈川県横浜市 (178人(3.3%))	神奈川県川崎市 (100人(1.9%))	神奈川県相模原市 (24人(0.4%))
	松戸市	神奈川県横浜市 (855人(3.0%))	神奈川県川崎市 (424人(1.5%))	神奈川県相模原市 (127人(0.4%))

		1位	2位	3位
神奈川県	野田市	神奈川県横浜市 (118人(2.0%))	神奈川県川崎市 (53人(0.9%))	神奈川県相模原市 (22人(0.4%))
	茂原市	神奈川県横浜市 (78人(1.9%))	神奈川県川崎市 (60人(1.4%))	神奈川県相模原市 (15人(0.4%))
	成田市	神奈川県横浜市 (212人(2.7%))	神奈川県川崎市 (80人(1.0%))	神奈川県相模原市 (20人(0.3%))
	佐倉市	神奈川県横浜市 (230人(2.6%))	神奈川県川崎市 (110人(1.2%))	神奈川県相模原市 (44人(0.5%))
	習志野市	神奈川県横浜市 (275人(2.4%))	神奈川県川崎市 (133人(1.1%))	神奈川県相模原市 (44人(0.4%))
	柏市	神奈川県横浜市 (585人(2.8%))	神奈川県川崎市 (303人(1.5%))	神奈川県相模原市 (91人(0.4%))
	勝浦市	神奈川県横浜市 (27人(2.6%))	神奈川県川崎市 (13人(1.3%))	神奈川県相模原市 (5人(0.5%))
	市原市	神奈川県横浜市 (269人(2.3%))	神奈川県川崎市 (156人(1.3%))	神奈川県相模原市 (46人(0.4%))
	流山市	神奈川県横浜市 (210人(2.3%))	神奈川県川崎市 (125人(1.3%))	神奈川県相模原市 (35人(0.4%))
	八千代市	神奈川県横浜市 (281人(2.5%))	神奈川県川崎市 (129人(1.1%))	神奈川県相模原市・藤沢市 (45人(0.4%))
	我孫子市	神奈川県横浜市 (189人(2.7%))	神奈川県川崎市 (109人(1.6%))	神奈川県相模原市 (28人(0.4%))
	鴨川市	神奈川県横浜市 (66人(3.7%))	神奈川県川崎市 (31人(1.7%))	神奈川県相模原市 (10人(0.6%))
	富津市	神奈川県横浜市 (40人(1.9%))	神奈川県川崎市 (24人(1.1%))	神奈川県相模原市 (9人(0.4%))
	浦安市	神奈川県横浜市 (408人(3.3%))	神奈川県川崎市 (209人(1.7%))	神奈川県相模原市 (43人(0.4%))
	四街道市	神奈川県横浜市 (97人(2.3%))	神奈川県川崎市 (47人(1.1%))	神奈川県相模原市 (20人(0.5%))
	袖ヶ浦市	神奈川県横浜市 (62人(2.3%))	神奈川県川崎市 (40人(1.5%))	神奈川県相模原市 (10人(0.4%))
	印西市	神奈川県横浜市 (115人(2.6%))	神奈川県川崎市 (67人(1.5%))	神奈川県相模原市 (15人(0.3%))
	白井市	神奈川県横浜市 (79人(2.6%))	神奈川県川崎市 (45人(1.5%))	神奈川県相模原市 (8人(0.3%))
	南房総市	神奈川県横浜市 (56人(3.2%))	神奈川県川崎市 (26人(1.5%))	神奈川県相模原市 (13人(0.8%))
	いすみ市	神奈川県横浜市 (31人(1.8%))	神奈川県川崎市 (22人(1.3%))	神奈川県平塚市・秦野市 (5人(0.3%))
大網白里市	神奈川県横浜市 (44人(1.9%))	神奈川県川崎市 (22人(1.0%))	神奈川県相模原市 (21人(0.9%))	
神崎町	神奈川県川崎市 (6人(2.2%))	神奈川県綾瀬市 (4人(1.5%))	神奈川県横浜市 (2人(0.7%))	
長柄町	神奈川県横浜市 (9人(2.1%))	神奈川県川崎市・相模原市 (3人(0.7%))	神奈川県平塚市 (2人(0.5%))	
御宿町	神奈川県横浜市 (7人(2.2%))	神奈川県藤沢市 (5人(1.6%))	神奈川県川崎市 (3人(0.9%))	
鋸南町	神奈川県横浜市 (12人(3.4%))	神奈川県川崎市 (3人(0.8%))	神奈川県横須賀市・鎌倉市 (2人(0.6%))	

(注) 1.出所：平成22年国勢調査

2.上記県内自治体は、各都道府県への転出率が5%以上のもの

(2) 転入・転出者へのアンケート調査

① 3月・9月実施分

a. 調査実施概要

千葉県が実施した転入・転出者アンケート（平成28年3月・9月実施分）の集計結果は次の通り。

(ア) 調査の目的

千葉県の転入者・転出者に対し、転入・転出の理由、転入先の自治体を選んだ理由や転出前の自治体の良かった点・悪かった点、通勤手段と所要時間、参考にした情報源等をアンケート調査により明らかにする。これにより、転入者、転出者の実態を把握する。

(イ) 調査の対象・方法

各市町村の窓口において、転入者・転出者に対してアンケート調査票を配布する方式により実施した。

(ウ) 調査内容

○転入者アンケート

- ・ 元の住まい
- ・ 転入理由
- ・ 転入先自治体を選んだ理由
- ・ 転入後の通勤手段・所要時間
- ・ 転入の際に参考にした情報源
- ・ 回答者属性（年齢、世帯人数、世帯構成）

○転出者アンケート

- ・ 転出先
- ・ 転出理由
- ・ 転出前自治体の良かった点・悪かった点
- ・ 転出前の通勤手段・所要時間
- ・ 転出の際に参考にした情報源
- ・ 回答者属性（年齢、世帯人数、世帯構成）

(エ) 調査時期

平成28年3月1日（火）～3月31日（木）

平成28年9月1日（木）～9月30日（金）

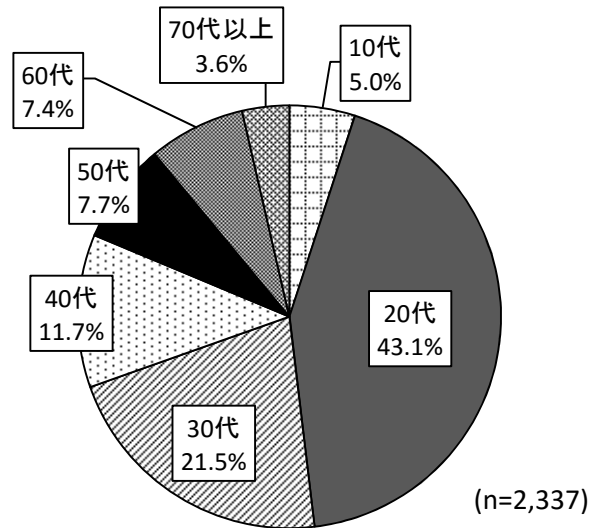
(オ) 調査票の回収状況

転入者アンケート：2,403件、転出者アンケート：2,458件

b. 転入者アンケート調査結果
(ア) 属性

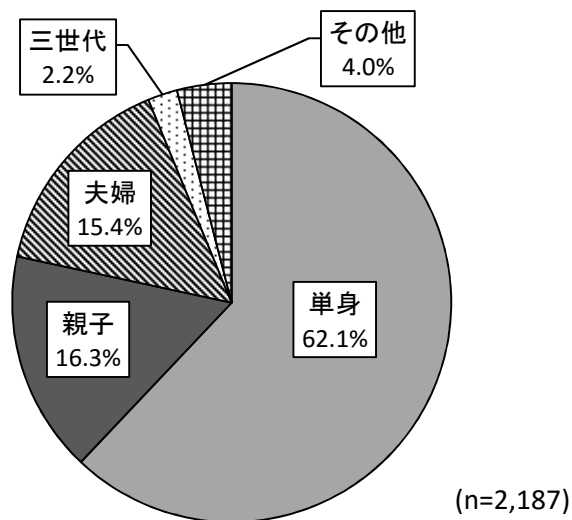
i. 世帯主の年代

図表 73 世帯主の年齢



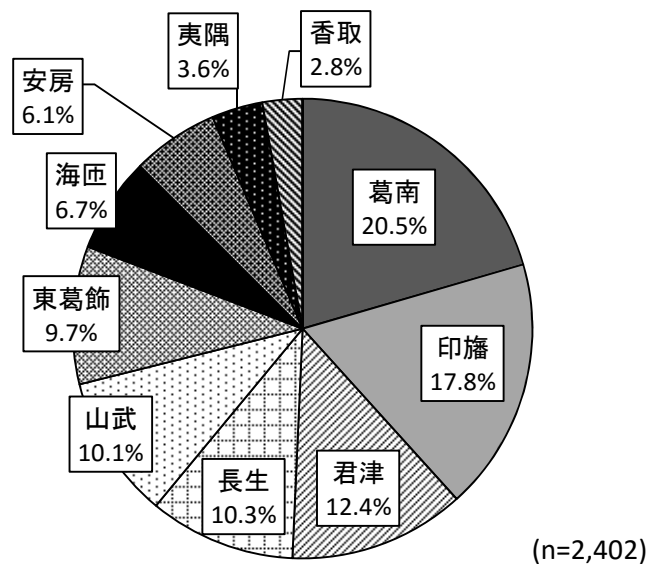
ii. 世帯構成

図表 74 世帯構成



iii. 居住地

図表 75 居住地 (11ブロック別)



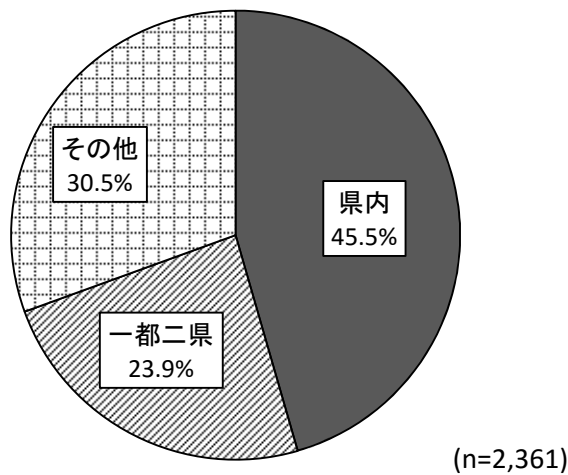
ブロック	該当市町村
千葉	千葉市(千葉市よりアンケートの提出がなかったため、千葉ブロックの表示はない)
葛南	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝	銚子市、旭市、匝瑳市
山武	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津	市原市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

(イ)元の住まい

問2 元のお住まいはどちらですか。(県内からは市町村名、県外からは都道府県名を記入してください)

元の住まいは、県内が 45.5%、一都二県が 23.9%、その他の道府県が 30.5%だった。県外の内訳を都道府県別にみると、東京都（321 件）、神奈川県（132 件）、埼玉県（112 件）、茨城県（89 件）など、近隣都県が上位を占めた。県内では千葉市（161 件）が最も多く、船橋市（70 件）、松戸市（56 件）と続いた。

図表 76 元の住まい



図表 77 転入元の上位

順位	都道府県 (海外を含む)	件数
1	東京都	321
2	神奈川県	132
3	埼玉県	112
4	茨城県	89
5	北海道	45
6	海外	43
7	愛知県	41
7	福岡県	41
9	大阪府	38
10	静岡県	28

順位	県内市町村	件数
1	千葉市	161
2	船橋市	70
3	松戸市	56
4	成田市	51
5	市川市	39
6	市原市	33
6	柏市	33
8	茂原市	31
9	木更津市	29
10	君津市	27

(ウ) 転入理由

問3 転入理由は何ですか。①から⑥のいずれか一つに○をつけて下さい。

転入理由は、「仕事の都合（就職、転勤等）」が 50.1%と最も多く、以下、「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」(20.8%)、「住宅の都合（購入等による住替え等）」(14.2%)、「退職を契機とした転居」(5.6%)が続いた。

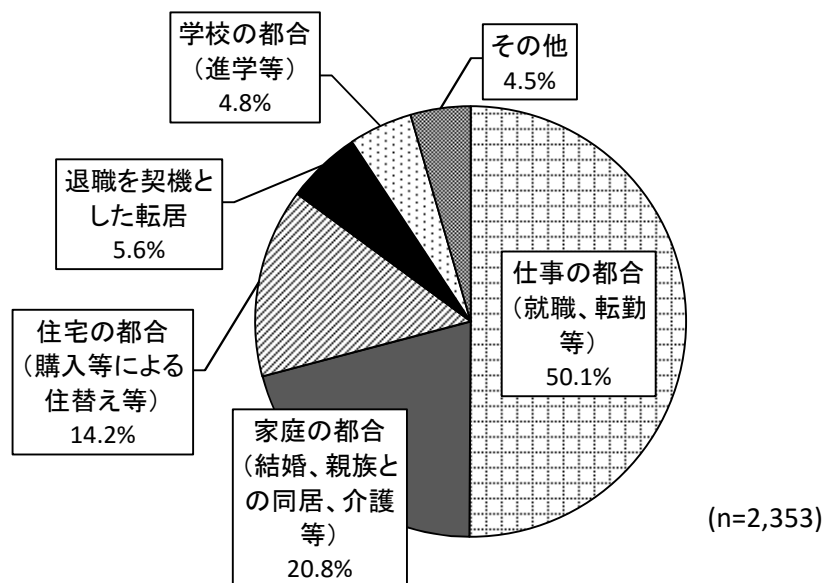
年齢層別にみると、「10代」の「学校の都合（進学等）」(47.4%)、「20代」の「仕事の都合（就職、転勤等）」(67.3%)、「30代」・「40代」・「50代」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」(30代:23.9%、40代:21.3%、50代:21.5%)、「60代」の「退職を契機とした転居」(20.2%)、「70代以上」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」(41.5%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「単身」の「仕事の都合（就職、転勤等）」(66.3%)、「夫婦」と「三世帯」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」(夫婦:37.1%、三世帯:35.4%)、「親子」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」(24.9%)、などが全体の水準を上回っている。

元の住まいをみると、「県内」は「住宅の都合（購入等による住替え等）」(23.0%)、「その他の地域」は「仕事の都合（就職、転勤等）」(71.1%)、などが全体の水準を上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」・「安房」・「君津」における「仕事の都合（就職、転勤等）」(葛南:66.9%、安房:71.9%、君津:58.2%)、「東葛飾」と「山武」における「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」(東葛飾:29.3%、山武:26.8%)、「印旛」における「住宅の都合（購入等による住替え等）」(25.3%)、「長生」における「学校の都合（進学等）」(13.4%)、「夷隅」における「退職を契機とした転居」(15.7%)が全体の水準を大きく上回っている。

図表 78 転入理由



図表 79 転入理由（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	仕事の都合（就職、転勤等）	家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）	住宅の都合（購入等による住替え等）	退職を契機とした転居	学校の都合（進学等）	その他
全体		2,353	50.1	20.8	14.2	5.6	4.8	4.5
年齢層	10代	116	44.0	2.6	2.6	1.7	47.4	1.7
	20代	996	67.3	15.7	6.1	4.2	3.3	3.4
	30代	490	42.0	25.9	23.9	2.9	2.0	3.3
	40代	267	42.3	24.7	21.3	5.2	1.5	4.9
	50代	177	40.7	20.9	21.5	9.0	4.5	3.4
	60代	168	22.6	27.4	19.0	20.2	0.6	10.1
	70代以上	82	12.2	41.5	23.2	9.8	0.0	13.4
世帯	単身	1,343	66.3	11.5	7.4	4.8	6.2	3.9
	夫婦	334	26.0	37.1	26.6	5.4	0.9	3.9
	親子	346	28.6	29.8	24.9	8.1	5.2	3.5
	三世帯	48	27.1	35.4	16.7	12.5	4.2	4.2
	その他	85	34.1	37.6	4.7	5.9	5.9	11.8
まいの住	県内	1,060	37.1	29.4	23.0	4.2	2.2	4.1
	一都二県	552	48.0	19.2	13.6	9.4	3.4	6.3
	その他の地域	712	71.1	9.6	1.7	4.5	9.7	3.5
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	486	66.9	13.8	10.3	1.9	4.5	2.7
	東葛飾	229	41.0	29.3	15.7	5.2	2.2	6.6
	印旛	423	37.6	23.2	25.3	6.1	3.8	4.0
	香取	63	52.4	20.6	12.7	4.8	6.3	3.2
	海匝	156	52.6	21.8	7.1	7.1	8.3	3.2
	山武	235	39.6	26.8	17.4	5.5	3.0	7.7
	長生	238	38.7	24.8	9.7	9.2	13.4	4.2
	夷隅	83	28.9	25.3	15.7	15.7	1.2	13.3
	安房	146	71.9	8.9	4.8	6.2	6.8	1.4
	君津	294	58.2	18.7	13.3	4.8	1.0	4.1

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(工) 転入先自治体を選んだ理由

問4 転入先に〇〇市(町村)を選ばれた主な理由について、①から⑫のうち3つまで〇をつけて下さい。

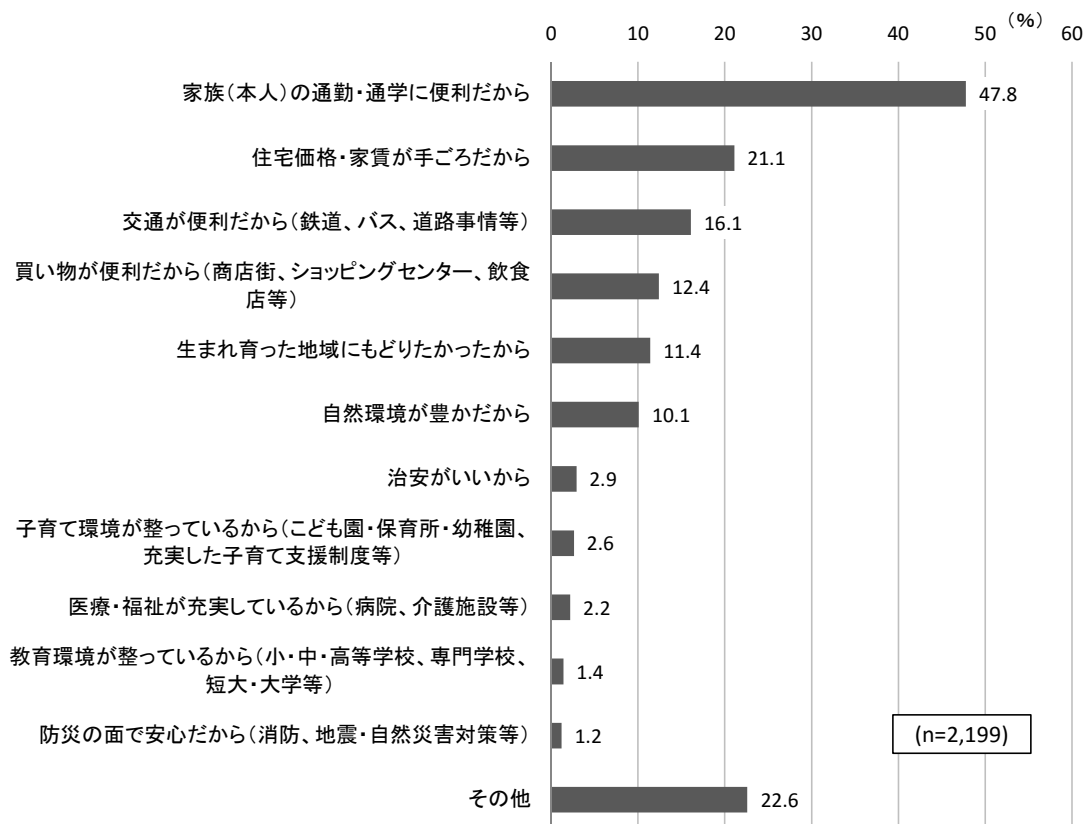
転入先を選んだ理由として、「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(47.8%)が最も多かった。以下、「住宅価格・家賃が手ごろだから」(21.1%)、「交通が便利だから(鉄道、バス、道路事情等)」(16.1%)、「買い物が便利だから(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)」(12.4%)、「生まれ育った地域にもどりたかったから」(11.4%)が続いた。

年齢層別にみると、「10代」と「20代」の「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(10代:54.2%、20代:56.1%)、「30代」の「住宅価格・家賃が手ごろだから」(26.3%)、「50代」と「70代以上」の「生まれ育った地域にもどりたかったから」(50代:18.3%、70代以上:22.5%)、「60代」の「自然環境が豊かだから」(25.3%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「夫婦」の「住宅価格・家賃が手ごろだから」(29.2%)、「親子」と「三世帯」の「生まれ育った地域にもどりたかったから」(親子:27.3%、三世帯:40.5%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」と「東葛飾」における「交通が便利だから(鉄道、バス、道路事情等)」(葛南:31.6%、東葛飾:29.7%)、「印旛」における「住宅価格・家賃が手ごろだから」(26.6%)、「香取」と「夷隅」における「自然環境が豊かだから」(香取:23.3%、夷隅:42.1%)、「海匝」・「山武」・「長生」における「生まれ育った地域にもどりたかったから」(海匝:20.3%、山武:17.7%、長生:19.9%)、「安房」における「医療・福祉が充実しているから(病院、介護施設等)」(9.7%)、「君津」における「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(55.8%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 80 転入先自治体を選んだ理由



図表 81 転入先自治体を選んだ理由（属性別）

(単位:%)

		合計 (n)	家族(本人)の通勤・通学に便利だから	住宅価格・家賃が手ごろだから	交通が便利だから(鉄道、バス、道路事情等)	買い物に便利だから(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)	生まれ育った地域にもどりたいから	自然環境が豊かだから	治安がいいから	子育て環境が整っているから(こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等)	医療・福祉が充実しているから(病院、介護施設等)	教育環境が整っているから(小・高等学校、専門学校、短大・大学等)	防災の面で安心だから(消防、地震・自然災害対策等)	その他
全体		2,199	47.8	21.1	16.1	12.4	11.4	10.1	2.9	2.6	2.2	1.4	1.2	22.6
年齢層	10代	107	54.2	11.2	9.3	4.7	0.9	6.5	0.9	0.0	1.9	5.6	0.0	27.1
	20代	930	56.1	19.9	18.5	13.4	8.6	4.6	2.3	2.7	1.7	0.9	0.5	21.7
	30代	468	50.6	26.3	15.2	13.0	14.7	12.6	2.4	4.5	0.4	1.9	1.3	17.1
	40代	248	45.6	24.2	19.0	9.7	9.3	10.5	6.5	3.2	2.4	1.6	0.8	21.0
	50代	164	37.8	18.3	12.8	11.0	18.3	15.9	0.6	0.6	1.8	0.0	2.4	29.3
	60代	158	20.3	20.9	12.7	17.1	17.7	25.3	3.2	0.0	6.3	0.0	2.5	26.6
	70代以上	71	11.3	12.7	12.7	8.5	22.5	16.9	5.6	0.0	9.9	1.4	5.6	36.6
世帯	単身	1,246	51.7	20.3	18.8	12.2	6.8	7.9	2.6	0.3	2.3	1.0	0.7	23.0
	夫婦	315	47.0	29.2	17.1	15.9	11.4	15.2	3.2	4.1	1.9	1.9	2.2	19.4
	親子	337	38.0	18.1	8.0	11.3	27.3	11.6	2.4	7.7	2.1	2.4	1.5	22.8
	三世帯	42	16.7	16.7	2.4	7.1	40.5	19.0	2.4	7.1	0.0	0.0	0.0	26.2
	その他	81	61.7	17.3	17.3	11.1	2.5	3.7	3.7	1.2	2.5	1.2	1.2	17.3
元の住ま	県内	1,006	47.9	23.1	17.5	15.4	12.6	10.6	2.2	3.8	2.2	1.4	1.5	17.9
	一都二県	516	45.0	21.1	12.0	11.2	14.0	14.5	4.3	2.1	2.1	0.8	1.6	23.3
	その他の地域	649	49.9	18.0	17.6	8.9	7.2	5.5	2.9	1.1	2.3	1.8	0.5	29.4
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	402	52.5	23.4	31.6	20.1	4.5	2.5	3.5	1.0	0.7	0.7	0.5	25.4
	東葛飾	222	53.2	27.5	29.7	20.7	6.8	5.0	5.0	3.2	2.3	0.9	1.8	14.9
	印旛	402	41.0	26.6	12.7	12.7	11.9	11.2	3.2	3.5	2.2	1.5	3.0	23.6
	香取	60	51.7	18.3	6.7	1.7	21.7	23.3	0.0	5.0	1.7	1.7	0.0	18.3
	海匝	153	52.3	8.5	4.6	6.5	20.3	7.8	2.6	2.0	2.0	3.9	0.0	26.1
	山武	231	35.9	21.6	11.7	6.5	17.7	14.7	0.4	5.6	2.2	0.4	0.9	27.7
	長生	226	47.3	19.0	8.8	6.2	19.9	15.0	4.4	2.2	1.8	0.4	0.9	13.7
	夷隅	76	28.9	19.7	1.3	3.9	14.5	42.1	6.6	0.0	3.9	1.3	2.6	21.1
	安房	144	52.8	7.6	2.8	4.2	10.4	10.4	1.4	2.1	9.7	2.1	0.7	24.3
君津	283	55.8	20.5	16.6	15.9	4.6	4.9	1.1	2.1	0.7	2.1	0.4	24.4	

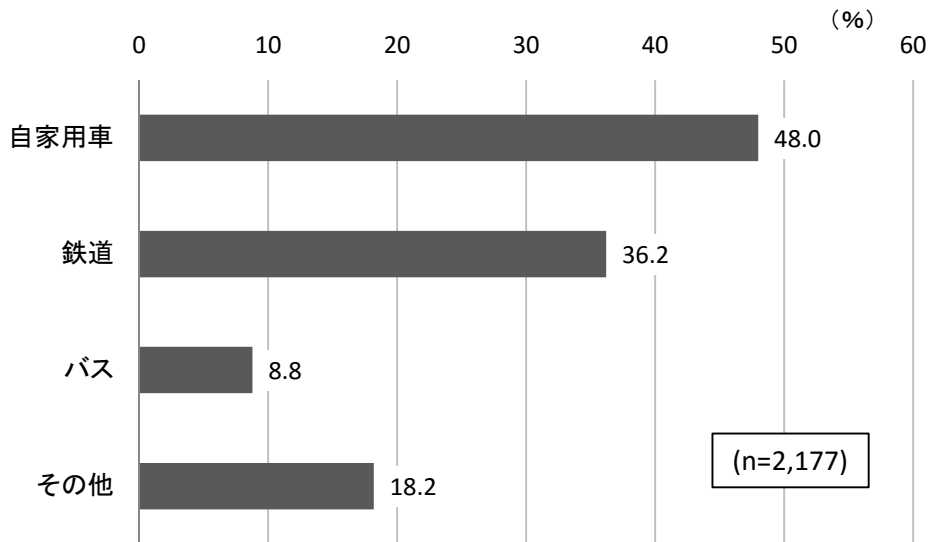
(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(才) 転入後の通勤手段と所要時間

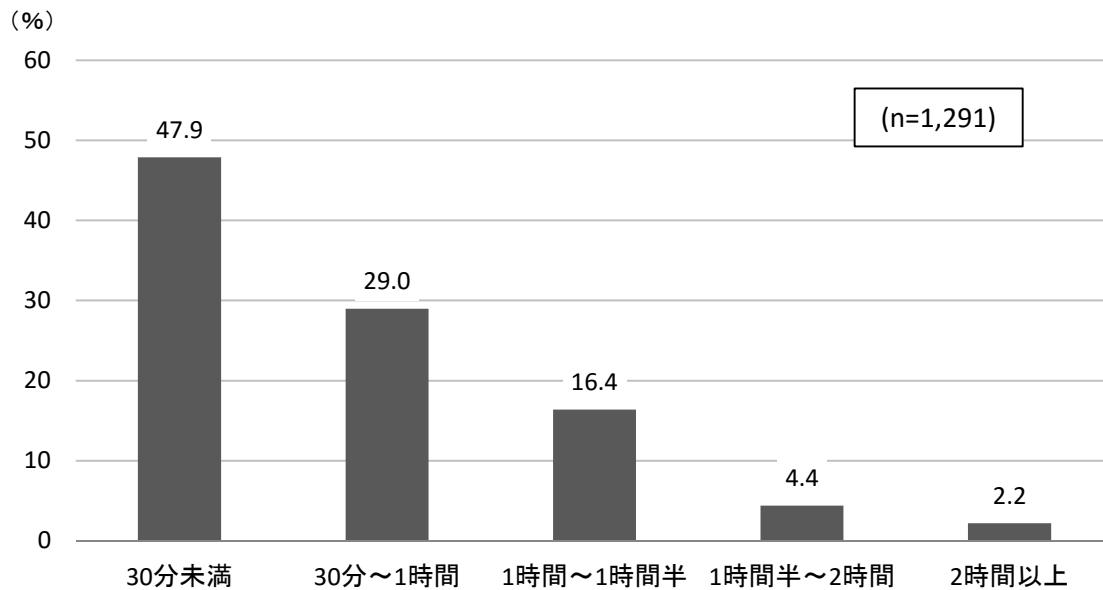
問5 転入後の通勤手段と所要時間について教えてください。(複数回答可)

転入後の通勤手段は「自家用車」(48.0%)が最も多く、次いで「鉄道」(36.2%)となった。所要時間は30分未満(47.9%)が最も多く、次いで30分~1時間未満(29.0%)、1時間~1時間半(16.4%)と続いた。

図表 82 通勤手段



図表 83 所要時間



(カ) 転入の際に参考にした情報源

問6 転入の際に参考にした情報源は何ですか。(複数回答可)

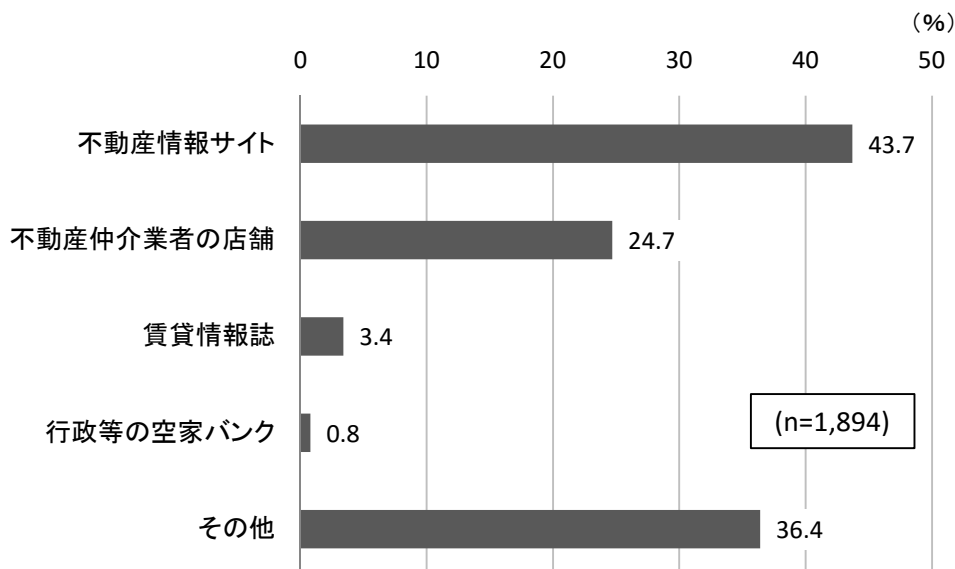
転入の際に参考にした情報源は、住居については、「不動産情報サイト」(43.7%)、「不動産仲介業者の店舗」(24.7%)の順に多かった(「その他」を除く)。「その他」では、「会社の指定・社宅」、「実家(があるため)」などの回答が多くみられた。

年齢層別にみると、「30代」の「不動産情報サイト」(51.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「不動産情報サイト」(51.4%)が全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」における「不動産仲介業者の店舗」(37.0%)、「東葛飾」と「君津」における「不動産情報サイト」(東葛飾：51.3%、君津：54.1%)、「夷隅」における「行政等の空家バンク」(9.8%)、などが全体の水準を上回っている。

図表 84 情報源 (住居について)



図表 85 情報源（住居について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	不動産 情報サ イト	不動 産仲 介業 者の 店舗	賃 貸 情 報 誌	行 政 等 の 空 家 バ ン ク	そ の 他
全体		1,894	43.7	24.7	3.4	0.8	36.4
年齢層	10代	70	37.1	14.3	4.3	0.0	52.9
	20代	831	43.8	29.4	3.5	0.5	33.2
	30代	423	51.5	25.5	3.3	0.2	29.6
	40代	217	47.9	20.7	3.2	1.4	33.6
	50代	132	31.1	19.7	2.3	0.8	50.0
	60代	124	29.0	17.7	4.0	4.0	51.6
	70代以上	52	36.5	11.5	0.0	3.8	53.8
世帯	単身	1,099	43.8	27.4	3.5	0.6	34.7
	夫婦	282	51.4	24.5	2.8	1.8	29.4
	親子	255	38.4	20.8	3.5	0.4	43.9
	三世帯	30	13.3	13.3	3.3	0.0	70.0
	その他	75	52.0	20.0	4.0	0.0	33.3
まい の住	県内	854	45.8	26.6	3.5	0.5	32.4
	一都二県	446	45.7	23.1	3.1	1.6	37.0
	その他の地域	573	39.1	23.4	3.5	0.9	41.5
居住 地区	千葉	-	-	-	-	-	-
	葛南	432	50.5	37.0	3.7	0.2	24.1
	東葛飾	187	51.3	26.2	3.2	1.1	31.0
	印旛	353	45.6	21.5	3.1	0.6	34.6
	香取	43	34.9	14.0	4.7	0.0	51.2
	海匝	119	37.8	16.8	1.7	0.0	48.7
	山武	183	34.4	22.4	3.8	1.1	43.7
	長生	150	34.0	20.7	3.3	0.7	45.3
	夷隅	61	36.1	14.8	4.9	9.8	44.3
	安房	124	20.2	11.3	3.2	0.8	66.9
	君津	242	54.1	25.2	3.7	0.4	27.7

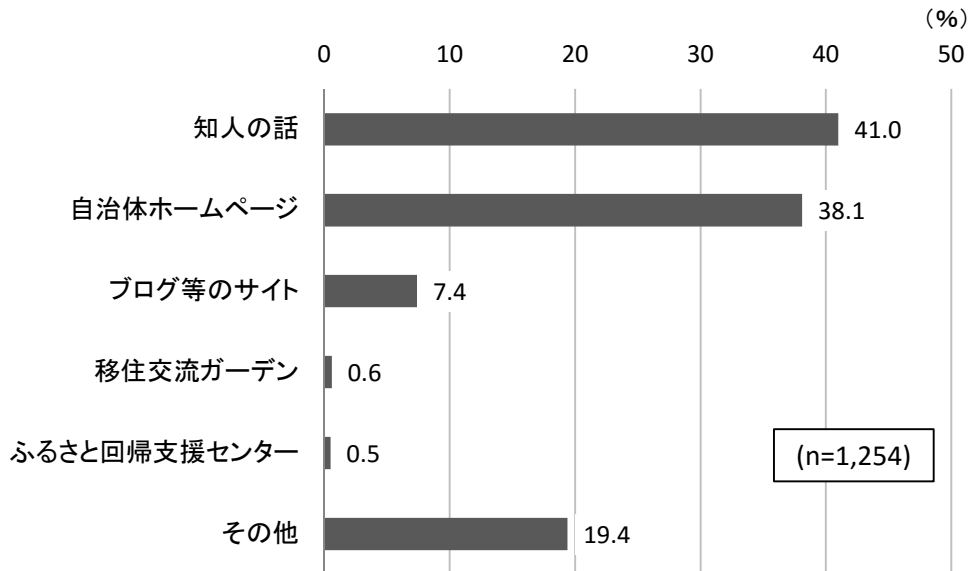
（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

地域情報については、「知人の話」(41.0%)、「自治体ホームページ」(38.1%)の順に多かった。「その他」では、「元々住んでいて知っていた」などの回答が多くみられた。

年齢層別にみると、「10代」の「知人の話」(52.5%)、「50代」の「自治体ホームページ」(45.2%)が全体の水準を上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」と「海匝」における「自治体ホームページ」(葛南：45.4%、海匝：45.3%)、「香取」・「長生」・「安房」における「知人の話」(香取：48.4%、長生：49.1%、安房：54.4%)が全体の水準を上回っている。

図表 86 情報源 (地域情報について)



図表 87 情報源（地域情報について・属性別）

（単位：％）

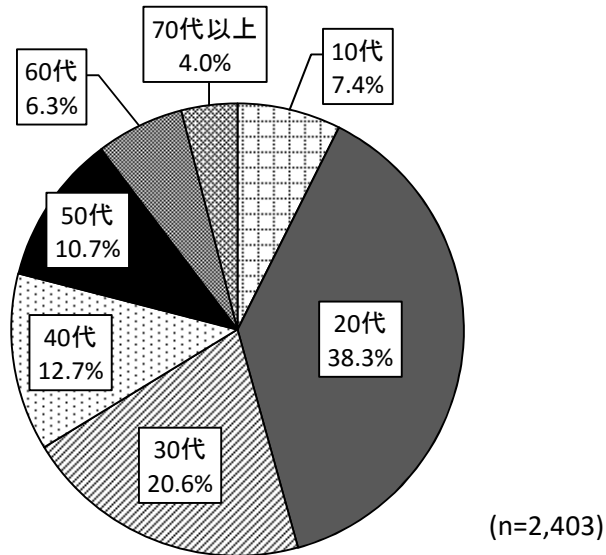
		合計 (n)	知人の話	自治体ホームページ	ブログ等のサイト	移住交流ガイド	ふるさと回帰支援センター	その他
全体		1,254	41.0	38.1	7.4	0.6	0.5	19.4
年齢層	10代	40	52.5	30.0	2.5	0.0	2.5	15.0
	20代	525	44.8	37.9	7.0	0.2	0.2	15.4
	30代	265	44.5	42.3	6.0	1.1	0.0	17.4
	40代	163	38.0	36.2	11.0	1.2	0.6	20.9
	50代	104	26.0	45.2	5.8	0.0	0.0	28.8
	60代	83	33.7	39.8	8.4	2.4	2.4	20.5
	70代以上	47	29.8	25.5	6.4	0.0	2.1	40.4
世帯	単身	695	43.5	37.3	8.1	0.3	0.3	16.4
	夫婦	193	39.4	42.0	8.8	0.5	0.5	17.6
	親子	186	35.5	40.9	5.9	1.6	0.5	25.8
	三世帯	25	44.0	12.0	12.0	0.0	0.0	32.0
	その他	51	39.2	33.3	3.9	0.0	0.0	29.4
まいの住	県内	573	43.1	37.3	6.5	0.7	0.3	17.8
	一都二県	285	41.4	37.9	8.1	0.7	0.7	19.6
	その他の地域	384	37.8	39.1	8.3	0.5	0.5	21.4
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	260	37.3	45.4	8.1	0.4	0.0	13.8
	東葛飾	119	42.0	33.6	6.7	0.0	0.0	24.4
	印旛	236	39.4	40.3	6.4	0.0	0.4	18.6
	香取	31	48.4	22.6	6.5	0.0	0.0	25.8
	海匝	86	38.4	45.3	4.7	0.0	1.2	19.8
	山武	126	42.1	33.3	5.6	1.6	0.0	27.8
	長生	106	49.1	32.1	7.5	1.9	0.9	17.0
	夷隅	47	40.4	34.0	10.6	2.1	2.1	19.1
	安房	79	54.4	26.6	6.3	1.3	1.3	15.2
	君津	164	36.0	40.2	11.0	0.6	0.6	21.3

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

c. 転出者アンケート調査結果
(ア) 属性

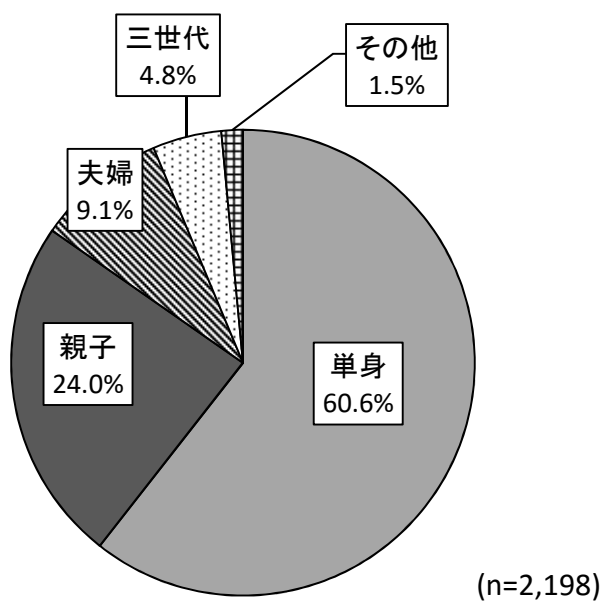
i. 世帯主の年代

図表 88 世帯主の年代



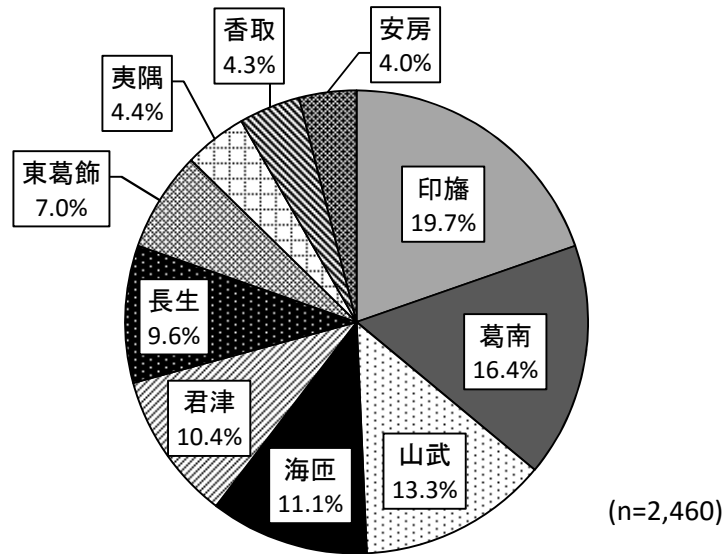
ii. 世帯構成

図表 89 世帯構成



iii. 居住地

図表 90 居住地（11ブロック別）



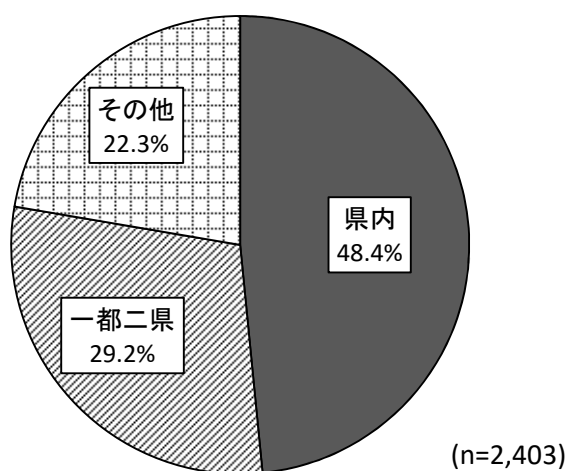
ブロック	該当市町村
千葉	千葉市(千葉市よりアンケートの提出がなかったため、千葉ブロックの表示はない)
葛南	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝	銚子市、旭市、匝瑳市
山武	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津	市原市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

(イ) 転出先

問2 転出先はどちらですか。(県内へは市町村名、県外へは都道府県名を記入してください)

転出先は、県内が48.4%、一都二県が29.2%、その他の道府県が22.3%だった。県外の内訳を都道府県別にみると、東京都(422件)、神奈川県(178件)、埼玉県(102件)、茨城県(88件)など、近隣都県が上位を占めた。県内では、千葉市(198件)が最も多く、船橋市(96件)、成田市(65件)が続いた。

図表 91 転出先



図表 92 転出先の上位

順位	都道府県 (海外を含む)	件数
1	東京都	422
2	神奈川県	178
3	埼玉県	102
4	茨城県	88
5	愛知県	45
6	北海道	35
7	大阪府	29
8	海外	25
9	静岡県	23
10	栃木県	21

順位	県内市町村	件数
1	千葉市	198
2	船橋市	96
3	成田市	65
4	市川市	63
5	東金市	45
6	柏市	42
7	茂原市	41
8	市原市	35
9	松戸市	34
9	木更津市	34

(ウ) 転出理由

問3 転出理由は何ですか。①から⑥のいずれか一つに○をつけて下さい。

転出理由は、「仕事の都合（就職、転勤等）」（56.2%）が最も多く、以下、「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（22.6%）、「住宅の都合（購入等による住替え等）」（9.7%）、「学校の都合（進学等）」（5.0%）が続いた。

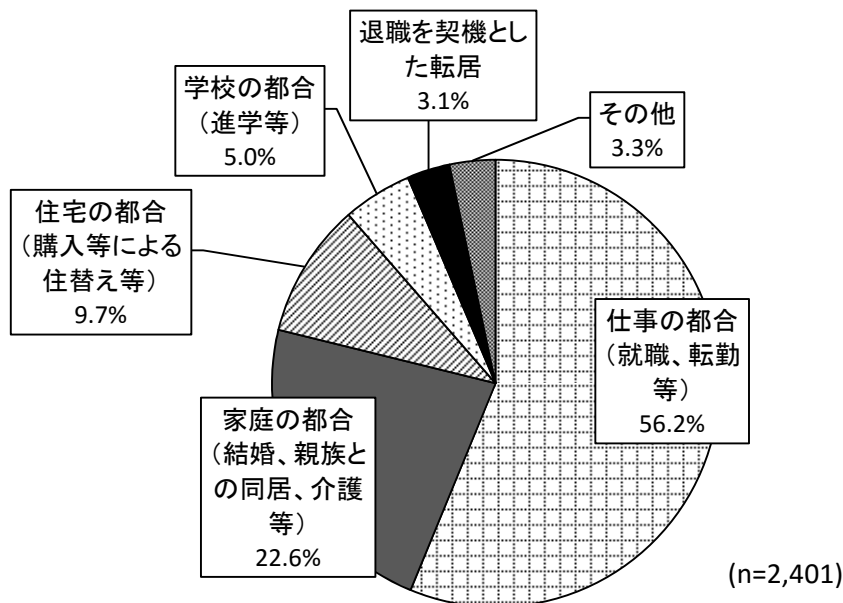
年齢層別にみると、「10代」の「学校の都合（進学等）」（27.1%）、「20代」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（67.4%）、「30代」・「60代」・「70代以上」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（30代：29.7%、60代：29.3%、70代以上：43.6%）、「40代」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（14.9%）、などが全体の水準を上回っている。

世帯別では、「単身」と「三世帯」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（単身：63.3%、三世帯：63.8%）、「夫婦」と「親子」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（夫婦：24.2%、親子：14.9%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先別にみると、「県内」では「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（31.5%）、「一都二県」と「その他の地域」では「仕事の都合（就職、転勤等）」（一都二県：67.1%、その他の地域：68.2%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」と「東葛飾」における「住宅の都合（購入等による住替え等）」（葛南：15.2%、東葛飾：16.1%）、「海匝」における「仕事の都合（就職、転勤等）」（66.5%）が全体の水準を大きく上回っている。

図表 93 転出理由



図表 94 転出理由（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	仕事の都合（勤等） （就職、転	家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）	住宅の都合（購入等による住替え等）	学校の都合（進学等）	退職を契機とした転居	その他
全体		2,401	56.1	22.6	9.7	5.0	3.1	3.3
年齢層	10代	170	67.6	3.5	0.0	27.1	1.8	0.0
	20代	901	67.4	17.9	6.0	2.4	4.2	2.1
	30代	489	47.4	29.7	14.7	2.5	2.7	3.1
	40代	302	53.0	20.2	14.9	6.0	1.3	4.6
	50代	248	53.6	26.6	8.5	4.8	2.0	4.4
	60代	147	40.1	29.3	12.9	3.4	6.8	7.5
	70代以上	94	27.7	43.6	14.9	4.3	1.1	8.5
世帯	単身	1,300	63.3	19.3	5.5	4.8	4.6	2.5
	夫婦	198	35.4	33.3	24.2	0.5	3.0	3.5
	親子	516	49.6	23.6	14.9	7.4	0.4	4.1
	三世帯	105	63.8	24.8	3.8	5.7	0.0	1.9
	その他	32	62.5	9.4	12.5	6.3	3.1	6.3
転出先	県内	1,138	44.2	31.5	15.1	3.5	1.4	4.2
	一都二県	686	67.1	15.6	6.3	7.4	1.7	1.9
	その他の地域	529	68.2	12.7	2.3	4.9	8.7	3.2
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	396	55.6	18.9	15.2	3.8	4.5	2.0
	東葛飾	168	44.0	25.0	16.1	1.8	6.0	7.1
	印旛	475	56.2	24.4	9.9	3.6	2.3	3.6
	香取	102	55.9	22.5	4.9	8.8	5.9	2.0
	海匝	269	66.5	20.1	3.7	6.3	1.5	1.9
	山武	321	55.8	26.5	5.3	8.1	0.9	3.4
	長生	220	50.9	27.3	8.2	6.8	2.3	4.5
	夷隅	106	55.7	22.6	12.3	4.7	2.8	1.9
	安房	96	60.4	12.5	10.4	9.4	5.2	2.1
	君津	248	57.7	21.0	10.9	2.0	4.0	4.4

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(エ) 転出前自治体の良かった点・悪かった点

問4 ○○市(町村)の良かった点と悪かった点について、3つまで○をつけて下さい。

良かった点は、「自然環境が豊か」(54.9%)が最も多く、以下、「治安がいい」(38.4%)、「家族(本人)の通勤・通学に便利」(34.2%)、「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(33.3%)、「住宅価格・家賃が手ごろ」(26.4%)が続いた。

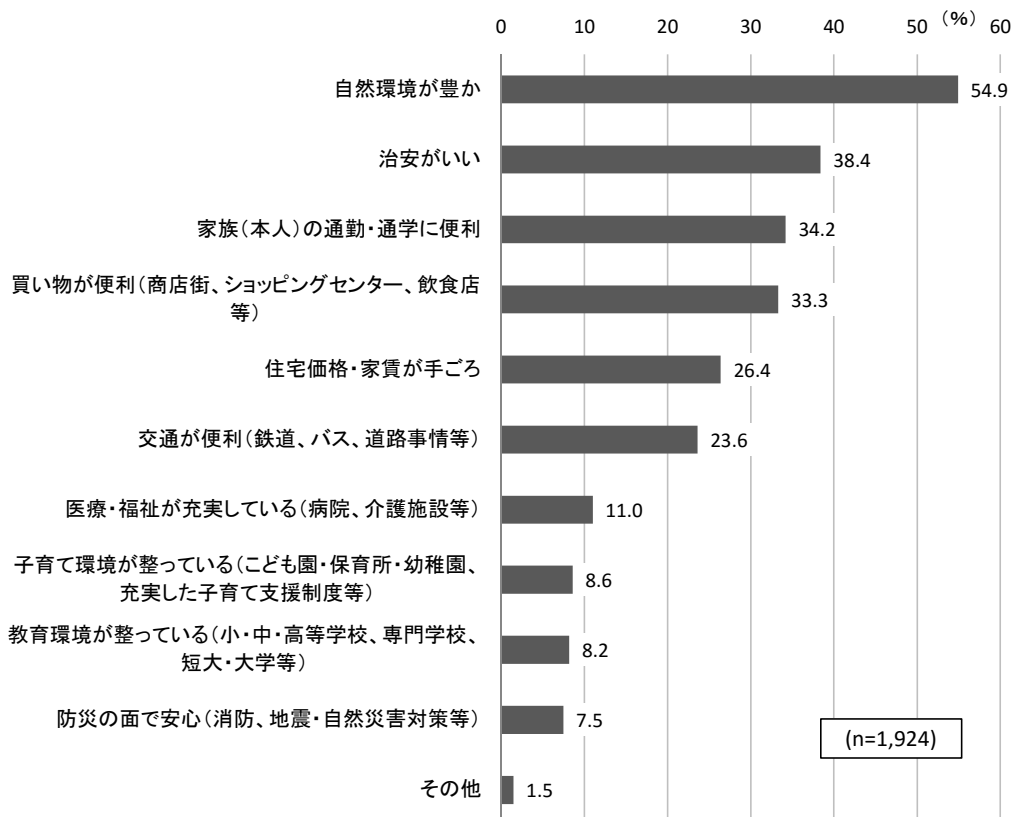
年齢層別にみると、「10代」の「治安がいい」(46.0%)、「30代」と「40代」の「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(30代:41.9%、40代:38.8%)、「50代」・「60代」・「70代以上」の「自然環境が豊か」(50代:67.5%、60代:72.3%、70代以上:71.2%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「夫婦」の「家族(本人)の通勤・通学に便利」(42.9%)、「親子」の「子育て環境が整っている(こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等)」(15.3%)、「三世帯」の「自然環境が豊か」(78.9%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先別にみると、「一都二県」では「住宅価格・家賃が手ごろ」(33.0%)、「その他の地域」では「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(46.2%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」における「交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)」(58.8%)、「東葛飾」と「君津」における「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(東葛飾:53.4%、君津:50.5%)、「香取」における「治安がいい」(65.2%)、「海匝」・「山武」・「長生」・「夷隅」における「自然環境が豊か」(海匝:74.4%、山武:68.9%、長生:67.3%、夷隅:82.8%)、「安房」における「医療・福祉が充実している(病院・介護施設等)」(52.4%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 95 転出前自治体の良かった点



図表 96 転出前自治体の良かった点（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	自然環境が豊か	治安がいい	家族（本人）の通勤・通学に便利	買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）	住宅価格・家賃が手ごろ	交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）	医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）	子育て環境が整っている（こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等）	教育環境が整っている（小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等）	防災の面で安心（消防、地震・自然災害対策等）	その他
全体		1,924	54.9	38.4	34.2	33.3	26.4	23.6	11.0	8.6	8.2	7.5	1.5
年齢層	10代	139	57.6	46.0	30.2	33.8	12.2	28.8	4.3	8.6	13.7	5.8	1.4
	20代	748	51.6	39.0	38.2	31.3	26.7	24.7	11.2	8.0	9.0	6.0	1.3
	30代	382	46.9	36.4	38.0	41.9	31.9	24.6	13.1	11.3	3.9	6.5	1.8
	40代	245	53.5	31.4	35.9	38.8	27.8	25.3	9.8	9.8	9.4	9.0	2.0
	50代	197	67.5	40.6	27.4	24.4	24.4	20.8	8.1	5.1	7.6	9.1	1.0
	60代	101	72.3	34.7	20.8	25.7	27.7	16.8	15.8	8.9	9.9	11.9	1.0
	70代以上	73	71.2	50.7	15.1	19.2	26.0	8.2	16.4	5.5	6.8	13.7	0.0
世帯	単身	1,041	53.2	37.7	35.0	34.7	27.3	25.7	10.7	6.0	7.0	7.4	1.6
	夫婦	161	46.6	33.5	42.9	41.6	30.4	26.7	7.5	8.1	6.8	6.8	1.2
	親子	412	54.1	36.9	35.4	32.8	25.0	22.1	12.1	15.3	10.0	7.5	1.2
	三世帯	90	78.9	56.7	18.9	22.2	18.9	12.2	11.1	6.7	8.9	10.0	3.3
	その他	24	41.7	37.5	33.3	33.3	16.7	45.8	20.8	0.0	20.8	8.3	0.0
転出先	県内	926	56.5	39.7	36.0	30.2	25.6	20.0	10.6	9.3	8.0	8.5	1.5
	一都二県	557	60.5	41.3	28.4	28.7	33.0	20.5	10.6	7.5	10.2	7.4	1.1
	その他の地域	407	44.2	31.7	38.3	46.2	18.9	36.4	12.0	8.4	6.4	5.7	2.0
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	262	12.2	17.2	60.3	66.4	22.9	58.8	8.0	7.3	8.0	1.1	1.5
	東葛飾	133	32.3	31.6	39.8	53.4	26.3	42.9	13.5	6.0	9.0	7.5	2.3
	印旛	393	57.5	34.4	31.0	33.8	26.0	21.9	7.9	9.7	9.2	9.4	1.0
	香取	92	79.3	65.2	20.7	7.6	20.7	4.3	7.6	19.6	7.6	10.9	0.0
	海匝	223	74.4	41.7	28.7	20.6	26.9	8.1	10.8	6.3	10.8	8.1	1.8
	山武	267	68.9	50.6	21.3	17.2	28.1	13.1	8.2	12.7	11.2	10.9	3.4
	長生	171	67.3	40.9	39.2	18.1	31.6	9.9	6.4	5.8	2.9	7.6	0.0
	夷隅	87	82.8	64.4	10.3	17.2	32.2	3.4	9.2	8.0	2.3	8.0	0.0
	安房	84	73.8	56.0	20.2	13.1	16.7	7.1	52.4	9.5	4.8	2.4	2.4
	君津	212	39.2	25.9	43.4	50.5	28.3	34.9	12.3	4.2	8.0	7.5	1.4

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

悪かった点は、「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（64.3%）が最も多く、以下、「買い物便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（38.8%）、「家族（本人）の通勤・通学に便利」（31.6%）、「治安がいい」（15.3%）、「医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）」（14.4%）が続いた。

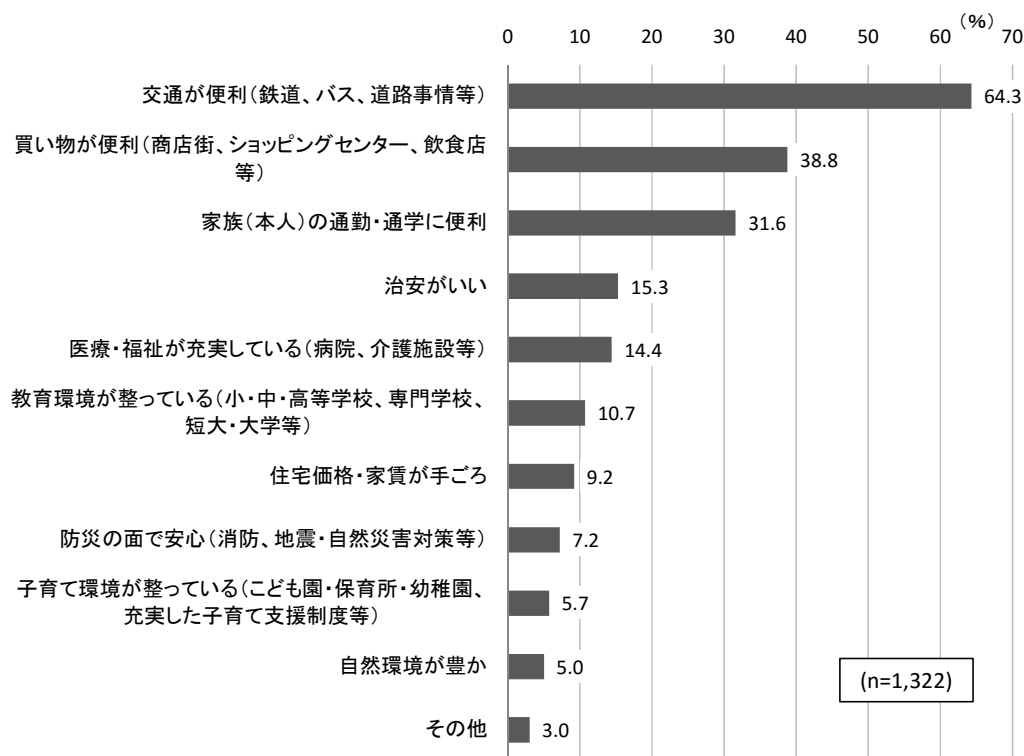
年齢層別にみると、「10代」の「買い物便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（50.0%）、「40代」の「医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）」（21.3%）、「60代」・「70代以上」の「家族（本人）の通勤・通学に便利」（60代：41.1%、70代以上：45.3%）などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）」（24.3%）、「親子」の「子育て環境が整っている（こども園・保育園・幼稚園、充実した子育て支援制度等）」（11.9%）、「三世帯」の「家族（本人）の通勤・通学に便利」（49.3%）などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「一都二県」では「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（70.4%）、「その他の地域」では「治安がいい」（23.4%）などが全体の水準を上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」・「東葛飾」・「君津」における「治安がいい」（葛南：40.5%、東葛飾：26.5%、君津：39.7%）、「印旛」・「山武」・「夷隅」における「家族（本人）の通勤・通学に便利」（印旛：38.2%、山武：46.5%、夷隅：50.8%）、「香取」と「海匝」における「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（香取：85.3%、海匝：74.1%）、「長生」における「教育環境が整っている（小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等）」（18.8%）、「安房」における「買い物便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（64.2%）などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 97 転出前自治体の悪かった点



図表 98 転出前自治体の悪かった点（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）	買い物（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）	家族（本人）の通勤・通学に便利	治安がいい	医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）	教育環境が整っている（小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等）	住宅価格・家賃が手ごろ	防災の面で安心（消防、地震・自然災害対策等）	子育て環境が整っている（こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等）	自然環境が豊か	その他
全体		1,322	64.3	38.8	31.6	15.3	14.4	10.7	9.2	7.2	5.7	5.0	3.0
年齢層	10代	84	66.7	50.0	25.0	9.5	11.9	13.1	8.3	6.0	1.2	4.8	1.2
	20代	515	66.2	40.2	34.0	15.7	12.2	12.2	9.3	5.8	4.9	6.0	3.1
	30代	262	60.3	34.4	25.6	19.1	13.0	5.7	12.2	10.7	7.6	6.1	3.4
	40代	164	59.1	33.5	24.4	13.4	21.3	10.4	11.0	4.9	6.7	2.4	4.9
	50代	145	66.2	36.6	35.2	10.3	17.9	13.8	6.2	9.0	4.8	1.4	2.8
	60代	73	71.2	38.4	41.1	20.5	13.7	6.8	5.5	9.6	8.2	5.5	1.4
	70代以上	53	60.4	47.2	45.3	9.4	11.3	11.3	1.9	7.5	5.7	3.8	1.9
世帯	単身	708	66.1	42.4	29.4	15.5	12.4	9.0	9.5	7.3	3.1	4.7	3.1
	夫婦	107	58.9	37.4	27.1	24.3	24.3	9.3	11.2	1.9	3.7	12.1	3.7
	親子	293	59.7	32.1	33.8	14.3	16.4	12.3	9.6	9.2	11.9	4.4	3.1
	三世代	73	67.1	38.4	49.3	13.7	12.3	12.3	2.7	8.2	4.1	2.7	0.0
	その他	16	56.3	18.8	37.5	18.8	31.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
転出先	県内	631	63.5	40.4	32.5	12.7	14.9	9.4	11.4	6.5	5.4	4.3	1.7
	一都二県	416	70.4	38.7	37.5	13.9	14.2	13.7	3.8	6.5	4.8	4.3	4.1
	その他の地域	252	55.2	35.3	20.2	23.4	13.1	9.1	12.3	10.7	7.5	7.9	4.0
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	131	19.1	15.3	10.7	40.5	9.2	6.9	26.7	16.8	11.5	21.4	4.6
	東葛飾	68	41.2	20.6	30.9	26.5	14.7	4.4	19.1	4.4	10.3	5.9	1.5
	印旛	272	69.9	40.8	38.2	14.7	15.1	8.1	7.7	5.5	3.7	3.3	1.8
	香取	75	85.3	56.0	37.3	1.3	18.7	10.7	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3
	海匝	170	74.1	41.8	21.8	8.8	20.0	12.9	5.3	10.0	7.6	3.5	2.9
	山武	187	77.0	48.7	46.5	4.8	13.4	9.6	1.6	8.0	3.7	0.0	3.2
	長生	160	65.0	39.4	30.0	6.3	21.3	18.8	7.5	6.9	7.5	3.8	2.5
	夷隅	61	80.3	41.0	50.8	1.6	16.4	19.7	4.9	3.3	1.6	1.6	1.6
	安房	67	74.6	64.2	22.4	4.5	4.5	11.9	17.9	0.0	7.5	0.0	3.0
	君津	131	53.4	25.2	25.2	39.7	6.1	7.6	9.2	6.9	3.8	9.2	6.9

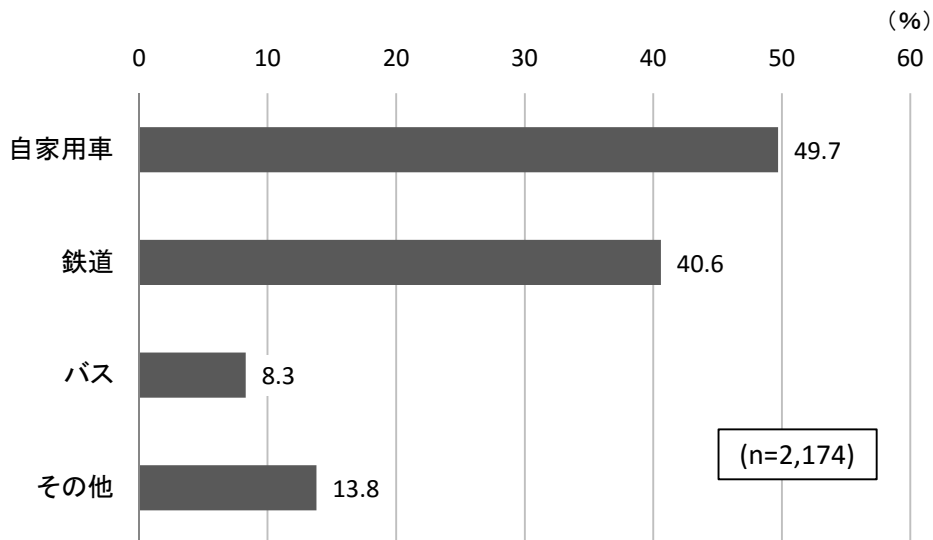
（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(オ) 転出前の通勤手段と所要時間

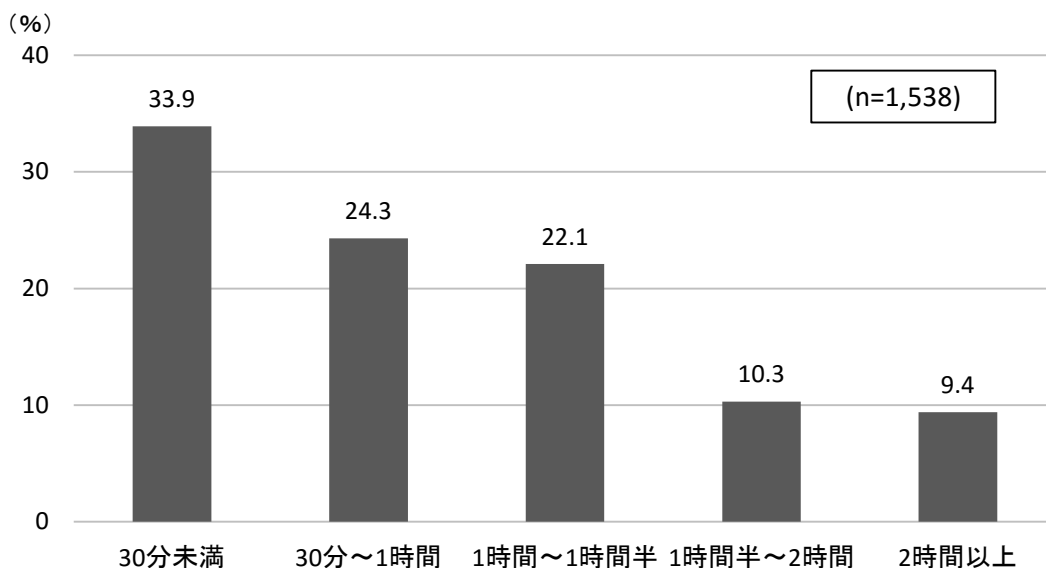
問5 転出前の通勤手段と所要時間について教えてください。(複数回答可)

転出前の通勤手段は「自家用車」(49.7%)が最も多く、次いで「鉄道」(40.6%)となった。所要時間は30分未満(33.9%)が最も多く、次いで30分~1時間未満(24.3%)、1時間~1時間半未満(22.1%)と続いた。

図表 99 通勤手段



図表 100 所要時間



(カ) 転出の際に参考にした情報源

問6 転出の際に参考にした情報源は何ですか。(複数回答可)

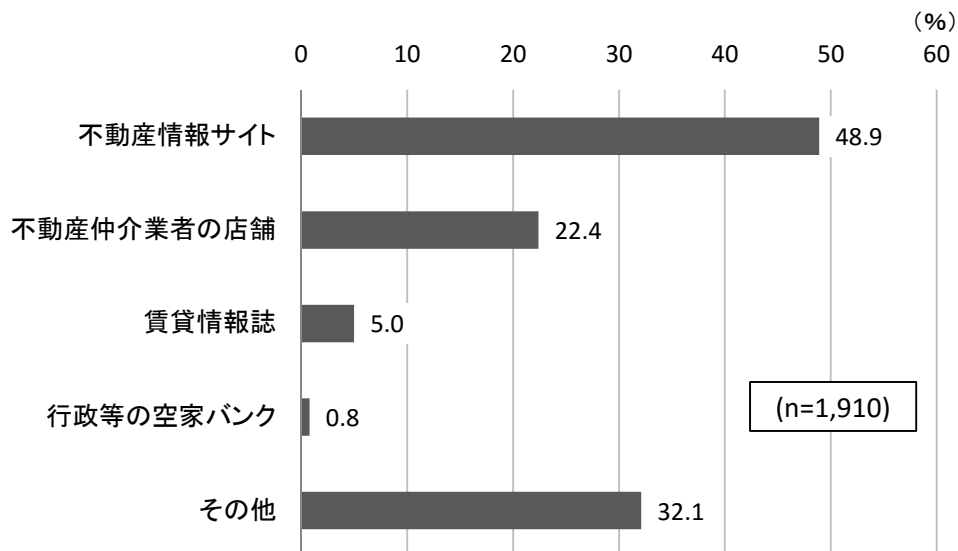
転出の際に参考にした情報源は、住居については、「不動産情報サイト」(48.9%)、「不動産仲介業者の店舗」(22.4%)の順に多かった(「その他」を除く)。「その他」では、「実家(があるため)」、「会社の指定・社宅」などの回答が多くみられた。

年齢層別にみると、「30代」の「不動産情報サイト」(54.4%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「三世帯」の「不動産仲介業者の店舗」(27.6%)が全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」と「安房」における「不動産情報サイト」(葛南:54.1%、安房:60.5%)、「長生」における「不動産仲介業者の店舗」(44.1%)が全体の水準を大きく上回っている。

図表 101 情報源 (住居について)



図表 102 情報源（住居について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	不動産 情報サ イト	不動 産仲 介業 者の 店舗	賃 貸 情 報 誌	行 政 等 の 空 家 バ ン ク	そ の 他
全体		1,910	48.9	22.4	5.0	0.8	32.1
年 齢 層	10代	119	37.0	17.6	5.0	0.0	42.9
	20代	744	50.8	25.0	5.1	0.5	28.9
	30代	397	54.4	22.7	6.0	0.3	25.7
	40代	241	49.4	18.3	4.1	2.1	34.9
	50代	191	45.5	23.0	4.2	1.6	37.7
	60代	110	41.8	23.6	4.5	0.9	37.3
	70代以上	72	44.4	13.9	1.4	1.4	44.4
世 帯	単身	1,027	49.8	21.5	5.1	0.2	31.5
	夫婦	163	52.8	23.3	4.3	1.8	28.2
	親子	420	47.1	22.4	3.8	1.9	34.5
	三世帯	87	43.7	27.6	6.9	1.1	28.7
	その他	26	34.6	42.3	7.7	0.0	26.9
転 出 先	県内	923	52.2	23.2	5.0	0.8	28.0
	一都二県	565	49.2	23.5	5.0	0.7	32.6
	その他の地域	384	40.4	20.1	4.7	1.0	41.1
居 住 地 区	千葉	-	-	-	-	-	-
	葛南	329	54.1	22.5	4.0	1.5	28.3
	東葛飾	131	52.7	19.1	3.8	0.0	28.2
	印旛	387	49.9	22.7	8.3	1.0	30.7
	香取	90	51.1	16.7	6.7	0.0	32.2
	海匝	225	45.3	20.4	3.6	0.4	37.8
	山武	258	48.4	19.4	3.9	0.0	36.4
	長生	145	37.2	44.1	4.8	0.7	26.9
	夷隅	74	44.6	25.7	2.7	1.4	28.4
	安房	76	60.5	10.5	5.3	0.0	31.6
	君津	195	45.1	19.5	4.6	1.5	36.9

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

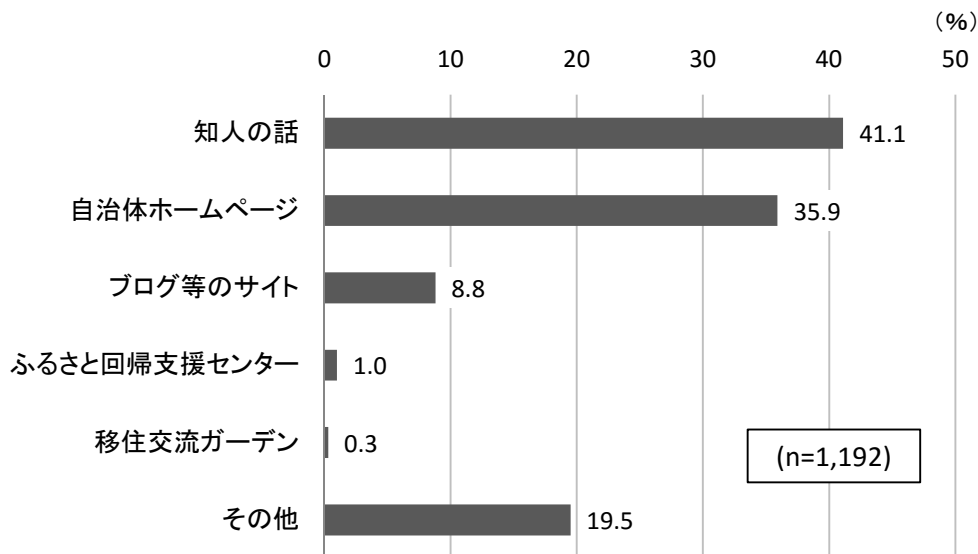
地域情報については、「知人の話」(41.1%)、「自治体ホームページ」(35.9%)の順に多かった。「その他」では、「以前住んでいて知っていた」などの回答が多くみられた。

年齢層別にみると、「50代」の「自治体ホームページ」(41.3%)、「70代以上」の「知人の話」(47.9%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「ブログ等のサイト」(15.0%)、「三世帯」の「自治体ホームページ」(46.3%)が全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」・「東葛飾」・「安房」における「自治体ホームページ」(葛南：45.9%、東葛飾：42.9%、安房：45.5%)、「香取」・「夷隅」・「君津」における「知人の話」(香取：52.5%、夷隅：47.8%、君津：48.1%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 103 情報源 (地域情報について)



図表 104 情報源（地域情報について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	知人の話	自治体ホームページ	ブログ等のサイト	ふるさと支援センター	移住交流ガイド	その他
全体		1,192	41.1	35.9	8.8	1.0	0.3	19.5
年齢層	10代	88	43.2	26.1	3.4	2.3	0.0	27.3
	20代	434	42.4	35.5	6.7	0.5	0.2	19.8
	30代	246	39.4	40.7	13.4	0.0	0.0	15.0
	40代	157	43.3	37.6	10.8	2.5	0.6	17.2
	50代	126	34.9	41.3	9.5	0.0	0.0	19.8
	60代	77	41.6	29.9	9.1	1.3	1.3	23.4
	70代以上	48	47.9	22.9	6.3	4.2	0.0	22.9
世帯	単身	610	41.0	34.3	6.7	1.0	0.0	21.3
	夫婦	100	39.0	39.0	15.0	1.0	1.0	16.0
	親子	292	40.8	38.7	10.3	1.4	0.3	19.5
	三世帯	67	37.3	46.3	9.0	0.0	0.0	10.4
	その他	17	47.1	17.6	11.8	0.0	0.0	23.5
転出先	県内	569	44.6	34.3	7.4	0.9	0.2	18.5
	一都二県	341	41.9	31.7	11.1	0.3	-	20.5
	その他の地域	264	34.1	43.2	9.1	1.9	0.8	20.8
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	181	32.6	45.9	14.4	0.6	0.6	16.6
	東葛飾	77	35.1	42.9	9.1	0.0	0.0	18.2
	印旛	246	43.1	32.5	6.1	1.2	0.4	25.2
	香取	61	52.5	29.5	1.6	1.6	0.0	16.4
	海匝	144	45.8	35.4	4.9	1.4	0.0	16.0
	山武	169	39.6	36.7	10.1	1.2	0.0	19.5
	長生	93	40.9	35.5	7.5	2.2	0.0	18.3
	夷隅	46	47.8	26.1	13.0	2.2	2.2	15.2
	安房	44	22.7	45.5	18.2	0.0	0.0	20.5
	君津	131	48.1	27.5	8.4	0.0	0.0	21.4

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

② 3月実施分

a. 調査実施概要

千葉県が実施した転入・転出者アンケート（平成28年3月実施分）の集計結果は次の通り。

(ア) 調査の目的

千葉県の転入者・転出者に対し、転入・転出の理由、転入先の自治体を選んだ理由や転出前の自治体の良かった点・悪かった点、通勤手段と所要時間、参考にした情報源等をアンケート調査により明らかにする。これにより、転入者、転出者の実態を把握する。

(イ) 調査の対象・方法

各市町村の窓口において、転入者・転出者に対してアンケート調査票を配布する方式により実施した。

(ウ) 調査内容

○転入者アンケート

- ・ 元の住まい
- ・ 転入理由
- ・ 転入先に自治体を選んだ理由
- ・ 転入後の通勤手段・所要時間
- ・ 転入の際に参考にした情報源
- ・ 回答者属性（年齢、世帯人数、世帯構成）

○転出者アンケート

- ・ 転出先
- ・ 転出理由
- ・ 転出前自治体の良かった点・悪かった点
- ・ 転出前の通勤手段・所要時間
- ・ 転出の際に参考にした情報源
- ・ 回答者属性（年齢、世帯人数、世帯構成）

(エ) 調査時期

平成28年3月1日（火）～3月31日（木）

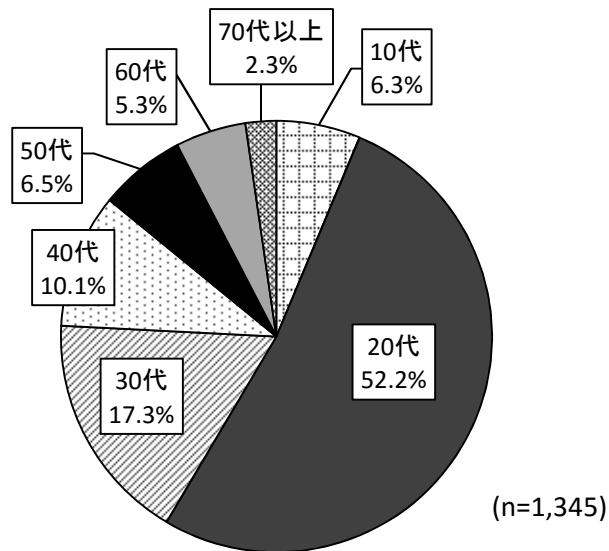
(オ) 調査票の回収状況

転入者アンケート：1,377件、転出者アンケート：1,639件

b. 転入者アンケート調査結果
(ア) 属性

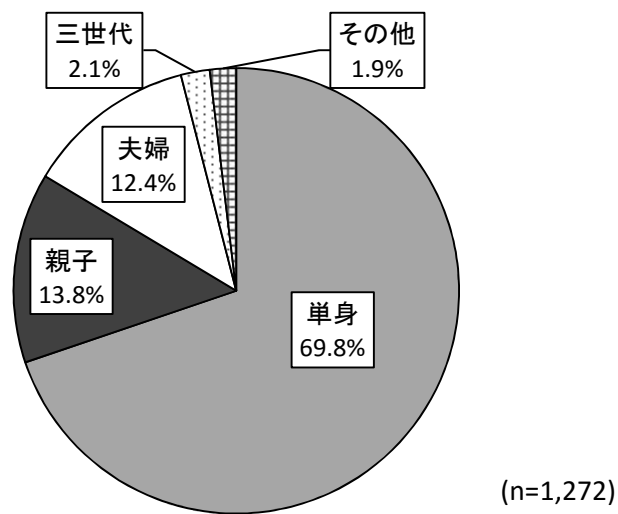
i. 世帯主の年代

図表 105 世帯主の年代



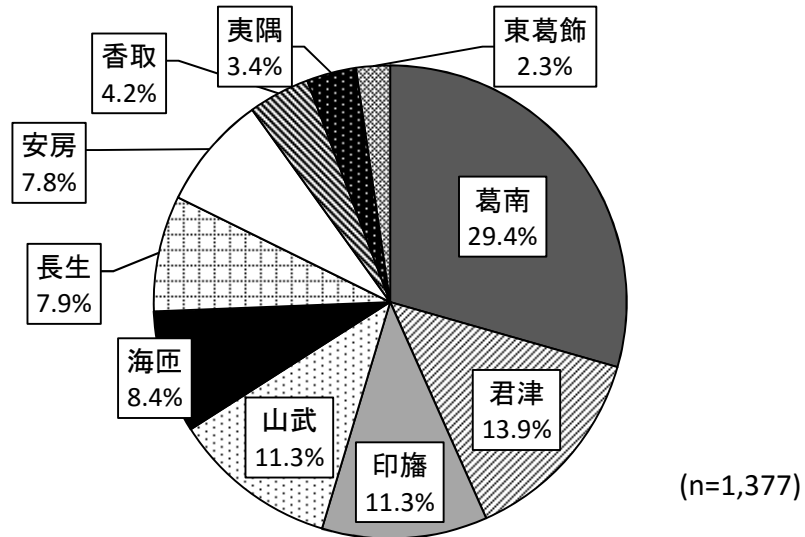
ii. 世帯構成

図表 106 世帯構成



iii. 居住地

図表 107 居住地（11ブロック別）



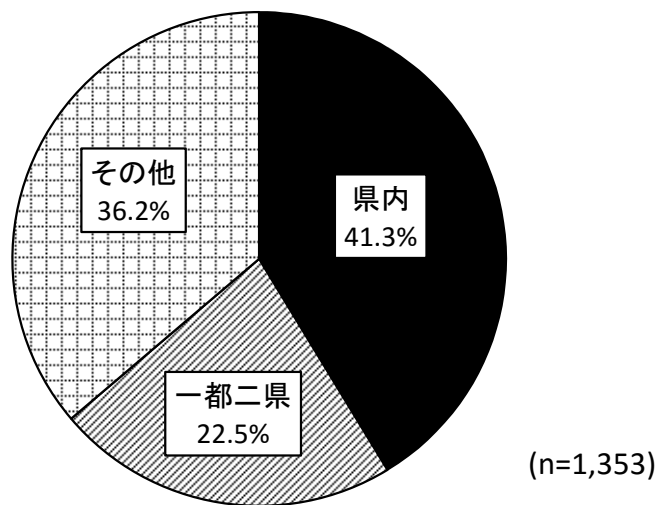
ブロック	該当市町村
千葉	千葉市(3月調査では、千葉市よりアンケートの提出がなかったため、当報告書では千葉ブロックの表示はない)
葛南	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝	銚子市、旭市、匝瑳市
山武	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津	市原市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

(イ)元の住まい

問2 元のお住まいはどちらですか。(県内からは市町村名、県外からは都道府県名を記入してください)

元の住まいは、県内が 41.3%、一都二県が 22.5%、その他の道府県が 36.2%だった。県外の内訳を都道府県別にみると、東京都（176 件）、神奈川県（71 件）、埼玉県（57 件）、茨城県（51 件）など、近隣都県が上位を占めた。県内では千葉市（102 件）が最も多く、船橋市（40 件）、成田市（28 件）と続いた。

図表 108 元の住まい



図表 109 転入元の上位

順位	都道府県 (海外を含む)	件数
1	東京都	176
2	神奈川県	71
3	埼玉県	57
4	茨城県	51
5	北海道	37
6	福岡県	28
7	愛知県	24
8	兵庫県	23
9	大阪府	22
10	海外	20

順位	県内市町村	件数
1	千葉市	102
2	船橋市	40
3	成田市	28
4	市川市	23
5	松戸市	21
6	君津市	19
7	茂原市	17
7	旭市	17
9	木更津市	15
9	柏市	15

(ウ) 転入理由

問3 転入理由は何ですか。①から⑥のいずれか一つに○をつけて下さい。

転入理由は、「仕事の都合（就職、転勤等）」が58.3%と最も多く、以下、「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（17.0%）、「住宅の都合（購入等による住替え等）」（10.3%）、「学校の都合（進学等）」（7.2%）が続いた。

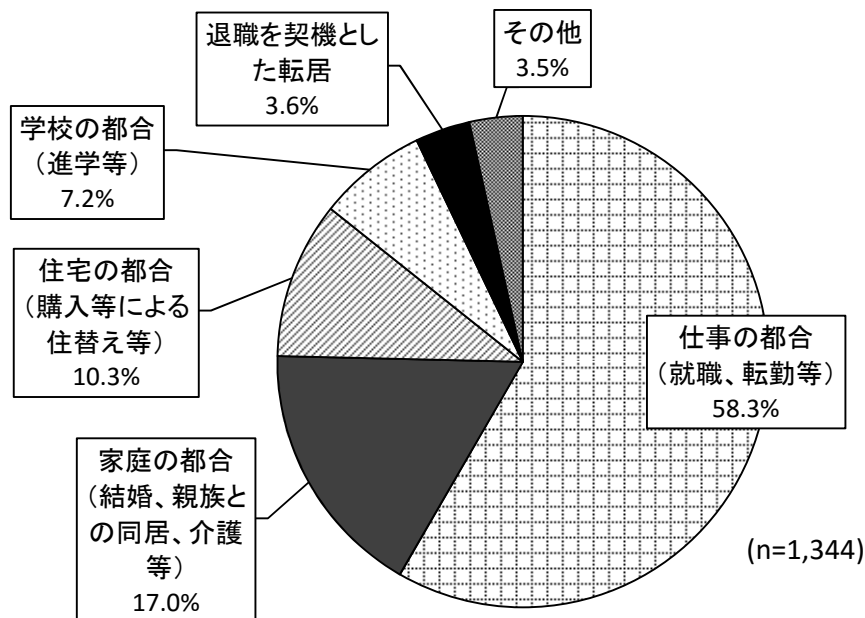
年齢層別にみると、「10代」の「学校の都合（進学等）」（60.7%）、「20代」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（75.8%）、「30代」と「50代」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（30代：23.1%、50代：16.5%）、「40代」と「70代以上」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（40代：27.1%、70代以上：44.8%）、「60代」の「退職を契機とした転居」（18.8%）などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「単身」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（70.4%）、「夫婦」と「親子」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（夫婦：36.5%、親子：26.9%）、「三世帯」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（19.2%）などが全体の水準を大きく上回っている。

元の住まいをみると、「県内」では「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（27.0%）、「その他の地域」では「仕事の都合（就職、転勤等）」（76.3%）などが全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」・「安房」・「君津」における「仕事の都合（就職、転勤等）」（葛南：72.9%、安房：81.3%、君津：63.7%）、「東葛飾」における「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（38.7%）、「印旛」と「山武」における「住宅の都合（購入等による住替え等）」（印旛：19.1%、山武：16.7%）、「長生」における「学校の都合（進学等）」（29.8%）、「夷隅」における「退職を契機とした転居」（11.4%）などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 110 転入理由



図表 111 転入理由（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	仕事の都合（就職、転勤等）	家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）	住宅の都合（購入等による住替え等）	学校の都合（進学等）	退職を契機とした転居	その他
全体		1,344	58.3	17.0	10.3	7.2	3.6	3.5
年齢層	10代	84	34.5	3.6	0.0	60.7	1.2	0.0
	20代	694	75.8	11.2	4.2	3.6	2.6	2.6
	30代	225	43.1	24.4	23.1	3.1	1.3	4.9
	40代	133	46.6	27.1	15.8	3.0	3.8	3.8
	50代	85	40.0	21.2	16.5	8.2	9.4	4.7
	60代	69	30.4	21.7	20.3	1.4	18.8	7.2
	70代以上	29	24.1	44.8	20.7	0.0	3.4	6.9
世帯	単身	879	70.4	9.3	5.7	8.3	3.0	3.3
	夫婦	156	32.1	36.5	23.1	1.9	5.8	0.6
	親子	167	36.5	26.9	18.6	9.6	5.4	3.0
	三世帯	26	38.5	23.1	19.2	7.7	3.8	7.7
	その他	23	39.1	39.1	0.0	8.7	8.7	4.3
元の住まい	県内	548	44.7	27.0	18.2	3.3	3.3	3.5
	一都二県	295	54.2	16.9	11.2	5.1	5.8	6.8
	その他の地域	485	76.3	5.8	0.6	13.0	2.9	1.4
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	399	72.9	10.8	7.5	5.3	1.5	2.0
	東葛飾	31	35.5	38.7	19.4	0.0	0.0	6.5
	印旛	152	41.4	24.3	19.1	9.2	3.9	2.0
	香取	55	54.5	20.0	12.7	5.5	3.6	3.6
	海匝	112	58.0	19.6	4.5	10.7	5.4	1.8
	山武	150	42.0	22.7	16.7	4.0	6.7	8.0
	長生	104	33.7	20.2	9.6	29.8	4.8	1.9
	夷隅	44	40.9	20.5	13.6	0.0	11.4	13.6
	安房	107	81.3	5.6	2.8	9.3	0.0	0.9
	君津	190	63.7	17.4	9.5	0.0	4.7	4.7

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(工) 転入先自治体を選んだ理由

問4 転入先に〇〇市(町村)を選ばれた主な理由について、①から⑫のうち3つまで〇をつけて下さい。

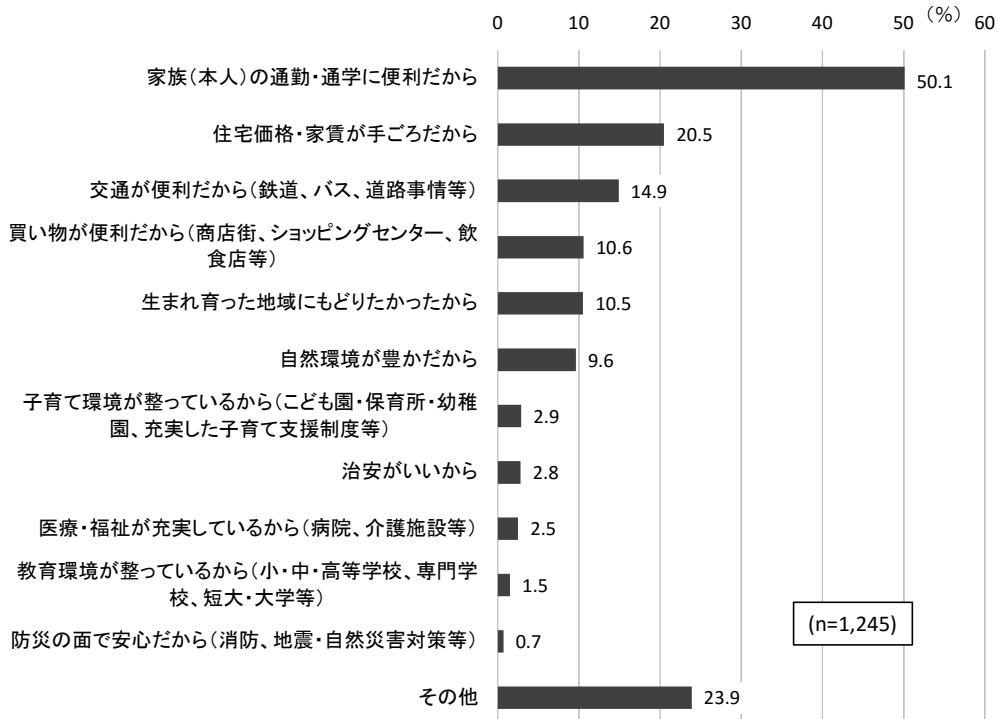
転入先を選んだ理由として、「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(50.1%)が最も多かった。以下、「住宅価格・家賃が手ごろだから」(20.5%)、「交通が便利だから(鉄道、バス、道路事情等)」(14.9%)、「買い物が便利だから(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)」(10.6%)、「生まれ育った地域にもどりたかったから」(10.5%)が続いた。

年齢層別にみると、「10代」の「教育環境が整っているから(小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等)」(8.0%)、「20代」の「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(56.9%)、「30代」と「70代以上」の「生まれ育った地域にもどりたかったから」(30代:17.8%、70代以上:26.1%)、「50代」と「60代」の「自然環境が豊かだから」(50代:14.6%、60代:26.9%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「住宅価格・家賃が手ごろだから」(29.1%)、「親子」と「三世代」の「生まれ育った地域にもどりたかったから」(親子:29.8%、三世代:30.4%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」における「交通が便利だから(鉄道、バス、道路事情等)」(32.0%)、「東葛飾」における「住宅価格・家賃が手ごろだから」(40.6%)、「香取」・「海匝」・「山武」・「長生」における「生まれ育った地域にもどりたかったから」(香取:22.2%、海匝:16.8%、山武:20.3%、長生:20.2%)、「夷隅」における「自然環境が豊かだから」(43.5%)、「安房」における「医療・福祉が充実しているから(病院、介護施設等)」(13.2%)、「君津」における「買い物が便利だから(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)」(19.3%)、などが水準を大きく上回っている。

図表 112 転入先自治体を選んだ理由



図表 113 転入先自治体を選んだ理由（属性別）

(単位:%)

		合計 (n)	家族（本人）の通勤・通学に便利だから	住宅価格・家賃が手ごろだから	交通が便利だから（鉄道、バス、道路事情等）	買い物（コンビニ、スーパー、飲食店等）が便利だから	生まれ育った地域にもどりたいから	自然環境が豊かだから	子育て環境が整っているから（こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等）	治安がいいから	医療・福祉が充実しているから（病院、介護施設等）	教育環境が整っているから（小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等）	防災の面で安心だから（消防、地震・自然災害対策等）	その他
全体		1,245	50.1	20.5	14.9	10.6	10.5	9.6	2.9	2.8	2.5	1.5	0.7	23.9
年齢層	10代	75	56.0	14.7	12.0	5.3	1.3	5.3	0.0	1.3	2.7	8.0	0.0	24.0
	20代	634	56.9	20.3	15.9	12.3	7.4	5.0	2.7	2.5	2.5	0.6	0.3	24.8
	30代	214	49.5	26.2	12.1	8.9	17.8	16.8	6.1	2.8	0.5	2.3	0.9	15.4
	40代	127	47.2	16.5	17.3	10.2	12.6	8.7	3.9	4.7	1.6	1.6	0.0	23.6
	50代	82	37.8	15.9	17.1	7.3	13.4	14.6	0.0	1.2	2.4	0.0	1.2	34.1
	60代	67	16.4	26.9	10.4	9.0	14.9	26.9	0.0	4.5	7.5	0.0	3.0	25.4
	70代以上	23	21.7	17.4	17.4	13.0	26.1	17.4	0.0	8.7	8.7	4.3	8.7	21.7
世帯	単身	799	53.4	21.2	17.0	10.9	5.8	8.3	0.5	2.8	3.1	1.0	0.5	24.2
	夫婦	148	47.3	29.1	16.2	14.9	12.8	14.2	5.4	2.7	1.4	3.4	2.0	16.9
	親子	168	40.5	13.1	6.5	6.0	29.8	9.5	9.5	2.4	1.8	3.0	0.0	25.6
	三世帯	23	21.7	17.4	0.0	8.7	30.4	26.1	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	30.4
	その他	21	61.9	28.6	9.5	23.8	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	19.0
元の住まい	県内	520	50.0	23.5	14.8	12.1	14.0	11.2	4.4	2.3	2.5	1.3	1.0	19.4
	一都二県	277	49.5	18.4	12.6	9.7	11.2	12.6	3.2	3.6	2.2	1.1	1.4	23.5
	その他の地域	432	50.7	18.5	16.7	9.5	5.6	5.8	0.7	3.0	2.5	2.1	0.0	30.1
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	319	50.8	23.5	32.0	17.9	3.4	1.3	0.6	3.1	0.9	0.9	0.3	28.8
	東葛飾	32	43.8	40.6	31.3	28.1	6.3	0.0	0.0	9.4	3.1	3.1	6.3	12.5
	印旛	147	44.2	27.2	10.9	8.2	11.6	12.2	3.4	4.8	2.0	0.7	2.7	24.5
	香取	54	55.6	14.8	3.7	1.9	22.2	20.4	5.6	0.0	1.9	1.9	0.0	18.5
	海匝	113	55.8	10.6	3.5	5.3	16.8	6.2	2.7	2.7	2.7	4.4	0.0	26.5
	山武	148	37.2	21.6	6.8	4.7	20.3	16.2	8.1	0.7	2.0	0.0	0.0	26.4
	長生	99	57.6	22.2	7.1	0.0	20.2	16.2	3.0	5.1	0.0	1.0	0.0	6.1
	夷隅	46	34.8	17.4	2.2	4.3	8.7	43.5	0.0	6.5	4.3	2.2	4.3	17.4
	安房	106	55.7	3.8	1.9	2.8	8.5	10.4	2.8	0.0	13.2	2.8	0.0	28.3
	君津	181	56.9	22.7	17.1	19.3	3.9	4.4	2.8	1.7	0.6	1.7	0.0	23.8

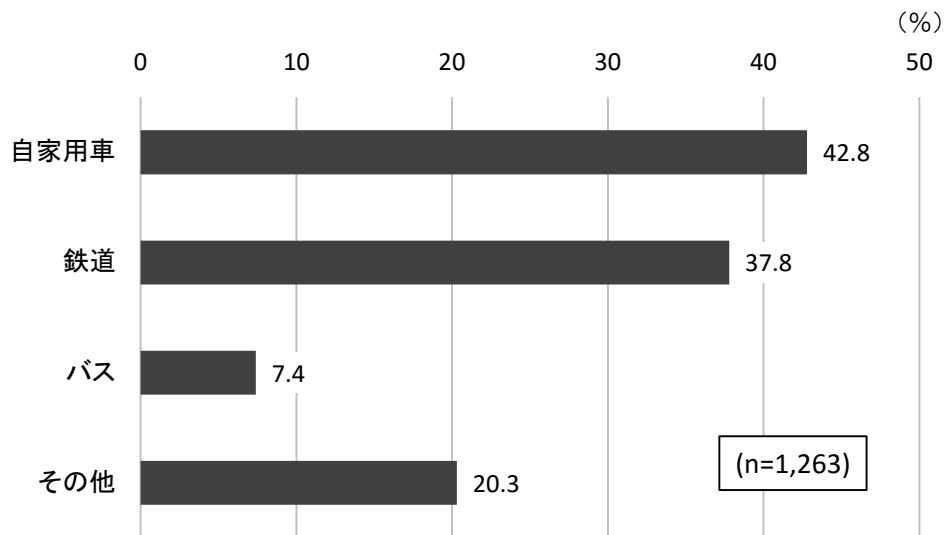
(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(才) 転入後の通勤手段と所要時間

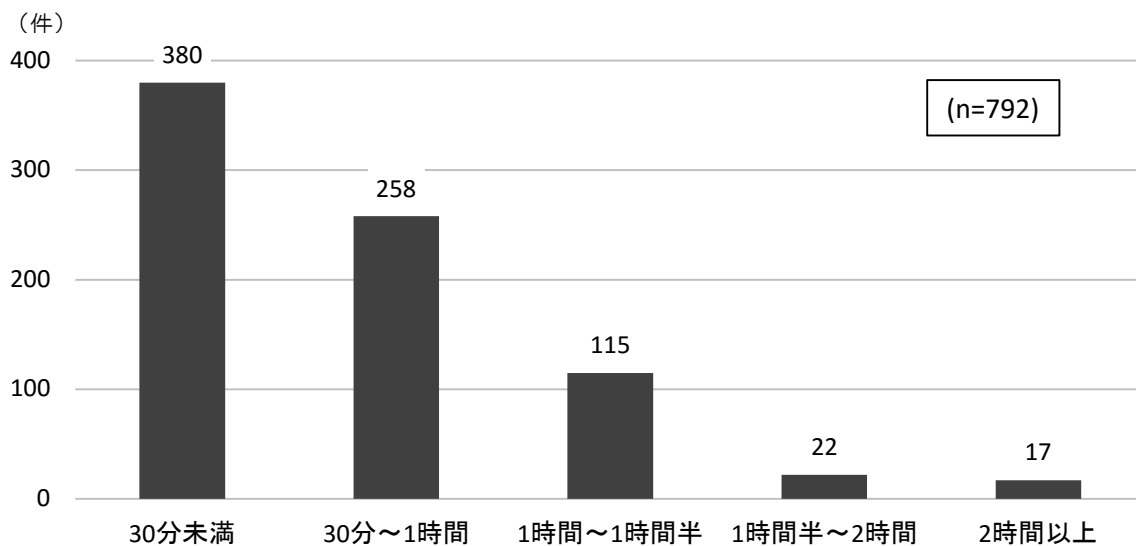
問5 転入後の通勤手段と所要時間について教えてください。(複数回答可)

転入後の通勤手段は「自家用車」(42.8%)が最も多く、次いで「鉄道」(37.8%)となった。所要時間は30分未満が半数近くに上り、30分～1時間と合わせて約8割を占めた。

図表 114 通勤手段



図表 115 所要時間



(カ) 転入の際に参考にした情報源

問6 転入の際に参考にした情報源は何ですか。(複数回答可)

転入の際に参考にした情報源は、住居については、「不動産情報サイト」(43.0%)、「不動産仲介業者の店舗」(26.9%)の順に多かった(「その他」を除く)。「その他」では、「会社の指定・社宅」、「実家(があるため)」などの回答が多くみられた。

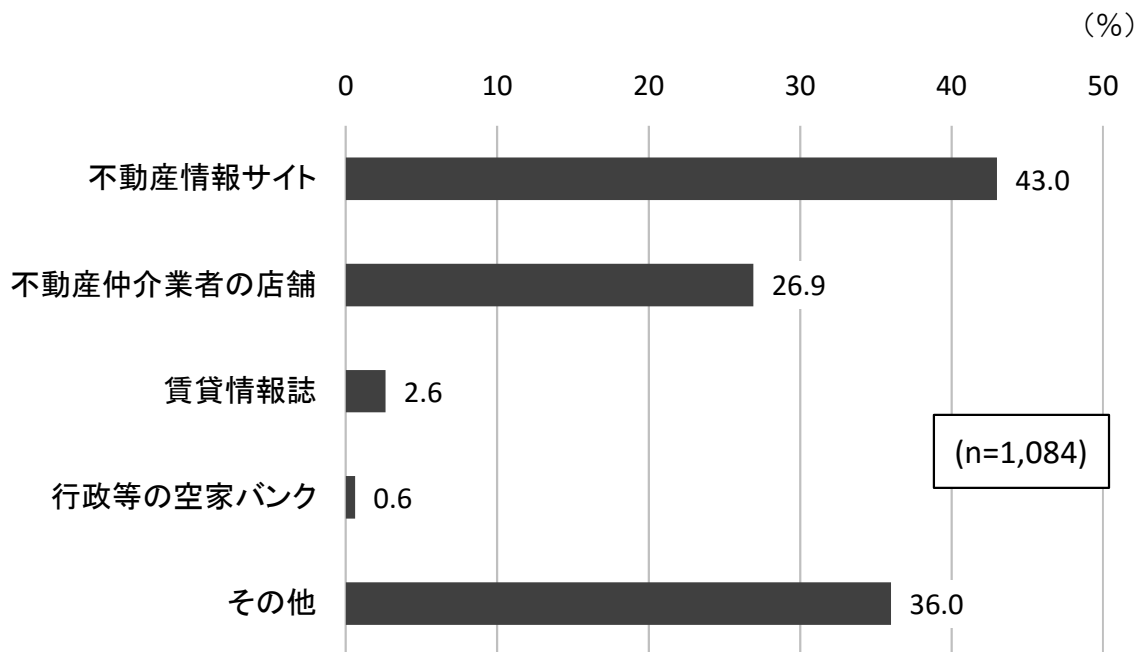
年齢層別にみると、「30代」の「不動産情報サイト」(54.1%)、「70代以上」の「行政等の空家バンク」(6.3%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「不動産情報サイト」(48.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

元の住まいをみると、「一都二県」では「不動産情報サイト」(48.1%)が全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」における「不動産仲介業者の店舗」(35.6%)、「東葛飾」と「君津」における「不動産情報サイト」(東葛飾：50.0%、君津：57.9%)、「夷隅」における「行政等の空家バンク」(5.6%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 116 情報源 (住居について)



図表 117 情報源（住居について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	不動産 情報サ イト	不動 産仲 介業 者の 店舗	賃 貸 情 報 誌	行 政 等 の 空 家 バ ン ク	そ の 他
全体		1,084	43.0	26.9	2.6	0.6	36.0
年齢層	10代	45	46.7	15.6	6.7	0.0	37.8
	20代	573	43.1	30.0	2.4	0.2	34.2
	30代	196	54.1	26.5	2.6	0.0	29.1
	40代	114	43.9	24.6	0.9	1.8	36.8
	50代	67	26.9	22.4	3.0	1.5	50.7
	60代	52	23.1	26.9	1.9	3.8	46.2
	70代以上	16	37.5	6.3	0.0	6.3	50.0
世帯	単身	716	44.3	29.6	2.7	0.7	33.4
	夫婦	132	48.5	28.8	1.5	0.0	28.0
	親子	124	33.9	20.2	2.4	0.8	50.0
	三世帯	17	17.6	11.8	0.0	0.0	70.6
	その他	21	66.7	14.3	0.0	0.0	19.0
元 の 住 まい	県内	436	45.4	29.6	2.3	0.7	31.4
	一都二県	243	48.1	23.9	2.1	0.8	35.8
	その他の地域	396	37.4	26.0	3.3	0.5	40.9
居住 地区	千葉	-	-	-	-	-	-
	葛南	351	50.7	35.6	4.0	0.3	24.2
	東葛飾	30	50.0	23.3	3.3	0.0	33.3
	印旛	128	42.2	25.0	0.8	0.8	35.9
	香取	36	38.9	11.1	2.8	0.0	52.8
	海匝	95	40.0	18.9	1.1	0.0	45.3
	山武	114	27.2	27.2	1.8	0.9	46.5
	長生	41	34.1	31.7	0.0	2.4	36.6
	夷隅	36	41.7	16.7	2.8	5.6	38.9
	安房	94	16.0	12.8	4.3	1.1	69.1
	君津	159	57.9	27.7	1.9	0.0	25.2

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

地域情報については、「知人の話」(41.1%)、「自治体ホームページ」(40.7%)の順に多かった。「その他」では、「家族」や、「元々住んでいて知っていた」などの回答が多くみられた。

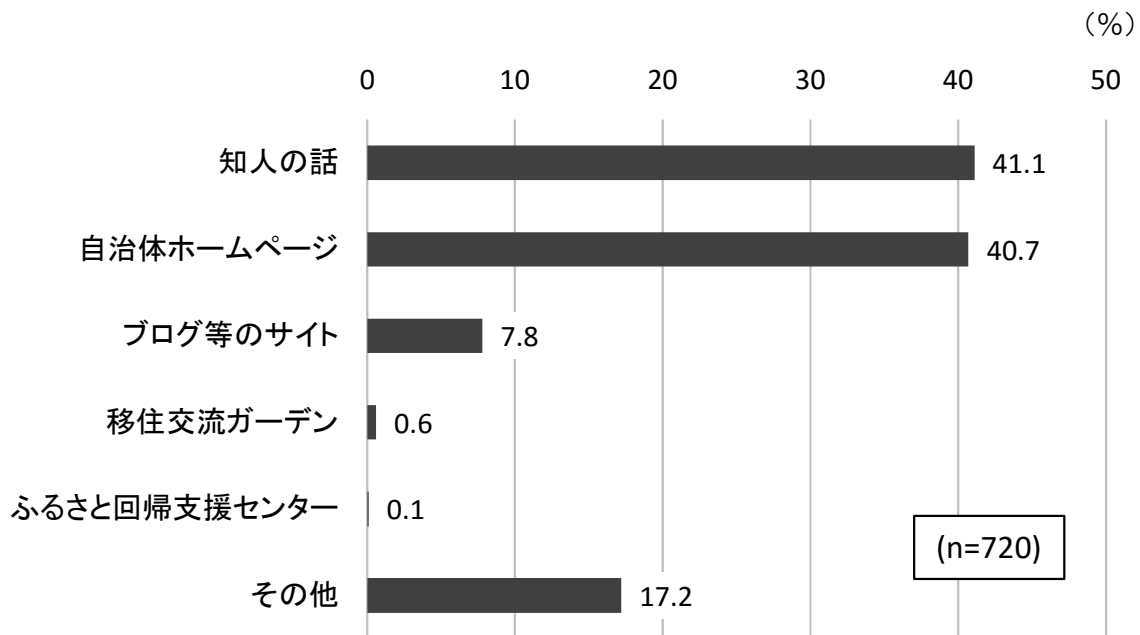
年齢層別にみると、「10代」と「30代」の「知人の話」(10代：48.1%、30代：47.3%)、「50代」の「自治体ホームページ」(47.4%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「知人の話」(46.3%)が全体の水準を大きく上回っている。

元の住まいをみると、「県内」では「知人の話」(46.2%)が全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「東葛飾」・「香取」・「長生」・「安房」における「知人の話」(東葛飾：52.4%、香取：48.0%、長生：62.1%、安房：55.6%)、「夷隅」における「ブログ等のサイト」(13.3%)が全体の水準を大きく上回っている。

図表 118 情報源（地域情報について）



図表 119 情報源（地域情報について・属性別）

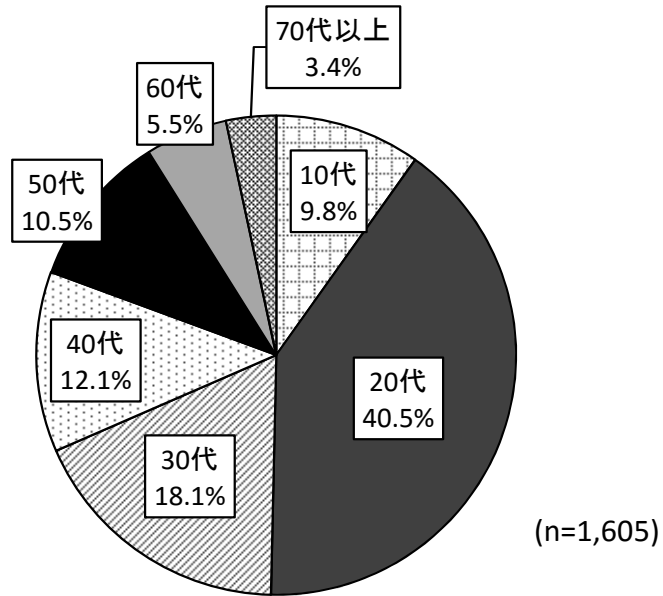
（単位：％）

		合計 (n)	知人の話	自治体ホームページ	ブログ等のサイト	移住交流ガイド	ふるさと回帰支援センター	その他
全体		720	41.1	40.7	7.8	0.6	0.1	17.2
年齢層	10代	27	48.1	37.0	3.7	0.0	0.0	14.8
	20代	363	42.1	40.8	7.2	0.3	0.0	15.2
	30代	129	47.3	44.2	7.0	0.8	0.0	14.0
	40代	85	41.2	36.5	11.8	1.2	0.0	18.8
	50代	57	24.6	47.4	7.0	0.0	0.0	28.1
	60代	32	37.5	43.8	9.4	3.1	3.1	12.5
	70代以上	16	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	43.8
世帯	単身	456	41.7	41.4	8.3	0.4	0.0	15.1
	夫婦	95	46.3	37.9	7.4	0.0	1.1	14.7
	親子	90	36.7	45.6	7.8	1.1	0.0	23.3
	三世帯	16	43.8	6.3	12.5	0.0	0.0	37.5
	その他	13	61.5	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0
まいの住	県内	290	46.2	38.6	5.2	0.3	0.0	15.2
	一都二県	157	43.9	42.7	11.5	0.0	0.0	13.4
	その他の地域	267	33.3	41.9	8.6	1.1	0.4	21.7
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	218	36.7	45.4	9.2	0.5	0.0	13.8
	東葛飾	21	52.4	33.3	9.5	0.0	0.0	14.3
	印旛	85	41.2	41.2	3.5	0.0	0.0	18.8
	香取	25	48.0	28.0	8.0	0.0	0.0	20.0
	海匝	69	42.0	44.9	4.3	0.0	0.0	20.3
	山武	79	41.8	35.4	6.3	0.0	0.0	27.8
	長生	29	62.1	34.5	3.4	3.4	0.0	10.3
	夷隅	30	36.7	40.0	13.3	3.3	3.3	10.0
	安房	54	55.6	27.8	7.4	1.9	0.0	13.0
	君津	110	33.6	44.5	10.9	0.0	0.0	19.1

c. 転出者アンケート調査結果
(ア) 属性

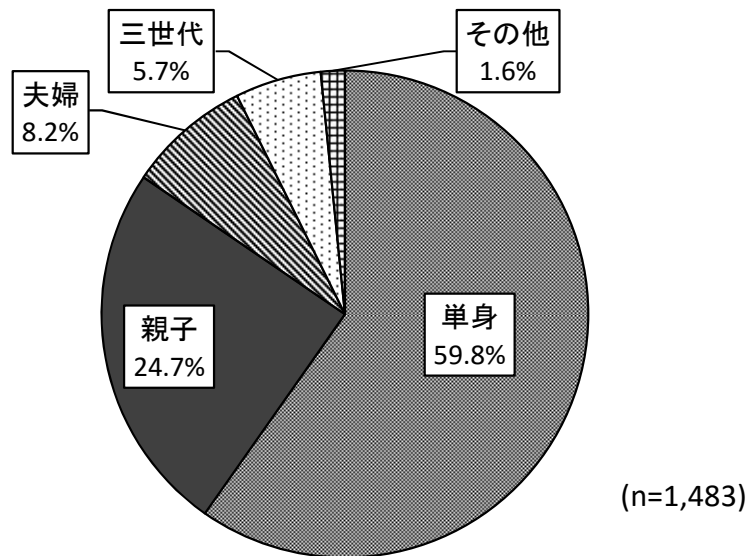
i. 世帯主の年代

図表 120 世帯主の年代



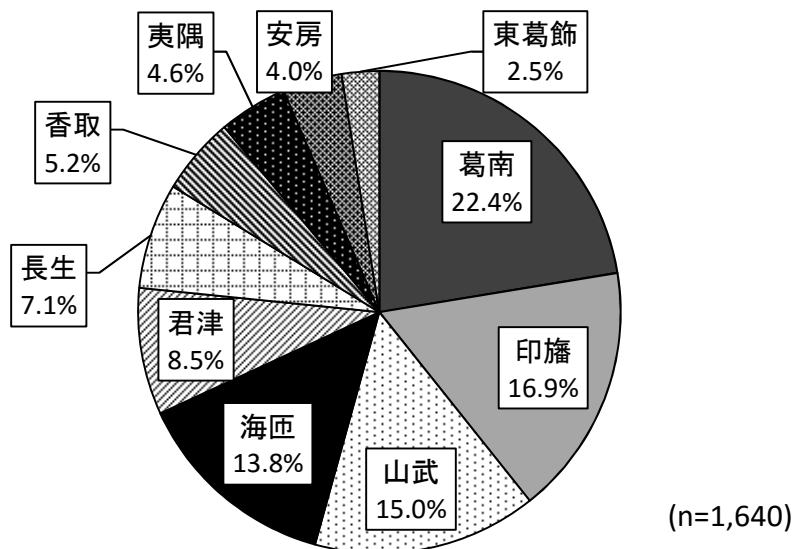
ii. 世帯構成

図表 121 世帯構成



iii. 居住地

図表 122 居住地（11ブロック別）



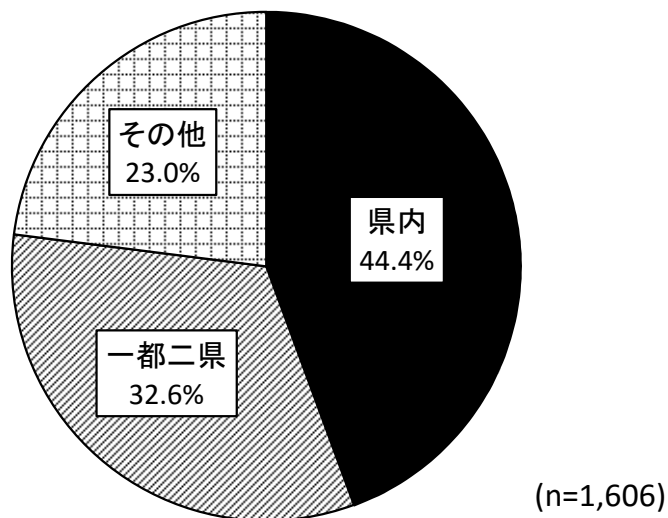
ブロック	該当市町村
千葉	千葉市（3月調査では、千葉市よりアンケートの提出がなかったため、当報告書では千葉ブロックの表示はない）
葛南	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝	銚子市、旭市、匝瑳市
山武	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津	市原市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

(イ) 転出先

問2 転出先はどちらですか。(県内へは市町村名、県外へは都道府県名を記入してください)

転出先は、県内が 44.4%、一都二県が 32.6%、その他の道府県が 23.0%だった。県外の内訳を都道府県別にみると、東京都（311 件）、神奈川県（141 件）、埼玉県（72 件）、茨城県（50 件）など、近隣都県が上位を占めた。県内では、千葉市（123 件）が最も多く、船橋市（70 件）、市川市（47 件）が続いた。

図表 123 転出先



図表 124 転出先の上位

順位	都道府県 (海外を含む)	件数
1	東京都	311
2	神奈川県	141
3	埼玉県	72
4	茨城県	50
5	愛知県	37
6	北海道	24
7	大阪府	20
8	静岡県	19
9	福岡県	16
10	栃木県	15

順位	県内市町村	件数
1	千葉市	123
2	船橋市	70
3	市川市	47
4	成田市	42
5	東金市	34
6	習志野市	23
7	浦安市	22
7	君津市	22
9	市原市	21
10	松戸市	20
10	柏市	20

(ウ) 転出理由

問3 転出理由は何ですか。①から⑥のいずれか一つに○をつけて下さい。

転出理由は、「仕事の都合（就職、転勤等）」（63.6%）が最も多く、以下、「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（18.4%）、「住宅の都合（購入等による住替え等）」（7.3%）、「学校の都合（進学等）」（6.4%）が続いた。

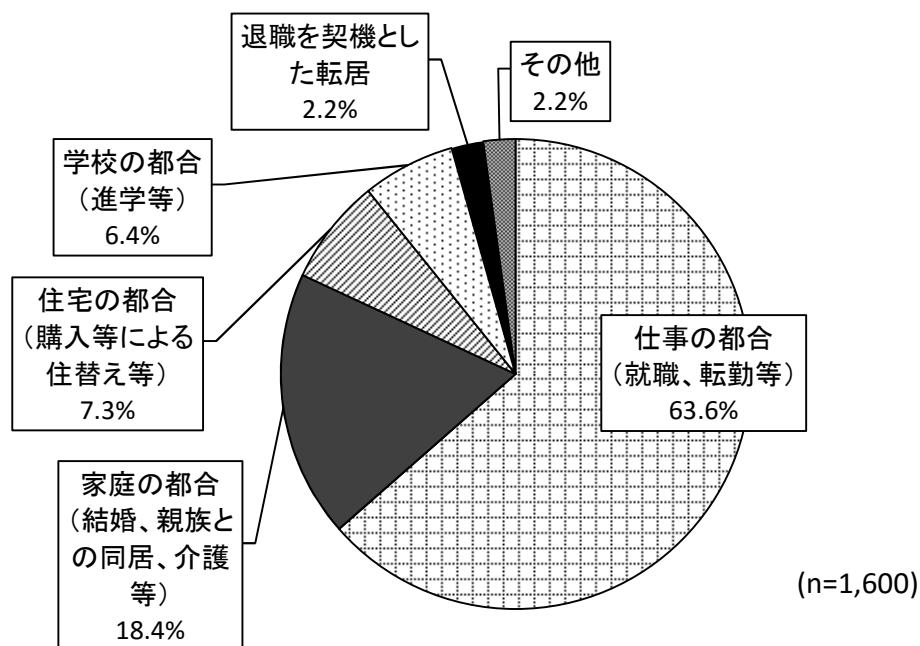
年齢層別にみると、「10代」の「学校の都合（進学等）」（27.2%）、「20代」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（76.2%）、「30代」・「60代」・「70代以上」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（30代：26.9%、60代：28.2%、70代以上：37.7%）、「40代」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（13.5%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「単身」と「三世帯」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（単身：70.6%、三世帯：72.9%）、「夫婦」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（24.2%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「県内」では「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（26.4%）、「一都二県」と「その他の地域」では「仕事の都合（就職、転勤等）」（一都二県：68.6%、その他の地域：74.7%）が全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」と「東葛飾」における「住宅の都合（購入等による住替え等）」（葛南：15.3%、東葛飾：17.1%）、「海匝」における「仕事の都合（就職、転勤等）」（73.7%）、「安房」における「学校の都合（進学等）」（12.3%）が全体の水準を大きく上回っている。

図表 125 転出理由



図表 126 転出理由（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	仕事の都合（就職、転勤等）	家族の都合（結婚、親居、介護等）	住宅の都合（購入等による住替え等）	学校の都合（進学等）	退職を契機とした転居	その他
全体		1,600	63.6	18.4	7.3	6.4	2.2	2.2
年齢層	10代	151	69.5	2.6	0.0	27.2	0.7	0.0
	20代	635	76.2	14.3	3.3	2.2	3.1	0.8
	30代	286	51.4	26.9	15.4	3.1	1.7	1.4
	40代	193	55.4	17.1	13.5	8.8	1.6	3.6
	50代	165	61.2	20.0	6.1	7.3	1.8	3.6
	60代	85	45.9	28.2	9.4	4.7	3.5	8.2
	70代以上	53	39.6	37.7	7.5	7.5	0.0	7.5
世帯	単身	865	70.6	14.9	3.9	5.9	3.5	1.2
	夫婦	120	40.0	28.3	24.2	0.8	1.7	5.0
	親子	357	56.0	21.0	9.5	9.0	0.6	3.9
	三世帯	85	72.9	15.3	3.5	7.1	0.0	1.2
	その他	23	69.6	4.3	17.4	8.7	0.0	0.0
転出先	県内	696	54.3	26.4	11.1	4.5	1.0	2.7
	一都二県	512	68.6	14.3	5.9	9.0	1.0	1.4
	その他の地域	363	74.7	8.8	1.9	6.1	6.1	2.5
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	360	56.9	17.5	15.3	3.9	4.2	2.2
	東葛飾	41	51.2	19.5	17.1	4.9	2.4	4.9
	印旛	272	65.4	19.1	5.1	5.9	1.5	2.9
	香取	82	62.2	19.5	1.2	11.0	4.9	1.2
	海匝	224	73.7	14.7	2.7	7.6	0.4	0.9
	山武	242	63.6	20.7	3.3	9.1	0.8	2.5
	長生	102	60.8	21.6	3.9	8.8	0.0	4.9
	夷隅	75	64.0	22.7	8.0	4.0	1.3	0.0
	安房	65	64.6	13.8	6.2	12.3	3.1	0.0
君津	137	66.4	17.5	8.0	2.2	3.6	2.2	

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(工) 転出前自治体の良かった点・悪かった点

問4 ○○市(町村)の良かった点と悪かった点について、3つまで○をつけて下さい。

良かった点は、「自然環境が豊か」(56.0%)が最も多く、以下、「治安がいい」(38.6%)、「家族(本人)の通勤・通学に便利」(34.0%)、「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(29.8%)、「住宅価格・家賃が手ごろ」(24.9%)、「交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)」(23.8%)が続いた。

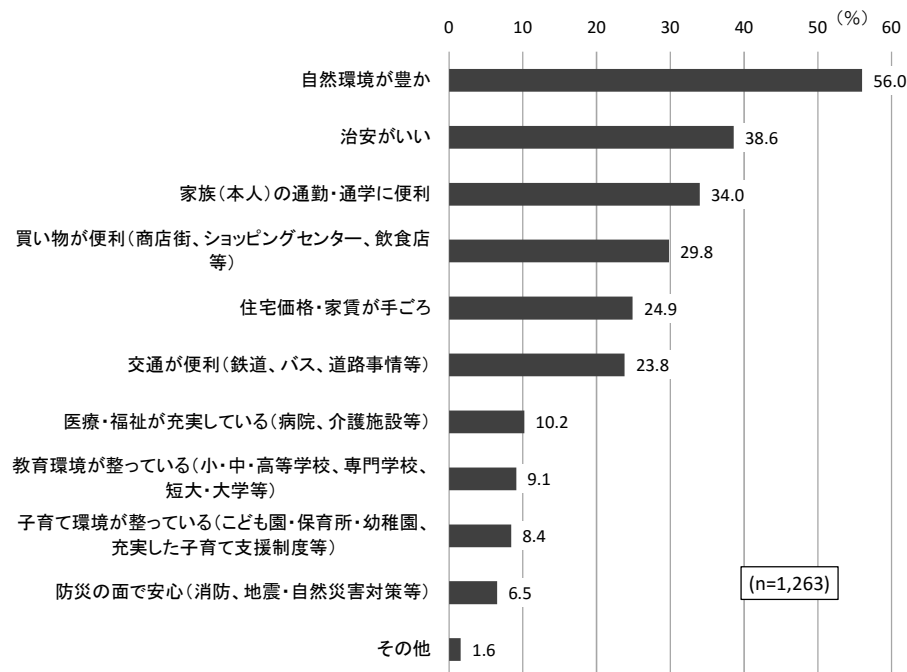
年齢層別にみると、「10代」の「治安がいい」(44.3%)と「交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)」(29.5%)、「30代」の「家族(本人)の通勤・通学に便利」(43.3%)、「40代」の「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(37.4%)、「50代」・「60代」・「70代以上」の「自然環境が豊か」(50代:63.1%、60代:75.8%、70代以上:73.9%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「家族(本人)の通勤・通学に便利」(48.9%)、「親子」の「子育て環境が整っている(こども園・保育園・幼稚園、充実した子育て支援制度等)」(15.1%)、「三世帯」の「自然環境が豊か」(82.2%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「一都二県」では「住宅価格・家賃が手ごろ」(31.1%)、「その他の地域」では「交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)」(38.7%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」と「東葛飾」における「交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)」(葛南:60.9%、東葛飾:41.9%)、「香取」と「夷隅」における「治安がいい」(香取:63.0%、夷隅:69.8%)、「海匝」・「山武」・「長生」における「自然環境が豊か」(海匝:77.9%、山武:70.7%、長生:71.4%)、「安房」における「医療・福祉が充実している(病院、介護施設等)」(54.2%)、「君津」における「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(52.6%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 127 転出前自治体の良かった点



図表 128 転出前自治体の良かった点（属性別）

(単位:%)

		合計 (n)	自然環境が豊か	治安がいい	家族(本人)の通勤・通学に便利	買い物便利(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)	住宅価格・家賃が手ごろ	交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)	医療・福祉が充実している(病院、介護施設等)	中・高等学校、専門学校、短大・大学等)	教育環境が整っている(小・中・高等)	子育て環境が整っている(こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等)	防災の面で安心(消防、地震・自然災害対策等)	その他
全体		1,263	56.0	38.6	34.0	29.8	24.9	23.8	10.2	9.1	8.4	6.5	1.6	
年齢層	10代	122	59.0	44.3	30.3	32.8	11.5	29.5	4.9	13.9	8.2	4.9	1.6	
	20代	515	55.0	41.7	36.5	26.2	26.0	22.9	11.7	9.7	7.4	5.8	1.4	
	30代	208	45.2	34.6	43.3	38.9	29.3	28.4	10.1	3.4	13.0	3.8	2.4	
	40代	155	52.9	27.1	32.9	37.4	28.4	25.2	8.4	9.0	8.4	7.7	2.6	
	50代	130	63.1	36.9	31.5	22.3	23.8	21.5	5.4	8.5	3.8	8.5	0.8	
	60代	62	75.8	35.5	14.5	24.2	24.2	14.5	16.1	12.9	12.9	12.9	1.6	
	70代以上	46	73.9	50.0	13.0	19.6	23.9	10.9	19.6	10.9	6.5	8.7	0.0	
世帯	単身	684	54.5	38.5	35.5	31.9	25.7	26.3	9.9	7.5	5.4	6.0	1.6	
	夫婦	94	40.4	28.7	48.9	40.4	29.8	30.9	4.3	9.6	9.6	5.3	2.1	
	親子	279	55.9	36.9	32.3	26.9	22.9	20.8	11.1	11.1	15.1	7.2	1.1	
	三世帯	73	82.2	56.2	19.2	17.8	19.2	9.6	11.0	11.0	5.5	8.2	4.1	
	その他	16	43.8	50.0	31.3	25.0	6.3	31.3	31.3	25.0	0.0	6.3	0.0	
転出先	県内	563	60.4	40.0	34.6	25.0	26.3	19.5	9.9	8.5	8.7	7.6	1.6	
	一都二県	408	61.5	40.7	29.4	27.0	31.1	19.9	9.6	11.0	7.1	6.4	1.0	
	その他の地域	271	39.5	32.5	39.5	43.5	13.3	38.7	10.7	7.7	9.2	4.8	2.2	
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	葛南	238	10.1	16.8	61.3	66.4	21.8	60.9	8.0	7.1	7.1	1.3	1.7	
	東葛飾	31	25.8	35.5	45.2	45.2	29.0	41.9	6.5	3.2	0.0	12.9	3.2	
	印旛	220	59.5	33.6	31.4	24.1	25.9	24.1	5.0	10.9	8.2	9.1	1.4	
	香取	73	79.5	63.0	17.8	8.2	15.1	5.5	8.2	8.2	21.9	11.0	0.0	
	海匝	190	77.9	42.1	27.4	18.9	26.3	6.8	10.0	10.5	4.2	6.3	1.1	
	山武	205	70.7	53.2	20.5	14.6	27.3	12.2	8.8	13.2	13.7	10.2	3.4	
	長生	70	71.4	44.3	44.3	4.3	30.0	8.6	5.7	5.7	7.1	4.3	0.0	
	夷隅	63	84.1	69.8	9.5	15.9	28.6	3.2	9.5	1.6	9.5	9.5	0.0	
	安房	59	74.6	52.5	16.9	11.9	13.6	5.1	54.2	5.1	8.5	0.0	1.7	
	君津	114	40.4	18.4	40.4	52.6	28.1	31.6	10.5	10.5	2.6	4.4	1.8	

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

悪かった点は、「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（63.0%）が最も多く、以下、「買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（39.8%）、「家族（本人）の通勤・通学に便利」（31.7%）、「治安がいい」（15.8%）、「医療・福祉が充実している（病院・介護施設等）」（15.0%）が続いた。

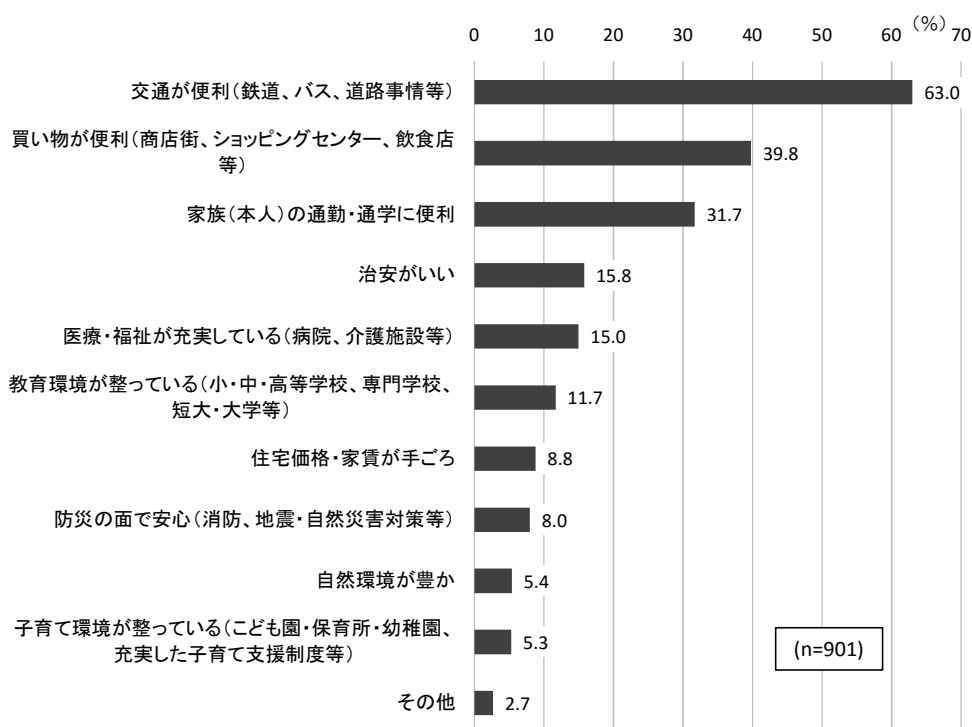
年齢層別にみると、「10代」の「買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（50.0%）、「30代」の「住宅価格・家賃が手ごろ」（14.6%）、「40代」の「医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）」（24.5%）、「60代」と「70代以上」の「家族（本人）の通勤・通学に便利」（60代：43.2%、70代以上：52.8%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「治安がいい」（29.4%）、「親子」の「子育て環境が整っている（こども園・保育園・幼稚園、充実した子育て支援制度等）」（12.1%）、「三世帯」の「家族（本人）の通勤・通学に便利」（45.8%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「その他の地域」では「治安がいい」（24.3%）が全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」と「君津」における「治安がいい」（葛南：43.7%、君津：45.8%）、「東葛飾」における「医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）」（25.0%）、「印旛」と「安房」における「買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（印旛：49.1%、安房：66.0%）、「香取」・「海匝」・「夷隅」における「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（香取：85.2%、海匝：75.3%、夷隅：90.2%）、「山武」における「家族（本人）の通勤・通学に便利」（46.4%）、「長生」における「教育環境が整っている（小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等）」（26.3%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 129 転出前自治体の悪かった点



図表 130 転出前自治体の悪かった点（属性別）

(単位:%)

	合計 (n)	交通が便利 (鉄道、バス、道路事情等)	買い物やショッピングセンター、飲食店等	家族 (本人) の通勤・通学に便利	治安がいい	医療・福祉が充実している (病院、介護施設等)	中・高等学校、専門学校、短大・大学等	住宅価格・家賃が手ごろ	防災の面で安心 (消防、地震・自然災害対策等)	自然環境が豊か	子育て環境が整っている (こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等)	その他	
		全体	901	63.0	39.8	31.7	15.8	15.0	11.7	8.8	8.0	5.4	5.3
年齢層	10代	72	65.3	50.0	25.0	9.7	11.1	12.5	8.3	4.2	2.8	1.4	1.4
	20代	385	67.0	42.9	34.8	15.8	12.5	12.7	8.6	7.0	6.5	3.4	2.6
	30代	151	52.3	33.1	19.2	21.2	15.9	6.0	14.6	12.6	8.6	9.9	3.3
	40代	102	54.9	32.4	27.5	12.7	24.5	14.7	7.8	3.9	2.0	7.8	3.9
	50代	95	67.4	37.9	32.6	11.6	17.9	13.7	6.3	10.5	1.1	4.2	3.2
	60代	44	72.7	38.6	43.2	20.5	11.4	6.8	2.3	11.4	6.8	9.1	0.0
	70代以上	36	58.3	41.7	52.8	13.9	11.1	11.1	2.8	11.1	2.8	2.8	2.8
世帯	単身	482	64.3	43.8	29.3	16.2	12.0	10.0	9.8	7.7	5.0	2.7	2.7
	夫婦	68	48.5	33.8	25.0	29.4	25.0	10.3	16.2	2.9	16.2	1.5	4.4
	親子	207	59.9	35.3	34.3	14.0	17.9	14.0	7.2	10.1	4.8	12.1	2.9
	三世帯	59	69.5	40.7	45.8	13.6	10.2	11.9	1.7	10.2	3.4	3.4	0.0
	その他	12	66.7	16.7	41.7	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転出先	県内	404	64.1	43.1	33.4	12.4	16.8	10.1	10.4	6.9	4.5	5.0	1.5
	一都二県	315	67.9	37.8	36.5	14.6	13.7	15.2	4.1	8.3	4.8	4.1	3.2
	その他の地域	169	50.3	37.3	18.9	24.3	13.0	7.7	13.6	10.7	8.9	8.3	4.1
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	119	15.1	14.3	10.1	43.7	10.1	5.9	27.7	18.5	21.8	10.1	4.2
	東葛飾	16	31.3	18.8	37.5	18.8	25.0	12.5	12.5	0.0	6.3	12.5	6.3
	印旛	159	67.3	49.1	37.7	13.8	15.1	8.2	6.3	5.0	3.8	3.8	1.3
	香取	61	85.2	52.5	39.3	1.6	14.8	11.5	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6
	海匝	146	75.3	42.5	21.2	8.9	19.2	13.0	4.8	11.6	3.4	7.5	2.1
	山武	153	77.1	47.7	46.4	5.2	13.7	10.5	1.3	7.8	0.0	2.6	3.3
	長生	76	53.9	39.5	30.3	2.6	27.6	26.3	10.5	5.3	3.9	7.9	0.0
	夷隅	41	90.2	34.1	56.1	2.4	19.5	19.5	4.9	2.4	0.0	2.4	2.4
	安房	47	76.6	66.0	25.5	4.3	4.3	12.8	19.1	0.0	0.0	6.4	2.1
	君津	83	53.0	22.9	28.9	45.8	7.2	8.4	6.0	8.4	9.6	3.6	6.0

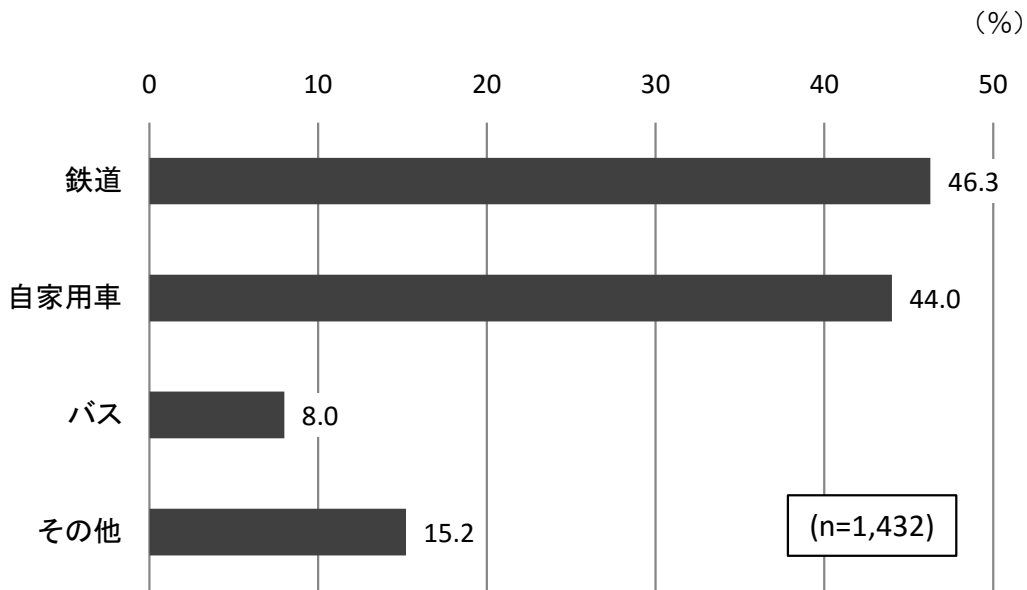
(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(才) 転出前の通勤手段と所要時間

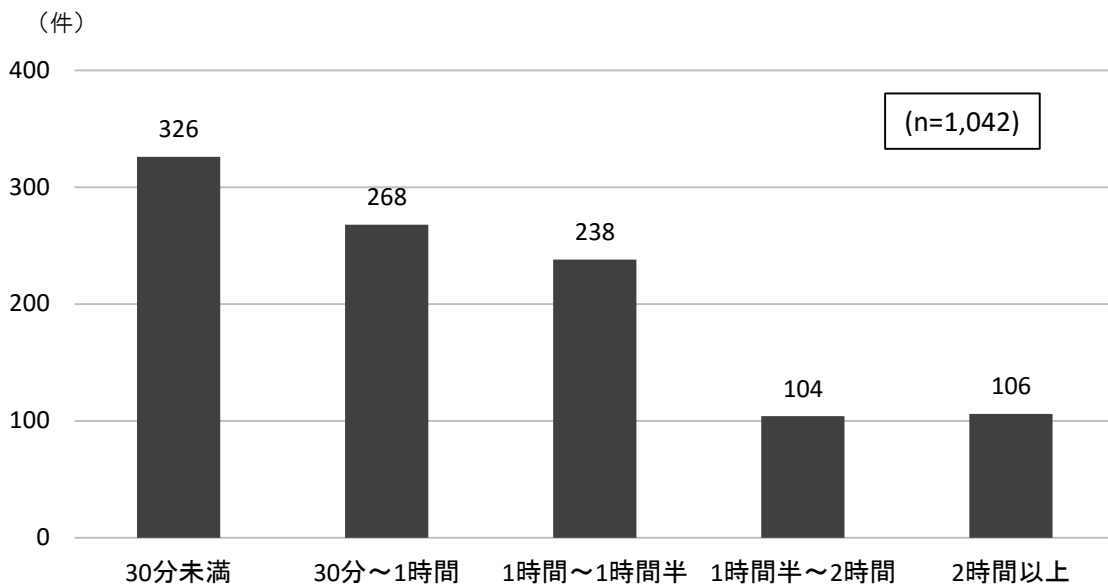
問5 転出前の通勤手段と所要時間について教えてください。(複数回答可)

転出前の通勤手段は「鉄道」(46.3%)が最も多く、次いで「自家用車」(44.0%)となった。所要時間は30分未満が326件と最も多く、次いで30分～1時間未満(268件)、1時間～1時間半未満(238件)と続いた。

図表 131 通勤手段



図表 132 所要時間



(カ) 転出の際に参考にした情報源

問6 転出の際に参考にした情報源は何ですか。(複数回答可)

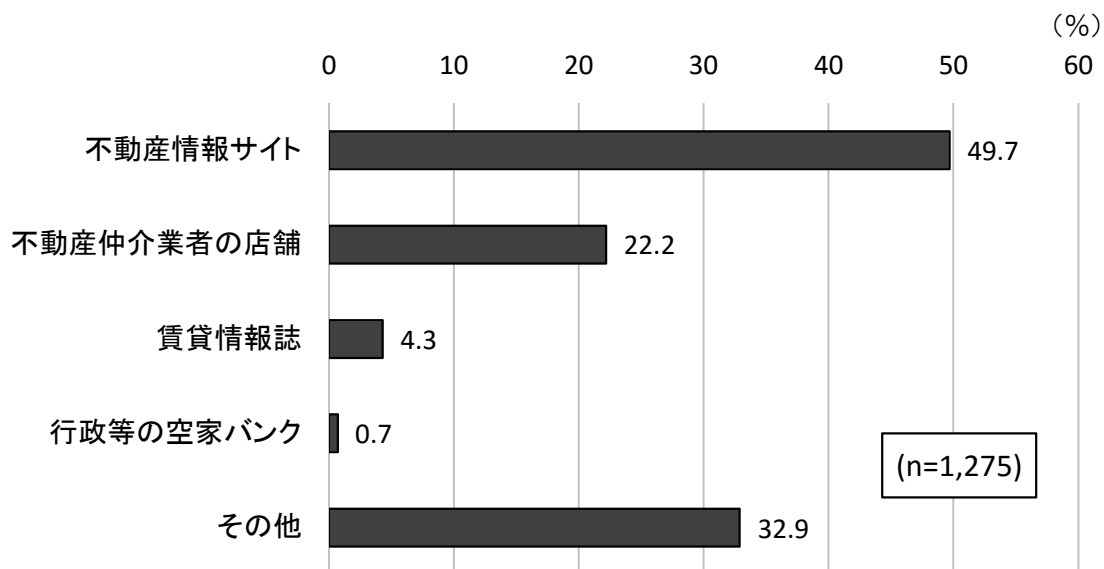
転出の際に参考にした情報源は、住居については、「不動産情報サイト」(49.7%)、「不動産仲介業者の店舗」(22.2%)の順に多かった(「その他」を除く)。「その他」では、「会社の指定・社宅・寮」などの回答が多くみられた。

年齢層別にみると、「30代」と「70代以上」の「不動産情報サイト」(30代：55.7%、70代以上：54.8%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「不動産情報サイト」(61.2%)が全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「東葛飾」と「安房」における「不動産情報サイト」(東葛飾：64.5%、安房：61.1%)、「長生」と「夷隅」における「不動産仲介業者の店舗」(長生：55.6%、夷隅：28.6%)が全体の水準を大きく上回っている。

図表 133 情報源 (住居について)



図表 134 情報源（住居について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	不動産 情報サ イト	不動 産仲 介業 者の 店舗	賃 貸 情 報 誌	行 政 等 の 空 家 バン ク	そ の 他
全体		1,275	49.7	22.2	4.3	0.7	32.9
年齢層	10代	105	38.1	18.1	3.8	0.0	42.9
	20代	533	51.4	25.3	4.7	0.6	28.9
	30代	228	55.7	21.9	5.3	0.0	28.1
	40代	157	49.7	17.2	3.8	3.2	35.0
	50代	125	42.4	24.0	4.0	0.8	41.6
	60代	64	50.0	21.9	3.1	0.0	37.5
	70代以上	42	54.8	11.9	0.0	0.0	35.7
世帯	単身	678	50.0	22.4	4.7	0.0	32.0
	夫婦	98	61.2	17.3	3.1	2.0	26.5
	親子	296	47.6	20.9	2.0	2.0	37.2
	三世帯	71	43.7	25.4	5.6	0.0	31.0
	その他	19	36.8	47.4	10.5	0.0	21.1
転出先	県内	564	53.0	22.2	3.7	0.2	29.6
	一都二県	416	49.0	24.8	4.8	1.0	32.9
	その他の地域	274	42.7	19.3	4.4	1.5	40.5
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-
	葛南	303	54.1	21.5	4.0	1.7	29.0
	東葛飾	31	64.5	16.1	0.0	0.0	25.8
	印旛	219	47.0	21.9	6.8	0.5	36.1
	香取	73	52.1	15.1	5.5	0.0	34.2
	海匝	188	47.9	21.3	3.7	0.5	35.1
	山武	197	45.7	21.3	3.6	0.0	38.6
	長生	54	46.3	55.6	3.7	0.0	18.5
	夷隅	49	42.9	28.6	0.0	0.0	30.6
	安房	54	61.1	11.1	7.4	0.0	25.9
	君津	107	46.7	20.6	3.7	1.9	35.5

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

地域情報については、「知人の話」(41.2%)、「自治体ホームページ」(35.9%)の順に多かった。「その他」では、「地元」や、「以前住んでいて知っていた」などの回答が多くみられた。

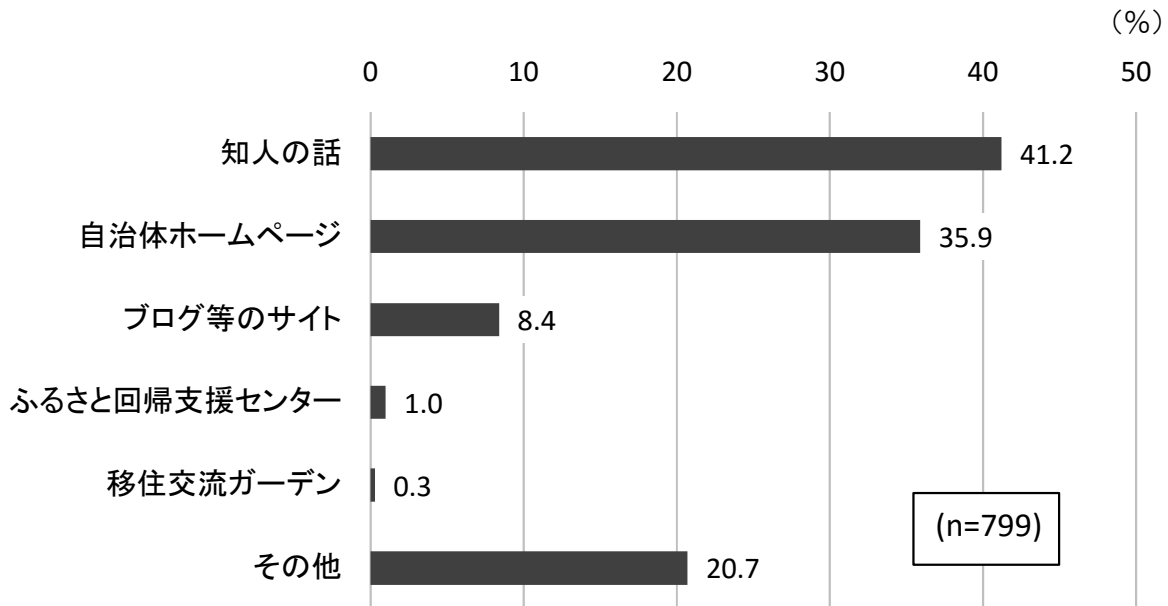
年齢層別にみると、「30代」と「40代」の「自治体ホームページ」(30代：41.5%、40代：41.3%)、「60代」の「ブログ等のサイト」(14.6%)、「70代以上」の「知人の話」(48.3%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「ブログ等のサイト」(15.5%)、「三世帯」の「自治体ホームページ」(42.6%)が全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「その他の地域」では「自治体ホームページ」(41.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」・「東葛飾」・「安房」における「自治体ホームページ」(葛南：46.7%、東葛飾：43.8%、安房：44.8%)、「香取」・「海匝」・「長生」・「君津」における「知人の話」(香取：46.7%、海匝：46.4%、長生：50.0%、君津：48.7%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 135 情報源（地域情報について）



図表 136 情報源（地域情報について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	知人の話	自治体ホームページ	ブログ等のサイト	ふるさと支援センター	移住交流ガイド	その他
全体		799	41.2	35.9	8.4	1.0	0.3	20.7
年齢層	10代	76	42.1	25.0	3.9	1.3	0.0	30.3
	20代	315	44.4	34.0	6.7	0.6	0.3	20.0
	30代	142	40.1	41.5	10.6	0.0	0.0	17.6
	40代	104	40.4	41.3	13.5	1.9	1.0	16.3
	50代	83	32.5	39.8	7.2	0.0	0.0	24.1
	60代	41	39.0	31.7	14.6	2.4	0.0	22.0
	70代以上	29	48.3	27.6	6.9	3.4	0.0	17.2
世帯	単身	400	42.5	33.5	5.3	0.8	0.0	22.3
	夫婦	58	37.9	39.7	15.5	1.7	1.7	17.2
	親子	206	37.9	40.3	11.7	1.9	0.5	21.4
	三世帯	54	37.0	42.6	9.3	0.0	0.0	13.0
	その他	12	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
転出先	県内	358	45.5	34.6	7.3	0.6	0.3	19.0
	一都二県	248	41.9	32.3	10.5	0.0	0.0	21.8
	その他の地域	183	32.8	41.5	8.2	2.7	0.5	23.0
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	169	32.5	46.7	13.6	0.0	0.6	16.6
	東葛飾	16	37.5	43.8	12.5	0.0	0.0	12.5
	印旛	148	40.5	28.4	5.4	2.0	0.7	31.1
	香取	45	46.7	35.6	0.0	0.0	0.0	20.0
	海匝	125	46.4	35.2	4.0	1.6	0.0	16.8
	山武	132	41.7	34.1	11.4	1.5	0.0	19.7
	長生	30	50.0	30.0	0.0	3.3	0.0	16.7
	夷隅	29	44.8	31.0	10.3	0.0	0.0	20.7
	安房	29	31.0	44.8	17.2	0.0	0.0	17.2
	君津	76	48.7	30.3	7.9	0.0	0.0	22.4

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

③ 9月実施分

a. 調査実施概要

千葉県が実施した転入・転出者アンケート（平成28年9月実施分）の集計結果は次の通り。

(ア) 調査の目的

千葉県の転入者・転出者に対し、転入・転出の理由、転入先の自治体を選んだ理由や転出前の自治体の良かった点・悪かった点、通勤手段と所要時間、参考にした情報源等をアンケート調査により明らかにする。これにより、転入者、転出者の実態を把握する。

(イ) 調査の対象・方法

各市町村の窓口において、転入者・転出者に対してアンケート調査票を配布する方式により実施した。

(ウ) 調査内容

○転入者アンケート

- ・ 元の住まい
- ・ 転入理由
- ・ 転入先自治体を選んだ理由
- ・ 転入後の通勤手段・所要時間
- ・ 転入の際に参考にした情報源
- ・ 回答者属性（年齢、世帯人数、世帯構成）

○転出者アンケート

- ・ 転出先
- ・ 転出理由
- ・ 転出前自治体の良かった点・悪かった点
- ・ 転出前の通勤手段・所要時間
- ・ 転出の際に参考にした情報源
- ・ 回答者属性（年齢、世帯人数、世帯構成）

(エ) 調査時期

平成28年9月1日（木）～9月30日（金）

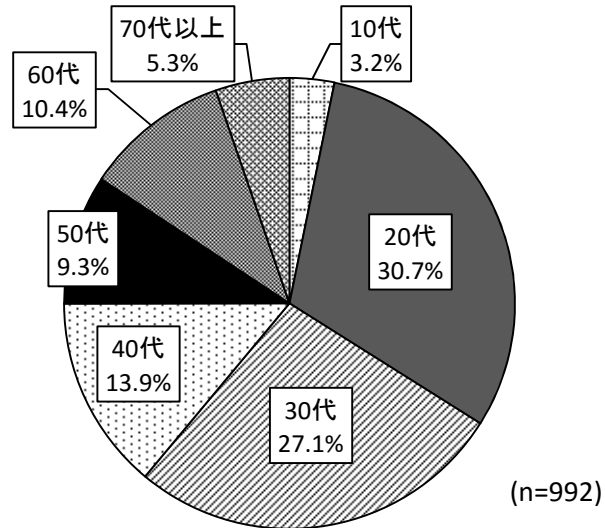
(オ) 調査票の回収状況

転入者アンケート：1,026件、転出者アンケート：819件

b. 転入者アンケート調査結果
(ア) 属性

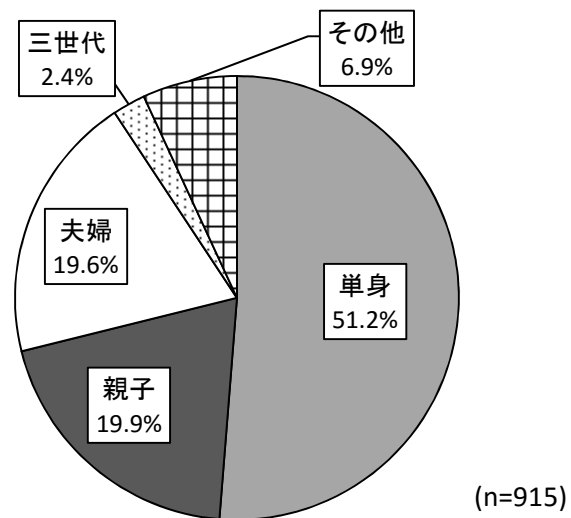
i. 世帯主の年代

図表 137 世帯主の年代



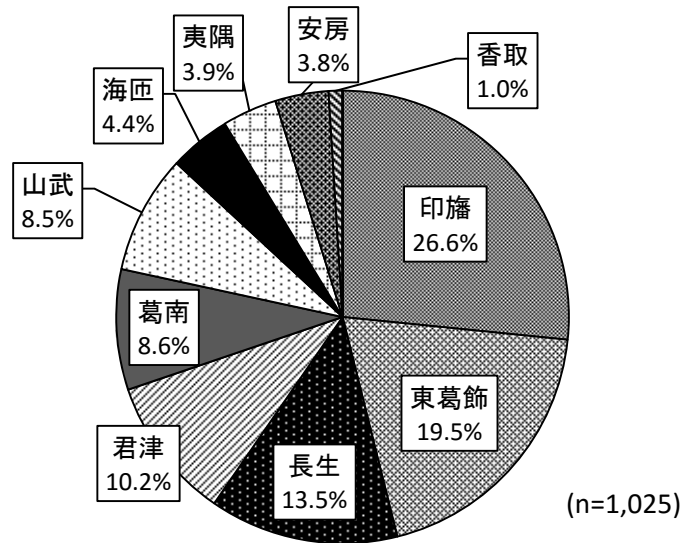
ii. 世帯構成

図表 138 世帯構成



iii. 居住地

図表 139 居住地（11ブロック別）



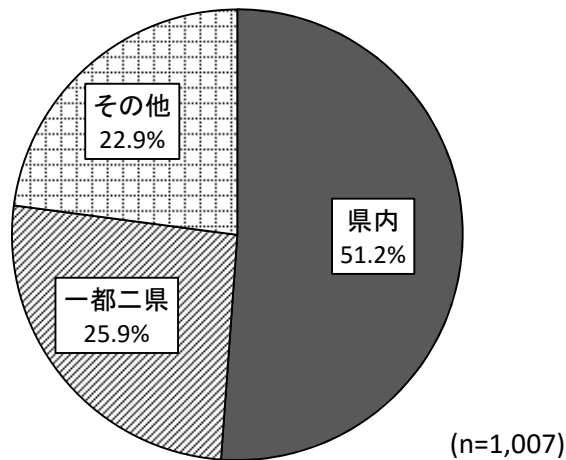
ブロック	該当市町村
千葉	千葉市(9月調査では、千葉市よりアンケートの提出がなかったため、当報告書では千葉ブロックの表示はない)
葛南	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝	銚子市、旭市、匝瑳市
山武	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津	市原市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

(イ)元の住まい

問2 元のお住まいはどちらですか。(県内からは市町村名、県外からは都道府県名を記入してください)

元の住まいは、県内が 51.2%、一都二県が 25.9%、その他の道府県が 22.9%だった。県外の内訳を都道府県別にみると、東京都（145 件）、神奈川県（61 件）、埼玉県（55 件）、茨城県（38 件）など、近隣都県が上位を占めた。県内では千葉市（59 件）が最も多く、松戸市（35 件）、船橋市（30 件）と続いた。

図表 140 元の住まい



図表 141 転入元の上位

順位	都道府県 (海外を含む)	件数
1	東京都	145
2	神奈川県	61
3	埼玉県	55
4	茨城県	38
5	海外	23
6	愛知県	17
7	大阪府	16
8	福岡県	13
9	栃木県	11
10	静岡県	10

順位	県内市町村	件数
1	千葉市	59
2	松戸市	35
3	船橋市	30
4	成田市	23
5	市原市	19
6	柏市	18
7	市川市	16
8	佐倉市	14
8	八街市	14
8	木更津市	14

(ウ) 転入理由

問3 転入理由は何ですか。①から⑥のいずれか一つに○をつけて下さい。

転入理由は、「仕事の都合（就職、転勤等）」が 39.0%と最も多く、以下、「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（26.0%）、「住宅の都合（購入等による住替え等）」（19.4%）、「退職を契機とした転居」（8.2%）が続いた。

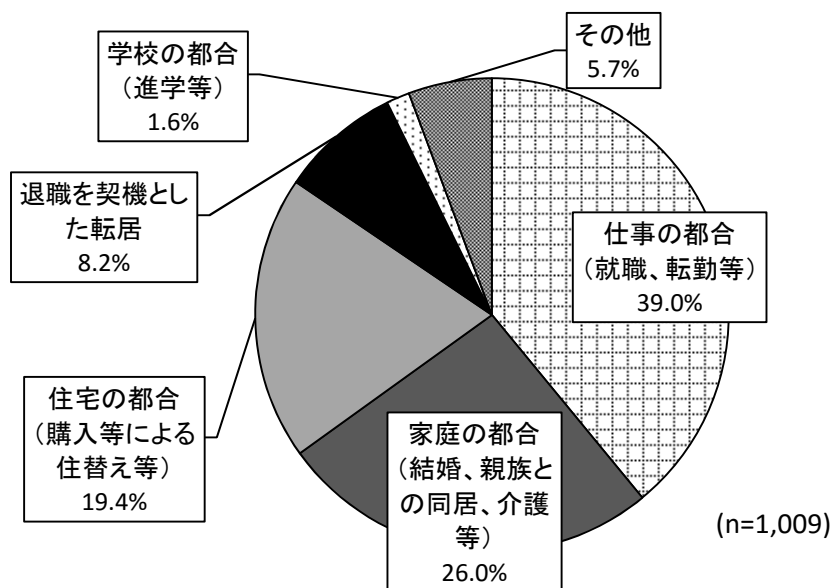
年齢層別にみると、「10代」と「20代」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（10代：68.8%、20代：47.7%）、「30代」・「40代」・「50代」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（30代：24.5%、40代：26.9%、50代：26.1%）、「60代」の「退職を契機とした転居」（21.2%）、「70代以上」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（39.6%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「単身」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（58.4%）、「夫婦」と「三世帯」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（夫婦：37.6%、三世帯：50.0%）、「親子」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（30.7%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

元の住まいをみると、「県内」では「住宅の都合（購入等による住替え等）」（28.0%）、「一都二県」では「退職を契機とした転居」（13.5%）、「その他の地域」では「仕事の都合（就職、転勤等）」（59.6%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「印旛」における「住宅の都合（購入等による住替え等）」（28.8%）、「香取」における「学校の都合（進学等）」（12.5%）、「山武」における「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（34.1%）、「夷隅」と「安房」における「退職を契機とした転居」（夷隅：20.5%、安房：23.1%）、「君津」における「仕事の都合（就職、転勤等）」（48.1%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 142 転入理由



図表 143 転入理由（属性別）

(単位:%)

		合計 (n)	仕事の都合 (就職、転勤等)	家族の都合 (結婚、親居、介護等)	住宅の都合 (購入等による住替え等)	退職を契機とした転居	学校の都合 (進学等)	その他
全体		1,009	39.0	26.0	19.4	8.2	1.6	5.7
年齢層	10代	32	68.8	0.0	9.4	3.1	12.5	6.3
	20代	302	47.7	25.8	10.6	7.9	2.6	5.3
	30代	265	41.1	27.2	24.5	4.2	1.1	1.9
	40代	134	38.1	22.4	26.9	6.7	0.0	6.0
	50代	92	41.3	20.7	26.1	8.7	1.1	2.2
	60代	99	17.2	31.3	18.2	21.2	0.0	12.1
	70代以上	53	5.7	39.6	24.5	13.2	0.0	17.0
世帯	単身	464	58.4	15.7	10.6	8.2	2.2	5.0
	夫婦	178	20.8	37.6	29.8	5.1	0.0	6.7
	親子	179	21.2	32.4	30.7	10.6	1.1	3.9
	三世帯	22	13.6	50.0	13.6	22.7	0.0	0.0
	その他	62	32.3	37.1	6.5	4.8	4.8	14.5
まいの住	県内	507	29.0	32.0	28.0	5.3	1.0	4.7
	一都二県	260	40.8	21.9	16.5	13.5	1.5	5.8
	その他の地域	228	59.6	17.5	3.9	7.9	3.1	7.9
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	87	39.1	27.6	23.0	3.4	1.1	5.7
	東葛飾	198	41.9	27.8	15.2	6.1	2.5	6.6
	印旛	271	35.4	22.5	28.8	7.4	0.7	5.2
	香取	8	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0
	海匝	44	38.6	27.3	13.6	11.4	2.3	6.8
	山武	85	35.3	34.1	18.8	3.5	1.2	7.1
	長生	134	42.5	28.4	9.7	12.7	0.7	6.0
	夷隅	39	15.4	30.8	17.9	20.5	2.6	12.8
	安房	39	46.2	17.9	10.3	23.1	0.0	2.6
	君津	104	48.1	21.2	20.2	4.8	2.9	2.9

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(工) 転入先自治体を選んだ理由

問4 転入先に〇〇市(町村)を選ばれた主な理由について、①から⑫のうち3つまで〇をつけて下さい。

転入先を選んだ理由として、「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(44.8%)が最も多かった。以下、「住宅価格・家賃が手ごろだから」(21.8%)、「交通が便利だから(鉄道、バス、道路事情等)」(17.7%)、「買い物が便利だから(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)」(14.7%)、「生まれ育った地域にもどりたかったから」(12.5%)が続いた。

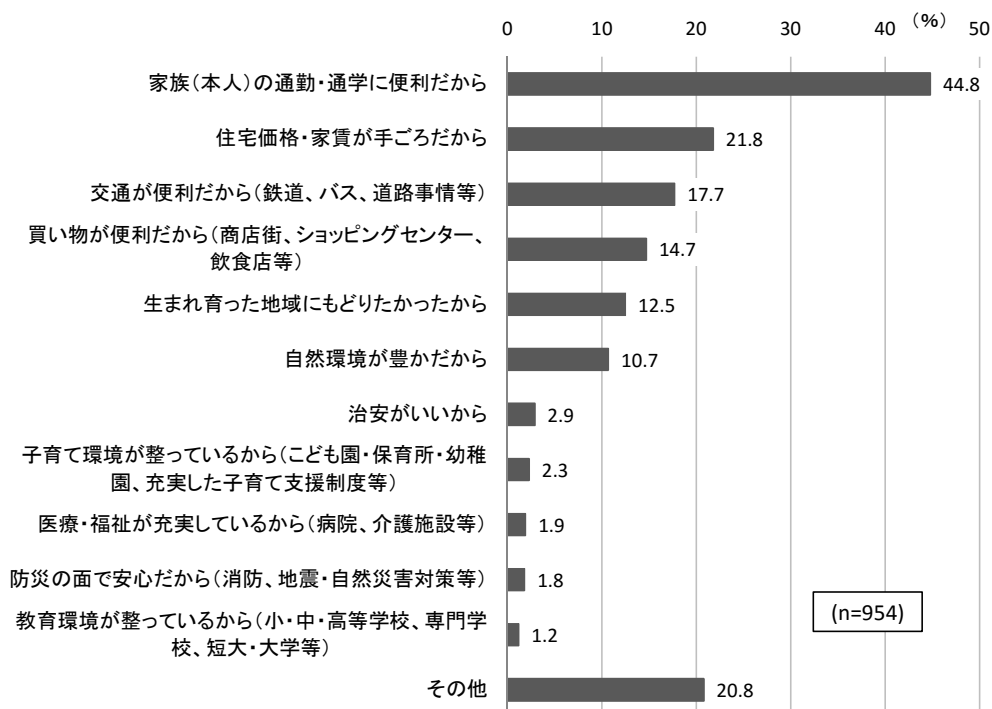
年齢層別にみると、「10代」・「20代」・「30代」の「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(10代:50.0%、20代:54.4%、30代:51.6%)、「40代」の「住宅価格・家賃が手ごろだから」(32.2%)、「50代」の「生まれ育った地域にもどりたかったから」(23.2%)、「60代」の「自然環境が豊かだから」(24.2%)、「70代以上」の「医療・福祉が充実しているから(病院、介護施設等)」(10.4%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「夫婦」の「住宅価格・家賃が手ごろだから」(29.3%)、「親子」と「三世帯」の「生まれ育った地域にもどりたかったから」(親子:24.9%、三世帯:52.6%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

元の住まいをみると、「一都二県」の「自然環境が豊かだから」(16.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」における「買い物が便利だから(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)」(28.9%)、「東葛飾」における「交通が便利だから(鉄道、バス、道路事情等)」(29.5%)、「香取」と「夷隅」における「自然環境が豊かだから」(香取:50.0%、夷隅:40.0%)、「海匝」と「長生」における「生まれ育った地域にもどりたかったから」(海匝:30.0%、長生:19.7%)、「君津」における「家族(本人)の通勤・通学に便利だから」(53.9%)、などが水準を大きく上回っている。

図表 144 転入先自治体を選んだ理由



図表 145 転入先自治体を選んだ理由（属性別）

(単位:%)

		合計 (n)	家族（本人）の通勤・通学に便利だから	住宅価格・家賃が手ごろだから	交通が便利だから（鉄道、バス、道路事情等）	買い物（ショッピングセンター、飲食店等）が便利だから（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）	生まれ育った地域にもどりたいから	自然環境が豊かだから	治安がいいから	子育て環境が整っているから（幼稚園、保育園、充実した子育て支援制度等）	医療・福祉が充実しているから（病院、介護施設等）	防災の面で安心だから（消防、地震・自然災害対策等）	教育環境が整っているから（小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等）	その他
全体		954	44.8	21.8	17.7	14.7	12.5	10.7	2.9	2.3	1.9	1.8	1.2	20.8
年齢層	10代	32	50.0	3.1	3.1	3.1	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.4
	20代	296	54.4	18.9	24.0	15.9	11.1	3.7	1.7	2.7	0.0	1.0	1.4	15.2
	30代	254	51.6	26.4	17.7	16.5	12.2	9.1	2.0	3.1	0.4	1.6	1.6	18.5
	40代	121	43.8	32.2	20.7	9.1	5.8	12.4	8.3	2.5	3.3	1.7	1.7	18.2
	50代	82	37.8	20.7	8.5	14.6	23.2	17.1	0.0	1.2	1.2	3.7	0.0	24.4
	60代	91	23.1	16.5	14.3	23.1	19.8	24.2	2.2	0.0	5.5	2.2	0.0	27.5
	70代以上	48	6.3	10.4	10.4	6.3	20.8	16.7	4.2	0.0	10.4	4.2	0.0	43.8
世帯	単身	447	48.5	18.8	21.9	14.5	8.7	7.2	2.2	0.0	0.9	1.1	1.1	20.8
	夫婦	167	46.7	29.3	18.0	16.8	10.2	16.2	3.6	3.0	2.4	2.4	0.6	21.6
	親子	169	35.5	23.1	9.5	16.6	24.9	13.6	2.4	5.9	2.4	3.0	1.8	20.1
	三世帯	19	10.5	15.8	5.3	5.3	52.6	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1
	その他	60	61.7	13.3	20.0	6.7	0.0	5.0	3.3	1.7	3.3	1.7	1.7	16.7
元の住まい	県内	481	45.9	22.5	20.6	19.1	11.2	10.2	2.1	3.1	1.9	2.1	1.5	15.8
	一都二県	242	39.7	24.4	10.7	12.4	16.9	16.5	5.0	0.8	2.1	1.7	0.4	23.6
	その他の地域	217	47.9	17.5	19.4	7.8	10.6	5.1	2.8	1.4	1.8	1.4	1.4	28.6
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	83	59.0	22.9	30.1	28.9	8.4	7.2	4.8	2.4	0.0	1.2	0.0	12.0
	東葛飾	190	54.7	25.3	29.5	19.5	6.8	5.8	4.2	3.7	2.1	1.1	0.5	15.3
	印旛	255	39.2	26.3	13.7	15.3	12.2	10.6	2.4	3.5	2.4	3.1	2.0	23.1
	香取	6	16.7	50.0	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	海匝	40	42.5	2.5	7.5	10.0	30.0	12.5	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5	25.0
	山武	83	33.7	21.7	20.5	9.6	13.3	12.0	0.0	1.2	2.4	2.4	1.2	30.1
	長生	127	39.4	16.5	10.2	11.0	19.7	14.2	3.9	1.6	3.1	1.6	0.0	19.7
	夷隅	30	20.0	23.3	0.0	3.3	23.3	40.0	6.7	0.0	3.3	0.0	0.0	26.7
	安房	38	44.7	18.4	5.3	7.9	15.8	10.5	5.3	0.0	0.0	2.6	0.0	13.2
	君津	102	53.9	16.7	15.7	9.8	5.9	5.9	0.0	1.0	1.0	1.0	2.9	25.5

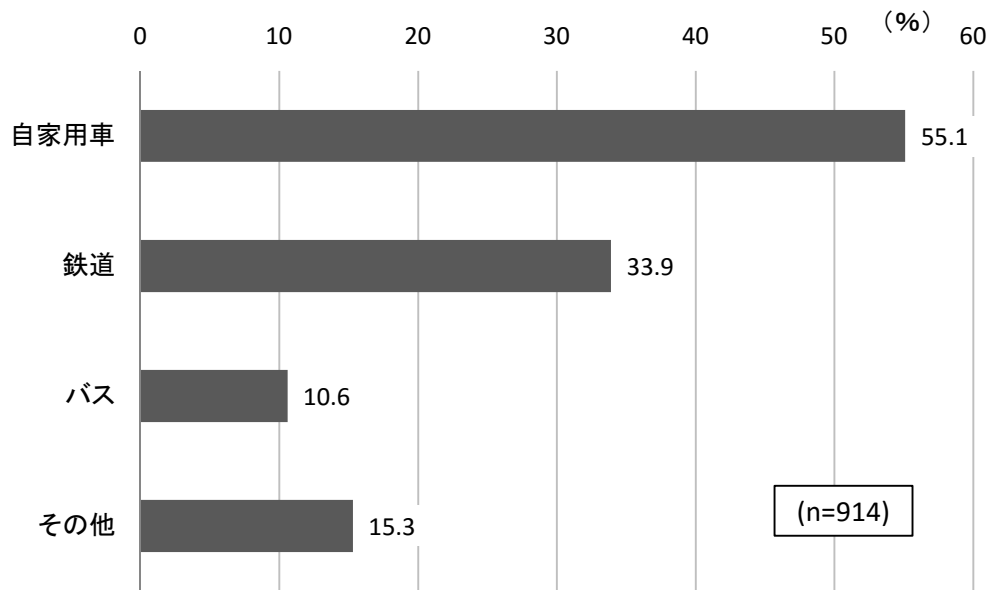
(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(才) 転入後の通勤手段と所要時間

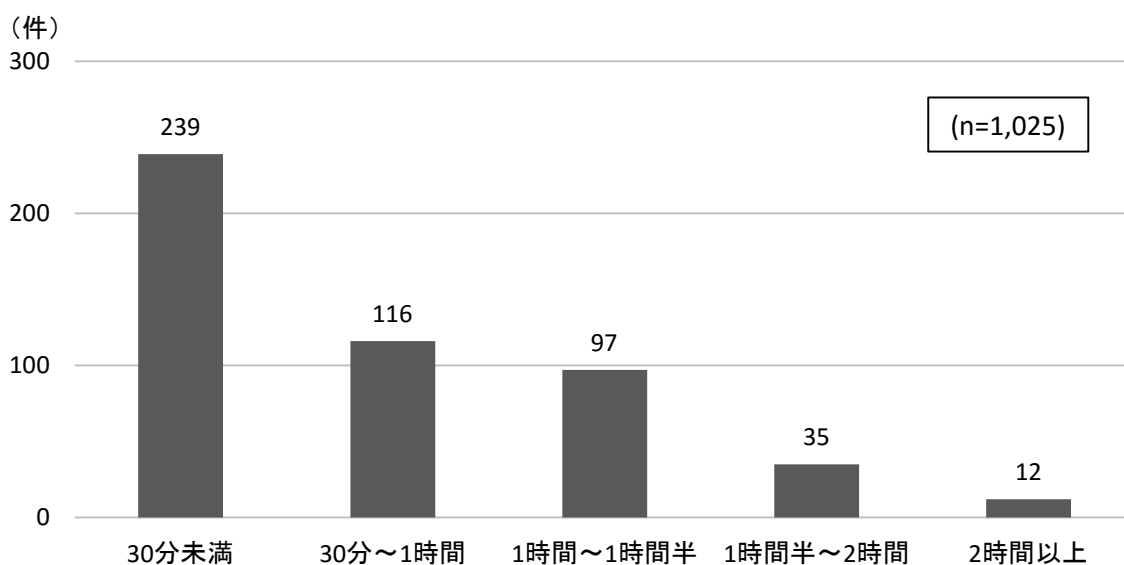
問5 転入後の通勤手段と所要時間について教えてください。(複数回答可)

転入後の通勤手段は「自家用車」(55.1%)が最も多く、次いで「鉄道」(33.9%)となった。所要時間は30分未満が239件と最も多く、次いで30分～1時間未満(116件)、1時間～1時間半(97件)と続いた。

図表 146 通勤手段



図表 147 所要時間



(カ) 転入の際に参考にした情報源

問6 転入の際に参考にした情報源は何ですか。(複数回答可)

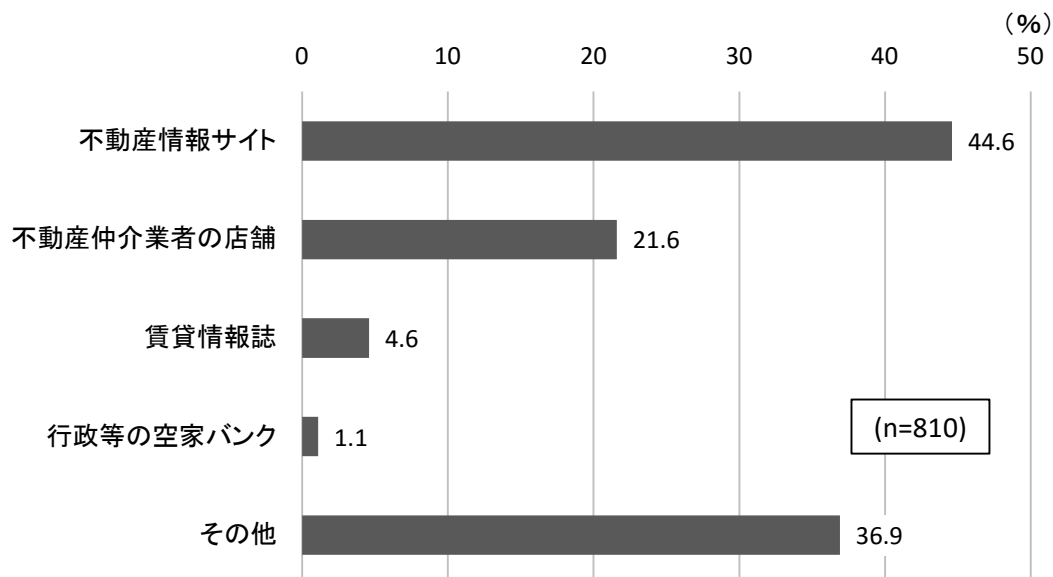
転入の際に参考にした情報源は、住居については、「不動産情報サイト」(44.6%)、「不動産仲介業者の店舗」(21.6%)の順に多かった(「その他」を除く)。「その他」では、「会社の指定・社宅」、「実家(があるため)」などの回答が多くみられた。

年齢層別にみると、「20代」の「不動産仲介業者の店舗」(27.9%)、「40代」の「不動産情報サイト」(52.4%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」の「不動産情報サイト」(54.0%)が全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別では、「葛南」における「不動産仲介業者の店舗」(43.2%)、「東葛飾」における「不動産情報サイト」(51.6%)、「香取」における「賃貸情報誌」(14.3%)、「夷隅」における「行政等の空家バンク」(16.0%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 148 情報源 (住居について)



図表 149 情報源（住居について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	不動産 情報サ イト	不動 産仲 介業 者の 店舗	賃 貸 情 報 誌	行 政 等 の 空 家 バン ク	そ の 他
全体		810	44.6	21.6	4.6	1.1	36.9
年齢層	10代	25	20.0	12.0	0.0	0.0	80.0
	20代	258	45.3	27.9	5.8	1.2	31.0
	30代	227	49.3	24.7	4.0	0.4	30.0
	40代	103	52.4	16.5	5.8	1.0	30.1
	50代	65	35.4	16.9	1.5	0.0	49.2
	60代	72	33.3	11.1	5.6	4.2	55.6
	70代以上	36	36.1	13.9	0.0	2.8	55.6
世帯	単身	383	42.8	23.2	5.2	0.5	37.1
	夫婦	150	54.0	20.7	4.0	3.3	30.7
	親子	131	42.7	21.4	4.6	0.0	38.2
	三世帯	13	7.7	15.4	7.7	0.0	69.2
	その他	54	46.3	22.2	5.6	0.0	38.9
まい 元の 住	県内	414	46.1	23.7	4.8	0.2	33.3
	一都二県	206	42.7	21.8	4.4	2.4	38.8
	その他の地域	178	43.3	17.4	3.9	1.7	42.7
居住 地区	千葉	-	-	-	-	-	-
	葛南	81	49.4	43.2	2.5	0.0	23.5
	東葛飾	157	51.6	26.8	3.2	1.3	30.6
	印旛	225	47.6	19.6	4.4	0.4	33.8
	香取	7	14.3	28.6	14.3	0.0	42.9
	海匝	24	29.2	8.3	4.2	0.0	62.5
	山武	69	46.4	14.5	7.2	1.4	39.1
	長生	109	33.9	16.5	4.6	0.0	48.6
	夷隅	25	28.0	12.0	8.0	16.0	52.0
	安房	30	33.3	6.7	0.0	0.0	60.0
	君津	83	47.0	20.5	7.2	1.2	32.5

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

地域情報については、「知人の話」(40.8%)、「自治体ホームページ」(34.6%)の順に多かった。「その他」では、「元々住んでいて知っていた」などの回答が多くみられた。

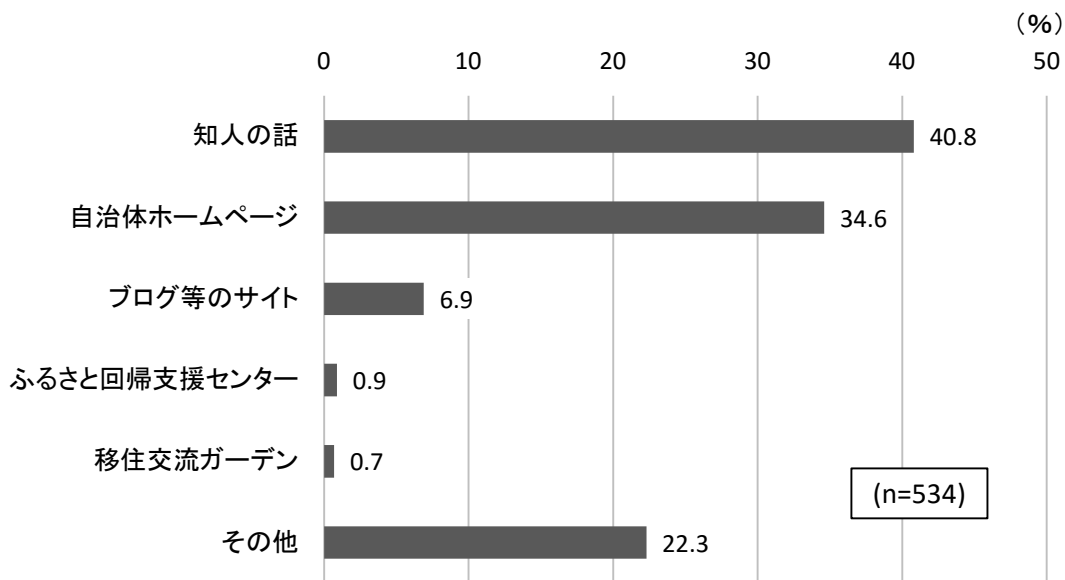
年齢層別にみると、「10代」と「20代」の「知人の話」(10代：61.5%、20代：50.6%)、「30代」と「50代」の「自治体ホームページ」(30代：40.4%、50代：42.6%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「単身」の「知人の話」(46.9%)、「夫婦」の「自治体ホームページ」(45.9%)が全体の水準を大きく上回っている。

元の住まいをみると、「その他の地域」では「知人の話」(46.6%)が全体の水準を大きく上回っている。

転入先の居住地区別にみると、「葛南」・「印旛」・「海匝」における「自治体ホームページ」(葛南：45.2%、印旛：39.7%、海匝：47.1%)、「香取」・「夷隅」・「安房」における「知人の話」(香取：50.0%、夷隅：47.1%、安房：52.0%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 150 情報源 (地域情報について)



図表 151 情報源（地域情報について・属性別）

（単位：％）

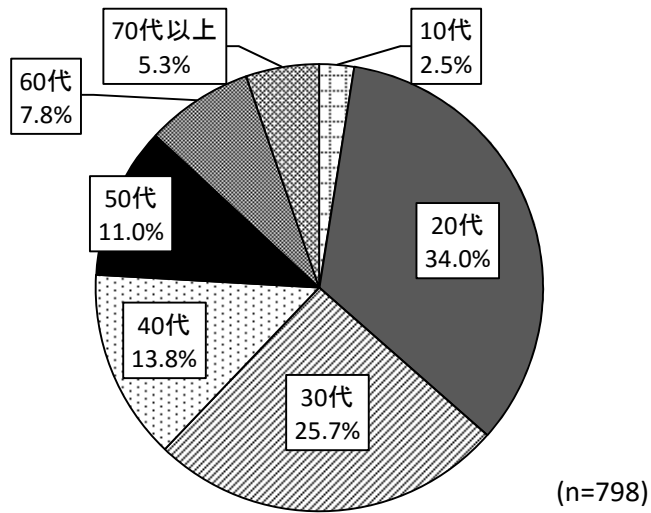
		合計 (n)	知人の話	自治体ホームページ	ブログ等のサイト	ふるさと支援センター	移住交流ガイド	その他
全体		534	40.8	34.6	6.9	0.9	0.7	22.3
年齢層	10代	13	61.5	15.4	0.0	7.7	0.0	15.4
	20代	162	50.6	31.5	6.8	0.6	0.0	16.0
	30代	136	41.9	40.4	5.1	0.0	1.5	20.6
	40代	78	34.6	35.9	10.3	1.3	1.3	23.1
	50代	47	27.7	42.6	4.3	0.0	0.0	29.8
	60代	51	31.4	37.3	7.8	2.0	2.0	25.5
	70代以上	31	38.7	19.4	3.2	3.2	0.0	38.7
世帯	単身	239	46.9	29.3	7.5	0.8	0.0	18.8
	夫婦	98	32.7	45.9	10.2	0.0	1.0	20.4
	親子	96	34.4	36.5	4.2	1.0	2.1	28.1
	三世帯	9	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2
	その他	38	31.6	34.2	2.6	0.0	0.0	39.5
元の住まい	県内	280	40.7	35.4	7.9	0.7	0.7	20.7
	一都二県	129	36.4	34.1	3.9	1.6	1.6	27.1
	その他の地域	118	46.6	32.2	7.6	0.8	0.0	20.3
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	42	40.5	45.2	2.4	0.0	0.0	14.3
	東葛飾	98	39.8	33.7	6.1	0.0	0.0	26.5
	印旛	151	38.4	39.7	7.9	0.7	0.0	18.5
	香取	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	海匝	17	23.5	47.1	5.9	5.9	0.0	17.6
	山武	47	42.6	29.8	4.3	0.0	4.3	27.7
	長生	77	44.2	31.2	9.1	1.3	1.3	19.5
	夷隅	17	47.1	23.5	5.9	0.0	0.0	35.3
	安房	25	52.0	24.0	4.0	4.0	0.0	20.0
	君津	54	40.7	31.5	11.1	1.9	1.9	25.9

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

c. 転出者アンケート調査結果
(ア) 属性

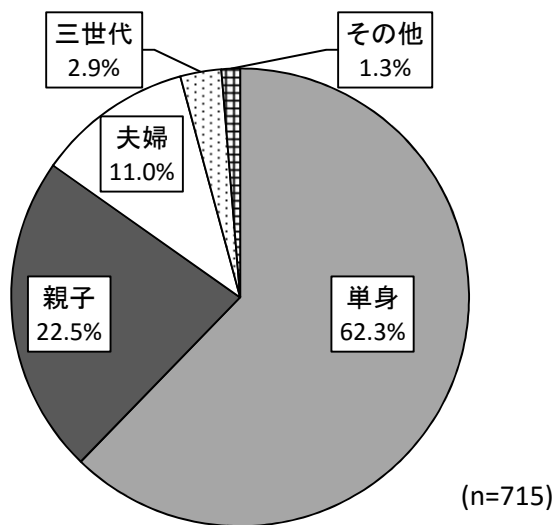
i. 世帯主の年代

図表 152 世帯主の年代



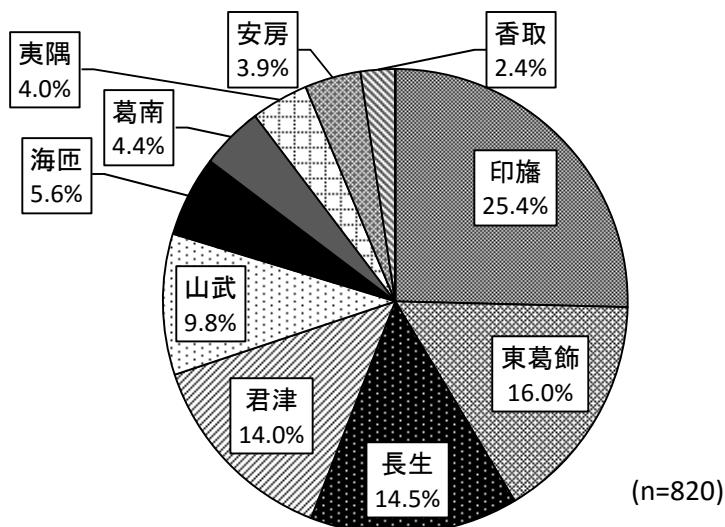
ii. 世帯構成

図表 153 世帯構成



iii. 居住地

図表 154 居住地（11ブロック別）



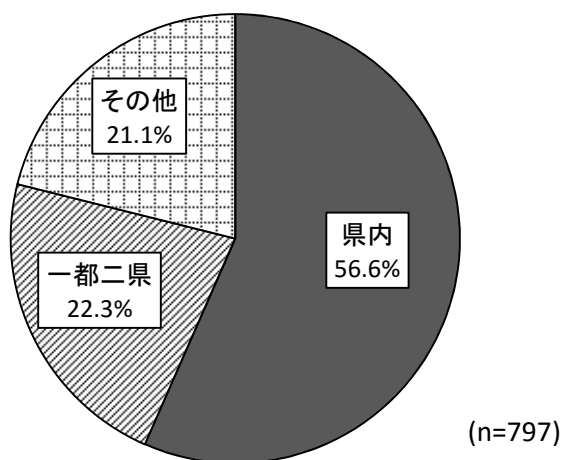
ブロック	該当市町村
千葉	千葉市（9月調査では、千葉市よりアンケートの提出がなかったため、当報告書では千葉ブロックの表示はない）
葛南	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝	銚子市、旭市、匝瑳市
山武	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津	市原市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

(イ) 転出先

問2 転出先はどちらですか。(県内へは市町村名、県外へは都道府県名を記入してください)

転出先は、県内が56.6%、一都二県が22.3%、その他の道府県が21.1%だった。県外の内訳を都道府県別にみると、東京都(111件)、茨城県(38件)、神奈川県(37件)、埼玉県(30件)など、近隣都県が上位を占めた。県内では、千葉市(75件)が最も多く、茂原市(27件)、木更津市(26件)、船橋市(26件)が続いた。

図表 155 転出先



図表 156 転出先の上位

順位	都道府県 (海外を含む)	件数
1	東京都	111
2	茨城県	38
3	神奈川県	37
4	埼玉県	30
5	海外	17
6	北海道	11
7	大阪府	9
8	愛知県	8
9	宮城県	6
9	栃木県	6
9	兵庫県	6

順位	県内市町村	件数
1	千葉市	75
2	茂原市	27
3	木更津市	26
3	船橋市	26
5	成田市	23
6	柏市	22
7	市川市	16
8	松戸市	14
8	市原市	14
10	富里市	11
10	東金市	11
10	佐倉市	11

(ウ) 転出理由

問3 転出理由は何ですか。①から⑥のいずれか一つに○をつけて下さい。

転出理由は、「仕事の都合（就職、転勤等）」（41.3%）が最も多く、以下、「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（31.1%）、「住宅の都合（購入等による住替え等）」（14.7%）、「退職を契機とした転居」（5.0%）が続いた。

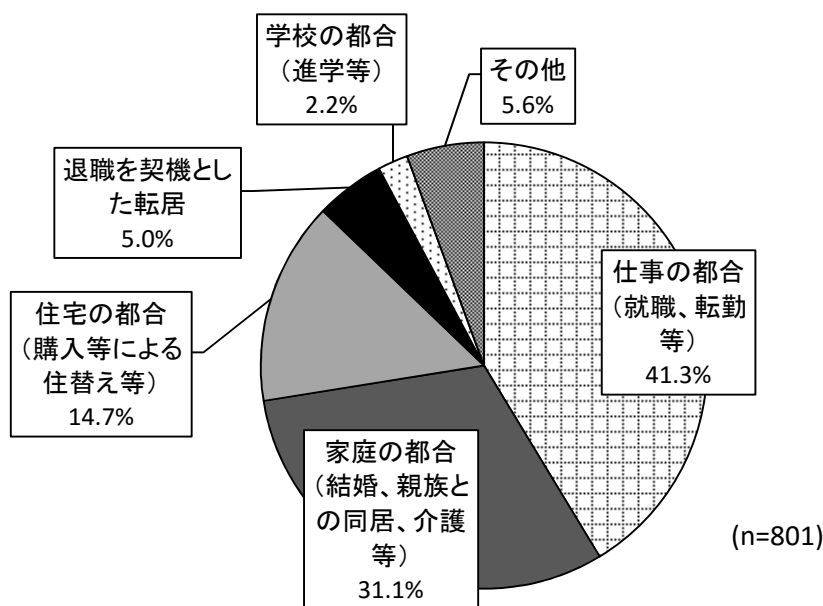
年齢層別にみると、「10代」の「学校の都合（進学等）」（26.3%）、「40代」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（48.6%）、「50代」と「70代以上」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（50代：39.8%、70代以上：51.2%）、「60代」の「退職を契機とした転居」（11.3%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「単身」の「仕事の都合（就職、転勤等）」（48.7%）、「夫婦」と「三世帯」の「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（夫婦：41.0%、三世帯：65.0%）、「親子」の「住宅の都合（購入等による住替え等）」（27.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先別にみると、「県内」では「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（39.6%）、「一都二県」と「その他の地域」では「仕事の都合（就職、転勤等）」（一都二県：62.6%、その他の地域：54.2%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「香取」と「夷隅」における「住宅の都合（購入等による住替え等）」（香取：20.0%、夷隅：22.6%）、「海匝」と「山武」における「家庭の都合（結婚、親族との同居、介護等）」（海匝：46.7%、山武：44.3%）、「安房」と「君津」における「仕事の都合（就職、転勤等）」（安房：51.6%、君津：46.8%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 157 転出理由



図表 158 転出理由（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	仕事の都合（就職、転勤等）	家族の都合（結婚、親との同居、介護等）	住宅の都合（購入等による住替え等）	退職を契機とした転居	学校の都合（進学等）	その他
全体		801	41.3	31.1	14.7	5.0	2.2	5.6
年齢層	10代	19	52.6	10.5	0.0	10.5	26.3	0.0
	20代	266	46.2	26.3	12.4	6.8	3.0	5.3
	30代	203	41.9	33.5	13.8	3.9	1.5	5.4
	40代	109	48.6	25.7	17.4	0.9	0.9	6.4
	50代	83	38.6	39.8	13.3	2.4	0.0	6.0
	60代	62	32.3	30.6	17.7	11.3	1.6	6.5
	70代以上	41	12.2	51.2	24.4	2.4	0.0	9.8
世帯	単身	435	48.7	28.0	8.5	6.9	2.5	5.3
	夫婦	78	28.2	41.0	24.4	5.1	0.0	1.3
	親子	159	35.2	29.6	27.0	0.0	3.8	4.4
	三世帯	20	25.0	65.0	5.0	0.0	0.0	5.0
	その他	9	44.4	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2
転出先	県内	442	28.3	39.6	21.5	2.0	2.0	6.6
	一都二県	174	62.6	19.5	7.5	4.0	2.9	3.4
	その他の地域	166	54.2	21.1	3.0	14.5	2.4	4.8
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	36	41.7	33.3	13.9	8.3	2.8	0.0
	東葛飾	127	41.7	26.8	15.7	7.1	0.8	7.9
	印旛	203	43.8	31.5	16.3	3.4	0.5	4.4
	香取	20	30.0	35.0	20.0	10.0	0.0	5.0
	海匝	45	31.1	46.7	8.9	6.7	0.0	6.7
	山武	79	31.6	44.3	11.4	1.3	5.1	6.3
	長生	118	42.4	32.2	11.9	4.2	5.1	4.2
	夷隅	31	35.5	22.6	22.6	6.5	6.5	6.5
	安房	31	51.6	9.7	19.4	9.7	3.2	6.5
	君津	111	46.8	25.2	14.4	4.5	1.8	7.2

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(工) 転出前自治体の良かった点・悪かった点

問4 ○○市(町村)の良かった点と悪かった点について、3つまで○をつけて下さい。

良かった点は、「自然環境が豊か」(52.8%)が最も多く、以下、「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(39.9%)、「治安がいい」(38.0%)、「家族(本人)の通勤・通学に便利」(34.6%)、「住宅価格・家賃が手ごろ」(29.2%)、「交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)」(23.3%)が続いた。

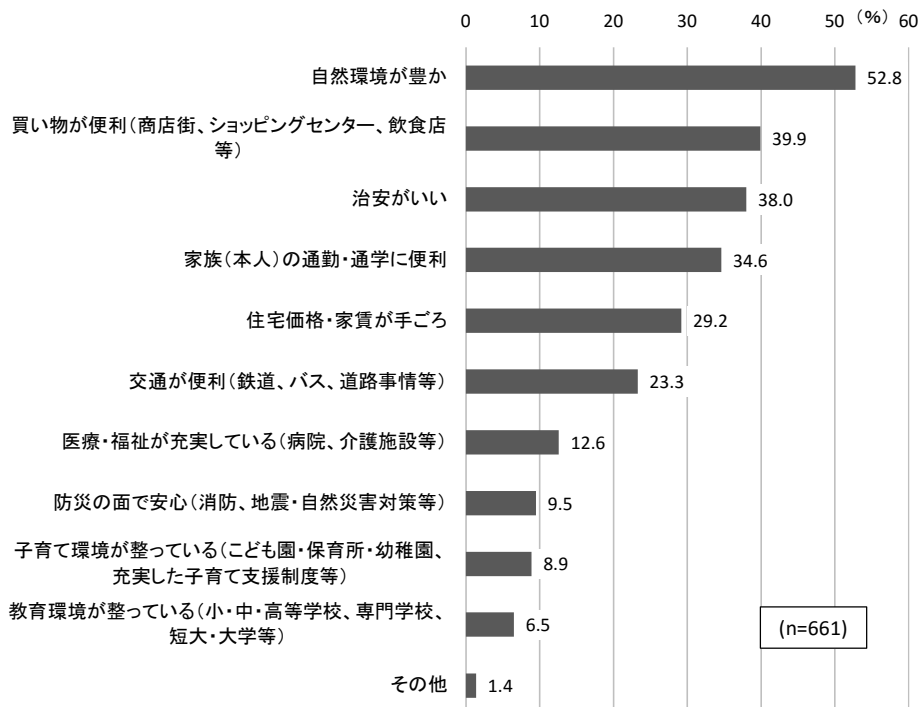
年齢層別にみると、「10代」と「70代以上」の「治安がいい」(10代:58.8%、70代以上:51.9%)、「20代」の「家族(本人)の通勤・通学に便利」(42.1%)、「30代」の「住宅価格・家賃が手ごろ」(35.1%)、「50代」・「60代」・「70代以上」の「自然環境が豊か」(50代:76.1%、60代:66.7%、70代以上:66.7%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「親子」の「家族(本人)の通勤・通学に便利」(42.1%)、「三世代」の「治安がいい」(58.8%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「一都二県」では「住宅価格・家賃が手ごろ」(38.3%)、「その他の地域」では「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(51.5%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」における「買い物が便利(商店街、ショッピングモール、飲食店等)」(66.7%)、「東葛飾」と「君津」における「交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)」(東葛飾:43.1%、君津:38.8%)、「香取」における「治安がいい」(73.7%)、「海匝」における「子育て環境が整っている(こども園・保育園・幼稚園、充実した子育て支援制度等)」(18.2%)、「山武」・「長生」・「夷隅」における「自然環境が豊か」(山武:62.9%、長生:64.4%、夷隅:79.2%)、「安房」における「医療・福祉が充実している(病院、介護施設等)」(48.0%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 159 転出前自治体の良かった点



図表 160 転出前自治体の良かった点（属性別）

(単位:%)

	合計 (n)	自然環境が豊か	買い物が便利(商店街、ショッピングセンター、飲食店等)	治安がいい	家族(本人)の通勤・通学に便利	住宅価格・家賃が手ごろ	交通が便利(鉄道、バス、道路事情等)	医療・福祉が充実している(病院、介護施設等)	防災の面で安心(消防、地震・自然災害対策等)	子育て環境が整っている(こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等)	教育環境が整っている(小・中・高等学校、専門学校、短大・大学)	その他	
全体	661	52.8	39.9	38.0	34.6	29.2	23.3	12.6	9.5	8.9	6.5	1.4	
年齢層	10代	17	47.1	41.2	58.8	29.4	17.6	23.5	0.0	11.8	11.8	11.8	0.0
	20代	233	44.2	42.5	33.0	42.1	28.3	28.8	10.3	6.4	9.4	7.3	1.3
	30代	174	48.9	45.4	38.5	31.6	35.1	20.1	16.7	9.8	9.2	4.6	1.1
	40代	90	54.4	41.1	38.9	41.1	26.7	25.6	12.2	11.1	12.2	10.0	1.1
	50代	67	76.1	28.4	47.8	19.4	25.4	19.4	13.4	10.4	7.5	6.0	1.5
	60代	39	66.7	28.2	33.3	30.8	33.3	20.5	15.4	10.3	2.6	5.1	0.0
	70代以上	27	66.7	18.5	51.9	18.5	29.6	3.7	11.1	22.2	3.7	0.0	0.0
世帯	単身	357	50.7	40.1	36.1	33.9	30.3	24.6	12.0	10.1	7.0	6.2	1.7
	夫婦	67	55.2	43.3	40.3	34.3	31.3	20.9	11.9	9.0	6.0	3.0	0.0
	親子	133	50.4	45.1	36.8	42.1	29.3	24.8	14.3	8.3	15.8	7.5	1.5
	三世帯	17	64.7	41.2	58.8	17.6	17.6	23.5	11.8	17.6	11.8	0.0	0.0
	その他	8	37.5	50.0	12.5	37.5	37.5	75.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
転出先	県内	363	50.4	38.3	39.4	38.0	24.5	20.7	11.6	9.9	10.2	7.2	1.4
	一都二県	149	57.7	33.6	43.0	25.5	38.3	22.1	13.4	10.1	8.7	8.1	1.3
	その他の地域	136	53.7	51.5	30.1	36.0	30.1	31.6	14.7	7.4	6.6	3.7	1.5
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	24	33.3	66.7	20.8	50.0	33.3	37.5	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0
	東葛飾	102	34.3	55.9	30.4	38.2	25.5	43.1	15.7	5.9	7.8	10.8	2.0
	印旛	173	54.9	46.2	35.3	30.6	26.0	19.1	11.6	9.8	11.6	6.9	0.6
	香取	19	78.9	5.3	73.7	31.6	42.1	0.0	5.3	10.5	10.5	5.3	0.0
	海匝	33	54.5	30.3	39.4	36.4	30.3	15.2	15.2	18.2	18.2	12.1	6.1
	山武	62	62.9	25.8	41.9	24.2	30.6	16.1	6.5	12.9	9.7	4.8	3.2
	長生	101	64.4	27.7	38.6	35.6	32.7	10.9	6.9	9.9	5.0	1.0	0.0
	夷隅	24	79.2	20.8	50.0	12.5	41.7	4.2	8.3	4.2	4.2	4.2	0.0
	安房	25	72.0	16.0	64.0	28.0	24.0	12.0	48.0	8.0	12.0	4.0	4.0
	君津	98	37.8	48.0	34.7	46.9	28.6	38.8	14.3	11.2	6.1	5.1	1.0

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

悪かった点は、「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（67.0％）が最も多く、以下、「買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（36.6％）、「家族（本人）の通勤・通学に便利」（31.4％）、「治安がいい」（14.3％）、「医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）」（13.3％）が続いた。

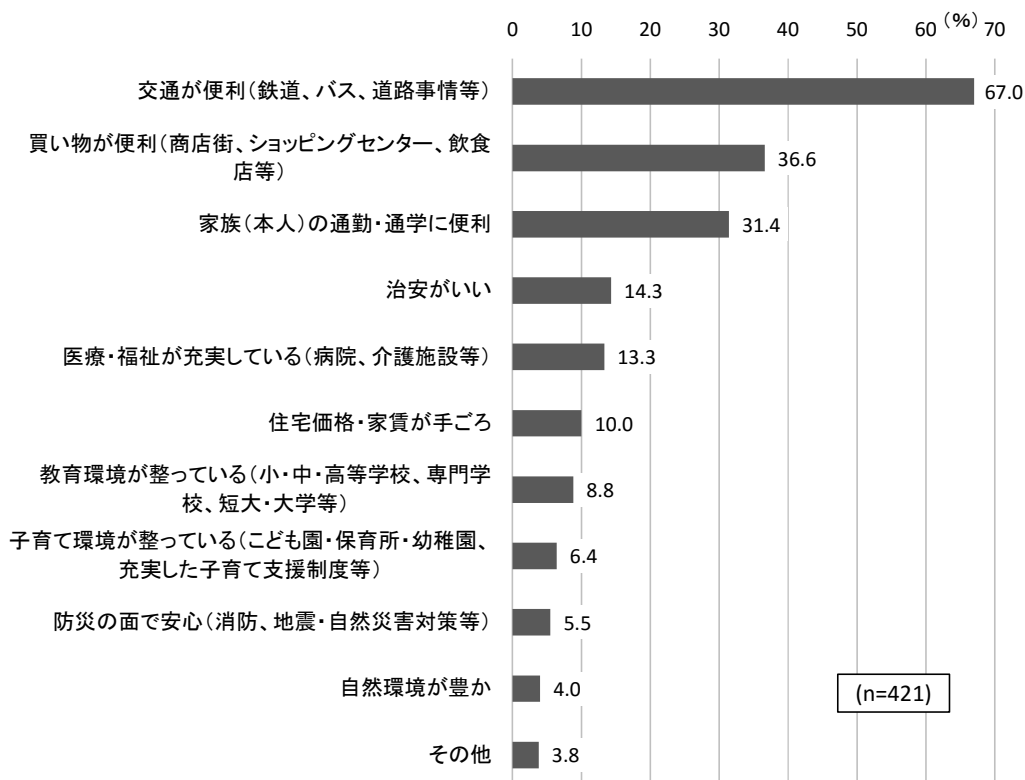
年齢層別にみると、「10代」と「70代以上」の「買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（10代：50.0％、70代以上：58.8％）、「40代」の「住宅価格・家賃が手ごろ」（16.1％）、「50代」と「60代」の「家族（本人）の通勤・通学に便利」（50代：40.0％、60代：37.9％）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「夫婦」の「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（76.9％）、「親子」の「子育て環境が整っている（こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等）」（11.6％）、「三世帯」の「家族（本人）の通勤・通学に便利」（64.3％）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「一都二県」では「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（78.2％）、「その他の地域」では「治安がいい」（21.7％）、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」における「子育て環境が整っている（こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等）」（25.0％）、「東葛飾」と「君津」における「治安がいい」（東葛飾：28.8％、君津：29.2％）、「印旛」における「家族（本人）の通勤・通学に便利」（38.9％）、「香取」・「山武」・「夷隅」・「安房」における「買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）」（香取：71.4％、山武：52.9％、夷隅：55.0％、安房：60.0％）、「海匝」における「医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）」（25.0％）、「長生」における「交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）」（75.0％）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 161 ○○市（町村）の悪かった点



図表 162 転出前自治体の悪かった点（属性別）

（単位：％）

		合計（n）	交通が便利（鉄道、バス、道路事情等）	買い物が便利（商店街、ショッピングセンター、飲食店等）	家族（本人）の通勤・通学に便利	治安がいい	医療・福祉が充実している（病院、介護施設等）	住宅価格・家賃が手ごろ	教育環境が整っている（小・中・高等学校、専門学校、短大・大学等）	子育て環境が整っている（こども園・保育所・幼稚園、充実した子育て支援制度等）	防災の面で安心（消防、地震・自然災害対策等）	自然環境が豊か	その他
全体		421	67.0	36.6	31.4	14.3	13.3	10.0	8.8	6.4	5.5	4.0	3.8
年齢層	10代	12	75.0	50.0	25.0	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
	20代	130	63.8	32.3	31.5	15.4	11.5	11.5	10.8	9.2	2.3	4.6	4.6
	30代	111	71.2	36.0	34.2	16.2	9.0	9.0	5.4	4.5	8.1	2.7	3.6
	40代	62	66.1	35.5	19.4	14.5	16.1	16.1	3.2	4.8	6.5	3.2	6.5
	50代	50	64.0	34.0	40.0	8.0	18.0	6.0	14.0	6.0	6.0	2.0	2.0
	60代	29	69.0	37.9	37.9	20.7	17.2	10.3	6.9	6.9	6.9	3.4	3.4
	70代以上	17	64.7	58.8	29.4	0.0	11.8	0.0	11.8	11.8	0.0	5.9	0.0
世帯	単身	226	69.9	39.4	29.6	14.2	13.3	8.8	7.1	4.0	6.6	4.0	4.0
	夫婦	39	76.9	43.6	30.8	15.4	23.1	2.6	7.7	7.7	0.0	5.1	2.6
	親子	86	59.3	24.4	32.6	15.1	12.8	15.1	8.1	11.6	7.0	3.5	3.5
	三世帯	14	57.1	28.6	64.3	14.3	21.4	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0
	その他	4	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
転出先	県内	227	62.6	35.7	30.8	13.2	11.5	13.2	7.9	6.2	5.7	4.0	2.2
	一都二県	101	78.2	41.6	40.6	11.9	15.8	3.0	8.9	6.9	1.0	3.0	6.9
	その他の地域	83	65.1	31.3	22.9	21.7	13.3	9.6	12.0	6.0	10.8	6.0	3.6
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	12	58.3	25.0	16.7	8.3	0.0	16.7	16.7	25.0	0.0	16.7	8.3
	東葛飾	52	44.2	21.2	28.8	28.8	11.5	21.2	1.9	9.6	5.8	5.8	0.0
	印旛	113	73.5	29.2	38.9	15.9	15.0	9.7	8.0	3.5	6.2	2.7	2.7
	香取	14	85.7	71.4	28.6	0.0	35.7	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	海匝	24	66.7	37.5	25.0	8.3	25.0	8.3	12.5	8.3	0.0	4.2	8.3
	山武	34	76.5	52.9	47.1	2.9	11.8	2.9	5.9	8.8	8.8	0.0	2.9
	長生	84	75.0	39.3	29.8	9.5	15.5	4.8	11.9	7.1	8.3	3.6	4.8
	夷隅	20	60.0	55.0	40.0	0.0	10.0	5.0	20.0	0.0	5.0	5.0	0.0
	安房	20	70.0	60.0	15.0	5.0	5.0	15.0	10.0	10.0	0.0	0.0	5.0
	君津	48	54.2	29.2	18.8	29.2	4.2	14.6	6.3	4.2	4.2	8.3	8.3

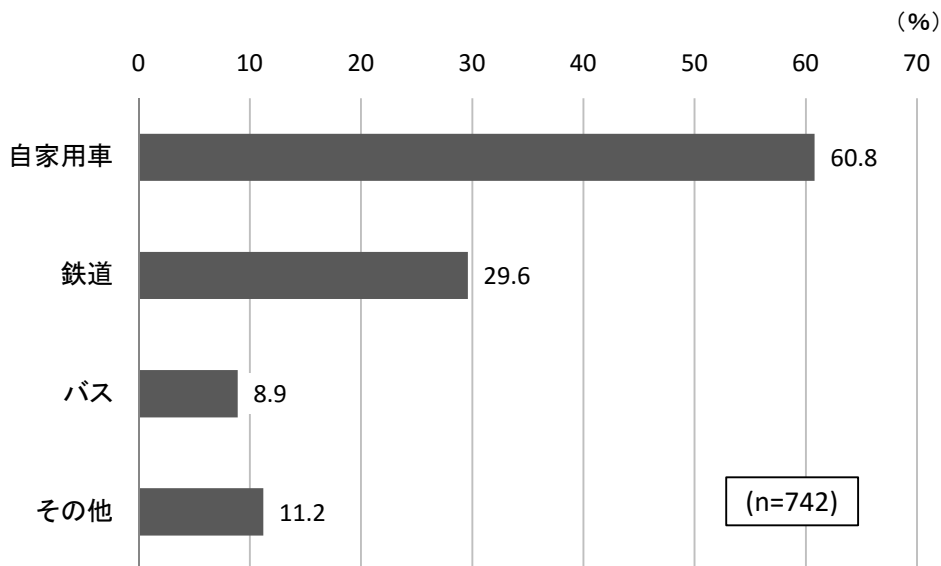
（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(才) 転出前の通勤手段と所要時間

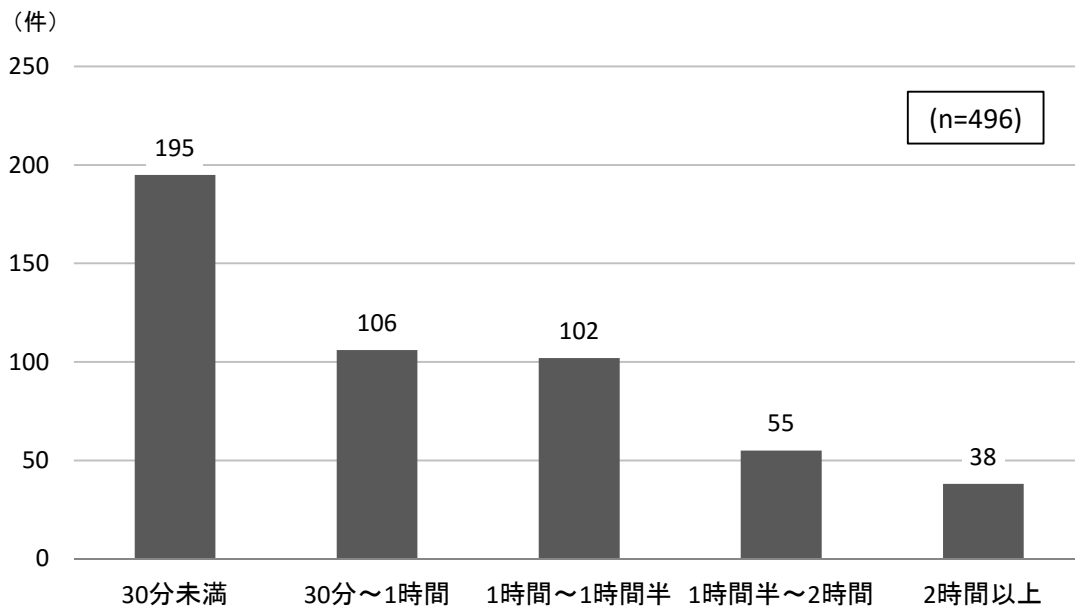
問5 転出前の通勤手段と所要時間について教えてください。(複数回答可)

転出前の通勤手段は「自家用車」(60.8%)が最も多く、次いで「鉄道」(29.6%)となった。所要時間は30分未満が195件と最も多く、次いで30分～1時間未満(106件)、1時間～1時間半未満(102件)と続いた。

図表 163 通勤手段



図表 164 所要時間



(カ) 転出の際に参考にした情報源

問6 転出の際に参考にした情報源は何ですか。(複数回答可)

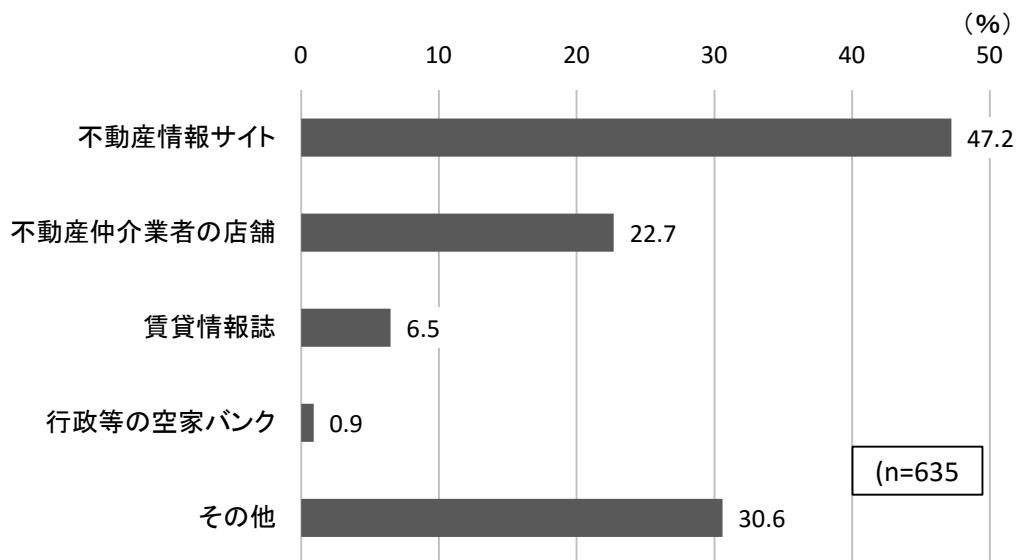
転出の際に参考にした情報源は、住居については、「不動産情報サイト」(47.2%)、「不動産仲介業者の店舗」(22.7%)の順に多かった(「その他」を除く)。「その他」では、「実家(があるため)」、「会社の指定・社宅」などの回答が多くみられた。

年齢層別にみると、「10代」の「賃貸情報誌」(14.3%)、「30代」の「不動産情報サイト」(52.7%)が全体の水準を大きく上回っている。

世帯別にみると、「夫婦」と「三世代」の「不動産仲介業者の店舗」(夫婦：32.3%、三世代：37.5%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」と「長生」における「不動産仲介業者の店舗」(葛南：34.6%、長生：37.4%)、「印旛」・「山武」・「安房」における「不動産情報サイト」(印旛：53.6%、山武：57.4%、安房：59.1%)、「香取」における「賃貸情報誌」(11.8%)、などが全体の水準を上回っている。

図表 165 情報源 (住居について)



図表 166 情報源（住居について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	不動産 情報サ イト	不動 産仲 介業 者の 店舗	賃 貸 情 報 誌	行 政 等 の 空 家 バ ン ク	そ の 他
全体		635	47.2	22.7	6.5	0.9	30.6
年 齢 層	10代	14	28.6	14.3	14.3	0.0	42.9
	20代	211	49.3	24.2	6.2	0.5	28.9
	30代	169	52.7	23.7	7.1	0.6	22.5
	40代	84	48.8	20.2	4.8	0.0	34.5
	50代	66	51.5	21.2	4.5	3.0	30.3
	60代	46	30.4	26.1	6.5	2.2	37.0
	70代以上	30	30.0	16.7	3.3	3.3	56.7
世 帯	単身	349	49.3	19.8	5.7	0.6	30.7
	夫婦	65	40.0	32.3	6.2	1.5	30.8
	親子	124	46.0	25.8	8.1	1.6	28.2
	三世帯	16	43.8	37.5	12.5	6.3	18.8
	その他	7	28.6	28.6	0.0	0.0	42.9
転 出 先	県内	359	51.0	24.8	7.0	1.7	25.3
	一都二県	149	49.7	20.1	5.4	0.0	31.5
	その他の地域	110	34.5	21.8	5.5	0.0	42.7
居 住 地 区	千葉	-	-	-	-	-	-
	葛南	26	53.8	34.6	3.8	0.0	19.2
	東葛飾	100	49.0	20.0	5.0	0.0	29.0
	印旛	168	53.6	23.8	10.1	1.8	23.8
	香取	17	47.1	23.5	11.8	0.0	23.5
	海匝	37	32.4	16.2	2.7	0.0	51.4
	山武	61	57.4	13.1	4.9	0.0	29.5
	長生	91	31.9	37.4	5.5	1.1	31.9
	夷隅	25	48.0	20.0	8.0	4.0	24.0
	安房	22	59.1	9.1	0.0	0.0	45.5
	君津	88	43.2	18.2	5.7	1.1	38.6

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

地域情報については、「知人の話」(41.0%)、「自治体ホームページ」(35.9%)の順に多かった。「その他」では、「以前住んでいて知っていた」などの回答が多くみられた。

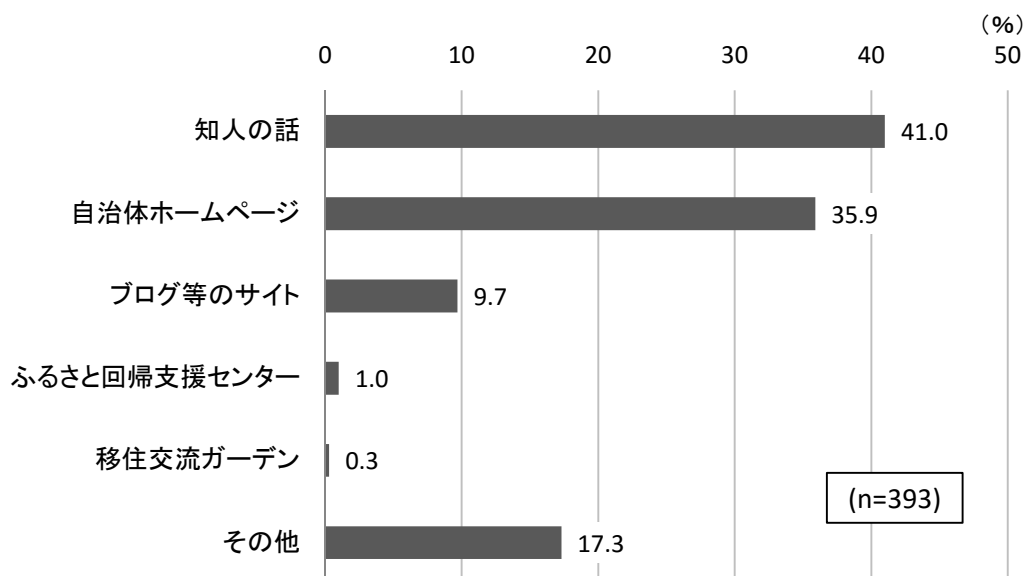
年齢層別にみると、「10代」・「40代」・「70代以上」の「知人の話」(10代：50.0%、40代：49.1%、70代以上：47.4%)、「30代」の「ブログ等のサイト」(17.3%)、「50代」の「自治体ホームページ」(44.2%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯別では、「親子」の「知人の話」(47.7%)、「三世帯」の「自治体ホームページ」(61.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

転出先をみると、「その他の地域」では「自治体ホームページ」(46.9%)が全体の水準を大きく上回っている。

転出前の居住地区別にみると、「葛南」における「ブログ等のサイト」(25.0%)、「東葛飾」・「山武」・「安房」における「自治体ホームページ」(東葛飾：42.6%、山武：45.9%、安房：46.7%)、「印旛」・「香取」・「夷隅」・「君津」における「知人の話」(印旛：46.9%、香取：68.8%、夷隅：52.9%、君津：47.3%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 167 情報源（地域情報について）



図表 168 情報源（地域情報について・属性別）

（単位：％）

		合計 (n)	知人の話	自治体ホームページ	ブログ等のサイト	ふるさと回帰支援センター	移住交流ガイド	その他
全体		393	41.0	35.9	9.7	1.0	0.3	17.3
年齢層	10代	12	50.0	33.3	0.0	8.3	0.0	8.3
	20代	119	37.0	39.5	6.7	0.0	0.0	19.3
	30代	104	38.5	39.4	17.3	0.0	0.0	11.5
	40代	53	49.1	30.2	5.7	3.8	0.0	18.9
	50代	43	39.5	44.2	14.0	0.0	0.0	11.6
	60代	36	44.4	27.8	2.8	0.0	2.8	25.0
	70代以上	19	47.4	15.8	5.3	5.3	0.0	31.6
世帯	単身	210	38.1	35.7	9.5	1.4	0.0	19.5
	夫婦	42	40.5	38.1	14.3	0.0	0.0	14.3
	親子	86	47.7	34.9	7.0	0.0	0.0	15.1
	三世帯	13	38.5	61.5	7.7	0.0	0.0	0.0
	その他	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
転出先	県内	211	43.1	33.6	7.6	1.4	0.0	17.5
	一都二県	93	41.9	30.1	12.9	1.1	0.0	17.2
	その他の地域	81	37.0	46.9	11.1	0.0	1.2	16.0
居住地区	千葉	-	-	-	-	-	-	-
	葛南	12	33.3	33.3	25.0	8.3	0.0	16.7
	東葛飾	61	34.4	42.6	8.2	0.0	0.0	19.7
	印旛	98	46.9	38.8	7.1	0.0	0.0	16.3
	香取	16	68.8	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3
	海匝	19	42.1	36.8	10.5	0.0	0.0	10.5
	山武	37	32.4	45.9	5.4	0.0	0.0	18.9
	長生	63	36.5	38.1	11.1	1.6	0.0	19.0
	夷隅	17	52.9	17.6	17.6	5.9	5.9	5.9
	安房	15	6.7	46.7	20.0	0.0	0.0	26.7
	君津	55	47.3	23.6	9.1	0.0	0.0	20.0

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

2-3. 県外在住者への移住に関する意向調査

(1) 調査実施概要

県外在住者への移住に関するアンケート集計結果は次の通り。

①調査の目的

千葉県以外の46都道府県に対し、移住意向の有無、移住先で希望する生活、千葉県への関心・イメージ等をアンケート調査により明らかにする。これにより、県外からの移住者のニーズや千葉県に対する評価の実態を把握する。

②調査の対象・方法

千葉県を除く国内に住む18歳以上の男女3,000名（移住意向あり2,000名、移住意向なし1,000名）にWebアンケートにより実施した。

③調査内容

- ・ 移住意向
- ・ 移住したい理由
- ・ 移住先で希望する生活
- ・ 移住時期
- ・ 移住タイミング
- ・ 住居形態
- ・ 同居予定者
- ・ 移住先候補
- ・ 千葉県の印象
- ・ 移住（予定）先の自治体への期待
- ・ 回答者属性（年齢、性別、家族構成、居住地など）

④調査時期

平成28年11月25日（金）～11月29日（火）

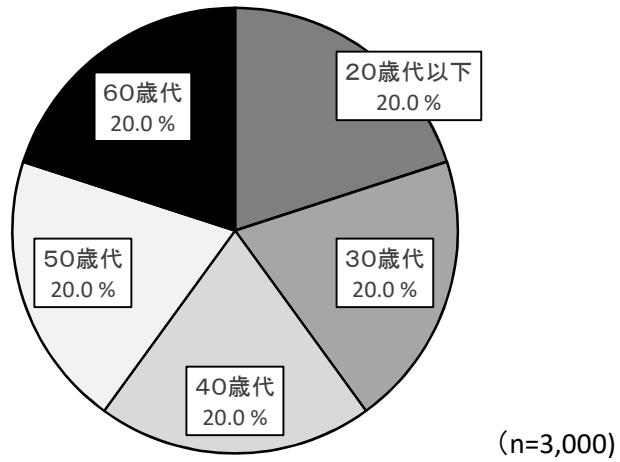
(2) アンケート調査結果

①属性

※性別、年齢は均等数になるように回収

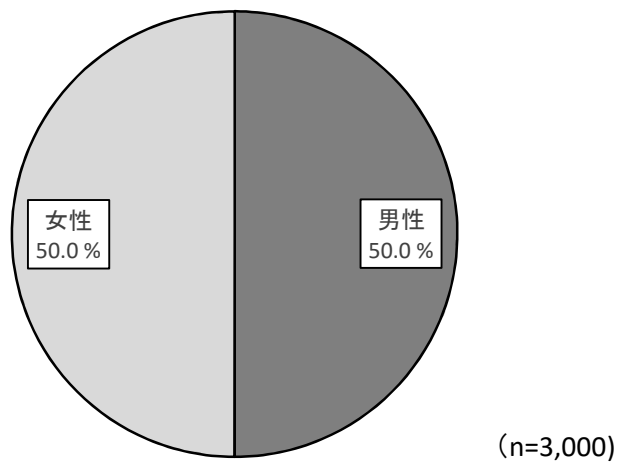
a. 年代

図表 169 年代



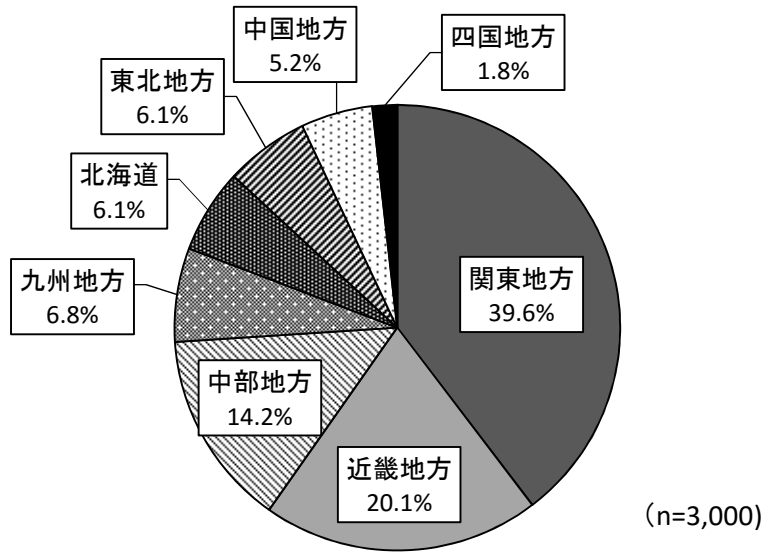
b. 性別

図表 170 性別



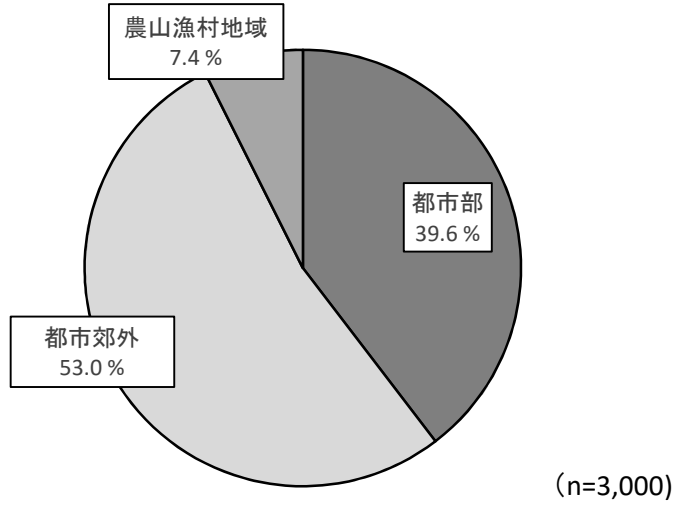
c. 居住地

図表 171 居住地



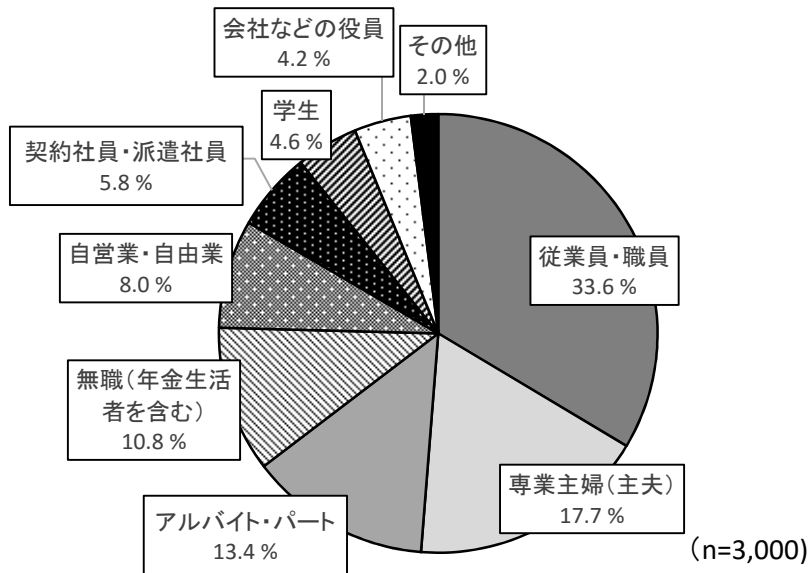
d. 住んでいる地域

図表 172 住んでいる地域



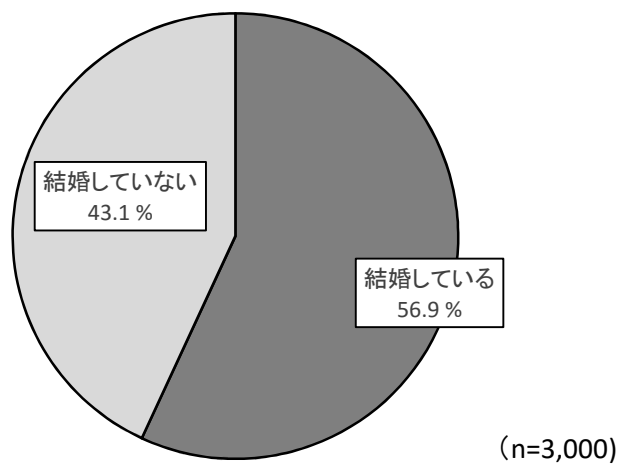
e. 就業・就学の状況

図表 173 就業・就学の状況



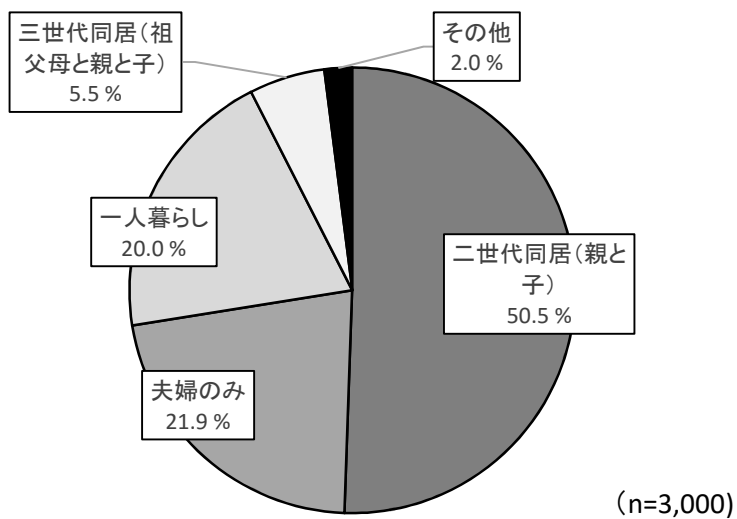
f. 婚姻の有無

図表 174 婚姻の有無



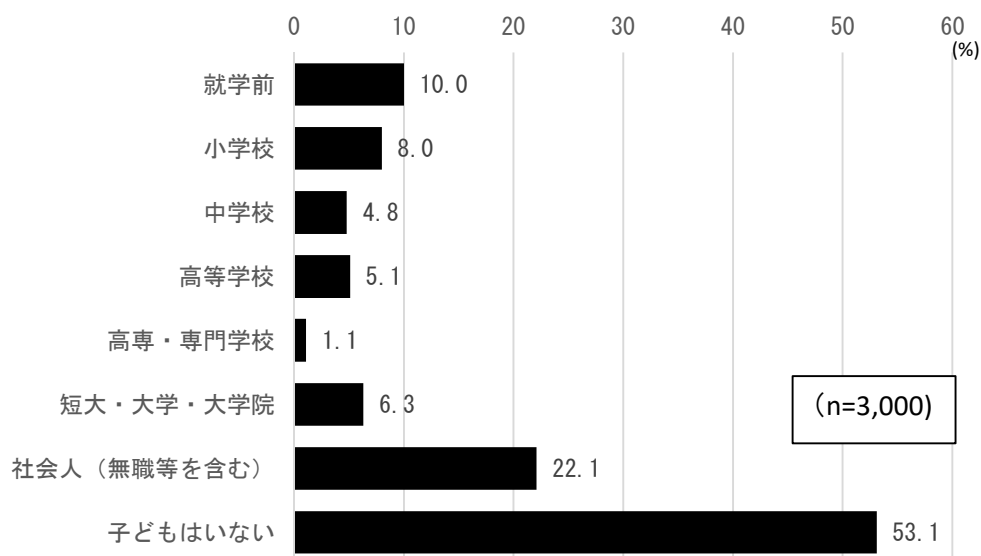
g. 同居する家族構成

図表 175 同居する家族構成



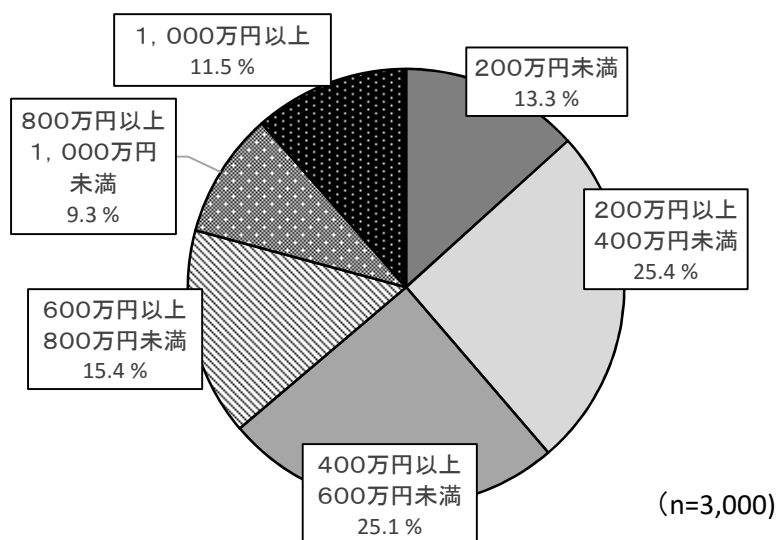
h. 同居する子ども

図表 176 同居する子ども



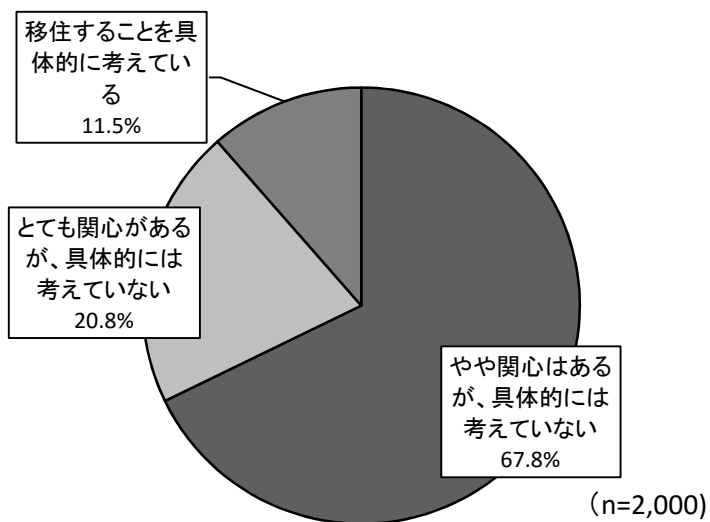
i. 世帯年収

図表 177 世帯年収



j. 移住意向（移住意向あり 2,000 名の内訳）

図表 178 移住意向



※以下の問 1～9 及び問 13 は、『移住意向がある』（「移住することを具体的に考えている」＋「とても関心があるが、具体的には考えていない」＋「やや関心はあるが、具体的には考えていない」の計）回答者（2,000 名）のみが回答している。

図表 179 移住意向（属性別）

（単位：％）

	合計 (n)	が、や、 や、関 心的 は あ る 考 え て い な い	は 考 え て い な い に あ る 考 え て い な い に あ る 考 え て い な い に あ る	移 住 す る こ と を 考 え て い な い に あ る	
全体	2,000	67.8	20.8	11.5	
年齢	20歳代以下	400	64.8	22.0	13.3
	30歳代	400	62.8	21.8	15.5
	40歳代	400	67.8	20.8	11.5
	50歳代	400	69.3	22.5	8.3
	60歳代	400	74.5	16.8	8.8
性別	男性	1,000	67.4	21.7	10.9
	女性	1,000	68.2	19.8	12.0
居住地域	北海道	116	68.1	19.8	12.1
	東北地方	118	60.2	26.3	13.6
	関東地方	807	68.4	19.7	11.9
	中部地方	276	65.9	22.1	12.0
	近畿地方	391	70.8	19.4	9.7
	中国地方	104	70.2	22.1	7.7
	四国地方	40	67.5	17.5	15.0
住環境	九州地方	148	64.2	23.6	12.2
	都市部	772	65.4	21.9	12.7
	都市郊外	1,064	70.9	19.6	9.5
就業・就学	農山漁村地域	164	59.1	22.6	18.3
	農林水産業従事者	12	58.3	8.3	33.3
	会社などの役員	86	50.0	27.9	22.1
	従業員・職員	672	67.7	20.8	11.5
	自営業・自由業	180	68.9	20.6	10.6
	アルバイト・パート	257	72.0	19.8	8.2
	契約社員・派遣社員	113	72.6	17.7	9.7
	学生	89	62.9	28.1	9.0
	専業主婦(主夫)	350	68.3	20.6	11.1
	無職・年金生活	211	71.6	17.1	11.4
その他	30	46.7	30.0	23.3	
婚姻	結婚している	1,150	68.4	21.7	9.9
	結婚していない	850	66.9	19.5	13.5
家族構成	一人暮らし	406	65.0	19.7	15.3
	夫婦のみ	464	68.5	21.6	9.9
	二世帯同居(親と子)	965	69.7	19.8	10.5
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	59.0	29.1	12.0
	その他	48	66.7	20.8	12.5
子どもの有無	子どもはいない	1,063	67.3	20.2	12.5
	就学前	209	60.8	23.4	15.8
	小学校	159	64.2	23.3	12.6
	中学校	93	67.7	21.5	10.8
	高等学校	102	71.6	20.6	7.8
	高専・専門学校	23	65.2	4.3	30.4
	短大・大学・大学院	130	73.1	19.2	7.7
	社会人・無職等	437	71.9	20.4	7.8
世帯年収	400万円未満	764	70.3	19.1	10.6
	400万円以上800万円未満	809	67.1	21.4	11.5
	800万円以上	427	64.6	22.5	12.9

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

②本設問

a. 移住する（移住に関心がある）理由

問1 移住する（移住に関心がある）理由は何ですか。あてはまる項目のうち上位3つまでお選びください。

移住する（移住に関心がある）理由をみると、「住環境（街並み・景観等）が良い場所に住みたいから」（32.8%）が最も多く、次いで「時間に追われない生活がしたいから」（26.4%）、「趣味を優先した生活がしたいから」（18.4%）となっている。

年齢層別にみると、「30歳代」の「マイホームを購入するなど、より良い住居にしたいから」（15.0%）、「40歳代」と「50歳代」の「時間に追われない生活がしたいから」（40歳代：35.8%、50歳代：33.0%）、「60歳代」の「趣味を優先した生活がしたいから」（28.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「東北地方」の「今よりも賑わいのある場所に住みたいから」（12.7%）、「中国地方」の「今よりも商業・レクリエーション施設が充実した場所に住みたいから」（13.5%）、「四国地方」の「親戚や知人・友人の近くに住みたいから」（20.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

住環境別にみると、「農山漁村地域」の「今よりも商業・レクリエーション施設が充実した場所に住みたいから」（16.5%）などが全体の水準を大きく上回っている。

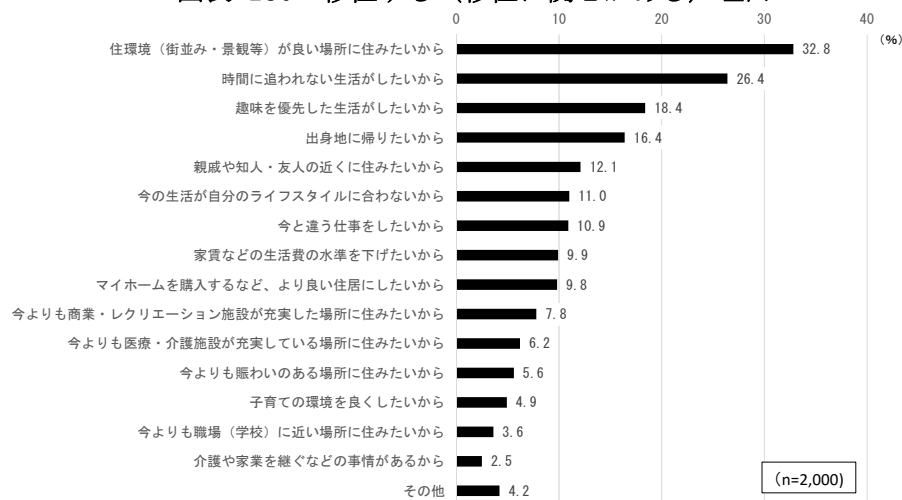
就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」の「今よりも医療・介護施設が充実している場所に住みたいから」（16.7%）、「会社などの役員」の「介護や家業を継ぐなどの事情があるから」（10.5%）、「従業員・職員」の「今と違う仕事をしたいから」（15.9%）、「自営業・自由業」の「趣味を優先した生活がしたいから」（23.9%）、「契約社員・派遣社員」の「家賃などの生活費の水準を下げたいから」（16.8%）、「学生」の「今よりも職場（学校）に近い場所に住みたいから」（16.9%）、「専業主婦（主夫）」の「親戚や知人・友人の近くに住みたいから」（19.4%）、「無職・年金生活」の「今よりも医療・介護施設が充実している場所に住みたいから」（12.8%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「三世同居（祖父母と親と子）」の「今と違う仕事をしたいから」（18.8%）が全体の水準を大きく上回っている。

子供の有無をみると、「就学前」と「小学校」の「子育ての環境を良くしたいから」（就学前：27.8%、小学校：15.1%）、「中学校」・「高等学校」・「短大・大学・大学院」の「時間に追われない生活がしたいから」（中学校：36.6%、高等学校：40.2%、短大・大学・大学院：38.5%）、「高専・専門学校」の「出身地に帰りたいから」（26.1%）、「社会人・無職等」の「趣味を優先した生活がしたいから」（26.5%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

移住意向別にみると、「移住することを具体的に考えている」の「今の生活が自分のライフスタイルに合わないから」（17.0%）が全体の水準を大きく上回っている。

図表 180 移住する（移住に関心がある）理由



図表 181 移住する（移住に関心がある）理由（属性別）

(単位:%)

	合計 (n)	住環境(街並み・景観等)が良いから	時間が通わない生活	趣味を優先した生活	出身地に帰りたいから	親戚や知人・友人の近くに住みたいから	今の生活が自分のライフスタイルに合わないから	今と違う仕事をしたいから	家賃などの生活費の水準を下げたいから	マイホームを購入するなど、より良い住居にしたいから	今よりも商業・レクリエーション施設が充実した場所に住みたいから	今よりも医療・介護施設が充実している場所に住みたいから	今よりも賑わいのある場所に住みたいから	子育ての環境を良くしたいから	近い場所に住みたいから	介護や家業を継ぐなどの事情があるから	その他	
全体	2,000	32.8	26.4	18.4	16.4	12.1	11.0	10.9	9.9	9.8	7.8	6.2	5.6	4.9	3.6	2.5	4.2	
年齢層	20歳代以下	400	28.3	17.0	14.5	16.8	13.8	12.3	12.0	10.3	12.0	9.3	3.0	9.5	8.3	8.5	2.0	4.0
	30歳代	400	30.8	19.3	10.0	20.8	16.5	11.8	16.5	8.0	15.0	8.3	4.3	5.5	8.0	4.5	3.3	3.0
	40歳代	400	33.0	35.8	17.5	16.5	9.3	12.3	13.8	11.3	10.5	5.5	4.3	3.0	6.5	3.0	1.3	3.8
	50歳代	400	34.3	33.0	21.8	12.5	8.0	9.5	8.3	11.8	6.8	8.0	7.8	6.5	1.0	1.3	3.8	6.0
	60歳代	400	37.5	26.8	28.0	15.5	12.8	9.3	4.0	8.3	4.8	7.8	11.5	3.5	0.5	0.5	2.3	4.3
	性別	男性	1,000	31.3	29.0	22.0	15.1	8.4	12.6	15.8	9.4	7.8	7.1	5.3	4.7	3.5	4.3	2.5
女性	1,000	34.2	23.7	14.7	17.7	15.7	9.4	6.0	10.4	11.8	8.4	7.0	6.5	6.2	2.8	2.5	5.1	
居住地域	北海道	116	28.4	23.3	16.4	22.4	15.5	10.3	12.9	6.9	5.2	9.5	9.5	7.8	2.6	2.6	2.6	6.9
	東北地方	118	29.7	16.9	15.3	16.9	12.7	11.9	15.3	6.8	7.6	10.2	4.2	12.7	0.8	4.2	2.5	3.4
	関東地方	807	33.3	29.0	19.6	16.9	11.0	9.5	11.2	13.3	11.2	5.1	5.0	3.1	4.7	3.8	2.4	4.5
	中部地方	276	33.3	23.6	18.5	14.5	12.0	14.9	11.6	8.3	10.5	10.1	6.9	8.0	5.4	4.0	2.9	4.0
	近畿地方	391	37.3	28.9	17.4	13.6	11.8	8.4	9.0	7.7	8.2	7.9	8.2	3.3	6.6	3.3	2.6	3.8
	中国地方	104	22.1	16.3	12.5	17.3	11.5	16.3	9.6	7.7	12.5	13.5	7.7	7.7	3.8	1.9	1.9	5.8
	四国地方	40	30.0	15.0	15.0	12.5	20.0	12.5	17.5	10.0	10.0	12.5	2.5	12.5	10.0	0.0	5.0	5.0
	九州地方	148	30.4	30.4	23.0	20.3	13.5	14.2	7.4	6.8	8.8	8.8	4.7	10.1	4.1	4.1	2.0	1.4
	住環境	都市部	772	32.4	29.8	16.5	18.9	12.8	8.5	11.5	10.5	11.8	3.8	3.0	2.5	5.7	3.0	3.1
都市郊外	1,064	34.0	24.7	19.0	15.2	11.6	12.3	10.3	9.9	9.1	9.3	7.6	7.0	4.5	3.3	2.1	4.6	
農山漁村地域	164	26.2	20.7	23.2	12.2	11.6	14.0	11.6	7.3	4.9	16.5	11.6	11.6	3.0	7.9	2.4	6.1	
就業・就学	農林水産業従事者	12	33.3	25.0	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	
	会社などの役員	86	34.9	19.8	14.0	17.4	14.0	14.0	11.6	5.8	10.5	7.0	5.8	2.3	1.2	3.5	10.5	2.3
	従業員・職員	672	32.1	29.6	17.0	18.0	11.6	10.9	15.9	9.1	11.8	5.5	2.5	3.3	6.3	4.3	1.6	2.8
	自営業・自由業	180	30.6	29.4	23.9	13.3	8.9	10.0	11.1	11.1	5.0	9.4	5.6	6.7	3.3	2.2	1.7	6.7
	アルバイト・パート	257	28.0	26.5	18.7	15.2	12.1	10.9	12.1	13.6	6.6	6.6	5.4	8.6	5.1	3.5	3.1	4.3
	契約社員・派遣社員	113	37.2	28.3	17.7	9.7	8.0	13.3	14.2	16.8	9.7	4.4	6.2	3.5	0.9	3.5	2.7	3.5
	学生	89	33.7	16.9	19.1	12.4	9.0	10.1	9.0	7.9	6.7	13.5	3.4	7.9	1.1	16.9	1.1	4.5
	専業主婦(主夫)	350	34.0	22.9	15.4	21.1	19.4	8.3	1.7	7.4	13.4	9.7	9.7	6.3	8.3	0.9	2.6	6.3
	無職・年金生活	211	37.4	23.7	23.7	13.3	6.2	14.2	6.6	10.9	6.2	11.8	12.8	8.1	0.5	1.9	2.4	3.3
	その他	30	26.7	33.3	23.3	13.3	13.3	13.3	16.7	6.7	13.3	0.0	13.3	13.3	10.0	0.0	0.0	10.0
婚姻	結婚している	1,150	32.9	27.3	19.0	18.0	13.7	8.6	7.5	8.8	11.5	6.5	7.5	4.5	7.3	1.7	2.9	4.2
	結婚していない	850	32.6	25.1	17.5	14.2	9.8	14.2	15.5	11.4	7.5	9.4	4.4	7.1	1.5	6.0	2.0	4.2
家族構成	一人暮らし	406	34.2	23.6	15.0	20.0	13.3	14.0	15.3	15.3	8.1	5.9	3.7	2.7	1.5	4.4	2.5	3.4
	夫婦のみ	464	36.0	25.2	21.6	20.0	13.6	8.4	5.2	9.1	10.8	8.0	8.4	5.8	3.7	0.9	2.4	5.6
	二世帯同居(親と子)	965	30.3	27.8	18.8	13.8	11.6	11.0	10.9	7.7	10.7	7.7	5.9	6.3	7.0	4.4	2.8	3.4
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	31.6	29.1	14.5	12.0	6.8	13.7	18.8	8.5	6.8	11.1	8.5	7.7	4.3	5.1	1.7	6.8
	その他	48	41.7	25.0	16.7	14.6	8.3	4.2	10.4	20.8	4.2	14.6	4.2	8.3	2.1	2.1	0.0	6.3
子どもの有無	子どもはいない	1,063	33.8	24.6	17.3	16.4	11.0	12.7	13.5	10.9	9.6	8.8	4.9	6.9	2.2	5.0	1.9	4.6
	就学前	209	20.1	17.7	9.1	23.9	21.1	9.1	8.1	6.2	21.1	4.8	3.3	3.3	27.8	3.8	2.9	1.9
	小学校	159	26.4	26.4	10.7	18.9	17.0	8.8	16.4	4.4	18.9	4.4	4.4	3.8	15.1	2.5	3.1	3.1
	中学校	93	47.3	36.6	19.4	16.1	15.1	6.5	9.7	6.5	8.6	6.5	1.1	2.2	5.4	2.2	2.2	2.2
	高等学校	102	36.3	40.2	20.6	14.7	9.8	8.8	10.8	14.7	7.8	6.9	4.9	2.9	0.0	2.9	2.0	2.9
	高専・専門学校	23	26.1	26.1	13.0	26.1	21.7	0.0	4.3	4.3	0.0	8.7	8.7	4.3	0.0	4.3	4.3	4.3
	短大・大学・大学院	130	27.7	38.5	18.5	11.5	9.2	8.5	11.5	13.8	6.9	5.4	8.5	4.6	0.8	1.5	5.4	4.6
	社会人・無職等	437	34.3	29.7	26.5	14.4	11.4	9.8	4.6	9.2	4.3	7.3	10.3	4.6	0.7	0.9	3.0	5.5
	世帯年収	400万円未満	764	31.8	23.6	15.4	15.7	12.6	14.1	13.1	13.1	6.8	9.6	6.9	6.0	3.9	3.3	2.4
400万円以上800万円未満	809	32.8	27.2	18.5	17.9	13.1	9.1	10.1	8.8	12.9	7.0	6.3	6.1	5.8	3.2	2.7	3.1	
800万円以上	427	34.4	29.7	23.2	14.8	9.1	8.9	8.4	6.3	9.4	5.9	4.4	4.0	4.7	4.7	2.3	5.2	
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	33.9	26.8	17.9	15.9	11.5	8.7	9.7	10.1	8.6	7.9	5.7	5.1	4.5	3.8	2.4	3.9
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	32.8	26.5	19.5	16.6	11.3	15.2	14.7	11.3	11.6	7.7	8.4	6.0	2.7	1.7	4.1	
	移住することを具体的に考えている	229	25.8	23.6	18.8	18.8	16.6	17.0	10.9	6.1	14.0	7.0	4.8	4.4	4.8	3.5	4.4	6.1

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

b. 移住先で就きたい仕事

問2 前問で5（今と違う仕事をしたいから）を選択した方に伺います。移住先で就きたい仕事はどのようなことですか。あてはまる項目のうち上位2つまでお選びください。

「今と違う仕事をしたいから」のうち、移住先で就きたい仕事は、「農林水産業」（29.4%）が最も多く、次いで「製造業」（19.7%）、「情報通信業」（16.5%）となっている。

年齢層別にみると、「20歳代以下」の「医療・福祉関係」（20.8%）、「30歳代」の「製造業」（28.8%）、「40歳代」と「50歳代」の「飲食サービス業」（40歳代：25.5%、50歳代：33.3%）、「60歳代」の「宿泊業」（25.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「北海道」の「医療・福祉関係」（20.0%）、「東北地方」の「宿泊業」（33.3%）、「中部地方」・「近畿地方」・「九州地方」の「卸売・小売業」（中部地方：18.8%、近畿地方：22.9%、九州地方：36.4%）、「中国地方」の「飲食サービス業」（30.0%）、「四国地方」の「農林水産業」（42.9%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

住環境別にみると、「農山漁村地域」の「卸売・小売業」（31.6%）などが全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「会社などの役員」と「自営業・自由業」の「宿泊業」（会社などの役員：30.0%、自営業・自由業：35.0%）、「従業員・職員」の「飲食・サービス業」（22.4%）、「アルバイト・パート」と「専業主婦（主夫）」の「農林水産業」（アルバイト・パート：45.2%、専業主婦（主夫）：50.0%）、「契約社員・派遣社員」・「学生」・「無職・年金生活」の「情報通信業」（契約社員・派遣社員：31.3%、学生：50.0%、無職・年金生活：35.7%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

婚姻状況別にみると、「結婚している」の「農林水産業」（36.0%）が全体の水準を大きく上回っている。

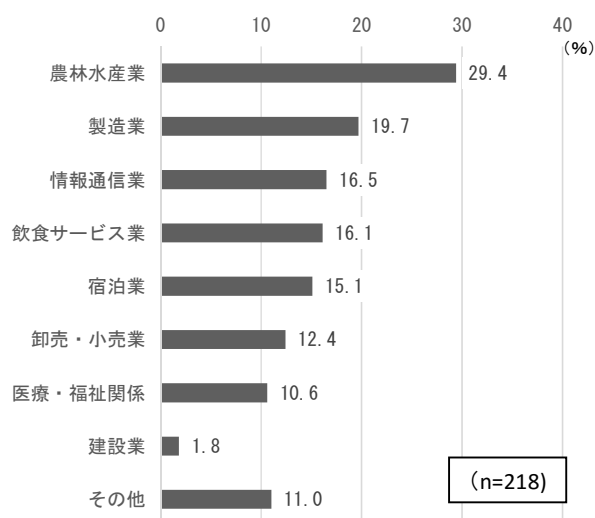
家族構成別にみると、「夫婦のみ」の「農林水産業」（37.5%）、「三世帯同居（祖父母と親と子）」の「医療・福祉関係」（27.3%）が全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「就学前」の「製造業」（29.4%）、「小学校」と「中学校」の「宿泊業」（小学校：23.1%、中学校：33.3%）、「高等学校」と「社会人・無職等」の「農林水産業」（高等学校：45.5%、社会人・無職等：35.0%）、「短大・大学・大学院」の「飲食・サービス業」（33.3%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯収入別にみると、「400万円以上 800万円未満」の「医療・福祉関係」（15.9%）、「800万円以上」の「情報通信業」（22.2%）が全体の水準を大きく上回っている。

移住意向別にみると、「やや関心はあるが、具体的には考えていない」の「製造業」（25.0%）、「とても関心があるが、具体的には考えていない」の「農林水産業」（36.1%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 182 移住先で就きたい仕事



図表 183 移住先で就きたい仕事（属性別）

(単位：%)

	合計 (n)	農林水産業	製造業	情報通信業	飲食サービス業	宿泊業	卸売・小売業	医療・福祉関係	建設業	その他	
全体	218	29.4	19.7	16.5	16.1	15.1	12.4	10.6	1.8	11.0	
年齢層	20歳代以下	48	16.7	18.8	20.8	8.3	12.5	14.6	20.8	0.0	16.7
	30歳代	66	28.8	28.8	18.2	7.6	15.2	12.1	10.6	3.0	7.6
	40歳代	55	30.9	21.8	18.2	25.5	20.0	9.1	5.5	1.8	10.9
	50歳代	33	36.4	6.1	9.1	33.3	6.1	18.2	6.1	0.0	9.1
	60歳代	16	50.0	6.3	6.3	6.3	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5
性別	男性	158	31.6	22.2	20.9	17.7	17.1	10.8	6.3	1.9	9.5
	女性	60	23.3	13.3	5.0	11.7	10.0	16.7	21.7	1.7	15.0
居住地域	北海道	15	26.7	13.3	13.3	6.7	13.3	6.7	20.0	0.0	20.0
	東北地方	18	33.3	33.3	11.1	5.6	33.3	11.1	5.6	0.0	0.0
	関東地方	90	33.3	14.4	17.8	16.7	16.7	5.6	7.8	3.3	13.3
	中部地方	32	21.9	18.8	21.9	18.8	12.5	18.8	3.1	0.0	15.6
	近畿地方	35	31.4	22.9	20.0	22.9	11.4	22.9	14.3	2.9	2.9
	中国地方	10	10.0	30.0	0.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0
	四国地方	7	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
	九州地方	11	18.2	36.4	9.1	9.1	0.0	36.4	27.3	0.0	18.2
住環境	都市部	89	31.5	19.1	18.0	13.5	15.7	10.1	11.2	1.1	7.9
	都市郊外	110	30.0	20.9	16.4	20.0	15.5	10.9	9.1	2.7	11.8
	農山漁村地域	19	15.8	15.8	10.5	5.3	10.5	31.6	15.8	0.0	21.1
就業・就学	農林水産業従事者	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	会社などの役員	10	40.0	20.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	従業員・職員	107	25.2	22.4	13.1	22.4	16.8	11.2	13.1	1.9	10.3
	自営業・自由業	20	30.0	5.0	10.0	25.0	35.0	15.0	5.0	5.0	0.0
	アルバイト・パート	31	45.2	22.6	12.9	12.9	3.2	22.6	9.7	3.2	3.2
	契約社員・派遣社員	16	12.5	25.0	31.3	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	25.0
	学生	8	12.5	0.0	50.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0	12.5
婚姻	専業主婦(主夫)	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	無職・年金生活	14	42.9	28.6	35.7	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4
	その他	5	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	その他	5	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
家族構成	結婚している	86	36.0	17.4	11.6	20.9	15.1	8.1	9.3	1.2	12.8
	結婚していない	132	25.0	21.2	19.7	12.9	15.2	15.2	11.4	2.3	9.8
	一人暮らし	62	33.9	14.5	19.4	14.5	14.5	11.3	6.5	3.2	11.3
	夫婦のみ	24	37.5	20.8	12.5	20.8	8.3	12.5	8.3	4.2	16.7
	二世帯同居(親と子)	105	28.6	21.9	19.0	15.2	16.2	12.4	9.5	1.0	10.5
子どもの有無	三世帯同居(祖父母と親と子)	22	13.6	22.7	4.5	18.2	13.6	9.1	27.3	0.0	9.1
	子どもはいない	143	28.0	21.0	19.6	13.3	14.0	14.7	10.5	2.1	10.5
	就学前	17	29.4	29.4	11.8	11.8	17.6	0.0	11.8	0.0	11.8
	小学校	26	23.1	26.9	7.7	23.1	23.1	0.0	15.4	0.0	7.7
	中学校	9	44.4	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	11.1	0.0	11.1
	高等学校	11	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0
	高専・専門学校	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
世帯年収	短大・大学・大学院	15	40.0	20.0	13.3	33.3	0.0	26.7	0.0	0.0	6.7
	社会人・無職等	20	35.0	0.0	10.0	20.0	20.0	15.0	5.0	5.0	15.0
	400万円未満	100	29.0	22.0	15.0	15.0	12.0	16.0	8.0	4.0	9.0
移住意向	400万円以上800万円未満	82	30.5	17.1	15.9	17.1	17.1	11.0	15.9	0.0	12.2
	800万円以上	36	27.8	19.4	22.2	16.7	19.4	5.6	5.6	0.0	13.9
	やや関心はあるが、具体的には考えていない	132	25.8	25.0	18.2	14.4	12.1	12.1	10.6	3.0	12.1
とても関心があるが、具体的には考えていない	61	36.1	13.1	13.1	21.3	19.7	16.4	9.8	0.0	6.6	
移住することを具体的に考えている	25	32.0	8.0	16.0	12.0	20.0	4.0	12.0	0.0	16.0	

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

c. 移住先でしたいこと

問3 移住先でしたいことは何ですか。あてはまる項目のうち上位3つまでお選びください。

移住先でしたいことをみると、「地域の自然を楽しみたい」(46.6%)が最も多く、次いで「何もせずのんびり過ごしたい」(37.7%)、「地元の美味しいものを食べたい」(31.1%)となっている。

年齢層別にみると、「60歳代」の「家庭菜園やガーデニングをしたい」(35.5%)などが全体の水準を大きく上回っている。

性別にみると、「男性」の「アウトドア・マリンスポーツを楽しみたい」(20.1%)が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「近畿地方」の「地域の自然を楽しみたい」(51.7%)、「中国地方」の「祭り等の地域行事や、自治会・町内会などの地域活動に参加したい」(15.4%)、「四国地方」の「家庭菜園やガーデニングをしたい」(32.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」の「家庭菜園やガーデニングをしたい」(33.3%)、「会社などの役員」の「祭り等の地域行事や、自治会・町内会などの地域活動に参加したい」(20.9%)、「自営業・自由業」の「芸術や創作の活動をしたい」(21.1%)、「契約社員・派遣社員」の「地元の美味しいものを食べたい」(39.8%)、「学生」の「その他の趣味活動を楽しみたい」(10.1%)、「無職・年金生活」の「何もせずのんびり過ごしたい」(49.3%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

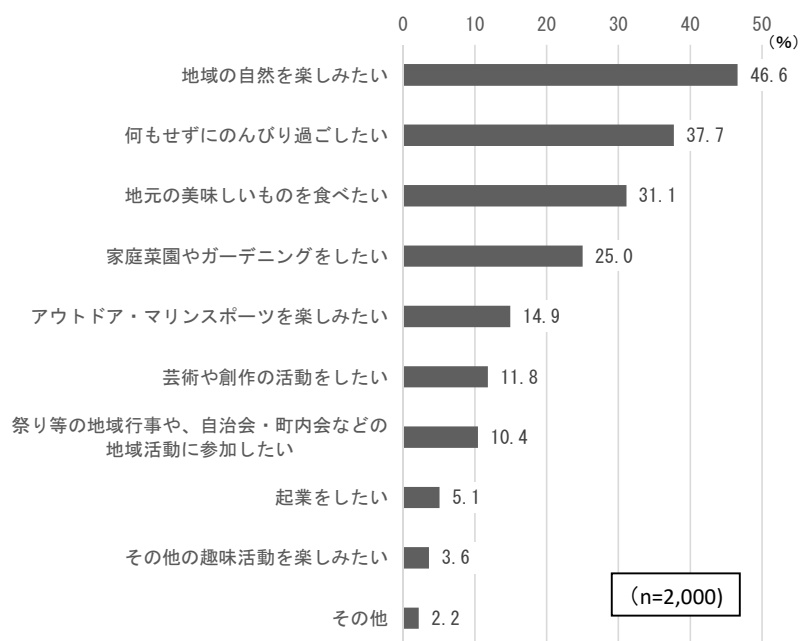
婚姻状況別にみると、「結婚している」の「家庭菜園やガーデニングをしたい」(30.2%)が全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「三世帯同居(祖父母と親と子)」の「アウトドア・マリンスポーツを楽しみたい」(20.5%)などが全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「就学前」と「小学校」の「祭り等の地域行事や、自治会・町内会などの地域活動に参加したい」(就学前：23.0%、小学校：20.1%)、「中学校」・「高等学校」・「短大・大学・大学院」の「地域の自然を楽しみたい」(中学校：60.2%、高等学校：56.9%、短大・大学・大学院：54.6%)、「高専・専門学校」と「社会人・無職等」の「家庭菜園やガーデニングをしたい」(高専・専門学校：34.8%、社会人・無職等：36.2%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯年収別にみると、「800万円以上」の「家庭菜園やガーデニングをしたい」(30.4%)が全体の水準を大きく上回っている。

図表 184 移住先でしたいこと



図表 185 移住先でしたいこと（属性別）

（単位：％）

	合計（n）	地域の自然を楽しみたい	何もせずのんびり過ごしたい	地元のおいしいものを食べたい	家庭菜園やガーデニングをしたい	アウトドア・マリンスポーツを楽しみたい	芸術や創作の活動をした	祭り等の地域行事や、自治会・町内会などの地域活動に参加したい	起業をしたい	その他の趣味活動を楽しみたい	その他	
全体	2,000	46.6	37.7	31.1	25.0	14.9	11.8	10.4	5.1	3.6	2.2	
年齢層	20歳代以下	400	36.3	41.5	31.3	17.5	12.5	10.8	13.5	4.5	4.8	1.5
	30歳代	400	42.5	33.0	32.0	22.5	16.8	12.5	13.8	4.0	2.0	1.5
	40歳代	400	51.5	41.5	29.3	22.5	13.5	11.3	7.8	7.8	2.3	3.3
	50歳代	400	47.8	39.3	34.0	27.0	16.0	11.5	7.5	6.0	3.8	3.0
	60歳代	400	54.8	33.0	29.0	35.5	15.5	12.8	9.3	3.3	5.3	1.8
性別	男性	1,000	47.9	38.0	29.6	21.9	20.1	10.2	12.3	7.3	3.6	1.1
	女性	1,000	45.2	37.3	32.6	28.1	9.6	13.3	8.4	2.9	3.6	3.3
居住地	北海道	116	41.4	39.7	34.5	18.1	10.3	10.3	14.7	1.7	3.4	4.3
	東北地方	118	44.1	28.8	26.3	19.5	16.9	9.3	8.5	7.6	5.1	2.5
	関東地方	807	48.9	39.4	32.2	25.9	16.6	12.9	9.8	5.0	2.7	1.2
	中部地方	276	44.9	38.0	31.5	25.7	13.4	10.5	9.4	5.4	3.3	3.3
	近畿地方	391	51.7	34.8	32.2	27.9	14.8	11.8	10.0	4.3	3.3	2.6
	中国地方	104	33.7	39.4	26.0	20.2	17.3	8.7	15.4	5.8	4.8	3.8
	四国地方	40	47.5	37.5	20.0	32.5	5.0	7.5	15.0	10.0	5.0	2.5
	九州地方	148	37.8	39.2	29.1	22.3	10.8	14.2	9.5	6.1	7.4	1.4
住環境	都市部	772	49.2	36.1	34.5	24.6	14.9	12.2	11.1	3.6	2.6	1.2
	都市郊外	1,064	47.0	38.8	29.3	26.2	14.8	10.9	10.2	5.9	4.0	2.3
	農山漁村地域	164	31.1	37.2	26.8	18.9	15.2	15.2	7.9	6.7	5.5	6.7
就業・就学	農林水産業従事者	12	16.7	41.7	33.3	33.3	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	会社などの役員	86	45.3	20.9	20.9	22.1	16.3	12.8	20.9	9.3	4.7	0.0
	従業員・職員	672	50.6	35.4	32.3	24.6	18.5	8.6	9.8	4.3	2.5	0.9
	自営業・自由業	180	49.4	26.7	28.9	22.8	17.2	21.1	8.9	12.2	3.9	2.2
	アルバイト・パート	257	44.0	39.7	34.2	29.2	13.2	11.7	10.9	4.3	3.5	2.3
	契約社員・派遣社員	113	42.5	42.5	39.8	18.6	15.0	13.3	11.5	6.2	3.5	1.8
	学生	89	34.8	43.8	33.7	10.1	14.6	13.5	9.0	3.4	10.1	2.2
	専業主婦（主夫）	350	43.4	39.7	31.1	29.1	9.1	10.3	11.4	1.7	3.7	4.0
	無職・年金生活	211	49.3	49.3	24.2	26.5	13.7	13.3	7.1	6.2	3.8	3.3
その他	30	43.3	40.0	26.7	26.7	3.3	20.0	6.7	10.0	3.3	10.0	
婚姻	結婚している	1,150	50.5	35.0	31.8	30.2	15.5	9.1	11.7	3.3	2.9	2.4
	結婚していない	850	41.2	41.2	30.1	18.0	14.0	15.3	8.6	7.5	4.6	1.9
家族構成	一人暮らし	406	41.9	38.9	33.0	17.7	15.8	16.0	8.4	6.9	4.2	0.7
	夫婦のみ	464	48.9	38.6	32.5	29.5	13.8	9.5	8.4	3.2	3.7	3.0
	二世帯同居（親と子）	965	47.9	36.2	29.5	26.7	14.1	10.7	11.9	5.2	3.3	2.1
	三世帯同居（祖父母と親と子）	117	46.2	42.7	29.9	22.2	20.5	12.8	12.0	2.6	3.4	4.3
	その他	48	37.5	35.4	35.4	14.6	18.8	16.7	10.4	12.5	4.2	4.2
子どもの有無	子どもはいない	1,063	42.7	42.1	31.0	19.4	13.9	13.8	8.3	6.8	3.9	2.0
	就学前	209	45.5	28.2	28.2	26.3	16.7	6.7	23.0	1.4	0.5	1.9
	小学校	159	47.8	25.2	30.8	27.0	18.9	10.7	20.1	4.4	2.5	1.3
	中学校	93	60.2	30.1	28.0	35.5	15.1	6.5	15.1	5.4	5.4	4.3
	高等学校	102	56.9	41.2	34.3	32.4	18.6	2.9	8.8	3.9	2.0	2.9
	高専・専門学校	23	34.8	34.8	34.8	34.8	17.4	4.3	0.0	4.3	4.3	4.3
	短大・大学・大学院	130	54.6	37.7	33.8	28.5	13.8	13.1	10.0	7.7	3.8	3.1
	社会人・無職等	437	52.6	35.0	30.0	36.2	14.4	10.8	8.0	2.3	4.6	3.0
	世帯年収	400万円未満	764	43.8	40.1	28.8	20.0	11.9	13.7	9.7	5.2	4.6
400万円以上800万円未満	809	47.3	37.5	33.0	26.8	15.3	9.5	11.5	4.9	2.8	2.3	
800万円以上	427	49.9	33.7	31.6	30.4	19.2	12.4	9.4	5.2	3.3	2.1	
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	47.7	38.3	32.9	25.7	13.6	10.1	10.0	4.2	3.3	2.1
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	46.5	35.4	29.2	26.5	18.3	15.2	11.3	6.3	4.3	1.9
	移住することを具体的に考えている	229	39.7	37.6	24.0	18.3	15.7	15.3	10.9	8.3	3.9	3.5

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

d. 移住の時期

問4 移住する（可能性がある）時期はいつ頃ですか。

移住する（可能性がある）時期をみると、「時期は未定」（70.6%）が7割を超えており、それぞれ「1年以内」（4.5%）、「5年以内」（16.1%）、「10年以内」（8.9%）となっている。

年齢層別にみると、「40歳代」の「時期は未定」（78.5%）が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「四国地方」の「時期は未定」（85.0%）が全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」と「契約社員・派遣社員」の「10年以内」（農林水産業従事者：16.7%、契約社員・派遣社員：15.0%）、「会社などの役員」と「学生」の「5年以内」（会社などの役員：31.4%、学生：25.8%）、「アルバイト・パート」と「無職・年金生活」の「時期は未定」（アルバイト・パート：79.0%、無職・年金生活：81.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

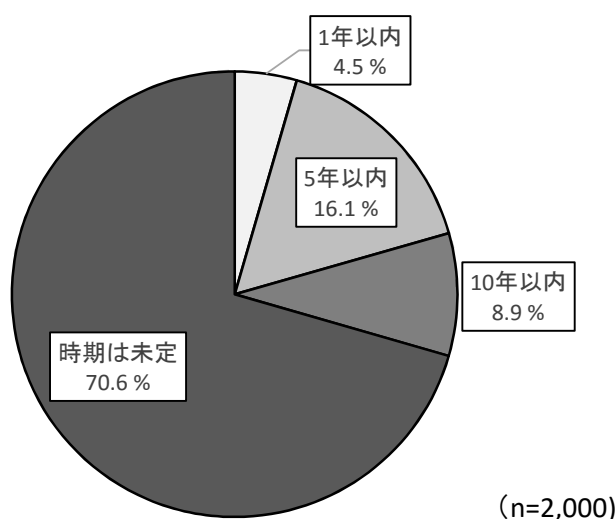
家族構成別にみると、「一人暮らし」の「5年以内」（22.2%）が全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「中学校」・「高等学校」・「社会人・無職等」の「時期は未定」（中学校：77.4%、高等学校：77.5%、社会人・無職等：76.2%）、「短大・大学・大学院」の「10年以内」（14.6%）が全体の水準を大きく上回っている。

世帯年収別にみると、「時期は未定」が「400万円未満」では75.3%に対し、「800万円以上」では65.6%（差異9.7ポイント）となっている。

移住意向別にみると、「やや関心はあるが、具体的には考えていない」の「時期は未定」（79.3%）が全体の水準を上回っているが、「とても関心があるが、具体的には考えていない」では「5年以内」（24.3%）、「移住することを具体的に考えている」では「1年以内」（19.2%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 186 移住する（可能性がある）時期



図表 187 移住する（可能性がある）時期（属性別）

(単位:%)

	合計 (n)	1 年 以 内	5 年 以 内	1 0 年 以 内	時 期 は 未 定	
全体	2,000	4.5	16.1	8.9	70.6	
年齢層	20歳代以下	400	8.0	19.8	9.5	62.8
	30歳代	400	5.5	18.0	9.0	67.5
	40歳代	400	5.0	9.0	7.5	78.5
	50歳代	400	1.8	15.5	11.5	71.3
	60歳代	400	2.3	18.0	7.0	72.8
性別	男性	1,000	4.7	17.6	9.2	68.5
	女性	1,000	4.3	14.5	8.6	72.6
居住地域	北海道	116	6.9	13.8	7.8	71.6
	東北地方	118	7.6	15.3	8.5	68.6
	関東地方	807	4.3	17.1	9.3	69.3
	中部地方	276	5.8	14.1	12.0	68.1
	近畿地方	391	2.3	14.8	9.5	73.4
	中国地方	104	5.8	17.3	9.6	67.3
	四国地方	40	2.5	12.5	0.0	85.0
	九州地方	148	4.1	19.6	2.7	73.6
	環境	都市部	772	5.1	20.1	8.3
都市郊外	1,064	3.4	14.5	9.3	72.8	
農山漁村地域	164	9.1	7.3	9.1	74.4	
職業・就学	農林水産業従事者	12	8.3	8.3	16.7	66.7
	会社などの役員	86	9.3	31.4	14.0	45.3
	従業者・職員	672	4.5	15.9	10.1	69.5
	自営業・自由業	180	2.8	19.4	8.3	69.4
	アルバイト・パート	257	2.7	13.2	5.1	79.0
	契約社員・派遣社員	113	3.5	14.2	15.0	67.3
	学生	89	13.5	25.8	9.0	51.7
	専業主婦(主夫)	350	3.1	14.6	9.1	73.1
	無職・年金生活	211	4.7	9.5	4.7	81.0
	その他	30	6.7	23.3	3.3	66.7
婚姻	結婚している	1,150	3.2	15.7	10.0	71.0
	結婚していない	850	6.2	16.5	7.4	69.9
家族構成	一人暮らし	406	6.2	22.2	7.9	63.8
	夫婦のみ	464	2.6	16.6	9.9	70.9
	二世帯同居(親と子)	965	4.2	13.7	8.7	73.4
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	7.7	13.7	10.3	68.4
	その他	48	6.3	12.5	8.3	72.9
子どもの有無	子どもはいない	1,063	5.4	16.3	8.3	70.1
	就学前	209	7.7	18.7	8.6	65.1
	小学校	159	3.8	17.6	13.8	64.8
	中学校	93	4.3	9.7	8.6	77.4
	高等学校	102	4.9	6.9	10.8	77.5
	高等・専門学校	23	4.3	17.4	8.7	69.6
	短大・大学・大学院	130	2.3	14.6	14.6	68.5
	社会人・無職等	437	1.6	15.3	6.9	76.2
世帯年収	400万円未満	764	4.8	13.2	6.7	75.3
	400万円以上800万円未満	809	3.8	17.6	9.9	68.7
	800万円以上	427	5.2	18.3	11.0	65.6
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	2.0	11.3	7.4	79.3
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	4.6	24.3	12.0	59.0
	移住することを具体的に考えている	229	19.2	29.3	11.8	39.7

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

e. 移住のタイミング

問5 移住する（可能性がある）タイミングは何ですか。

あてはまる項目のうち上位2つまでお選びください。

移住する（可能性がある）タイミングをみると、「特に考えていない」が46.4%と半数近くとなっている。次いで、「退職（定年・早期）」（28.2%）、「転職」（15.3%）となっている。

年齢層別にみると、「20歳代以下」の「結婚」（16.5%）、「30歳代」の「転職」（27.3%）、「40歳代」と「50歳代」の「退職（定年・早期）」（40歳代：36.0%、50歳代：46.5%）、「60歳代」の「特に考えていない」（69.5%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「東北地方」の「転職」（24.6%）、「四国地方」の「特に考えていない」（52.5%）が全体の水準を大きく上回っている。

住環境別にみると、「農山漁村地域」の「就業・就職」（9.8%）が全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「会社などの役員」と「従業員・職員」の「退職（定年・早期）」（会社などの役員：38.4%、従業員・職員：44.5%）、「自営業・自由業」「アルバイト・パート」「専業主婦（主夫）」「無職・年金生活」の「特に考えていない」（自営業・自由業：54.4%、アルバイト・パート：58.4%、専業主婦（主夫）：56.6%、無職・年金生活：73.9%）、「契約社員・派遣社員」の「転職」（26.5%）、「学生」の「就業・就職」（40.4%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

婚姻状況別にみると、「結婚している」の「退職（定年・早期）」（34.5%）、「結婚していない」の「結婚」（14.2%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

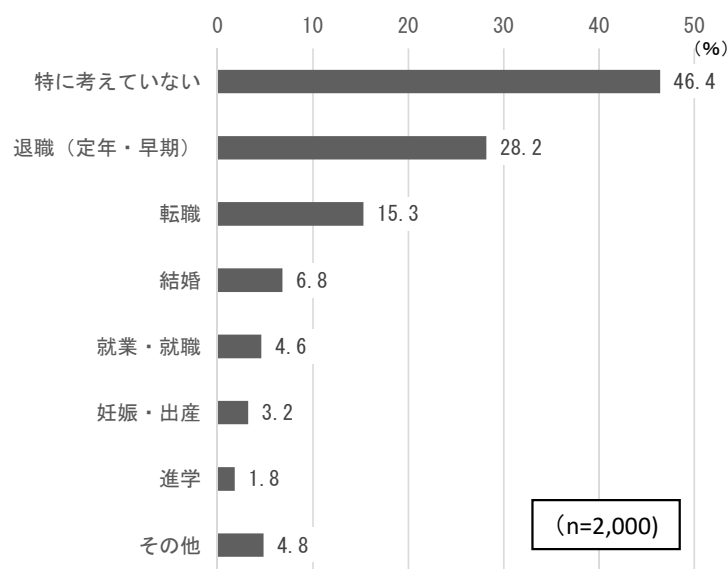
家族構成別にみると、「一人暮らし」の「転職」（21.9%）、「夫婦のみ」の「特に考えていない」（54.1%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「子どもはいない」と「小学校」の「転職」（子どもはいない：20.4%、小学校：24.5%）、「中学校」「高等学校」「高専・専門学校」「短大・大学・大学院」の「退職（定年・早期）」（中学校：41.9%、高等学校：52.0%、高専・専門学校：39.1%、短大・大学・大学院：49.2%）、「社会人・無職等」の「特に考えていない」（63.6%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯年収別にみると、「400万円未満」の「特に考えていない」（57.3%）、「800万円以上」の「退職（定年・早期）」（42.6%）が全体の水準を大きく上回っている。

移住意向別にみると、「移住することを具体的に考えている」の「転職」（23.6%）が全体の水準を大きく上回っている。

図表 188 移住する（可能性がある）タイミング



図表 189 移住する（可能性がある）タイミング

(単位:%)

	合計 (n)	特に ない 考 え て	年 退 職 (定 ・ 早 期)	転 職	結 婚	就 業 ・ 就 職	妊 娠 ・ 出 産	進 学	そ の 他	
全体	2,000	46.4	28.2	15.3	6.8	4.6	3.2	1.8	4.8	
年齢層	20歳以下	400	39.8	12.8	21.8	16.5	13.5	8.5	2.8	3.3
	30歳代	400	39.8	22.8	27.3	11.0	4.3	5.8	4.3	2.0
	40歳代	400	42.5	36.0	18.0	4.0	3.3	1.0	1.8	4.5
	50歳代	400	40.3	46.5	7.0	1.5	1.0	0.3	0.3	7.8
	60歳代	400	69.5	23.0	2.5	0.8	0.8	0.3	0.0	6.3
性別	男性	1,000	43.8	31.3	19.7	5.7	4.9	1.4	1.4	3.2
	女性	1,000	48.9	25.1	10.9	7.8	4.2	4.9	2.2	6.3
居住地域	北海道	116	44.0	25.9	19.0	2.6	9.5	2.6	0.9	7.8
	東北地方	118	38.1	27.1	24.6	7.6	5.1	4.2	3.4	5.1
	関東地方	807	48.2	29.6	15.0	6.3	2.9	2.4	1.5	4.6
	中部地方	276	41.3	29.7	17.4	7.6	5.1	2.5	2.5	4.7
	近畿地方	391	46.5	28.6	12.5	8.7	4.1	5.6	1.5	3.8
	中国地方	104	51.0	17.3	13.5	4.8	7.7	1.9	2.9	7.7
	四国地方	40	52.5	30.0	10.0	5.0	5.0	2.5	5.0	5.0
	九州地方	148	48.6	26.4	12.8	6.8	7.4	2.7	0.7	3.4
住環境	都市部	772	43.4	30.4	18.3	6.9	3.5	4.1	1.7	4.5
	都市郊外	1,064	48.1	27.4	13.9	6.5	4.5	2.6	1.8	4.7
	農山漁村地域	164	48.8	22.6	10.4	7.9	9.8	1.8	2.4	6.1
就業・就学	農林水産業従事者	12	50.0	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7
	会社などの役員	86	31.4	38.4	19.8	5.8	2.3	8.1	1.2	4.7
	従業者・職員	672	30.7	44.5	22.2	9.7	2.5	3.3	1.0	1.9
	自営業・自由業	180	54.4	21.7	15.0	7.2	1.1	0.6	1.7	6.7
	アルバイト・パート	257	58.4	18.7	14.0	7.4	3.9	2.7	1.9	3.9
	契約社員・派遣社員	113	42.5	26.5	26.5	8.0	4.4	4.4	1.8	3.5
	学生	89	23.6	6.7	18.0	12.4	40.4	3.4	9.0	1.1
	専業主婦(主夫)	350	56.6	24.6	2.9	0.9	2.0	4.0	2.9	9.1
	無職・年金生活	211	73.9	7.6	7.1	4.3	5.2	1.4	0.0	6.6
	その他	30	56.7	16.7	13.3	3.3	0.0	3.3	0.0	10.0
婚姻	結婚している	1,150	47.8	34.5	10.0	1.2	2.2	3.6	1.9	5.9
	結婚していない	850	44.4	19.6	22.5	14.2	7.8	2.6	1.6	3.2
家族構成	一人暮らし	406	40.1	26.8	21.9	12.6	5.4	3.2	1.5	3.2
	夫婦のみ	464	54.1	30.8	9.1	1.3	1.9	4.7	0.2	5.8
	二世帯同居(親と子)	965	45.2	28.3	15.0	6.8	5.3	2.7	2.7	4.9
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	43.6	26.5	19.7	6.8	5.1	1.7	2.6	3.4
	その他	48	54.2	16.7	14.6	8.3	6.3	0.0	0.0	8.3
子どもの有無	子どもはいない	1,063	43.9	23.4	20.4	11.6	7.0	3.8	1.1	3.9
	就学前	209	37.8	29.2	17.7	1.0	4.3	7.7	6.7	6.2
	小学校	159	30.8	34.6	24.5	3.8	4.4	3.1	8.2	5.7
	中学校	93	39.8	41.9	10.8	2.2	2.2	1.1	3.2	6.5
	高等学校	102	35.3	52.0	14.7	1.0	0.0	0.0	2.0	1.0
	高専・専門学校	23	21.7	39.1	26.1	8.7	0.0	8.7	0.0	8.7
	短大・大学・大学院	130	42.3	49.2	2.3	0.0	1.5	0.8	0.0	5.4
	社会人・無職等	437	63.6	28.4	3.0	0.2	0.5	0.2	0.0	6.4
	世帯年収	400万円未満	764	57.3	14.9	14.9	8.2	5.9	2.2	1.8
400万円以上800万円未満	809	41.5	33.1	16.2	6.4	3.8	3.8	2.2	5.1	
800万円以上	427	35.8	42.6	14.3	4.7	3.5	3.5	0.9	3.5	
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	49.9	28.8	13.1	6.9	4.1	3.1	1.5	3.5
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	40.0	29.4	17.8	6.5	5.3	2.7	2.4	6.7
	移住することを具体的に考えている	229	36.7	22.3	23.6	6.6	5.7	4.4	2.6	8.7

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

f. 移住のスタイル

問6 移住のスタイルについてどのように考えていますか。あてはまる項目のうち、上位2つまでお選びください。

移住のスタイルについてみると、「定住」が42.1%と最も多く、次いで「分からない」(37.1%)、「二地域居住(住民票は現住所)」(19.6%)となっている。

年齢層別にみると、「60歳代」の「二地域居住(住民票は現住所)」(24.8%)が全体の水準を大きく上回っている。

性別にみると、「女性」の「分からない」(42.7%)が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「東北地方」と「四国地方」の「定住」(東北地方:47.5%、四国地方:47.5%)、「近畿地方」と「中国地方」の「分からない」(近畿地方:43.2%、中国地方:43.3%)が全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」・「アルバイト・パート」・「契約社員・派遣社員」の「分からない」(農林水産業従事者:50.0%、アルバイト・パート:47.1%、契約社員・派遣社員:42.5%)、「会社などの役員」の「二地域居住(住民票は現住所)」(31.4%)、「従業員・職員」の「定住」(49.4%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

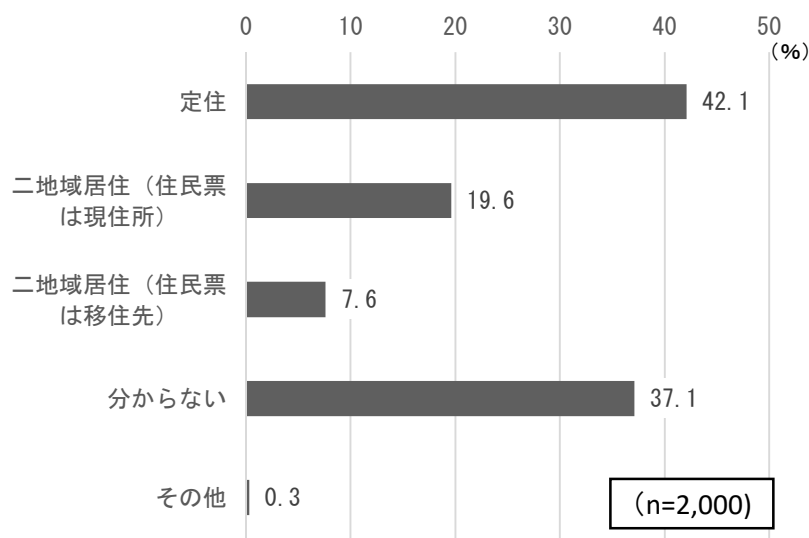
家族構成別にみると、「一人暮らし」の「定住」(48.0%)、「三世同居(祖父母と親と子)」の「二地域居住(住民票は現住所)」(27.4%)が全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「就学前」と「小学校」の「定住」(就学前:49.3%、小学校:47.2%)、「中学校」・「高専・専門学校」・「短大・大学・大学院」の「二地域居住(住民票は現住所)」(中学校:25.8%、高専・専門学校:30.4%、短大・大学・大学院:32.3%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯年収別にみると、「400万円未満」の「分からない」(42.3%)、「800万円以上」の「二地域居住(住民票は現住所)」(28.1%)が全体の水準を大きく上回っている。

移住意向別にみると、「とても関心があるが、具体的には考えていない」と「移住することを具体的に考えている」の「定住」(とても関心があるが、具体的には考えていない:53.3%、移住することを具体的に考えている:51.5%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 190 移住のスタイル



図表 191 移住のスタイル（属性別）

(単位: 96)

	合計 (n)	定住	二地域居住 (住民票は現 住所)	二地域居住 (住民票は移 住先)	分 か ら な い	そ の 他	
全体	2,000	42.1	19.6	7.6	37.1	0.3	
年齢層	20歳代以下	400	41.5	14.8	9.5	40.5	0.0
	30歳代	400	44.5	16.0	7.0	37.0	0.3
	40歳代	400	44.8	18.3	5.8	38.5	0.3
	50歳代	400	40.3	24.0	7.5	35.3	0.5
	60歳代	400	39.5	24.8	8.3	34.3	0.3
性別	男性	1,000	46.1	21.8	8.3	31.5	0.1
	女性	1,000	38.1	17.3	6.9	42.7	0.4
居住地域	北海道	116	46.6	15.5	10.3	36.2	0.0
	東北地方	118	47.5	13.6	10.2	33.9	0.0
	関東地方	807	43.1	21.4	6.8	35.7	0.4
	中部地方	276	43.1	21.7	9.1	32.6	0.0
	近畿地方	391	36.8	18.2	5.9	43.2	0.5
	中国地方	104	40.4	17.3	5.8	43.3	0.0
	四国地方	40	47.5	17.5	7.5	32.5	0.0
	九州地方	148	40.5	18.9	10.8	37.2	0.0
住環境	都市部	772	43.9	22.8	7.1	33.5	0.3
	都市郊外	1,064	41.1	17.7	7.6	39.5	0.3
	農山漁村地域	164	40.2	16.5	9.8	38.4	0.0
就業・就学	農林水産業従事者	12	25.0	16.7	8.3	50.0	0.0
	会社などの役員	86	33.7	31.4	12.8	30.2	1.2
	従業員・職員	672	49.4	22.0	6.1	29.6	0.0
	自営業・自由業	180	41.1	23.9	9.4	34.4	0.6
	アルバイト・パート	257	33.1	16.7	8.9	47.1	0.8
	契約社員・派遣社員	113	34.5	18.6	7.1	42.5	0.0
	学生	89	40.4	15.7	10.1	39.3	0.0
	専業主婦(主夫)	350	39.4	16.6	6.6	42.0	0.3
	無職・年金生活	211	44.1	13.7	7.6	41.2	0.0
	その他	30	43.3	20.0	10.0	36.7	0.0
婚姻	結婚している	1,150	43.2	21.7	7.3	34.7	0.2
	結婚していない	850	40.6	16.7	8.0	40.4	0.4
家族構成	一人暮らし	406	48.0	14.5	9.6	32.8	0.5
	夫婦のみ	464	43.5	19.6	8.0	35.6	0.4
	二世帯同居(親と子)	965	39.7	21.2	6.8	39.3	0.1
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	35.9	27.4	5.1	35.9	0.0
	その他	48	41.7	8.3	8.3	47.9	0.0
子どもの有無	子どもはいない	1,063	43.7	16.7	7.2	37.7	0.3
	就学前	209	49.3	16.3	7.7	33.5	0.0
	小学校	159	47.2	23.3	8.2	30.8	0.0
	中学校	93	35.5	25.8	5.4	39.8	0.0
	高等学校	102	38.2	24.5	7.8	37.3	0.0
	高専・専門学校	23	47.8	30.4	13.0	21.7	0.0
	短大・大学・大学院	130	34.6	32.3	5.4	34.6	0.0
	社会人・無職等	437	35.2	23.1	8.2	41.0	0.5
世帯年収	400万円未満	764	40.6	13.9	8.1	42.3	0.5
	400万円以上800万円未満	809	44.0	20.4	7.2	34.7	0.1
	800万円以上	427	41.2	28.1	7.5	32.3	0.0
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	37.1	21.2	6.3	40.9	0.1
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	53.3	15.7	9.2	30.6	0.2
	移住することを具体的に考えている	229	51.5	17.0	12.7	26.2	0.9

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

g. 移住後の住居

問7 移住後に希望する住居の形態は次のうちどれですか。あてはまる項目のうち、上位2つまでお選びください。

移住後に希望する住居をみると、「一戸建て（持ち家）」が 54.8%と半数を超えて最も多く、「集合住宅（賃貸）」（26.9%）、「一戸建て（賃貸）」（19.8%）と続いている。

年齢層別にみると「20 歳代以下」の「集合住宅（賃貸）」（36.3%）が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「北海道」と「四国地方」の「集合住宅（賃貸）」（北海道：36.2%、四国地方：40.0%）、「東北地方」の「一戸建て（賃貸）」（27.1%）、「近畿地方」の「一戸建て（持ち家）」（59.8%）が全体の水準を大きく上回っている。

住環境別にみると、「農山漁村地域」の「集合住宅（賃貸）」（32.3%）が全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「会社などの役員」の「集合住宅（持ち家）」（22.1%）、「従業員・職員」の「一戸建て（持ち家）」（60.4%）、「アルバイト・パート」・「契約社員・派遣社員」・「学生」の「集合住宅（賃貸）」（アルバイト・パート：33.9%、契約社員・派遣社員：36.3%、学生：41.6%）が全体の水準を大きく上回っている。

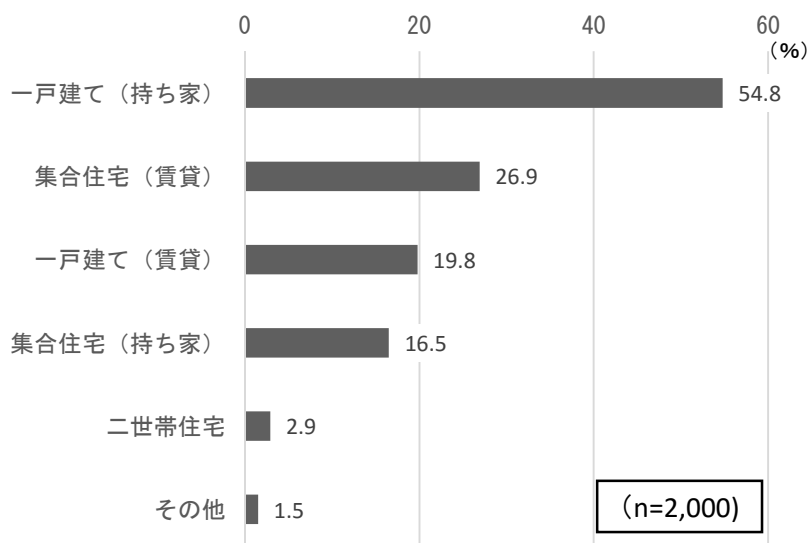
婚姻状況別にみると、「結婚していない」の「集合住宅（賃貸）」（34.9%）が全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「一人暮らし」の「集合住宅（賃貸）」（40.4%）、「三世帯同居（祖父母と親と子）」の「一戸建て（持ち家）」（60.7%）が全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「子どもはいない」の「集合住宅（賃貸）」（33.4%）、「就学前」・「小学校」・「中学校」・「高専・専門学校」の「一戸建て（持ち家）」（就学前：67.0%、小学校：67.3%、中学校：62.4%、高専・専門学校：60.9%）が全体の水準を大きく上回っている。

世帯収入別にみると、「400 万円未満」の「集合住宅（賃貸）」（35.9%）、「400 万円以上 800 万円未満」と「800 万円以上」の「一戸建て（持ち家）」（400 万円以上 800 万円未満：60.2%、800 万円以上：62.1%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 192 移住後の住居



図表 193 移住後の住居（属性別）

（単位：％）

	合計 (n)	(一戸建て 持ち家)	(一戸建て 賃貸)	(集合住宅 持ち家)	(集合住宅 賃貸)	二世帯住宅	その他	
全体	2,000	54.8	19.8	16.5	26.9	2.9	1.5	
年齢層	20歳代以下	400	52.0	16.3	12.5	36.3	1.8	1.3
	30歳代	400	58.8	17.0	16.3	25.5	4.0	0.5
	40歳代	400	53.5	22.0	17.3	27.5	2.5	1.5
	50歳代	400	56.8	24.3	17.8	21.0	2.8	2.0
	60歳代	400	52.8	19.5	18.5	24.3	3.3	2.0
性別	男性	1,000	57.8	22.1	16.5	24.5	2.5	0.5
	女性	1,000	51.7	17.5	16.4	29.3	3.2	2.4
居住地域	北海道	116	46.6	24.1	10.3	36.2	1.7	3.4
	東北地方	118	59.3	27.1	11.9	28.0	0.8	0.0
	関東地方	807	53.9	19.5	20.9	24.8	3.2	1.5
	中部地方	276	55.1	19.9	11.6	29.0	3.3	1.8
	近畿地方	391	59.8	19.4	14.8	24.0	2.6	0.5
	中国地方	104	51.9	7.7	16.3	29.8	2.9	4.8
	四国地方	40	47.5	22.5	5.0	40.0	5.0	0.0
	九州地方	148	52.0	20.9	16.9	28.4	2.7	0.7
住環境	都市部	772	51.0	21.2	17.6	27.1	3.2	1.2
	都市郊外	1,064	57.7	19.0	15.8	25.9	2.6	1.6
	農山漁村地域	164	53.0	18.3	15.2	32.3	2.4	1.8
就業・就学	農林水産業従事者	12	50.0	16.7	16.7	41.7	0.0	0.0
	会社などの役員	86	58.1	24.4	22.1	14.0	3.5	0.0
	従業員・職員	672	60.4	21.1	15.3	22.9	1.9	0.9
	自営業・自由業	180	56.1	21.7	15.6	25.0	2.8	1.7
	アルバイト・パート	257	49.8	19.1	14.0	33.9	1.9	1.6
	契約社員・派遣社員	113	45.1	20.4	16.8	36.3	4.4	0.0
	学生	89	44.9	20.2	9.0	41.6	1.1	1.1
	専業主婦(主夫)	350	56.9	15.4	19.7	25.1	4.0	2.0
	無職・年金生活	211	46.4	20.4	18.0	29.9	3.3	3.8
	その他	30	53.3	16.7	23.3	20.0	13.3	0.0
婚姻	結婚している	1,150	59.0	19.7	17.9	21.0	3.5	1.0
	結婚していない	850	49.1	19.9	14.5	34.9	2.0	2.0
家族構成	一人暮らし	406	41.4	20.2	13.5	40.4	1.7	1.2
	夫婦のみ	464	53.9	19.4	19.6	24.8	4.3	1.1
	二世帯同居(親と子)	965	59.7	19.2	16.6	23.0	2.8	1.5
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	60.7	22.2	15.4	21.4	1.7	3.4
	その他	48	62.5	27.1	10.4	25.0	2.1	2.1
子どもの有無	子どもはいない	1,063	51.0	19.5	16.3	33.4	1.8	1.4
	就学前	209	67.0	16.3	12.4	18.2	4.3	1.0
	小学校	159	67.3	20.1	13.8	15.1	3.8	0.6
	中学校	93	62.4	20.4	14.0	14.0	5.4	4.3
	高等学校	102	55.9	20.6	16.7	20.6	2.0	2.9
	高専・専門学校	23	60.9	21.7	13.0	13.0	4.3	0.0
	短大・大学・大学院	130	49.2	23.1	19.2	23.1	1.5	1.5
	社会人・無職等	437	55.1	21.1	17.2	21.5	5.3	1.8
世帯年収	400万円未満	764	44.9	19.5	13.9	35.9	3.8	2.1
	400万円以上800万円未満	809	60.2	20.5	15.9	22.4	2.2	1.1
	800万円以上	427	62.1	19.0	22.0	19.4	2.3	0.9
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	54.9	20.1	16.8	27.0	2.5	1.5
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	53.5	22.4	16.9	27.5	2.2	1.0
	移住することを具体的に考えている	229	56.3	13.1	13.5	25.3	6.1	1.7

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

h. 移住後の同居者

問8 移住後に同居する（可能性がある）方はどなたですか。あてはまる項目を全てお選びください。

移住後に同居する（可能性がある）のは「配偶者」（55.4%）が半数を超えて最も多く、次いで「子ども」（17.5%）、「親」（15.2%）となっている。また、「同居者はなし」は28.2%となっている。

年齢層別にみると、「20歳代以下」の「同居者はなし」（42.3%）、「30歳代」の「親」（21.3%）、「40歳代」の「子供」（24.0%）、「50歳代」と「60歳代」の「配偶者」（50歳代：61.3%、60歳代：66.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「北海道」の「子供」（23.3%）、「東北地方」の「同居者はなし」（33.9%）が全体の水準を大きく上回っている。

住環境別にみると、「農山漁村地域」の「同居者はなし」（36.0%）が全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「農林水産業従業者」の「祖父・祖母」（8.3%）、「会社などの役員」と「専業主婦（主夫）」の「配偶者」（会社などの役員：65.1%、専業主婦（主夫）：84.3%）、「契約社員・派遣社員」・「学生」・「無職・年金生活」の「同居者はなし」（契約社員・派遣社員：34.5%、学生：59.6%、無職・年金生活：39.3%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

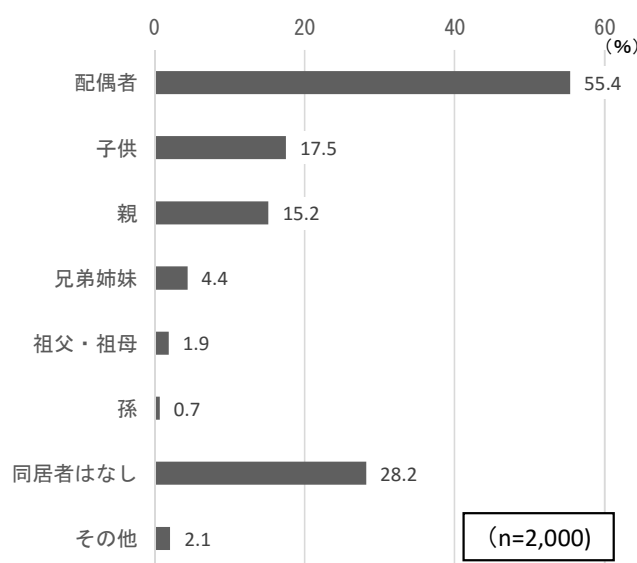
婚姻状況別にみると、「結婚している」の「配偶者」（83.0%）、「結婚していない」の「同居者はなし」（53.1%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「一人暮らし」の「同居者はなし」（64.3%）、「夫婦のみ」の「配偶者」（89.7%）、「二世帯同居（親と子）」と「三世帯同居（祖父母と親と子）」の「子供」（二世帯同居（親と子）：26.9%、三世帯同居（祖父母と親と子）：28.2%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「子どもはいない」の「同居者はなし」（40.4%）、「就学前」・「小学校」・「中学校」の「子供」（就学前：63.2%、小学校：55.3%、中学校：46.2%）、「高等学校」・「高専・専門学校」・「短大・大学・大学院」・「社会人・無職等」の「配偶者」（高等学校：69.6%、高専・専門学校：69.6%、短大・大学・大学院：65.4%、社会人・無職等：70.3%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯年収別にみると、「400万円未満」の「同居者はなし」（39.0%）、「400万円以上800万円未満」と「800万円以上」の「配偶者」（400万円以上800万円未満：64.2%、800万円以上：65.8%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 194 移住後の同居者



図表 195 移住後の同居者（属性別）

（単位：％）

	合計（n）	配偶者	子供	親	兄弟姉妹	祖父・祖母	孫	同居者はなし	その他	
全体	2,000	55.4	17.5	15.2	4.4	1.9	0.7	28.2	2.1	
年齢層	20歳以下	400	37.5	13.8	20.8	8.5	4.3	0.5	42.3	0.8
	30歳代	400	54.0	21.3	21.3	2.8	2.8	0.0	26.0	2.3
	40歳代	400	58.3	24.0	19.0	3.8	1.0	0.5	25.3	3.0
	50歳代	400	61.3	16.0	11.0	4.5	1.0	0.8	23.0	3.3
	60歳代	400	66.0	12.5	3.8	2.5	0.3	1.8	24.3	1.3
	性別									
男性	1,000	53.0	13.6	14.9	4.5	2.0	0.7	31.6	1.9	
女性	1,000	57.8	21.4	15.4	4.3	1.7	0.7	24.7	2.3	
居住地域	北海道	116	57.8	23.3	16.4	3.4	1.7	1.7	25.0	0.9
	東北地方	118	47.5	14.4	18.6	3.4	4.2	0.8	33.9	1.7
	関東地方	807	56.3	15.7	16.0	5.8	1.5	0.6	28.0	2.4
	中部地方	276	55.4	15.9	13.8	4.3	2.2	0.4	29.3	1.8
	近畿地方	391	58.8	19.4	14.6	2.0	2.0	0.8	24.8	1.5
	中国地方	104	49.0	21.2	11.5	4.8	1.9	0.0	30.8	4.8
	四国地方	40	60.0	17.5	17.5	2.5	2.5	2.5	25.0	2.5
	九州地方	148	49.3	20.3	12.8	4.7	0.7	0.7	32.4	2.0
住環境	都市部	772	53.5	17.7	17.0	4.8	2.2	0.5	29.8	1.4
	都市郊外	1,064	58.5	18.2	13.6	4.1	1.5	0.7	25.8	2.3
	農山漁村地域	164	44.5	11.6	16.5	4.3	2.4	1.8	36.0	3.7
就業・就学	農林水産業従事者	12	50.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0
	会社などの役員	86	65.1	17.4	11.6	4.7	7.0	1.2	18.6	1.2
	従業員・職員	672	58.5	17.9	15.2	3.4	1.6	0.3	28.7	1.6
	自営業・自由業	180	50.6	13.3	16.1	3.9	1.1	1.7	32.8	2.8
	アルバイト・パート	257	45.5	15.2	17.9	5.8	3.1	1.2	30.7	1.9
	契約社員・派遣社員	113	40.7	12.4	21.2	4.4	0.9	0.0	34.5	1.8
	学生	89	16.9	3.4	22.5	12.4	4.5	1.1	59.6	1.1
	専業主婦（主夫）	350	84.3	33.4	8.0	1.4	0.6	0.6	8.3	1.7
	無職・年金生活	211	36.5	5.2	18.0	7.6	0.9	0.5	39.3	4.3
	その他	30	40.0	23.3	16.7	3.3	0.0	3.3	30.0	6.7
婚姻	結婚している	1,150	83.0	26.3	9.2	1.7	1.3	0.8	9.7	1.2
	結婚していない	850	18.1	5.6	23.2	8.1	2.6	0.6	53.1	3.3
家族構成	一人暮らし	406	20.4	3.0	11.8	4.4	2.0	1.0	64.3	1.5
	夫婦のみ	464	89.7	8.8	6.9	2.4	1.1	1.1	5.6	1.3
	二世帯同居（親と子）	965	55.1	26.9	19.9	4.5	1.1	0.3	23.8	2.2
	三世帯同居（祖父母と親と子）	117	52.1	28.2	22.2	6.0	11.1	1.7	28.2	0.9
	その他	48	33.3	8.3	10.4	18.8	0.0	0.0	27.1	16.7
子どもの有無	子どもはいない	1,063	38.7	3.0	20.2	7.0	2.1	0.5	40.4	2.4
	就学前	209	84.2	63.2	16.7	3.3	2.9	0.5	7.2	0.0
	小学校	159	81.1	55.3	13.8	1.9	2.5	0.0	6.9	1.3
	中学校	93	72.0	46.2	14.0	0.0	2.2	0.0	12.9	1.1
	高等学校	102	69.6	29.4	10.8	2.0	1.0	0.0	13.7	5.9
	高専・専門学校	23	69.6	17.4	8.7	0.0	8.7	0.0	4.3	8.7
	短大・大学・大学院	130	65.4	17.7	8.5	2.3	1.5	0.0	22.3	2.3
	社会人・無職等	437	70.3	19.0	5.0	0.9	0.2	2.1	19.0	2.1
世帯年収	400万円未満	764	40.3	13.5	16.5	4.5	2.2	0.9	39.0	2.5
	400万円以上800万円未満	809	64.2	22.5	13.8	4.8	1.7	0.5	21.4	2.0
	800万円以上	427	65.8	15.2	15.2	3.5	1.4	0.7	21.5	1.6
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	55.5	16.4	15.0	4.6	1.5	0.7	27.9	2.4
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	56.9	18.8	13.7	3.1	2.4	0.7	28.4	1.0
	移住することを具体的に考えている	229	52.0	21.4	18.8	5.7	3.1	0.9	28.8	2.2

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

i. 移住先のイメージ

問9 移住先としてイメージするのはどのような地域ですか。

移住先のイメージをみると、「都市郊外」(37.8%)が最も多く、「都市部」(21.9%)、「農山漁村地域」(20.0%)はいずれも2割程度となった。また、「特にイメージはない」は20.3%だった。

年齢層別にみると、「20歳代以下」の「特にイメージはない」(26.8%)、「50歳代」と「60歳代」の「農山漁村地域」(50歳代：25.0%、60歳代：28.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

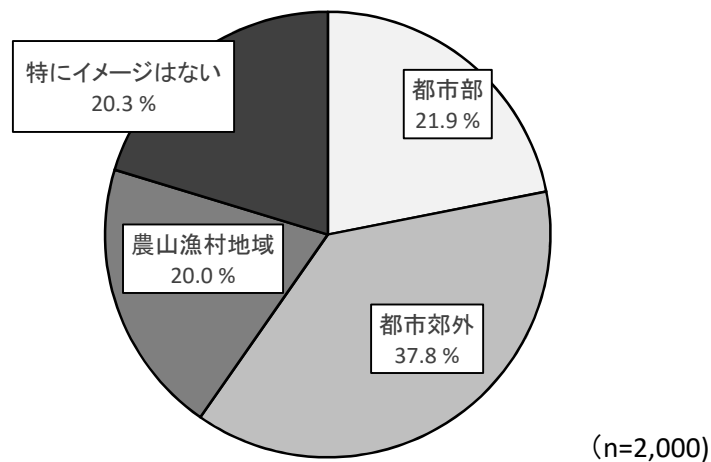
性別にみると、「男性」の「農山漁村地域」(25.1%)が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「北海道」・「東北地方」・「中国地方」・「九州地方」の「都市部」(北海道：27.6%、東北地方：28.8%、中国地方：26.9%、九州地方：32.4%)、「四国地方」の「都市郊外」(45.0%)が全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」と「アルバイト・パート」の「特にイメージはない」(農林水産業従事者：33.3%、アルバイト・パート：28.0%)、「会社などの役員」の「都市郊外」(46.5%)、「学生」の「都市部」(29.2%)が全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「高専・専門学校」の「都市郊外」(52.2%)、「高等学校」・「短大・大学・大学院」・「社会人・無職等」の「農山漁村地域」(高等学校：28.4%、短大・大学・大学院：29.2%、社会人・無職等：27.5%)が全体の水準を大きく上回っている。

図表 196 移住先のイメージ



図表 197 移住先のイメージ（属性別）

(単位:%)						
	合計 (n)	都市部	都市 郊外	農山 漁村 地域	特 にイ メー ジ	
全体	2,000	21.9	37.8	20.0	20.3	
年齢層	20歳代以下	400	26.3	36.8	10.3	26.8
	30歳代	400	22.0	39.5	16.8	21.8
	40歳代	400	22.8	37.0	19.5	20.8
	50歳代	400	20.3	37.8	25.0	17.0
	60歳代	400	18.3	38.0	28.5	15.3
性別	男性	1,000	20.3	35.8	25.1	18.8
	女性	1,000	23.5	39.8	14.9	21.8
居住地域	北海道	116	27.6	42.2	14.7	15.5
	東北地方	118	28.8	32.2	17.8	21.2
	関東地方	807	19.2	38.3	20.9	21.6
	中部地方	276	21.7	37.0	20.7	20.7
	近畿地方	391	18.2	38.1	22.8	21.0
	中国地方	104	26.9	37.5	15.4	20.2
	四国地方	40	25.0	45.0	20.0	10.0
	九州地方	148	32.4	35.1	15.5	16.9
住環境	都市部	772	24.4	37.8	18.1	19.7
	都市郊外	1,064	19.5	38.3	21.4	20.8
	農山漁村地域	164	26.2	34.1	19.5	20.1
就業・就学	農林水産業従事者	12	16.7	33.3	16.7	33.3
	会社などの役員	86	23.3	46.5	19.8	10.5
	従業員・職員	672	21.7	37.2	23.5	17.6
	自営業・自由業	180	17.2	39.4	21.7	21.7
	アルバイト・パート	257	18.7	33.5	19.8	28.0
	契約社員・派遣社員	113	20.4	42.5	13.3	23.9
	学生	89	29.2	41.6	12.4	16.9
	専業主婦(主夫)	350	25.7	40.9	14.3	19.1
	無職・年金生活	211	21.3	33.6	23.2	21.8
	その他	30	23.3	20.0	26.7	30.0
婚姻	結婚している	1,150	19.4	40.2	22.8	17.7
	結婚していない	850	25.3	34.6	16.2	23.9
家族構成	一人暮らし	406	23.4	35.2	19.2	22.2
	夫婦のみ	464	21.8	42.5	18.3	17.5
	二世帯同居(親と子)	965	21.8	37.0	21.0	20.2
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	18.8	35.0	22.2	23.9
	その他	48	20.8	37.5	16.7	25.0
子どもの有無	子どもはいない	1,063	25.3	37.2	15.9	21.6
	就学前	209	17.7	41.1	18.2	23.0
	小学校	159	20.8	40.9	21.4	17.0
	中学校	93	14.0	39.8	24.7	21.5
	高等学校	102	14.7	38.2	28.4	18.6
	高专・専門学校	23	17.4	52.2	21.7	8.7
	短大・大学・大学院	130	20.8	32.3	29.2	17.7
	社会人・無職等	437	18.3	35.9	27.5	18.3
世帯年収	400万円未満	764	24.5	35.2	17.3	23.0
	400万円以上800万円未満	809	19.7	39.4	22.1	18.8
	800万円以上	427	21.5	39.3	20.8	18.3
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	20.9	38.2	19.4	21.5
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	24.1	40.2	21.4	14.2
	移住することを具体的に考えている	229	23.6	31.0	21.0	24.5

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

j. 検討できる移住先

問 10 移住先として検討できる場所は、次のうちどこですか。あてはまる項目のうち上位2つまでお選びください。

検討できる移住先をみると、「神奈川県」(14.8%)が最も多く、次いで、「東京都」(13.8%)、「千葉県」(「千葉県の都市部」または「千葉県の都市部以外」を選択した回答者の割合・13.1%)「埼玉県」(5.8%)となっている。千葉県は、「千葉県の都市部以外(東京都心から概ね1時間以上)」(7.6%)が「千葉県の都市部(東京都心から概ね1時間以内)」(6.3%)を1.3ポイント上回っている。なお、「神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県以外で検討」が69.5%と圧倒的に多くなっている。

年齢層別にみると、「20歳代以下」の「東京都」(25.3%)が全体の水準を大きく上回っている。「60歳代」の「神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県以外で検討」(74.5%)も全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「関東地方」の「神奈川県」(24.9%)、「中部地方」・「近畿地方」・「中国地方」・「四国地方」・「九州地方」の「神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県以外で検討」(中部地方:77.2%、近畿地方:87.2%、中国地方:83.7%、四国地方:82.5%、九州地方:75.7%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

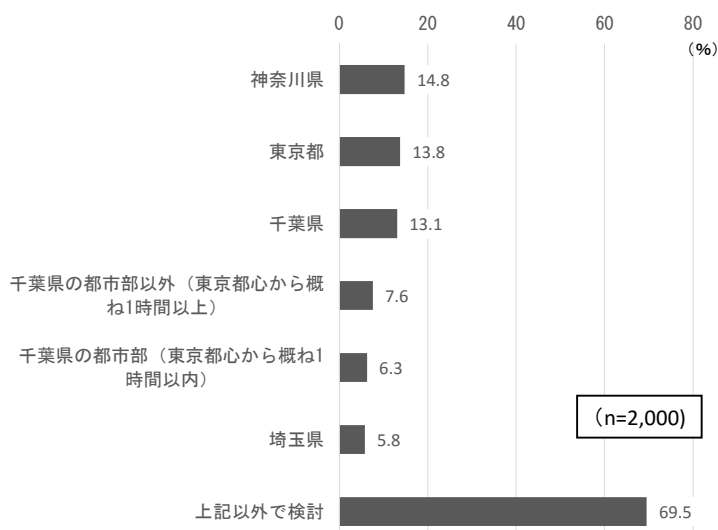
就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」と「学生」の「東京都」(農林水産業従業者:25.0%、学生:32.6%)、「会社などの役員」の「千葉県」(23.3%)、「無職・年金生活」の「神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県以外で検討」(77.3%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

婚姻状況別にみると、「結婚していない」の「東京都」(19.9%)が全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「三世同居(祖父母と親と子)」の「千葉県の都市部以外」(15.4%)が全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「小学校」の「千葉県」(18.9%)、「中学校」と「高専・専門学校」の「千葉県の都市部以外」(中学校:15.1%、高専・専門学校:21.7%)、「高等学校」・「短大・大学・大学院」・「社会人・無職等」の「神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県以外で検討」(高等学校:76.5%、短大・大学・大学院:76.9%、社会人・無職等:76.9%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

図表 198 検討できる移住先



(注)「千葉県」の割合は、「千葉県の都市部」または「千葉県の都市部以外」を選択した回答者の割合(複数回答形式であるため、「千葉県の都市部」と「千葉県の都市部以外」の合計値は、「千葉県」の数値と一致しない)。

図表 199 検討できる移住先（属性別）

		(単位:%)							
	合計 (n)	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	千葉県以外の 関東圏内 (埼玉県から栃 木県まで)	千葉県の都市部 外(東京都心から 概ね1時間以上)	左記以外で検討	
全体	2,000	13.8	14.8	5.8	13.1	6.3	7.6	69.5	
年齢層	20歳以下	400	25.3	16.0	7.0	12.8	9.0	5.0	60.0
	30歳代	400	12.3	14.0	7.8	13.8	7.5	7.8	68.5
	40歳代	400	11.8	15.8	5.5	14.0	7.0	7.8	70.8
	50歳代	400	10.3	16.3	4.5	11.0	3.0	8.0	73.8
	60歳代	400	9.5	12.0	4.0	13.8	5.0	9.5	74.5
性別	男性	1,000	13.5	15.7	5.2	14.9	6.5	9.6	68.5
	女性	1,000	14.1	13.9	6.3	11.2	6.1	5.6	70.5
居住地域	北海道	116	11.2	5.2	5.2	12.9	6.0	6.9	74.1
	東北地方	118	11.9	11.0	5.1	16.1	7.6	10.2	71.2
	関東地方	807	19.8	24.9	9.8	18.8	8.1	11.8	53.8
	中部地方	276	10.9	12.7	4.0	8.0	4.7	3.3	77.2
	近畿地方	391	5.6	5.9	1.5	8.2	4.9	4.9	87.2
	中国地方	104	9.6	1.0	1.9	8.7	4.8	4.8	83.7
	四国地方	40	17.5	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	82.5
	九州地方	148	13.5	9.5	3.4	8.1	5.4	2.7	75.7
住環境	都市部	772	14.1	16.5	5.1	16.7	8.8	9.1	66.3
	都市郊外	1,064	14.0	13.8	6.1	11.1	5.1	6.8	71.1
	農山漁村地域	164	11.0	13.4	6.7	8.5	2.4	6.1	73.8
就業・就学	農林水産業従事者	12	25.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7
	会社などの役員	86	18.6	22.1	2.3	23.3	12.8	12.8	54.7
	従業員・職員	672	12.6	15.2	6.3	15.3	7.3	9.4	68.5
	自営業・自由業	180	13.3	17.2	5.0	10.0	2.8	7.8	68.9
	アルバイト・パート	257	16.0	12.5	5.4	7.4	4.3	3.1	72.4
	契約社員・派遣社員	113	11.5	18.6	8.8	10.6	4.4	6.2	69.9
	学生	89	32.6	16.9	11.2	16.9	11.2	7.9	50.6
	専業主婦(主夫)	350	12.3	11.4	4.0	12.6	7.7	5.4	74.0
	無職・年金生活	211	9.5	13.3	5.7	10.0	3.3	7.1	77.3
	その他	30	6.7	26.7	6.7	23.3	3.3	20.0	63.3
婚姻	結婚している	1,150	9.3	13.0	5.0	12.9	5.4	7.9	74.1
	結婚していない	850	19.9	17.3	6.7	13.3	7.5	7.2	63.3
家族構成	一人暮らし	406	16.0	17.7	7.1	13.3	8.1	6.4	64.3
	夫婦のみ	464	10.8	13.4	5.4	9.7	4.5	5.8	74.4
	二世帯同居(親と子)	965	14.4	14.4	5.1	13.8	6.6	7.9	70.2
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	12.8	12.8	6.8	17.9	4.3	15.4	65.0
	その他	48	14.6	16.7	8.3	16.7	6.3	10.4	64.6
子どもの有無	子どもはいない	1,063	18.2	17.0	6.8	11.2	6.5	5.9	65.9
	就学前	209	8.6	10.5	6.2	15.3	8.1	7.2	73.7
	小学校	159	11.9	17.0	7.5	18.9	10.7	8.8	62.3
	中学校	93	6.5	8.6	2.2	19.4	6.5	15.1	71.0
	高等学校	102	6.9	9.8	6.9	11.8	4.9	6.9	76.5
	高专・専門学校	23	13.0	17.4	8.7	26.1	4.3	21.7	60.9
	短大・大学・大学院	130	9.2	13.8	2.3	13.1	6.2	7.7	76.9
	社会人・無職等	437	8.5	11.7	4.1	12.8	4.3	8.9	76.9
世帯年収	400万円未満	764	14.4	13.0	6.8	8.4	4.5	4.3	72.3
	400万円以上800万円未満	809	12.9	14.5	5.2	15.5	7.2	9.5	67.7
	800万円以上	427	14.5	18.7	4.9	16.9	8.0	9.8	67.9
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	14.0	14.2	5.3	11.4	5.5	6.6	71.4
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	14.7	15.9	7.0	17.6	8.2	10.6	64.1
	移住することを具体的に考えている	229	10.9	16.2	6.1	14.4	7.9	8.3	68.1

(注) 1.グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

2.「千葉県」の割合は、「千葉県の都市部」または「千葉県の都市部以外」を選択した回答者の割合（複数回答形式であるため、「千葉県の都市部」と「千葉県の都市部以外」の合計値は、「千葉県」の数値と一致しない）。

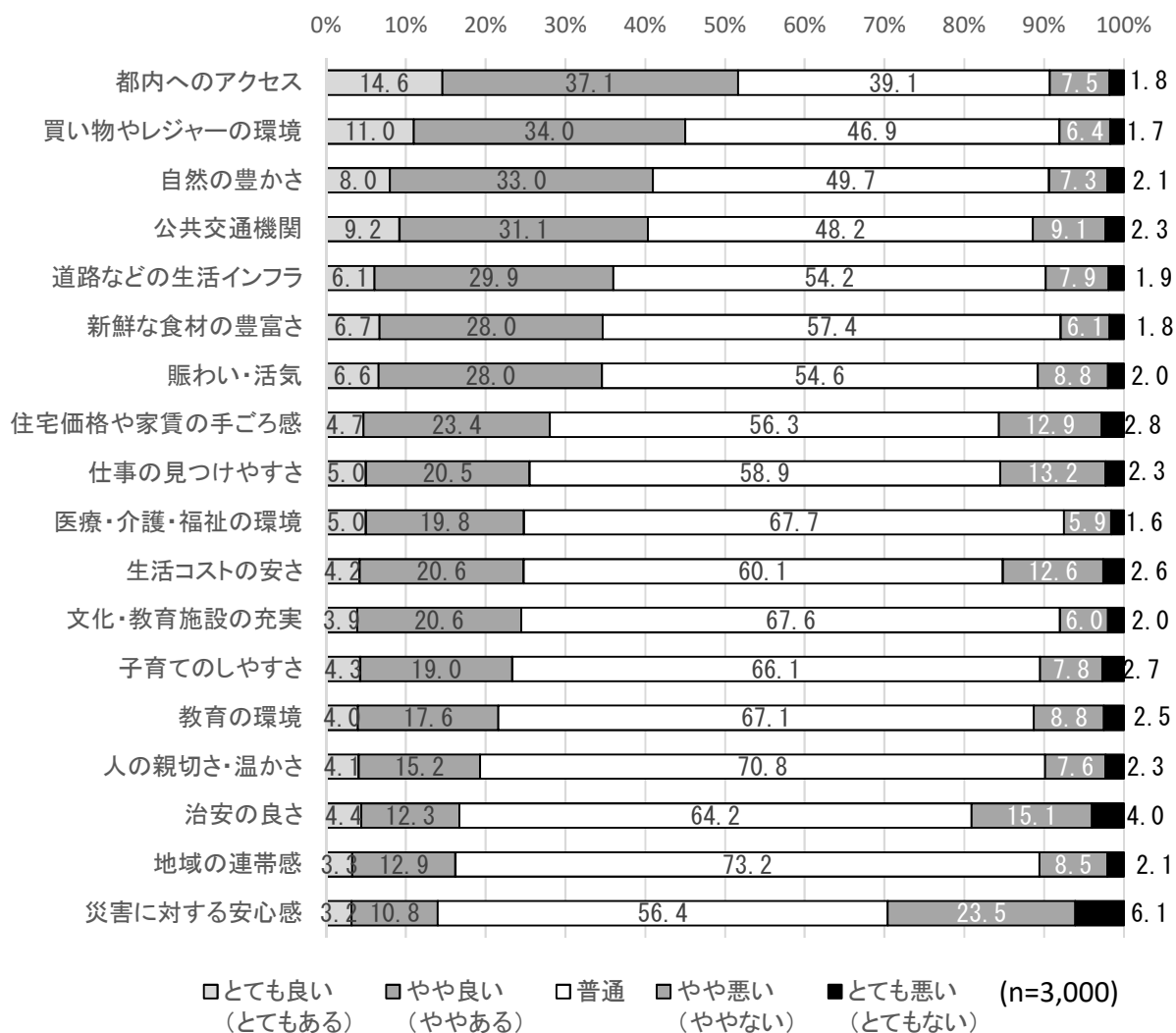
k. 千葉県の印象

問 11 千葉県の印象についてお伺いします。次の事項について、千葉県にどのような印象をお持ちですか。

千葉県の印象をみると、『良い（ある）』（「とても良い（とてもある）」と「やや良い（ややある）」の合計）は、「都内へのアクセス」（51.7%）が最も多く、次いで「買い物やレジャーの環境」（45.0%）、「自然の豊かさ」（41.0%）となっている。

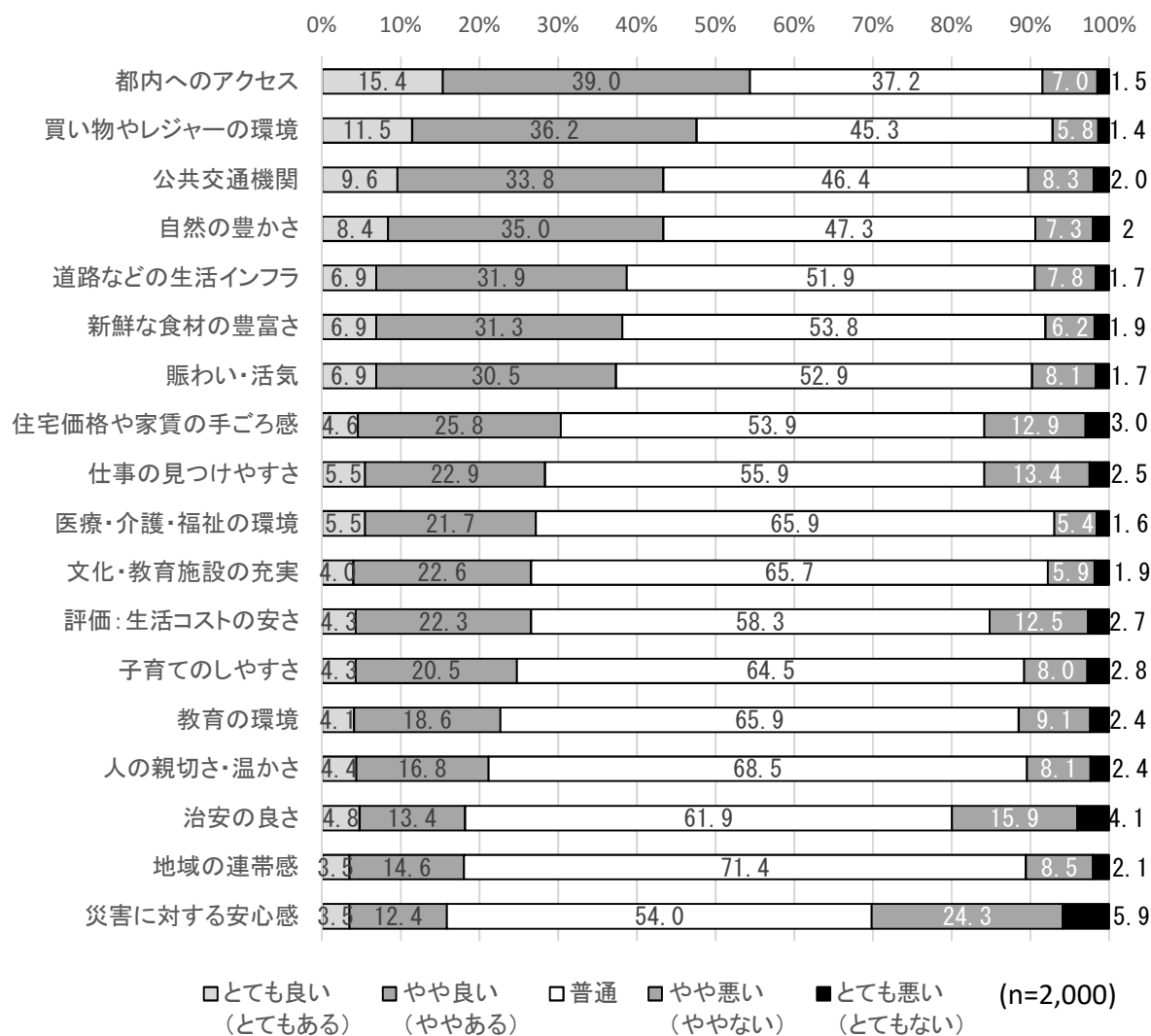
他方、『悪い（ない）』（「やや悪い（ややない）」＋「とても悪い（とてもない）」の合計）は、「災害に対する安心感」（29.6%）が最も多く、次いで「治安のよさ」（19.1%）、「住宅価格や家賃の手ごろ感」（15.7%）となっている。

図表 200 千葉県の印象



「移住意向あり」の千葉県の印象をみると、『良い(ある)』では、「都内へのアクセス」(54.4%)が最も多く、「買い物やレジャーの環境」(47.7%)、「公共交通機関」(43.4%)と続いている。『悪い(ない)』では、「災害に対する安心感」(30.2%)が最も多く、「治安の良さ」(20.0%)、「住宅価格や家賃の手ごろ感」・「仕事の見つけやすさ」(ともに 15.9%)が続いている。

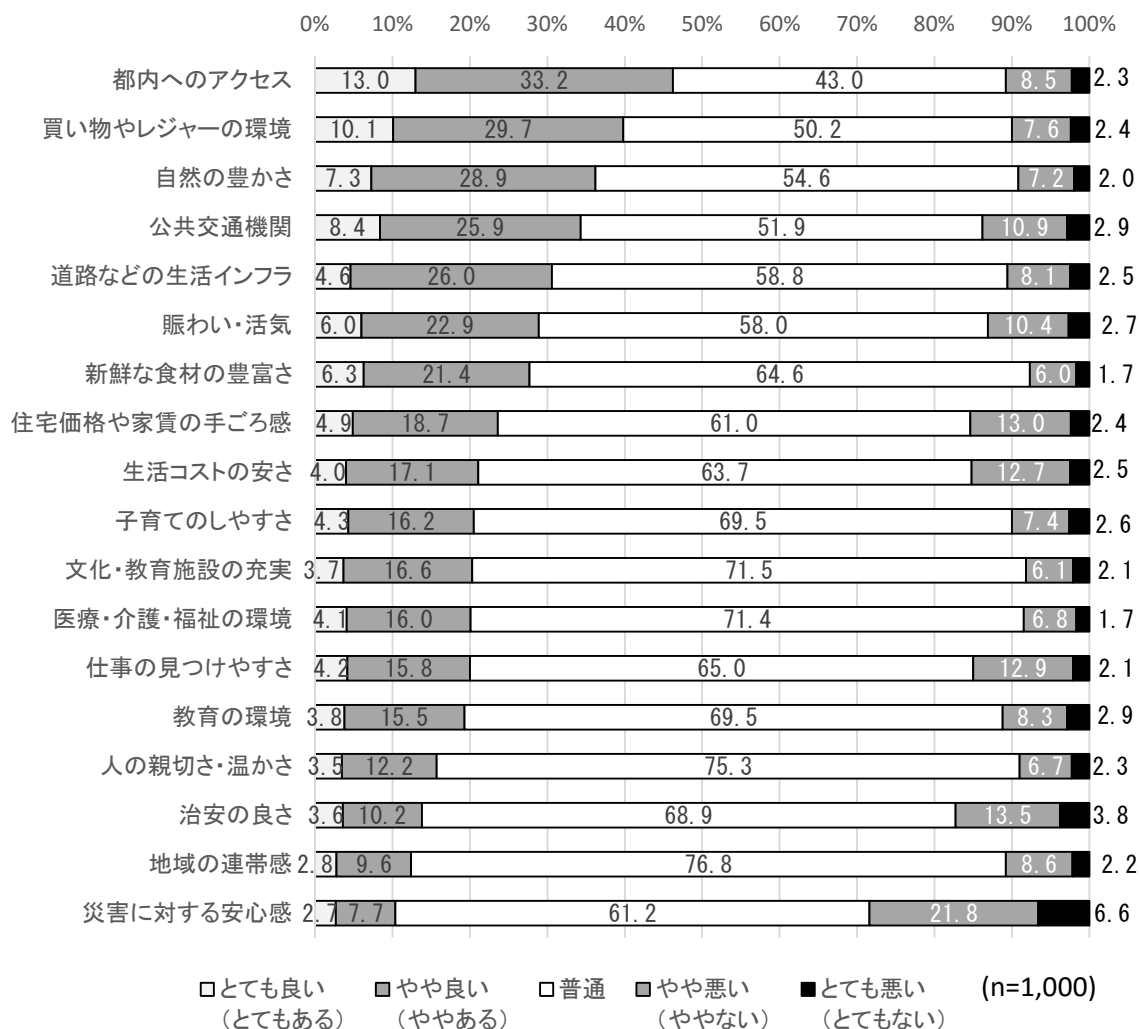
図表 201 千葉県の印象 (移住意向あり)



「移住意向なし」の千葉県の印象をみる（『良い（ある）』と、「都内へのアクセス」（46.2%）が最も多く、「買い物やレジャーの環境」（39.8%）、「自然の豊かさ」（36.2%）と続いている。

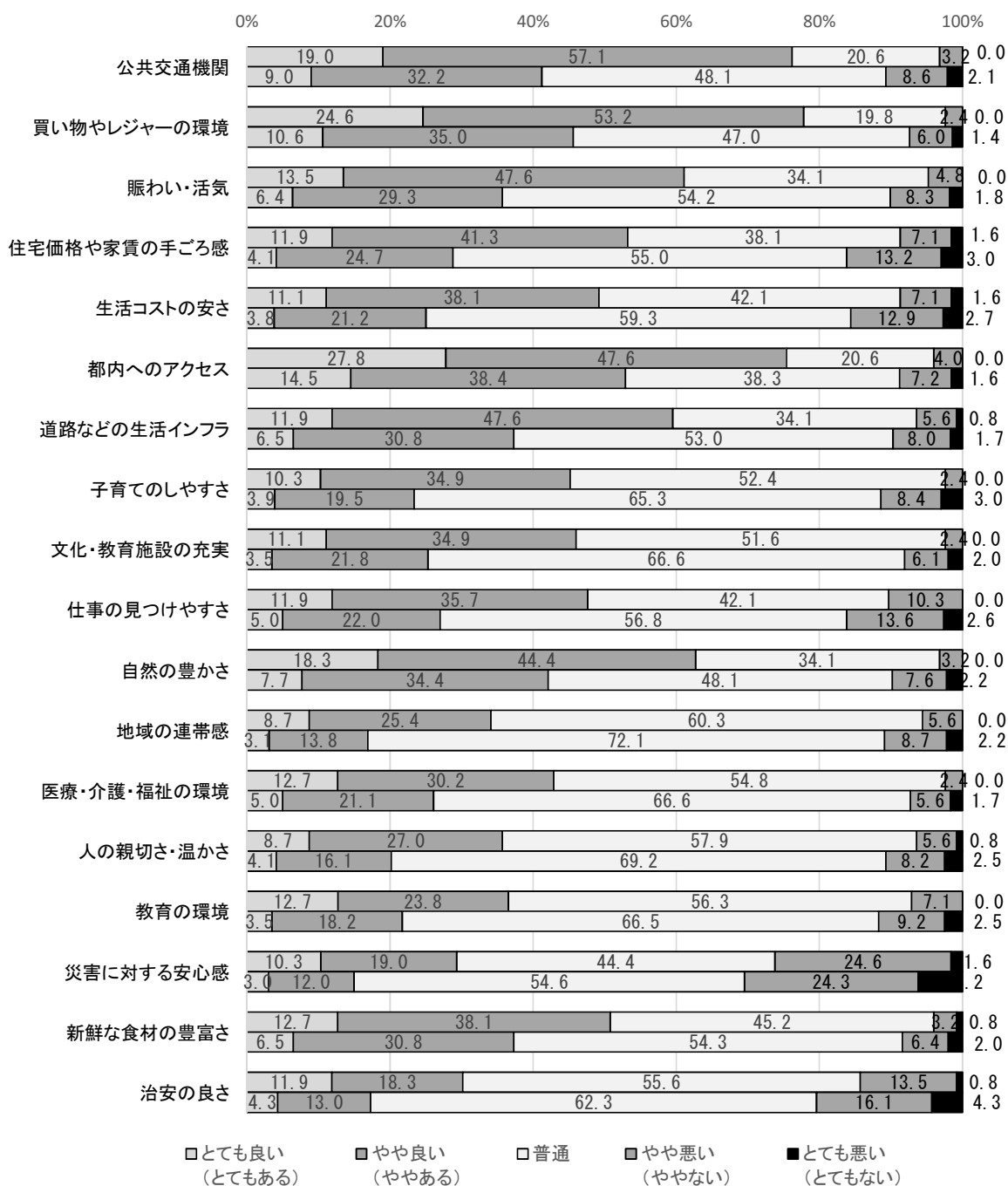
『悪い（ない）』では、「災害に対する安心感」（28.4%）が最も多く、「治安の良さ」（17.3%）、「住宅価格や家賃の手ごろ感」（15.4%）が続いている。

図表 202 千葉県の印象（移住意向なし）



「移住意向あり」について、移住先として『千葉県は検討可』・『千葉県以外を検討』別にみると、『良い(ある)』の差異が最も大きかったのは「公共交通機関」(差異 34.9 ポイント)となっており、「買い物やレジャーの環境」(同 32.2 ポイント)、「賑わい・活気」(同 25.4 ポイント)と続いている。

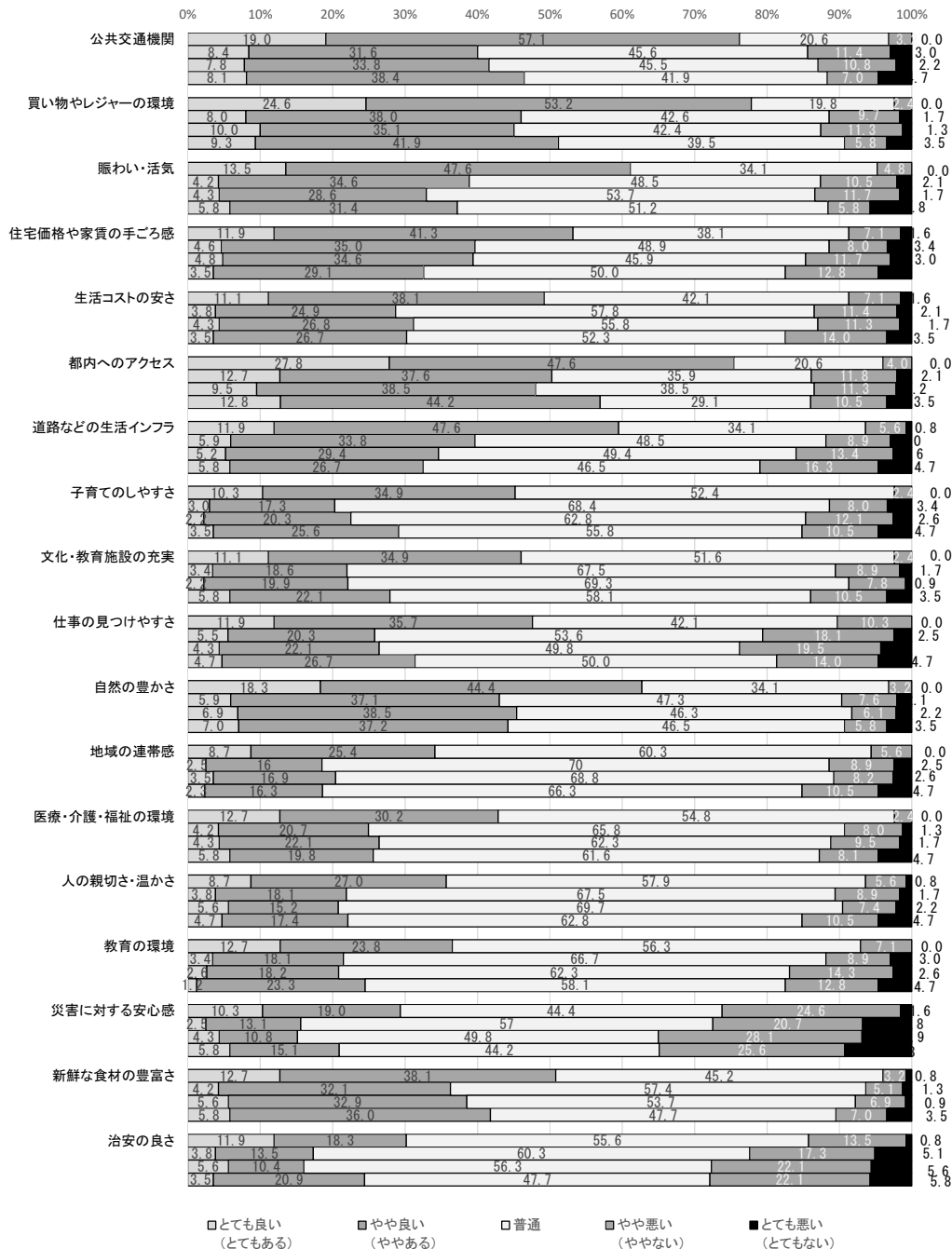
図表 203 千葉県の印象 (千葉県が移住先として検討可/千葉県以外を検討別)
 (『良い(ある)』の差異が大きい順)



上段: 千葉県は検討可(n=126) 下段: 千葉県以外を検討(n=1,874)

「移住意向あり」について、移住先として『千葉県は検討可』と『千葉県以外を検討かつ東京都（神奈川県、埼玉県）は検討可』の別にみると、千葉県の印象について『良い（ある）』の差異（『千葉県は検討可』の回答者との比較）が最も大きかったのは、『東京都は検討可（かつ千葉県以外を検討）』では「公共交通機関」（差異 36.1 ポイント）、『神奈川県は検討可（同）』では「公共交通機関」（同 34.5 ポイント）、『埼玉県は検討可（同）』では「公共交通機関」（同 29.6 ポイント）となった。

図表 204 千葉県の印象（千葉県が移住先として検討可/千葉県以外を検討かつ東京都（神奈川県、埼玉県）は検討可別）



1 段目: 千葉県は検討可 (n=126)
 2 段目: 千葉県以外を検討かつ東京都は検討可 (n=237)
 3 段目: 千葉県以外を検討かつ神奈川県は検討可 (n=231)
 4 段目: 千葉県以外を検討かつ埼玉県は検討可 (n=86)

1. 移住先自治体への期待

問 12 移住先（または転勤・転職・進学等により転居する先）の自治体に期待することは何ですか。あてはまる項目のうち上位3つまでお選びください。

移住先の自治体への期待をみると、「医療・介護・福祉環境の充実」が 49.7%と最も多く、次いで「くらしの情報提供」（34.0%）、「公共施設や道路等のインフラ整備」（32.2%）となっている。

年齢層別にみると、「20歳代以下」と「30歳代」の「子育て支援」（20歳代以下：25.0%、30歳代：26.0%）、「40歳代」の「仕事探しの支援」（32.5%）、「50歳代」と「60歳代」の「医療・介護・福祉環境の充実」（50歳代：59.7%、60歳代：70.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

性別にみると、「女性」の「医療・介護・福祉環境の充実」（57.8%）が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「北海道」の「医療・介護・福祉環境の充実」（55.7%）、「東北地方」の「仕事探しの支援」（34.8%）、「中国地方」の「まちの賑わい作り」（19.5%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」の「就農支援」（22.2%）、「会社などの役員」の「まちの賑わい作り」（16.8%）、「自営業・自由業」の「住宅に関する支援」（34.6%）、「アルバイト・パート」と「契約社員・派遣社員」の「仕事探しの支援」（アルバイト・パート：33.5%、契約社員・派遣社員：35.8%）、「学生」の「公共施設や道路などのインフラ整備」（39.4%）、「専業主婦（主夫）」の「医療・介護・福祉環境の充実」（67.2%）、「無職・年金生活」の「生涯学習や趣味・サークル活動の場の提供」（17.0%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

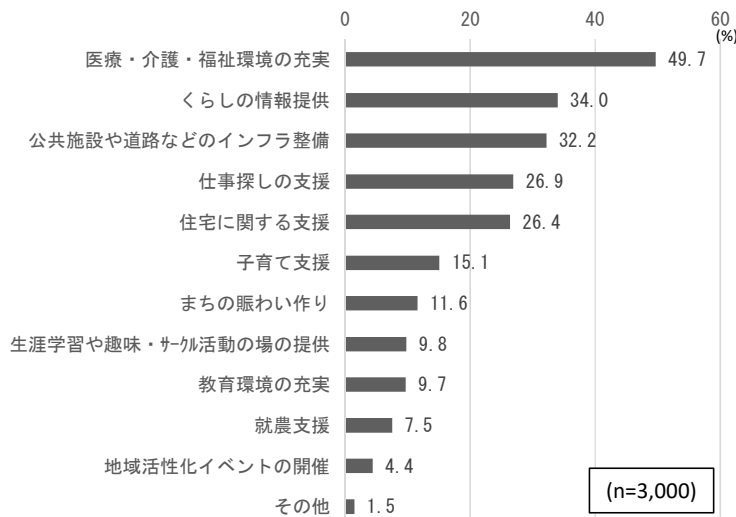
婚姻状況別にみると、「結婚している」の「医療・介護・福祉環境の充実」（55.6%）が全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「夫婦のみ」の「医療・介護・福祉環境の充実」（61.1%）、「三世同居（祖父母と親と子）」の「くらしの情報提供」（41.2%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「就学前」と「小学校」の「子育て支援」（就学前：57.3%、小学校：35.3%）、「中学校」の「教育環境の充実」（19.4%）、「高等学校」と「短大・大学・大学院」の「公共施設や道路などのインフラ整備」（高等学校：37.3%、短大・大学・大学院：39.4%）、「高専・専門学校」の「くらしの情報提供」（46.9%）、「社会人・無職等」の「医療・介護・福祉環境の充実」（66.9%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

移住意向別にみると、「移住することを具体的に考えている」の「生涯学習や趣味・サークル活動の場の提供」（17.0%）が全体の水準を大きく上回っている。

図表 205 移住先自治体への期待



図表 206 移住先自治体への期待・属性別

(単位:%)

	合計 (n)	医療・介護・福祉環境の充実	くらしの情報提供	公共施設や道路などのインフラ整備	仕事探しの支援	住宅に関する支援	子育て支援	まちの賑わい作り	生産学習や趣味・サークル活動の場の提供	教育環境の充実	就業支援	地域活性化イベント	その他	
全体	3,000	49.7	34.0	32.2	26.9	26.4	15.1	11.6	9.8	9.7	7.5	4.4	1.5	
年齢層	20歳代以下	600	34.5	28.2	29.7	24.3	17.3	25.0	13.5	11.2	15.2	8.3	5.3	1.5
	30歳代	600	36.8	35.2	23.7	30.3	24.3	26.0	14.2	5.0	14.8	9.0	3.0	0.8
	40歳代	600	47.3	34.2	31.3	32.5	27.3	14.7	10.5	7.7	9.7	7.7	3.7	1.2
	50歳代	600	59.7	33.7	37.8	30.7	31.3	5.0	9.7	9.5	4.5	6.3	4.5	2.5
	60歳代	600	70.0	39.0	38.5	16.5	31.5	4.8	10.2	15.8	4.3	6.2	5.3	1.5
性別	男性	1,500	41.5	33.9	29.6	28.5	26.6	12.1	15.1	9.3	9.1	10.1	4.6	1.3
	女性	1,500	57.8	34.2	34.8	25.2	26.1	18.1	8.1	10.3	10.3	4.9	4.1	1.7
居住地域	北海道	183	55.7	37.2	26.2	32.8	30.1	12.0	13.1	6.0	9.3	7.1	2.2	0.0
	東北地方	181	42.5	38.1	26.0	34.8	29.8	13.8	14.4	5.5	8.8	8.3	3.9	0.6
	関東地方	1,191	49.7	32.0	35.1	24.3	28.8	14.4	10.8	10.9	9.4	7.6	4.4	1.9
	中部地方	425	49.6	34.4	31.3	26.6	27.3	15.1	14.4	10.1	10.8	6.8	4.9	2.1
	近畿地方	601	51.1	35.1	32.3	27.1	21.3	15.6	8.3	10.8	9.8	9.3	4.8	1.5
	中国地方	159	43.4	35.2	24.5	26.4	17.0	19.5	19.5	6.9	13.2	4.4	5.7	1.9
	四国地方	56	50.0	35.7	25.0	26.8	25.0	17.9	12.5	7.1	12.5	10.7	1.8	0.0
	九州地方	204	51.0	34.3	35.8	29.9	26.5	17.2	9.8	10.3	6.4	4.4	3.9	0.0
	住環境	都市部	1,189	49.3	34.5	32.9	25.5	25.9	13.8	11.5	9.9	10.8	7.6	4.5
都市郊外		1,590	50.3	33.6	31.8	27.4	26.3	15.8	11.8	9.1	9.4	7.5	4.2	1.8
農山漁村地域		221	47.5	34.8	31.7	30.8	29.4	16.7	10.4	14.5	6.3	6.8	5.0	1.4
就業・就学	農林水産業従事者	18	27.8	44.4	11.1	33.3	16.7	11.1	16.7	5.6	5.6	22.2	5.6	0.0
	会社などの役員	125	38.4	32.0	28.0	26.4	20.8	12.8	16.8	9.6	8.8	10.4	7.2	0.0
	従業員・職員	1,008	41.7	33.5	29.9	31.2	26.1	17.0	14.1	6.8	11.7	8.9	3.4	1.3
	自営業・自由業	240	53.3	35.8	30.8	26.3	34.6	9.6	9.6	8.3	5.8	5.8	2.5	2.1
	アルバイト・パート	403	53.1	32.8	29.5	33.5	24.1	13.2	9.4	11.4	7.9	9.2	3.7	1.0
	契約社員・派遣社員	173	48.0	31.2	26.0	35.8	29.5	12.1	8.1	10.4	9.8	9.8	3.5	2.3
	学生	137	30.7	26.3	39.4	14.6	17.5	19.7	18.2	11.7	15.3	8.0	8.0	1.5
	専業主婦(主夫)	531	67.2	36.7	38.6	16.9	26.2	21.5	8.1	9.6	10.2	3.8	4.9	1.7
	無職・年金生活	324	52.8	35.8	35.8	21.6	29.3	6.2	10.5	17.0	5.9	5.9	5.9	2.2
	その他	41	53.7	39.0	36.6	31.7	24.4	14.6	12.2	17.1	9.8	0.0	9.8	2.4
婚姻	結婚している	1,708	55.6	35.3	32.9	23.6	26.8	18.0	11.3	9.5	10.8	6.9	4.3	1.3
	結婚していない	1,292	41.9	32.4	31.3	31.2	25.8	11.3	12.0	10.3	8.3	8.3	4.5	1.8
家族構成	一人暮らし	601	41.1	31.3	29.6	26.5	26.0	8.7	12.5	12.5	8.0	8.7	4.5	1.3
	夫婦のみ	658	61.1	34.7	38.3	22.8	29.5	9.9	10.0	13.2	6.2	7.0	5.2	2.1
	二世帯同居(親と子)	1,515	48.0	34.3	30.2	27.8	24.4	20.0	12.1	8.0	11.7	7.6	4.1	1.0
	三世帯同居(祖父母と親と子)	165	49.1	41.2	36.4	34.5	30.9	16.4	10.9	5.5	10.3	6.1	2.4	1.8
	その他	61	54.1	29.5	29.5	31.1	32.8	9.8	9.8	4.9	11.5	3.3	6.6	8.2
子どもの有無	子どもはいない	1,593	44.8	33.1	32.6	30.3	26.8	11.2	12.1	10.2	8.3	7.8	4.6	1.8
	就学前	300	37.0	29.3	15.7	21.3	18.7	57.3	12.7	4.0	23.7	8.0	2.3	0.0
	小学校	241	41.1	29.5	21.6	23.2	22.0	35.3	13.3	5.8	20.7	7.1	3.3	0.8
	中学校	144	54.2	34.0	31.3	25.0	20.1	21.5	12.5	7.6	19.4	10.4	6.9	1.4
	高等学校	153	52.9	37.9	37.3	26.1	28.8	9.8	11.8	7.8	11.1	7.8	4.6	2.0
	高専・専門学校	32	40.6	46.9	34.4	21.9	31.3	3.1	6.3	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0
	短大・大学・大学院	188	55.3	39.4	39.4	24.5	28.2	3.7	9.0	8.5	4.3	6.9	2.1	1.1
	社会人・無職等	662	66.9	37.3	37.2	22.1	30.2	5.1	10.3	13.3	4.4	6.9	5.1	1.8
世帯年収	400万円未満	1,161	45.8	34.8	30.7	29.7	26.2	12.6	10.2	10.9	7.8	7.5	4.7	1.8
	400万円以上800万円未満	1,215	52.1	33.5	31.7	27.9	25.8	18.6	12.3	7.9	11.4	8.3	4.3	1.2
	800万円以上	624	52.1	33.7	35.9	19.6	27.9	13.0	12.7	11.7	10.1	5.9	3.8	1.6
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	52.9	38.1	31.9	26.8	27.4	12.9	11.1	10.8	6.9	9.0	4.6	1.1
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	40.5	36.4	29.2	25.3	29.9	14.9	13.3	10.6	11.1	11.3	5.8	1.4
	移住することを具体的に考えている	229	37.1	33.6	26.6	21.4	19.7	14.0	11.4	17.0	11.4	8.3	5.2	1.7
	関心はない	1,000	51.9	27.7	35.2	28.9	25.0	18.4	11.6	6.6	12.6	3.7	3.3	2.0

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

移住意向ありの移住先の自治体への期待をみると、「医療・介護・福祉環境の充実」が48.6%と最も多く、次いで「くらしの情報提供」(37.2%)、「公共施設や道路などのインフラ整備」(30.7%)となっている。

年齢層別にみると、「20歳代以下」と「30歳代」の「子育て支援」(20歳代以下：24.0%、30歳代：25.8%)、「40歳代」の「仕事探しの支援」(33.8%)、「50歳代」と「60歳代」の「医療・介護・福祉環境の充実」(50歳代：57.3%、60歳代：70.5%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

性別にみると、「女性」の「医療・介護・福祉環境の充実」(56.7%)が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「北海道」の「医療・介護・福祉環境の充実」(55.2%)、「東北地方」の「仕事探しの支援」(34.7%)、「中国地方」の「まちの賑わい作り」(22.1%)、「四国地方」の「医療・介護・福祉環境の充実」(55.0%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

就業・就学別にみると、「農林水産業従事者」の「仕事探しの支援」(50.0%)、「会社などの役員」の「まちの賑わい作り」(18.6%)、「自営業・自由業」の「住宅に関する支援」(34.4%)、「アルバイト・パート」と「契約社員・派遣社員」の「仕事探しの支援」(アルバイト・パート：31.9%、契約社員・派遣社員：38.1%)、「学生」の「公共施設や道路などのインフラ整備」(43.8%)、「専業主婦(主夫)」の「医療・介護・福祉環境の充実」(65.4%)、「無職・年金生活」の「生涯学習や趣味・サークル活動の場の提供」(19.4%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

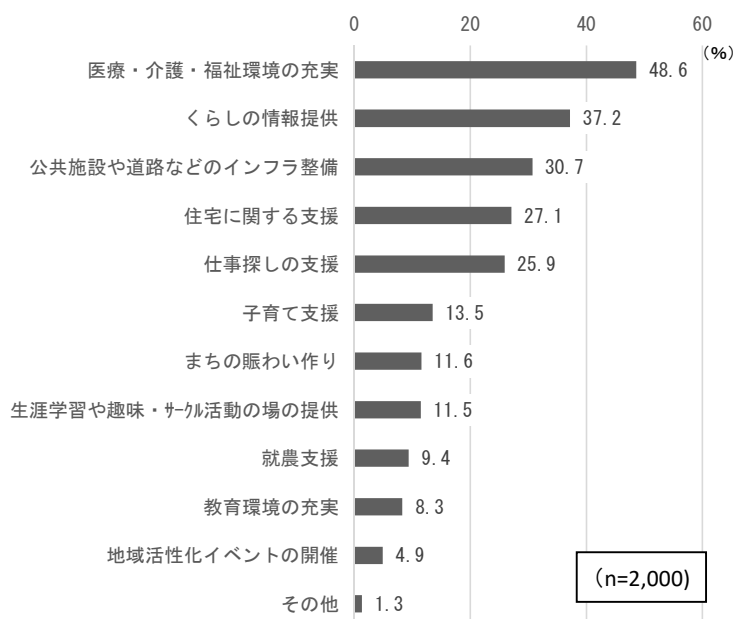
婚姻状況別にみると、「結婚している」の「医療・介護・福祉環境の充実」(53.7%)が全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「夫婦のみ」の「医療・介護・福祉環境の充実」(59.9%)、「三世同居(祖父母と親と子)」の「仕事探しの支援」(35.0%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「就学前」と「小学校」の「子育て支援」(就学前：52.6%、小学校：29.6%)、「中学校」の「就農支援」(16.1%)、「高等学校」と「高専・専門学校」の「くらしの情報提供」(高等学校：42.2%、高専・専門学校：56.5%)、「短大・大学・大学院」の「公共施設や道路などのインフラ整備」(40.8%)「社会人・無職等」の「医療・介護・福祉環境の充実」(65.4%)、などが全体の水準を大きく上回っている。

移住意向別にみると、「移住することを具体的に考えている」の「生涯学習や趣味・サークル活動の場の提供」(17.0%)が全体の水準を大きく上回っている。

図表 207 移住先自治体への期待 (移住意向あり)



図表 208 移住先自治体への期待（移住意向あり）・属性別

		(単位: %)												
		合計 (n)	医療・介護・福祉環境の充実	くらしの情報提供	公共施設や道路などの整備	住宅に関する支援	仕事探しの支援	子育て支援	まちなりの賑わい作り	生産学習や趣味・サークル活動の場の提供	就業支援	教育環境の充実	地域活性化イベントの開催	その他
全体		2,000	48.6	37.2	30.7	27.1	25.9	13.5	11.6	11.5	9.4	8.3	4.9	1.3
年齢層	20歳以下	400	32.3	30.3	28.0	18.0	24.3	24.0	13.3	13.0	9.5	13.5	6.0	1.5
	30歳代	400	36.8	38.5	23.0	23.3	29.8	25.8	14.8	4.8	11.0	14.0	2.8	0.8
	40歳代	400	46.0	36.5	29.0	30.8	33.8	11.5	10.3	8.8	10.0	7.0	4.8	1.0
	50歳代	400	57.3	37.0	38.3	31.0	27.0	4.0	9.5	11.5	8.0	3.8	5.3	2.5
	60歳代	400	70.5	43.8	35.3	32.3	14.5	2.0	10.3	19.3	8.5	3.0	5.8	0.5
	性別		1,000	40.4	36.3	28.2	27.3	27.6	10.2	14.7	10.9	12.6	7.9	4.8
女性		1,000	56.7	38.1	33.2	26.8	24.1	16.7	8.5	12.0	6.2	8.6	5.0	1.3
居住地域	北海道	116	55.2	42.2	22.4	31.9	31.0	11.2	13.8	8.6	7.8	7.8	3.4	0.0
	東北地方	118	39.8	40.7	28.0	27.1	34.7	12.7	13.6	6.8	11.9	5.9	4.2	0.0
	関東地方	807	50.2	34.3	32.5	30.6	24.2	12.3	10.2	12.4	9.3	7.9	5.0	2.1
	中部地方	276	47.5	38.4	30.1	25.7	26.8	14.5	15.6	12.0	8.3	9.4	5.4	1.1
	近畿地方	391	48.6	38.6	31.2	22.0	26.1	15.1	9.0	12.3	12.8	7.7	5.4	0.8
	中国地方	104	35.6	39.4	26.0	18.3	20.2	16.3	22.1	8.7	5.8	12.5	5.8	1.9
	四国地方	40	55.0	32.5	30.0	32.5	27.5	15.0	7.5	7.5	12.5	12.5	2.5	0.0
	九州地方	148	50.7	39.9	33.1	24.3	25.0	13.5	9.5	12.2	4.1	7.4	4.1	0.0
住環境	都市部	772	49.0	37.6	31.2	26.3	24.4	12.8	11.1	11.5	10.1	9.8	5.7	0.4
	都市郊外	1,064	48.6	36.9	29.9	27.5	26.6	14.1	12.0	10.7	9.3	7.7	4.3	1.8
	農山漁村地域	164	46.3	37.2	33.5	27.4	28.0	12.2	11.0	15.9	6.7	4.3	4.9	1.8
就業・就学	農林水産業従事者	12	25.0	33.3	8.3	16.7	50.0	8.3	25.0	0.0	25.0	8.3	8.3	0.0
	会社などの役員	86	38.4	33.7	24.4	17.4	25.6	12.8	18.6	11.6	14.0	5.8	8.1	0.0
	従業員・職員	672	39.9	37.6	27.7	27.2	29.9	15.8	13.2	7.7	10.6	10.1	3.7	1.5
	自営業・自由業	180	51.1	37.2	32.8	34.4	25.0	8.9	10.6	9.4	7.2	5.6	2.2	2.2
	アルバイト・パート	257	52.5	35.8	29.6	23.7	31.9	8.9	8.6	14.8	11.7	5.8	4.7	1.2
	契約社員・派遣社員	113	47.8	32.7	23.9	31.0	38.1	10.6	10.6	13.3	13.3	9.7	3.5	0.0
	学生	89	31.5	25.8	43.8	16.9	11.2	18.0	16.9	12.4	9.0	12.4	10.1	1.1
	専業主婦(主夫)	350	65.4	41.4	35.1	26.6	15.7	20.6	8.6	11.4	5.4	8.6	6.0	0.6
	無職・年金生活	211	53.6	38.4	33.6	31.8	20.4	3.3	10.4	19.4	8.1	5.2	5.7	1.9
	その他	30	53.3	43.3	36.7	26.7	33.3	16.7	13.3	16.7	-	10.0	10.0	3.3
婚姻	結婚している	1,150	53.7	39.4	31.0	27.3	22.6	15.7	11.3	11.1	9.5	9.1	5.0	0.8
	結婚していない	850	41.5	34.2	30.4	26.7	30.2	10.4	12.0	11.9	9.3	7.1	4.8	1.9
家族構成	一人暮らし	406	42.4	32.0	29.1	27.8	26.6	7.4	13.1	13.5	10.1	6.9	5.2	1.5
	夫婦のみ	464	59.9	37.7	36.0	30.6	21.3	10.3	10.3	15.1	9.1	5.6	5.6	1.1
	二世帯同居(親と子)	965	45.6	38.7	28.0	23.8	26.5	17.5	11.8	9.6	9.8	9.8	4.8	0.9
	三世帯同居(祖父母と親と子)	117	45.3	44.4	35.9	34.2	35.0	14.5	11.1	6.8	7.7	8.5	2.6	1.7
	その他	48	58.3	29.2	35.4	33.3	27.1	10.4	8.3	6.3	2.1	12.5	4.2	6.3
子どもの有無	子どもはいない	1,063	44.1	35.5	31.0	27.7	29.8	10.8	11.9	11.5	9.3	7.0	4.9	1.8
	就学前	209	34.9	32.1	14.8	18.7	20.1	52.6	12.4	4.8	11.0	23.4	2.4	0.0
	小学校	159	37.7	31.4	21.4	23.9	23.3	29.6	14.5	5.7	10.7	18.2	4.4	0.6
	中学校	93	52.7	36.6	32.3	26.9	25.8	18.3	11.8	8.6	16.1	12.9	8.6	0.0
	高等学校	102	49.0	42.2	35.3	30.4	30.4	4.9	10.8	10.8	9.8	6.9	3.9	2.0
	高専・専門学校	23	34.8	56.5	26.1	26.1	21.7	4.3	8.7	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0
	短大・大学・大学院	130	56.2	40.8	40.8	28.5	25.4	3.8	9.2	10.0	6.2	3.1	2.3	0.8
	社会人・無職等	437	65.4	43.0	35.2	30.7	18.5	3.0	10.5	16.2	9.4	3.4	6.2	0.9
世帯年収	400万円未満	764	45.0	37.0	29.3	27.5	29.6	11.1	10.3	12.7	9.3	6.4	5.0	1.8
	400万円以上800万円未満	809	51.1	37.3	29.4	25.8	26.0	17.1	12.2	9.4	10.8	10.1	4.8	0.7
	800万円以上	427	50.1	37.2	35.6	28.6	19.0	10.8	12.6	13.1	7.0	8.0	4.9	1.2
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	52.9	38.1	31.9	27.4	26.8	12.9	11.1	10.8	9.0	6.9	4.6	1.1
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	40.5	36.4	29.2	29.9	25.3	14.9	13.3	10.6	11.3	11.1	5.8	1.4
	移住することを具体的に考えている	229	37.1	33.6	26.6	19.7	21.4	14.0	11.4	17.0	8.3	11.4	5.2	1.7

(注) グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

m. 移住の情報入手先

問 13 あなたが移住（転居）先を選ぶにあたり、どのような方法で情報を入手しますか。あてはまる項目のうち上位3つまでお選びください。

移住（転居）先選定の際の情報入手先をみると、「自治体によるインターネット情報（ホームページやSNS）」が 64.5%と突出して多く、次いで「民間不動産業者等によるインターネット情報」（30.8%）、「現地訪問ツアー」（23.4%）となっている。

年齢層別にみると、「60 歳代」の「現地訪問ツアー」（35.3%）などが全体の水準を大きく上回っている。

性別にみると、「女性」の「親族や知人・友人等からの口コミ」（24.9%）が全体の水準を大きく上回っている。

居住地域別にみると、「四国地方」の「民間不動産業者等によるインターネット情報」（42.5%）などが全体の水準を大きく上回っている。

住環境別にみると、「農山漁村地域」の「書籍や雑誌」（22.6%）が全体の水準を大きく上回っている。

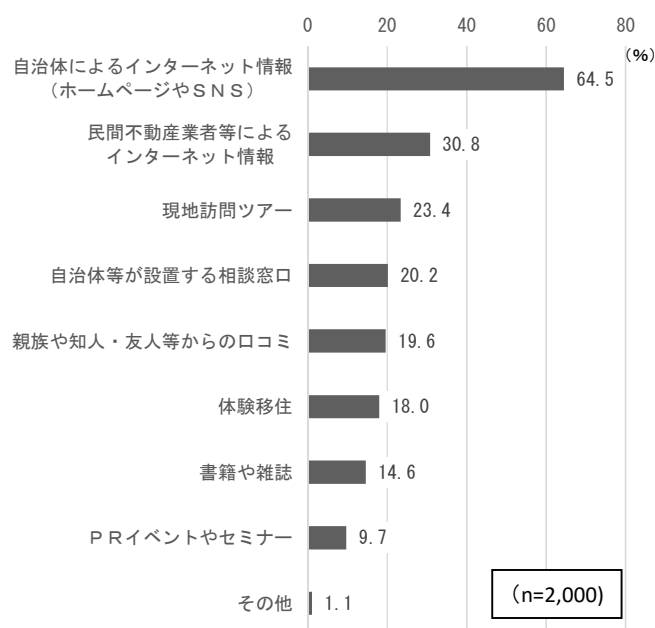
就業・就学別にみると、「農林水産業従業者」と「自営業・自由業」の「民間不動産業者等によるインターネット情報」（農林水産業従業者：41.7%、自営業・自由業：36.1%）、「契約社員・派遣社員」の「体験移住」（24.8%）、「学生」の「書籍や雑誌」（20.2%）、「専業主婦（主夫）」の「親族や知人・友人等からの口コミ」（26.6%）、「無職・年金生活」の「自治体によるインターネット情報（ホームページやSNS）」（74.4%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

家族構成別にみると、「夫婦のみ」の「現地訪問ツアー」（31.0%）、「三世同居（祖父母と親子）」の「民間不動産業者等によるインターネット情報」（39.3%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

子どもの有無をみると、「就学前」と「中学校」の「親族や知人・友人等からの口コミ」（就学前：25.4%、中学校：24.7%）、「小学校」の「PR イベントやセミナー」（15.1%）、「高等学校」の「自治体等が設置する相談窓口」（26.5%）、「高専・専門学校」と「社会人・無職等」の「現地訪問ツアー」（高専・専門学校：39.1%、社会人・無職等：34.6%）、「短大・大学・大学院」の「書籍や雑誌」（21.5%）、などが全体の水準を大きく上回っている。

世帯収入別にみると、「800 万円以上」の「現地訪問ツアー」（29.7%）が全体の水準を大きく上回っている。

図表 209 情報取得先



図表 210 情報取得先（属性別）

（単位：％）

	合計（n）	自治体（ホームページやSNS）による情報やインターネット情報	民間不動産業者等によるインターネット情報	現地訪問ツアー	自治体等が設置する相談窓口	親族や知人・友人等からの口コミ	体験移住	書籍や雑誌	PRイベントやセミナー	その他	
全体	2,000	64.5	30.8	23.4	20.2	19.6	18.0	14.6	9.7	1.1	
年齢層	20歳代以下	400	59.0	31.3	12.5	18.5	23.3	10.3	14.5	10.5	1.3
	30歳代	400	61.3	32.5	17.3	20.0	20.3	14.3	12.8	12.0	0.5
	40歳代	400	63.5	33.5	24.0	21.5	19.3	21.3	13.3	8.8	0.8
	50歳代	400	68.3	29.5	27.8	20.0	17.0	21.0	15.3	7.5	1.3
	60歳代	400	70.5	27.0	35.3	21.0	18.0	23.0	17.3	9.8	1.8
性別	男性	1,000	64.7	32.6	22.6	22.7	14.2	15.9	16.1	10.3	1.3
	女性	1,000	64.3	28.9	24.1	17.7	24.9	20.0	13.1	9.1	0.9
居住地域	北海道	116	68.1	31.9	21.6	21.6	20.7	19.8	15.5	10.3	0.9
	東北地方	118	60.2	36.4	17.8	22.0	19.5	15.3	13.6	11.0	0.0
	関東地方	807	64.8	31.5	23.0	21.2	20.2	17.2	15.4	10.2	0.9
	中部地方	276	63.0	33.7	22.1	20.7	19.2	16.3	15.9	8.0	2.2
	近畿地方	391	65.7	25.8	26.1	19.4	18.7	21.5	12.3	11.5	0.5
	中国地方	104	56.7	25.0	22.1	19.2	20.2	13.5	8.7	8.7	3.8
	四国地方	40	75.0	42.5	22.5	10.0	17.5	20.0	25.0	2.5	0.0
九州地方	148	65.5	29.7	27.0	16.9	18.2	18.9	15.5	6.8	1.4	
住環境	都市部	772	64.0	29.7	24.0	21.6	18.8	19.0	12.8	9.1	0.5
	都市郊外	1,064	64.6	31.1	24.0	19.6	20.5	17.7	14.7	10.5	1.3
	農山漁村地域	164	66.5	33.5	16.5	17.1	17.1	14.6	22.6	7.3	2.4
就業・就学	農林水産業従事者	12	33.3	41.7	16.7	25.0	16.7	16.7	16.7	16.7	8.3
	会社などの役員	86	61.6	33.7	22.1	23.3	15.1	10.5	16.3	12.8	1.2
	従業員・職員	672	63.4	31.0	23.5	21.3	16.7	15.9	12.4	10.7	0.6
	自営業・自由業	180	67.8	36.1	19.4	21.7	17.2	20.0	13.3	7.8	1.1
	アルバイト・パート	257	61.9	26.8	25.3	16.7	19.5	18.7	18.7	10.1	0.8
	契約社員・派遣社員	113	63.7	32.7	21.2	23.9	16.8	24.8	15.0	6.2	0.0
	学生	89	52.8	31.5	18.0	14.6	23.6	12.4	20.2	14.6	1.1
	専業主婦（主夫）	350	64.3	26.0	27.4	19.4	26.6	22.3	10.9	7.7	1.4
	無職・年金生活	211	74.4	34.1	21.3	20.4	21.3	14.7	20.4	9.0	2.4
	その他	30	83.3	36.7	23.3	16.7	16.7	30.0	16.7	10.0	3.3
婚姻	結婚している	1,150	65.4	28.8	26.8	20.9	20.4	19.2	13.9	9.4	1.0
	結婚していない	850	63.3	33.4	18.7	19.3	18.4	16.2	15.5	10.1	1.2
家族構成	一人暮らし	406	58.9	33.5	17.5	19.0	18.7	16.5	15.5	11.3	1.0
	夫婦のみ	464	68.8	27.2	31.0	20.0	19.0	21.3	13.8	9.3	1.3
	二世帯同居（親と子）	965	64.6	30.3	21.0	21.6	20.6	16.8	15.0	8.3	1.0
	三世帯同居（祖父母と親と子）	117	65.0	39.3	29.1	17.9	17.1	17.9	11.1	17.1	0.0
	その他	48	68.8	31.3	31.3	10.4	16.7	20.8	14.6	10.4	4.2
子どもの有無	子どもはいない	1,063	64.8	32.4	19.3	20.6	18.9	16.7	14.8	10.2	1.2
	就学前	209	60.8	28.7	16.7	19.1	25.4	12.4	6.7	9.6	0.5
	小学校	159	54.7	26.4	25.2	15.1	23.9	15.1	11.3	15.1	0.6
	中学校	93	65.6	34.4	25.8	22.6	24.7	21.5	17.2	9.7	1.1
	高等学校	102	65.7	34.3	25.5	26.5	15.7	23.5	11.8	7.8	2.0
	高専・専門学校	23	47.8	13.0	39.1	30.4	26.1	17.4	26.1	8.7	0.0
	短大・大学・大学院	130	58.5	30.0	26.9	17.7	21.5	24.6	21.5	6.2	1.5
社会人・無職等	437	69.8	27.9	34.6	19.7	16.9	22.4	16.5	7.6	1.4	
世帯年収	400万円未満	764	64.4	30.2	20.4	17.5	20.0	16.9	16.0	8.9	1.6
	400万円以上800万円未満	809	65.4	31.5	22.7	21.8	19.7	17.7	12.5	11.7	0.9
	800万円以上	427	63.0	30.2	29.7	22.0	18.5	20.4	16.2	7.3	0.7
移住意向	やや関心はあるが、具体的には考えていない	1,356	65.9	30.1	23.6	20.6	19.9	18.5	15.6	9.6	1.0
	とても関心があるが、具体的には考えていない	415	64.1	33.5	26.0	18.6	15.9	19.8	14.9	10.6	1.2
	移住することを具体的に考えている	229	57.2	29.7	17.0	20.5	24.0	11.4	8.3	8.7	1.7

（注）グレーの網掛けは、「全体」の水準を5ポイント以上上回った項目。

(3) 県外在住者への移住に関するアンケート設問

1. 属性設問

1 年齢	あなたの年齢をお答えください。	
SA	(選択肢)	1 20歳代以下 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代
2 性別	あなたの性別をお答えください。	
SA	(選択肢)	1 男性 2 女性
3 就業・就学形態	あなたの就業・就学形態をお答えください。	
SA	(選択肢)	1 農林水産業従事者 2 会社などの役員 3 従業員・職員 4 自営業・自由業 5 アルバイト・パート 6 契約社員・派遣社員 7 学生 8 専業主婦(主夫) 9 無職(年金生活者を含む) 10 その他()
4 結婚	結婚はしていますか。	
SA	(選択肢)	1 結婚している。 2 結婚していない。
5 家族構成	現在お住まいの住居での家族構成をお答えください。	
SA	(選択肢)	1 一人暮らし 2 夫婦のみ 3 二世帯同居(親と子) 4 三世帯同居(祖父母と親と子) 5 その他()
6 子どもの属性	お子さん(同居の有無に関わらず、生計を一にする子供)の現在の就学状況について、あてはまる項目全てをお選びください(お子さんがいない場合は、選択肢「1」を選択してください)。	
MA (該当するもの全て)	(選択肢)	1 子どもはいない 2 就学前 3 小学校 4 中学校 5 高等学校 6 高専・専門学校 7 短大・大学・大学院 8 社会人(無職等を含む)

7 年収	あなたの世帯の年収をお答え下さい。(同一生計者の方の年収も合計してください。)
SA	1 200万円未満 2 200万円以上400万円未満 3 400万円以上600万円未満 4 600万円以上800万円未満 5 800万円以上1,000万円未満 6 1,000万円以上
8 現在の居住地(都道府県)	現在の居住地(都道府県)をお答えください。
SA (選択肢)	46都道府県(千葉県以外)
9 現在の居住地(市町村)	現在の居住地(市町村)をお答えください。
FA	()
10 現在の居住地の状況	現在お住まいの場所は、どのような地域に属するところだと思いますか？ (その判断は、実際に住まれているあなたの主観で結構です。)
SA	1 都市部 2 都市郊外 3 農山漁村地域
11 移住への関心	あなたは、移住することに関心がありますか？
SA (選択肢)	※ここでの「移住」とは、今より魅力的な生活・環境を求めて自ら積極的に居住地(住居)を移すことを言い、「二地域居住」(例えば、平日は都市部に住み、週末や一年のうちの一部を農山漁村地域などで暮らすスタイル)も含むものとします。 なお、転勤・進学等により、やむを得ず、居住地(住居)を今の場所から移す場合は含みません。 1 関心はない ⇒ Q10、Q11、Q12のみ回答 2 やや関心はあるが、具体的には考えていない ⇒ 全て回答 3 とても関心があるが、具体的には考えていない ⇒ 全て回答 4 移住することを具体的に考えている ⇒ 全て回答

2. 本設問

Q1 移住の理由	移住する(移住に関心がある)理由は何ですか。あてはまる項目のうち上位3つまでお選びください。
MA (上位3つまで)	1 出身地に帰りたいから 2 親族や知人・友人の近くに住みたいから 3 介護や家業を継ぐなどの事情があるから 4 今の生活が自分のライフスタイルに合わないから 5 今と違う仕事をしたいから 6 住環境(街並み・景観等)が良い場所に住みたいから 7 マイホームを購入するなど、より良い住居にしたいから。 8 今よりも職場(学校)に近い場所に住みたいから 9 今よりも商業・レクリエーション施設が充実した場所に住みたいから 10 今よりも医療・介護施設が充実している場所に住みたいから 11 今よりも賑わいのある場所に住みたいから 12 子育ての環境を良くしたいから 13 家賃などの生活費の水準を下げたいから 14 趣味を優先した生活がしたいから 15 時間に追われない生活がしたいから 16 その他()
Q2 移住先での仕事	前問で5を選択した方に伺います。移住先で就きたい仕事はどのようなことですか。あてはまる項目のうち上位2つまでお選びください。
MA (上位2つまで)	1 農林水産業 2 飲食サービス業 3 宿泊業 4 情報通信業 5 製造業 6 卸売・小売業 7 医療・福祉関係 8 建設業 9 その他()

Q9 移住先のイメージ	移住先としてイメージするのはどのような地域ですか。
SA	1 都市部 2 都市郊外 3 農山漁村地域 4 特にイメージはない

Q10 検討できる移住先	移住先として検討できる場所は、次のうちどこですか。あてはまる項目のうち上位2つまでお選びください。
MA (上位2つまで)	1 千葉県の都市部(東京都心から概ね1時間以内) 2 千葉県の都市部以外(東京都心から概ね1時間以上) 3 東京都 4 神奈川県 5 埼玉県 6 上記以外で検討

Q11 千葉県の印象	千葉県の印象についてお伺いします。次の事項について、千葉県にどのような印象をお持ちですか。
------------	---

SA						
		とても良い (とてもある)	やや良い (ややある)	普通	やや悪い (ややない)	とても悪い (とてもない)
公共交通機関の充実	1	2	3	4	5	
買い物やレジャーの環境	1	2	3	4	5	
都内へのアクセス	1	2	3	4	5	
賑わい・活気	1	2	3	4	5	
道路などの生活インフラ	1	2	3	4	5	
子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	
教育の環境	1	2	3	4	5	
自然の豊かさ	1	2	3	4	5	
文化・教育施設の充実	1	2	3	4	5	
医療・介護・福祉の環境	1	2	3	4	5	
仕事の見つけやすさ	1	2	3	4	5	
住宅価格や家賃の手ごろ感	1	2	3	4	5	
生活コストの安さ	1	2	3	4	5	
災害に対する安心感	1	2	3	4	5	
治安の良さ	1	2	3	4	5	
新鮮な食材の豊富さ	1	2	3	4	5	
人の親切さ・温かさ	1	2	3	4	5	
地域の連帯感	1	2	3	4	5	

Q12 期待すること	移住先(または転勤・転職・進学等により転居する先)の自治体に期待することは何ですか。あてはまる項目のうち上位3つまでお選びください。
MA (上位3つまで)	1 暮らしの情報提供 2 まちのにぎわい作り 3 仕事探しの支援 4 就農支援 5 教育環境の充実 6 子育て支援 7 医療・介護・福祉環境の充実 8 公共施設や道路などのインフラ整備 9 住宅に関する支援 10 地域活性化イベントの開催 11 生涯学習や趣味・サークル活動の場の提供 12 その他()

Q13 役立つ情報	あなたが移住(転居)先を選ぶにあたり、どのような方法で情報を入手しますか。あてはまる項目のうち上位3つまでお選びください。
MA (上位3つまで)	1 自治体によるインターネット情報(ホームページやSNS) 2 民間不動産業者等によるインターネット情報 3 自治体等が設置する相談窓口 4 PRイベントやセミナー 5 現地訪問ツアー 6 体験移住 7 書籍や雑誌 8 親族や知人・友人等からの口コミ 9 その他()